

秋田市介護予防・日常生活圏域
高齢者ニーズ調査結果報告書

令和5年3月

秋 田 市

目次

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	2
III 調査結果	4
問1. あなたのご家族や生活状況について	4
問2. からだを動かすことについて	10
問3. 食べることについて	21
問4. 毎日の生活について	31
問5. 地域での活動について	51
問6. たすけあいについて	63
問7. 健康について	71
問8. 認知症にかかる相談窓口の把握について	83
IV リスク判定・分析	86
1. リスクの判定条件	86
2. リスク判定分析	89
3. 圏域別リスクの比較	111
4. 圏域別リスク該当者割合	120
V 考察	122
VI 調査票	125

I 調査の概要

1 調査目的

要介護状態にない高齢者を対象に、要介護状態になる前のリスクや社会参加状況などを把握し、第11次秋田市高齢者プラン（第9期秋田市介護保険事業計画）の策定のための基礎資料とする。

2 調査項目

No	設問内容	設問内容の意図	設問数
問1	あなたのご家族や生活状況について	基本情報	6
問2	からだを動かすことについて	運動器機能の低下・転倒リスク・閉じこもり傾向を把握	11
問3	食べることについて	口腔機能の低下・低栄養の傾向を把握	10
問4	毎日の生活について	認知機能の低下、IADLの把握低下	20
問5	地域での活動について	ボランティア等への参加状況・今後の参加意向	5
問6	たすけあいについて	うつ傾向を把握	8
問7	健康について	知的能動性・社会的役割・社会参加の状況等を把握	12
問8	認知症にかかる相談窓口の把握について	認知症に関する相談窓口の認知状況を把握	3

3 調査対象

- (1) 調査対象範囲 秋田市全域
(2) 調査対象者 令和4年12月1日現在、秋田市に居住する65歳以上の要介護認定を受けていない方2,000人（中央・東・西・南・北の5圏域×400人）を無作為抽出
(参考 日常生活圏域)

圏域名	地域
中央	大町、旭北、旭南、川元、川尻、山王、高陽、保戸野、泉、千秋（久保田町を除く）、中通、南通、楢山、茨島、八橋（字イサノを除く）、卸町
東	東通、手形、手形山、千秋久保田町、旭川、新藤田、濁川、添川、山内、仁別、広面、柳田、横森、桜、桜ガ丘、桜台、下北手、太平、大平台、蛇野、河辺
西	新屋、勝平、浜田、下浜、豊岩
南	牛島、大住、四ツ小屋、仁井田、御野場、御所野、上北手、山手台、南ヶ丘、雄和
北	寺内、外旭川、土崎港、将軍野、港北、飯島、金足、下新城、上新城、八橋字イサノ

4 調査期間

令和4年12月23日～令和5年1月25日

5 調査方法

郵送配布回収

6 回収結果

回収件数：1,372件

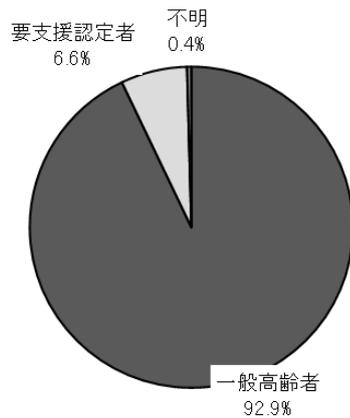
回収率：68.6%

7 報告書のみかた

- (1) 調査結果は百分率で表示している。百分率は小数点以下第2位を四捨五入していることから、合計値が100%にならない場合がある。
(2) 1つの質問に対して2つ以上の回答を求めているものについて、百分率は回答数を本調査の総回答数で割った数値を表している。

Ⅱ 回答者の属性

(1) 一般高齢者・要支援認定者区分



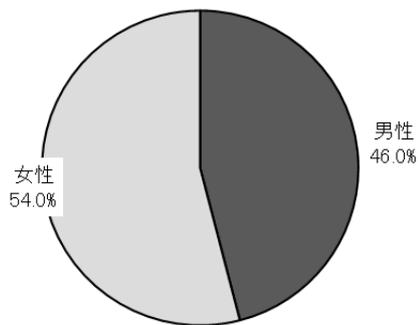
N=1372

(上段:実数、下段:%)

全体	一般高齢者	要支援認定者	不明
1372	1275	91	6
100.0	92.9	6.6	0.4

(2) 性別

【一般高齢者】

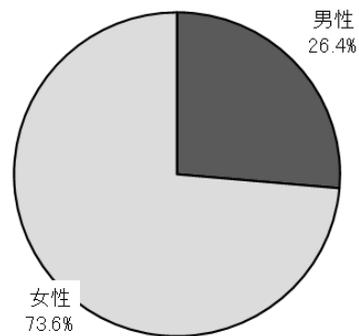


N=1275

(上段:実数、下段:%)

全体	男性	女性
1275	586	689
100.0	46.0	54.0

【要支援認定者】

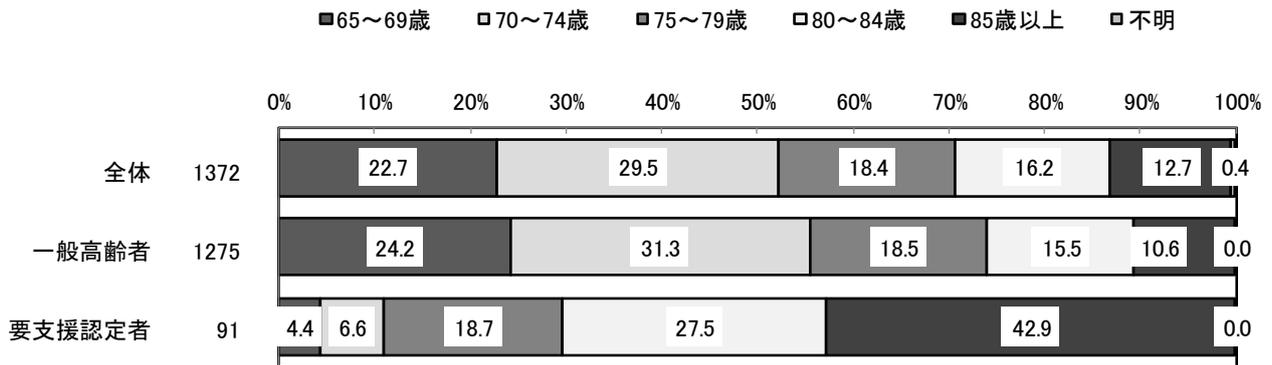


N=91

(上段:実数、下段:%)

全体	男性	女性
91	24	67
100.0	26.4	73.6

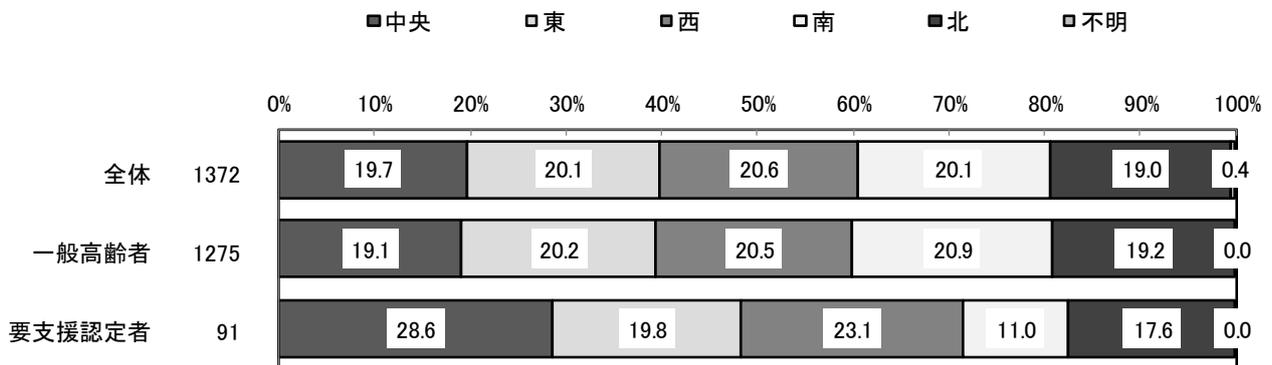
(3) 年齢階級別



(上段:実数、下段:%)

調査数	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上	不明
全体	1372	312	405	253	222	174
	100.0	22.7	29.5	18.4	16.2	12.7
一般高齢者	1275	308	399	236	197	135
	100.0	24.2	31.3	18.5	15.5	10.6
要支援認定者	91	4	6	17	25	39
	100.0	4.4	6.6	18.7	27.5	42.9

(4) 日常生活圏域



(上段:実数、下段:%)

調査数	中央	東	西	南	北	不明
全体	1372	270	276	283	276	261
	100.0	19.7	20.1	20.6	20.1	19.0
一般高齢者	1275	244	258	262	266	245
	100.0	19.1	20.2	20.5	20.9	19.2
要支援認定者	91	26	18	21	10	16
	100.0	28.6	19.8	23.1	11.0	17.6

Ⅲ 調査結果

問 1. あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください

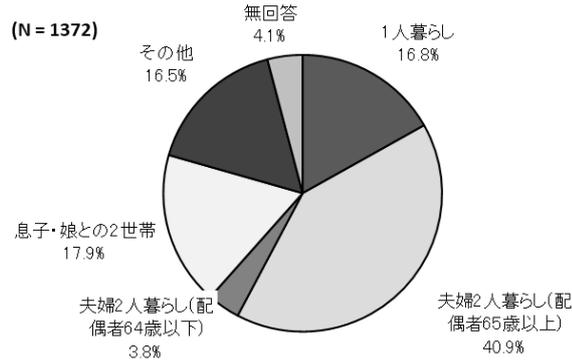
全体では、「夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 40.9%と最も高く、次いで「息子・娘との 2 世帯」が 17.9%、「1 人暮らし」が 16.8%となっている。

性別では、「1 人暮らし」は男性より女性の割合が高くなっている。

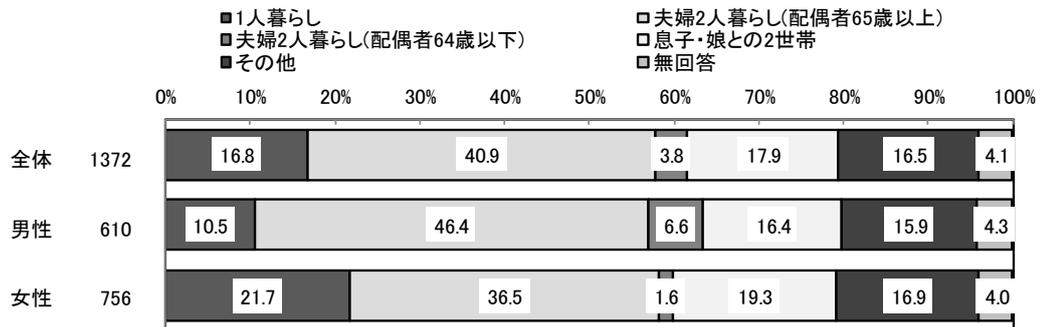
圏域では、「1 人暮らし」は中央圏域で高く、次いで西圏域、北圏域と続いている。

介護区分では、「1 人暮らし」は一般高齢者より要支援認定者で 20 ポイント以上高くなっている。

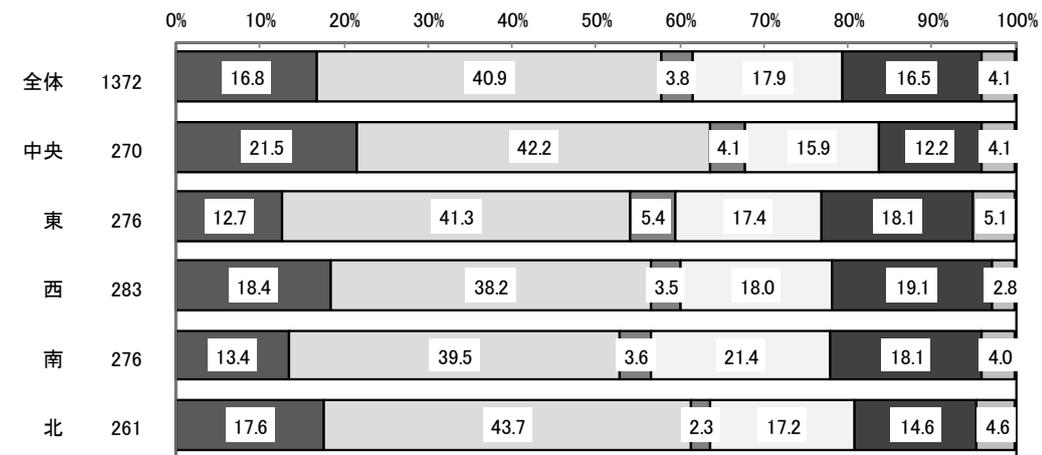
【全体】



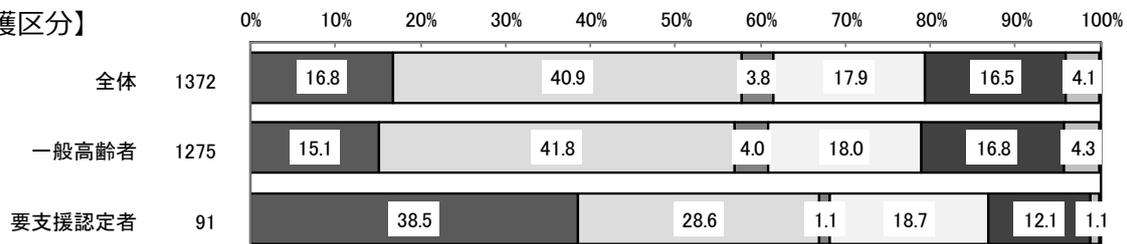
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(2) あなたは、普段の生活でなたかの介護・介助が必要ですか

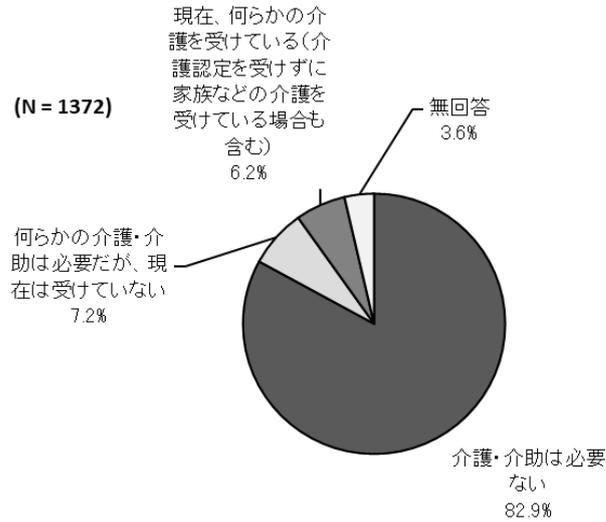
全体では、「介護・介助は必要ない」が 82.9%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 7.2%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が 6.2%となっている。

性別では、「介護・介助は必要ない」は女性より男性の割合が高くなっている。

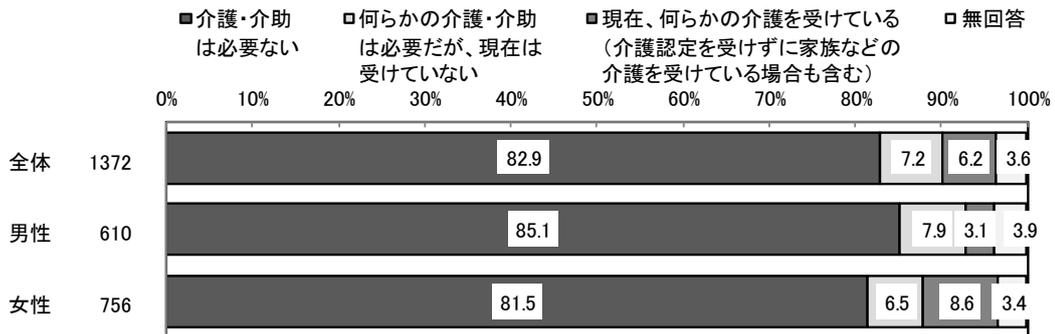
圏域では、「介護・介助は必要ない」は南圏域でやや高くなっている。

介護区分では、「介護・介助は必要ない」は要支援認定者で 2 割強にとどまっている。

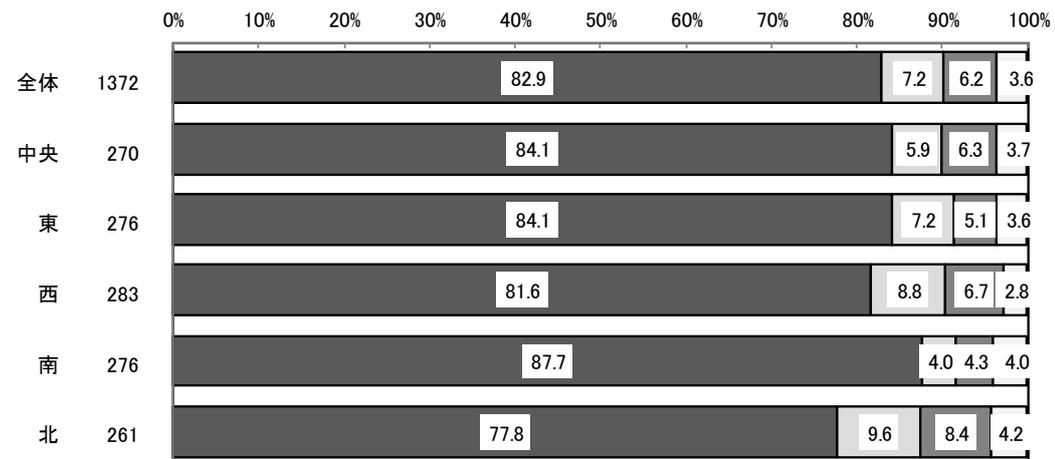
【全体】



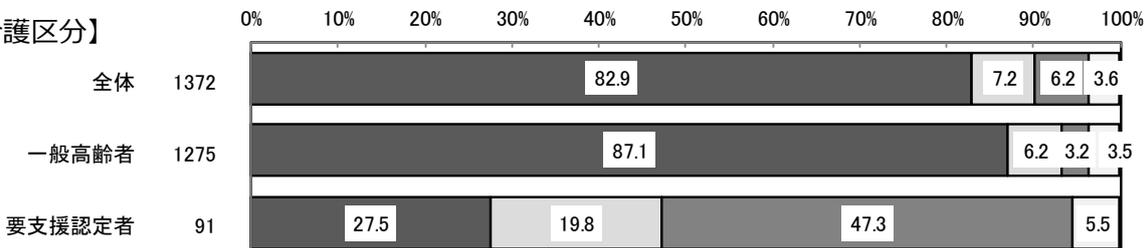
【性別】



【圏域】



【介護区分】



【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか

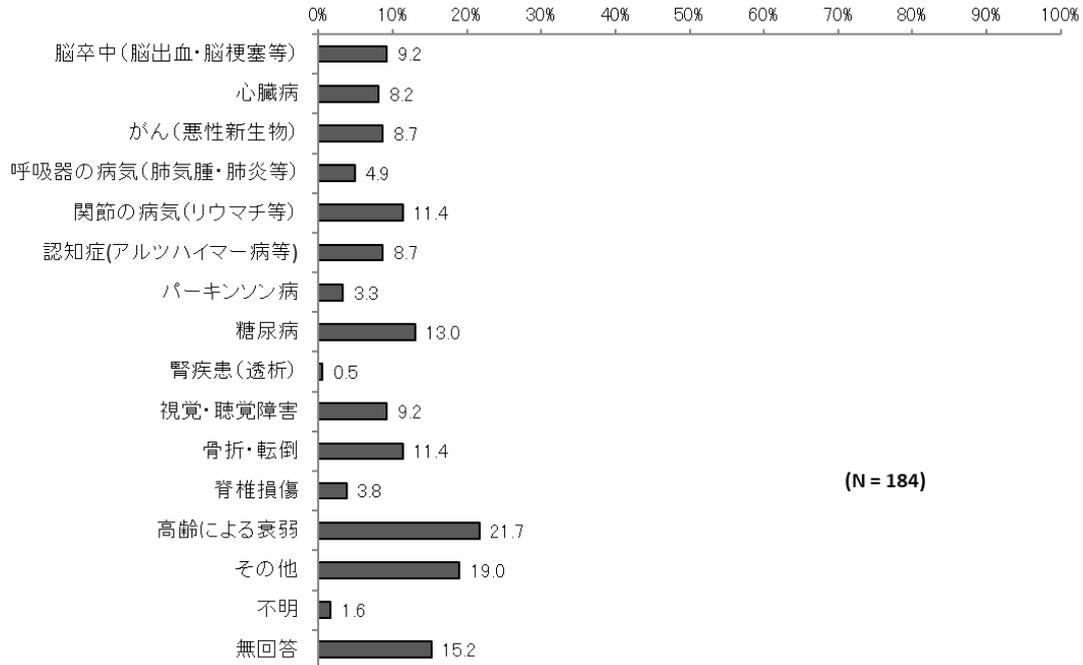
全体では、「高齢による衰弱」が 21.7%と最も高く、次いで「その他」が 19.0%、「糖尿病」が 13.0%となっている。

性別では、「心臓病」「がん(悪性新生物)」は女性より男性が 10ポイント以上高くなっている。

圏域では、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」は西圏域で高く、次いで東圏域と続いている。

介護区分では、一般高齢者では「高齢による衰弱」、要支援認定者では「その他」が 2割を超えている。

【全体】



(%)

		調査数	脳卒中 (脳出血・ 脳梗塞等)	心臓病	がん(悪 性新生物)	呼吸器の 病気(肺 気腫・肺 炎等)	関節の病 気(リウ マチ等)	認知症(ア ルツハイ マー病等)	パーキン ソン病	糖尿病
全体		184	9.2	8.2	8.7	4.9	11.4	8.7	3.3	13.0
性別	男性	67	14.9	14.9	14.9	7.5	9.0	9.0	4.5	17.9
	女性	114	6.1	4.4	4.4	2.6	13.2	8.8	2.6	10.5
圏別	中央	33	3.0	6.1	12.1	6.1	12.1	9.1	6.1	9.1
	東	34	11.8	8.8	8.8	2.9	11.8	14.7	0.0	11.8
	西	44	13.6	6.8	6.8	9.1	11.4	6.8	2.3	4.5
	南	23	8.7	17.4	4.3	0.0	4.3	8.7	4.3	21.7
	北	47	8.5	6.4	8.5	2.1	14.9	6.4	4.3	21.3
介護区分	一般高齢者	120	8.3	9.2	8.3	3.3	9.2	13.3	3.3	14.2
	要支援認定者	61	11.5	6.6	8.2	6.6	16.4	0.0	3.3	11.5

		調査数	腎疾患 (透析)	視覚・聴 覚障害	骨折・転 倒	脊椎損傷	高齢によ る衰弱	その他	不明	無回答
全体		184	0.5	9.2	11.4	3.8	21.7	19.0	1.6	15.2
性別	男性	67	0.0	7.5	9.0	1.5	23.9	16.4	1.5	14.9
	女性	114	0.9	9.6	13.2	4.4	21.1	21.1	1.8	14.9
圏別	中央	33	0.0	6.1	18.2	0.0	21.2	18.2	3.0	18.2
	東	34	0.0	2.9	8.8	2.9	35.3	11.8	2.9	11.8
	西	44	2.3	13.6	11.4	6.8	22.7	20.5	2.3	18.2
	南	23	0.0	17.4	17.4	4.3	26.1	21.7	0.0	8.7
	北	47	0.0	6.4	6.4	2.1	10.6	23.4	0.0	14.9
介護区分	一般高齢者	120	0.8	8.3	10.8	1.7	23.3	15.8	0.8	15.8
	要支援認定者	61	0.0	9.8	13.1	6.6	19.7	26.2	3.3	13.1

【(2) において「3. 「現在、何らかの介護を受けている」方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか

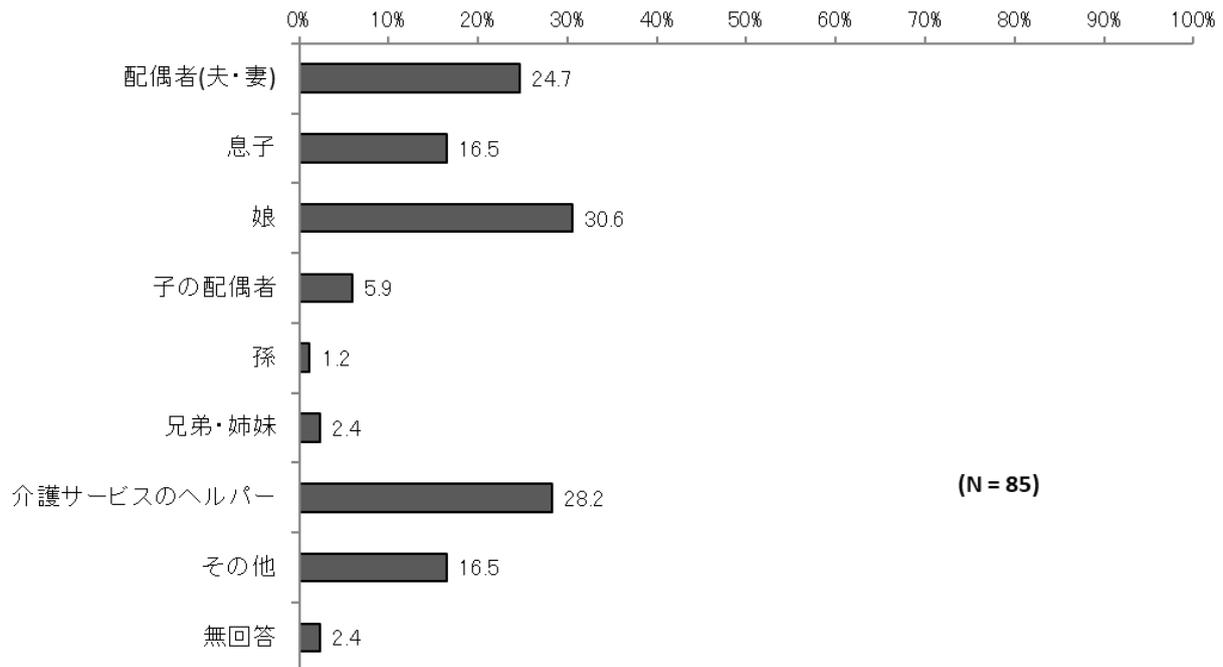
全体では、「娘」が 30.6%で最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」が 28.2%、「配偶者(夫・妻)」が 24.7%となっている。

性別では、「介護サービスのヘルパー」は女性より男性の割合が 17 ポイント以上高くなっている。

圏域では、「娘」は西圏域で高く、次いで中央圏域、東圏域と続いている。

介護区分では、「配偶者(夫・妻)」は一般高齢者で最も高く、「介護サービスのヘルパー」は要支援認定者で最も高くなっている。

【全体】



		調査数	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の配 偶者	孫	兄弟・姉 妹	介護サー ビスのヘ ルパー	その他	無回答
全体		85	24.7	16.5	30.6	5.9	1.2	2.4	28.2	16.5	2.4
性別	男性	19	21.1	10.5	21.1	5.3	0.0	5.3	42.1	21.1	0.0
	女性	65	24.6	18.5	33.8	6.2	1.5	1.5	24.6	15.4	3.1
圏別	中央	17	11.8	29.4	41.2	0.0	0.0	5.9	41.2	11.8	0.0
	東	14	28.6	21.4	28.6	7.1	0.0	7.1	28.6	14.3	0.0
	西	19	21.1	5.3	47.4	5.3	0.0	0.0	36.8	10.5	5.3
	南	12	58.3	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3
	北	22	13.6	13.6	18.2	9.1	4.5	0.0	27.3	31.8	0.0
介護区分	一般高齢者	41	39.0	14.6	29.3	4.9	2.4	2.4	4.9	24.4	2.4
	要支援認定者	43	9.3	18.6	32.6	7.0	0.0	2.3	51.2	9.3	2.3

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

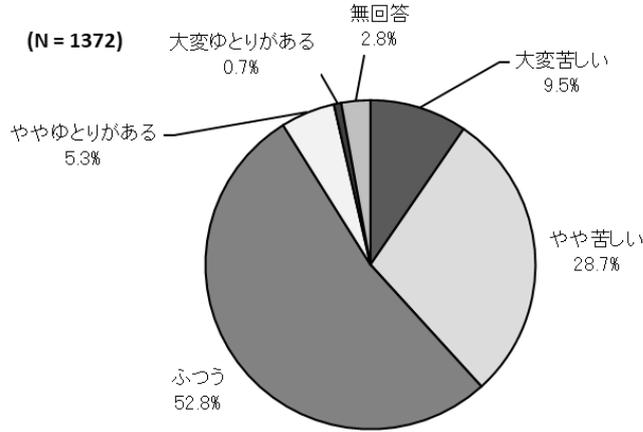
全体では、「ふつう」が 52.8%と最も高く、次いで「やや苦しい」が 28.7%、「大変苦しい」が 9.5%となっている。

性別では、「やや苦しい」は女性より男性、「ふつう」は男性より女性の割合が高くなっている。

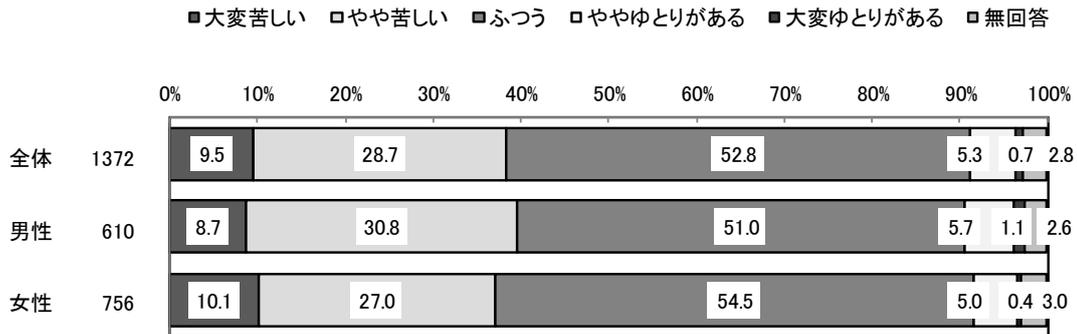
圏域では、「やや苦しい」は中央圏域で最も低くなっている。

介護区分では、「やや苦しい」は、一般高齢者より要支援認定者のほうが高くなっている。

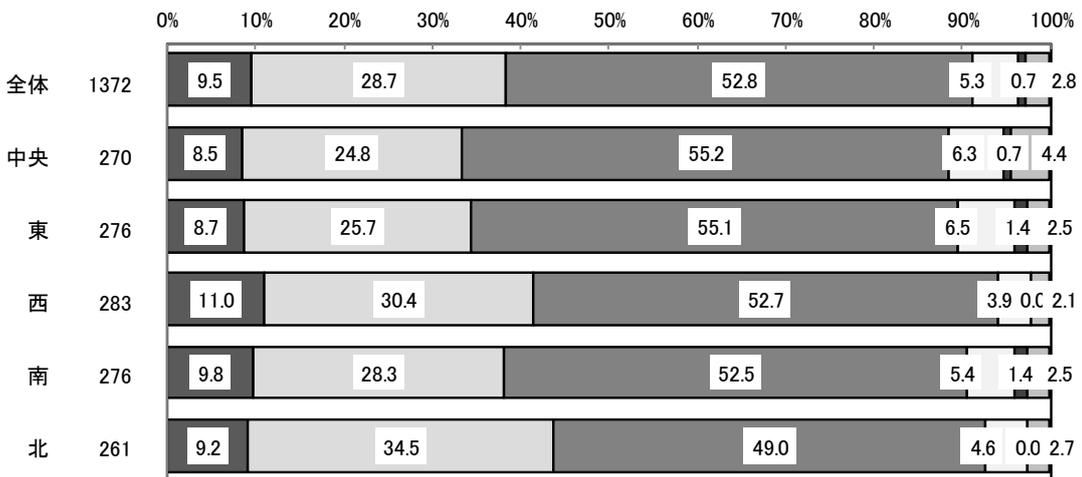
【全体】



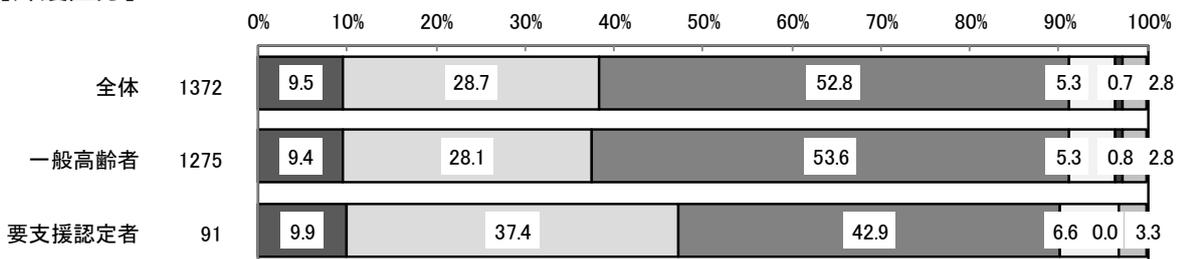
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

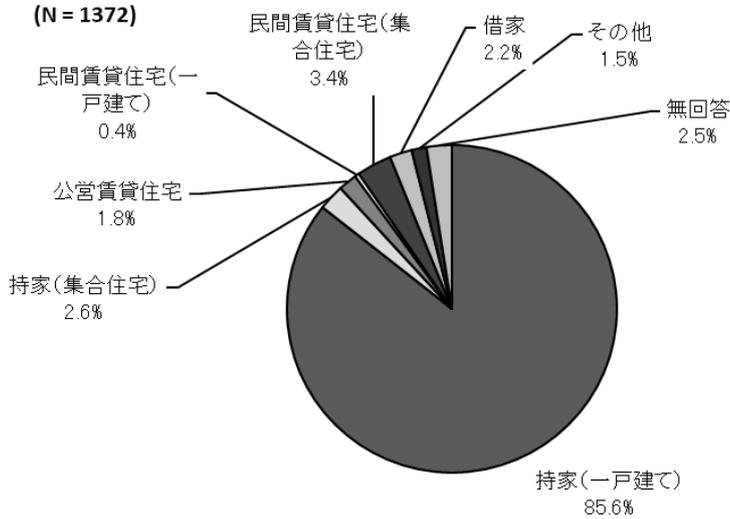
全体では、「持家（一戸建て）」が 85.6%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 3.4%、「持家（集合住宅）」が 2.6%となっている。

性別では、ほとんど差は見られなかった。

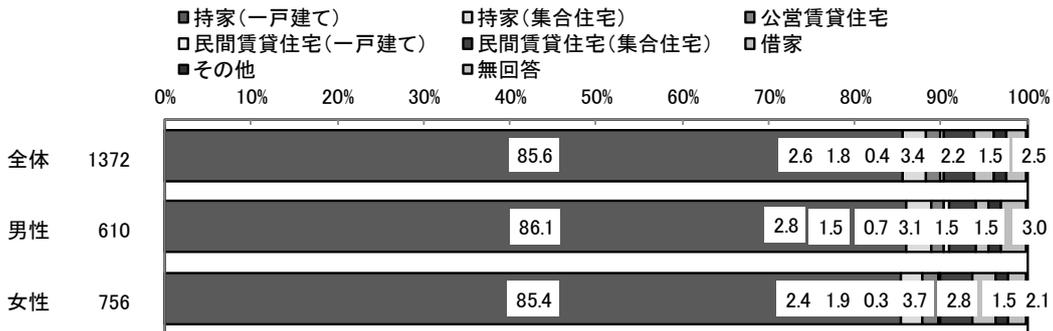
圏域では、「持家（一戸建て）」は中央圏域で最も低くなっている。

介護区分では、「持家（一戸建て）」は一般高齢者より要支援認定者のほうが高くなっている。

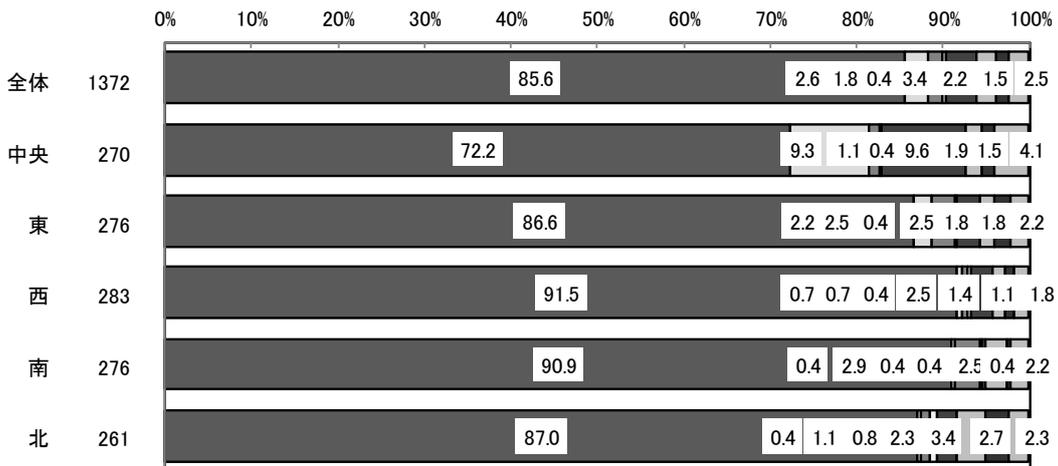
【全体】



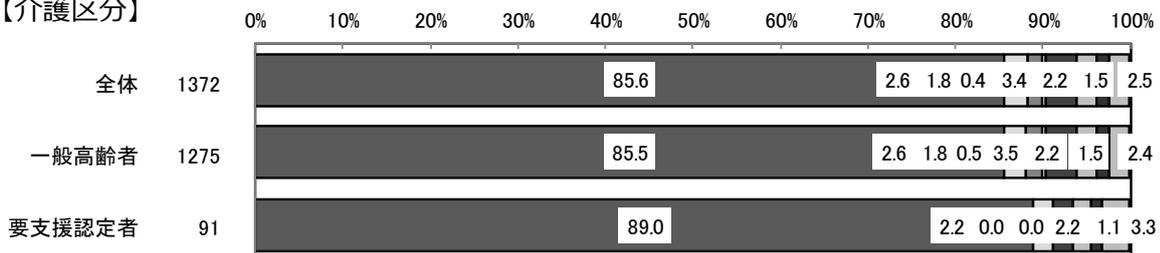
【性別】



【圏域】



【介護区分】



問 2. からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

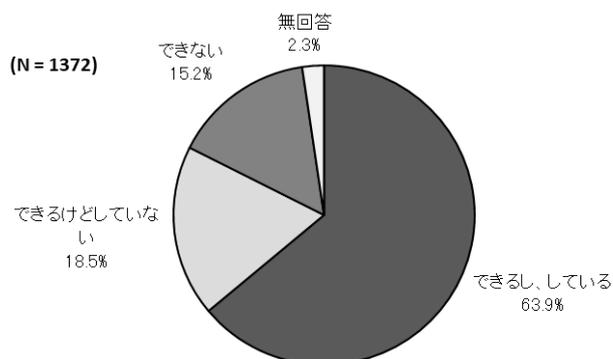
全体では、「できるし、している」が 63.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が 18.5%、「できない」が 15.2%となっている。

性別では、「できるし、している」は男性より女性の割合が低くなっている。

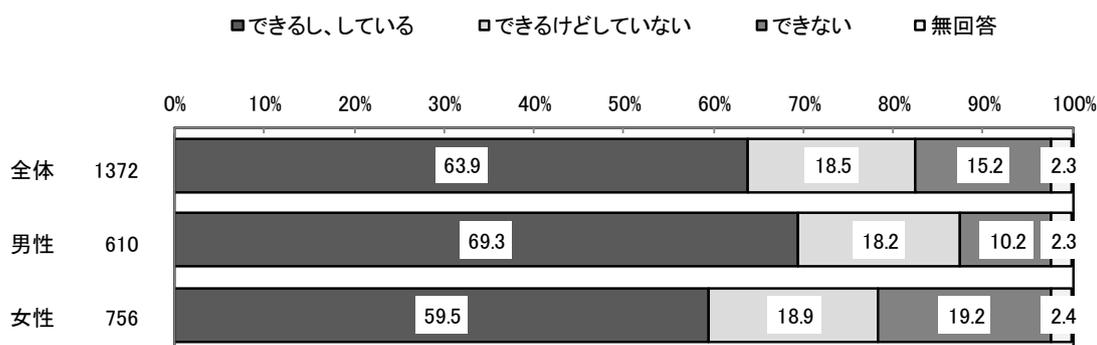
圏域では、「できるし、している」は西圏域で最も高く、次いで北圏域、東圏域と続いている。

介護区分では、「できるし、している」は要支援認定者で 2 割弱にとどまっている。

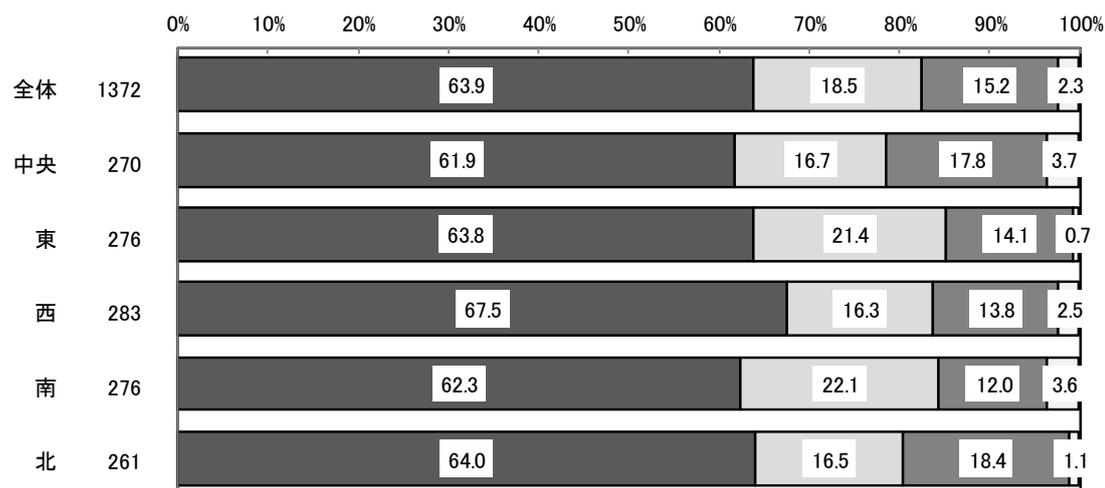
【全体】



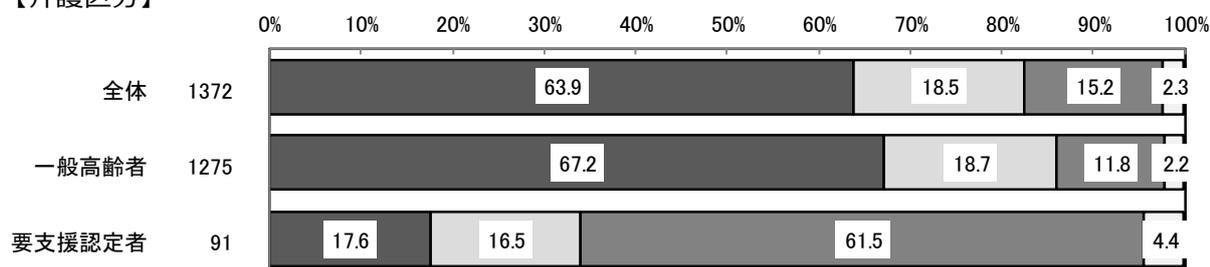
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

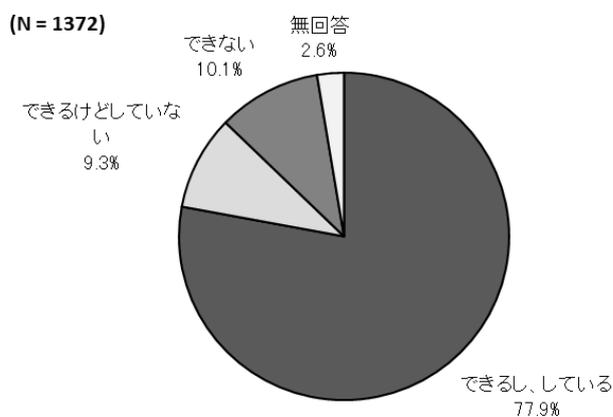
全体では、「できるし、している」が 77.9%と最も高く、次いで「できない」が 10.1%、「できるけどしていない」が 9.3%となっている。

性別では、「できるし、している」は男性より女性の割合が低くなっている。

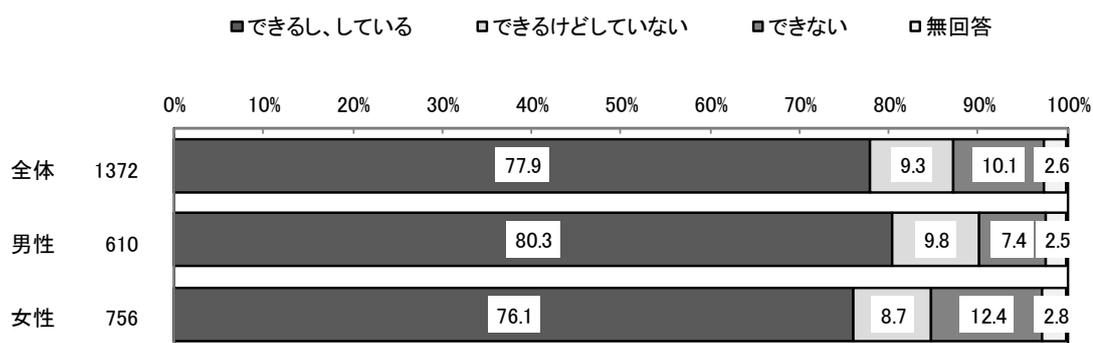
圏域では、「できるし、している」は西圏域で高くなっている。

介護区分では、「できるし、している」は要支援認定者で 3 割強程度にとどまっている。

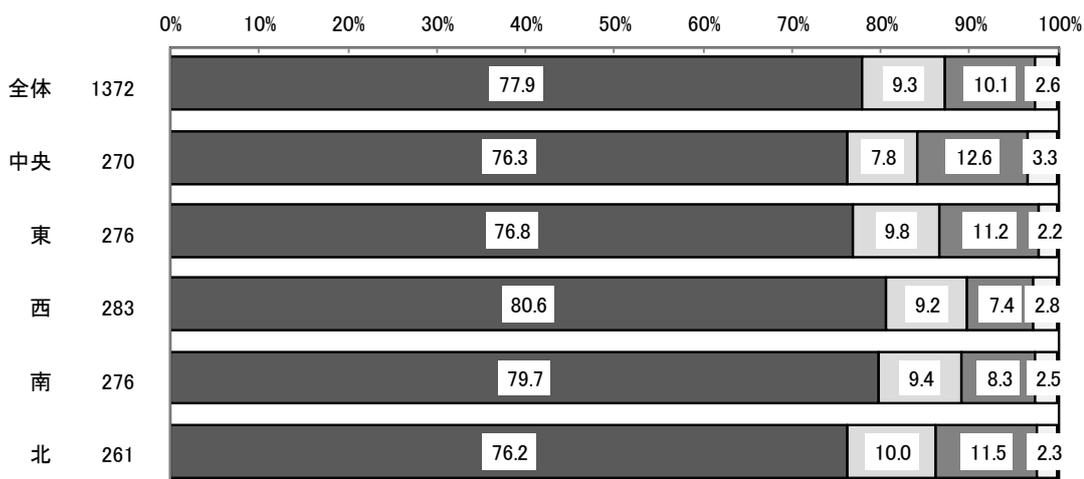
【全体】



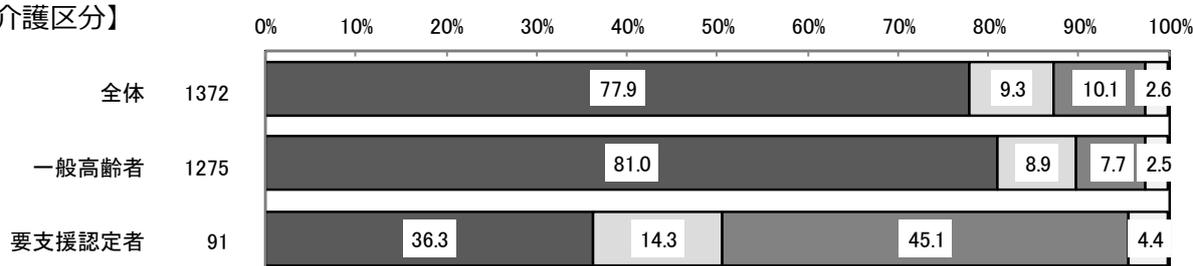
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(3) 15分位続けて歩いていますか

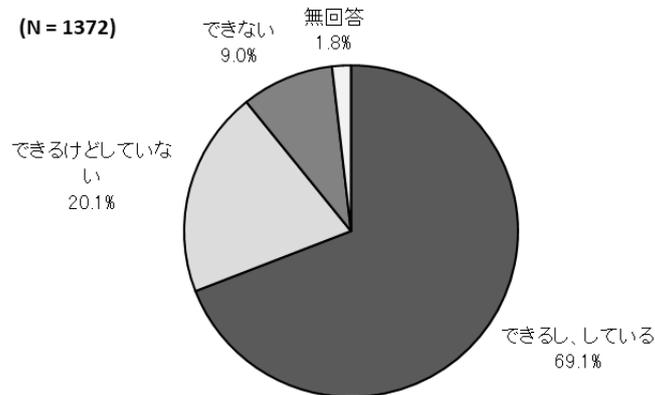
全体では、「できるし、している」が69.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が20.1%、「できない」が9.0%となっている。

性別では、「できるし、している」は女性より男性の割合が高くなっている。

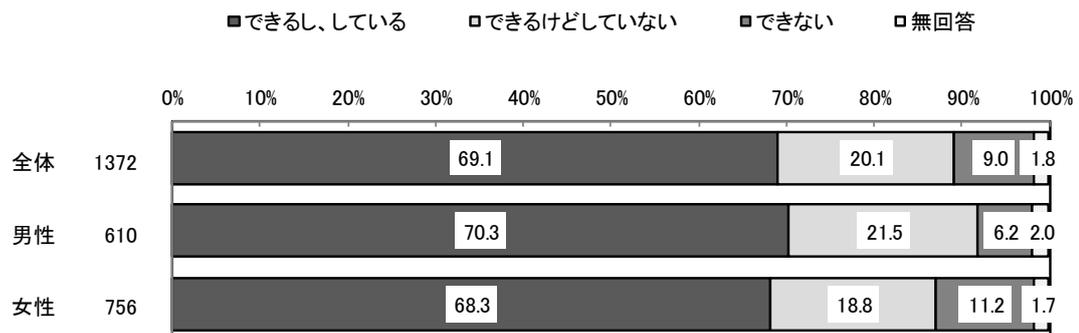
圏域では、「できるし、している」は中央圏域で高く、次いで東圏域、南圏域と続いている。

介護区分では、「できるし、している」は要支援認定者で3割強程度にとどまっている。

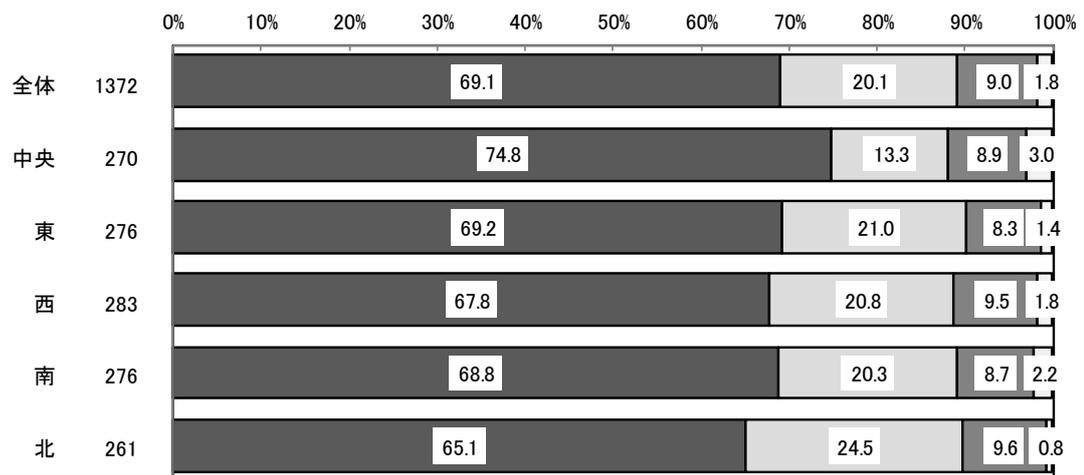
【全体】



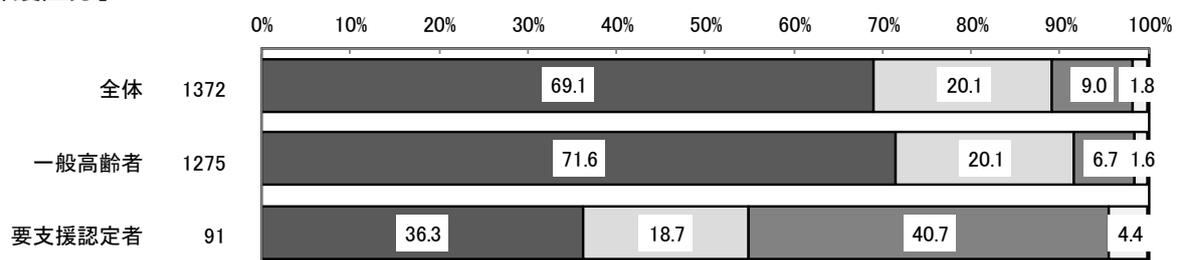
【性別】



【圏域】



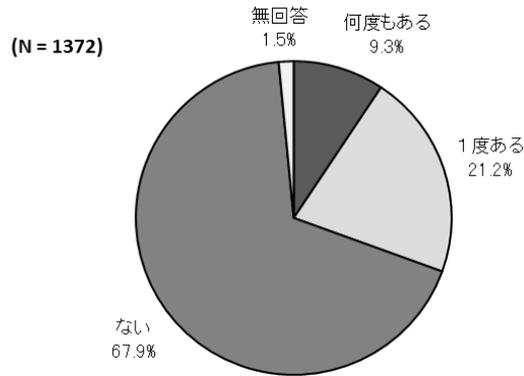
【介護区分】



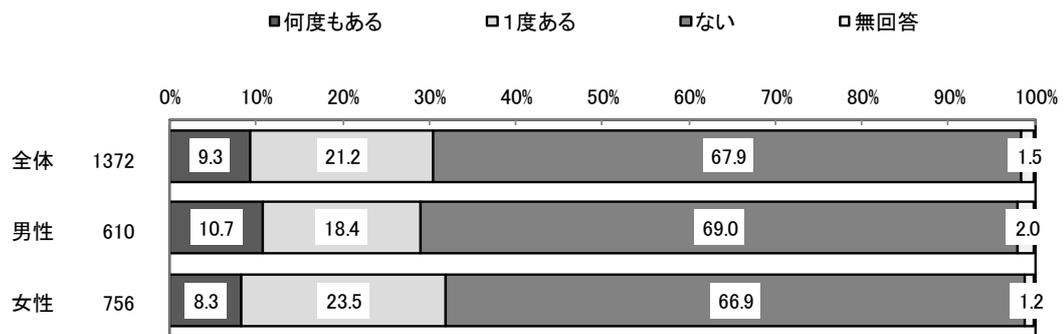
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

全体では、「ない」が67.9%と最も高く、次いで「1度ある」が21.2%、「何度もある」が9.3%となっている。
 性別では、「1度ある」は男性より女性の割合が高くなっている。
 圏域では、「何度もある」は北圏域でやや高く、次いで南圏域、中央圏域と続いている。
 介護区分では、「何度もある」は要支援認定者で2割程度となっている。

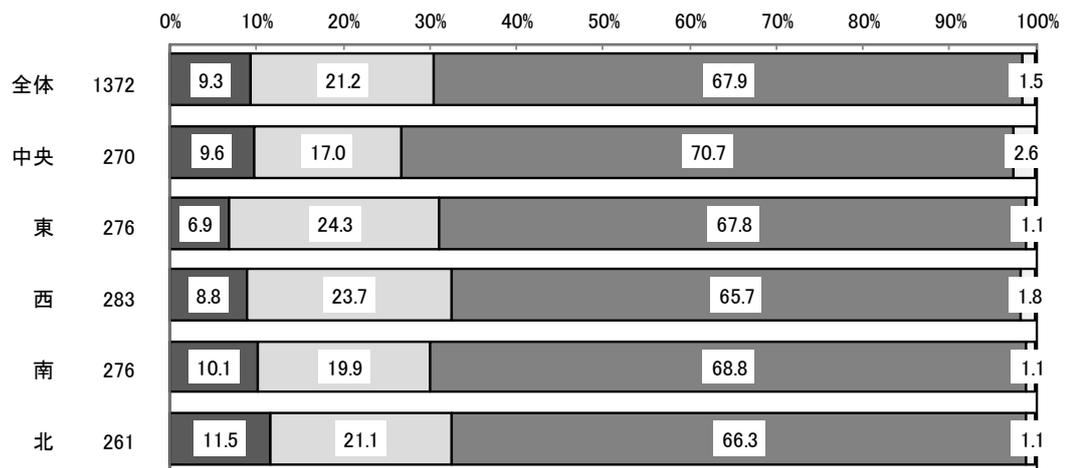
【全体】



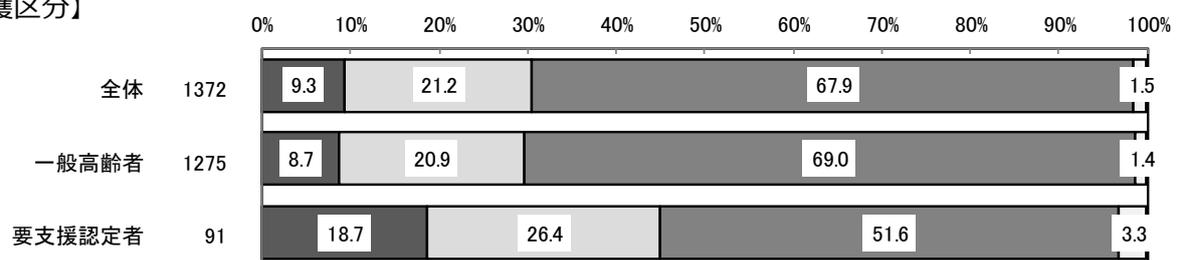
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(5) 転倒に対する不安は大きいですか

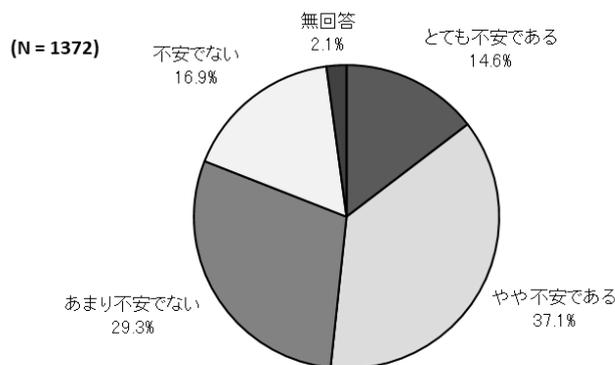
全体では、「やや不安である」が 37.1%と最も高く、次いで「あまり不安でない」が 29.3%、「不安でない」が 16.9%となっている。

性別では、「とても不安である」は男性より女性の割合が高くなっている。

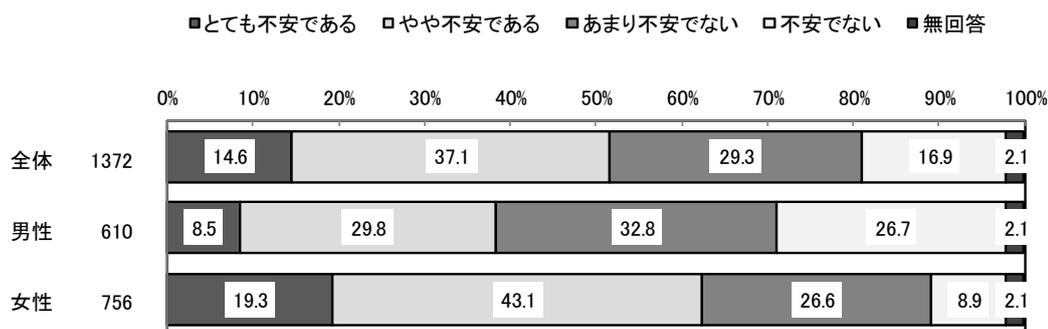
圏域では、「とても不安である」は北圏域で高く、次いで中央圏域、西圏域と続いている。

介護区分では、『不安である』（とても不安である+やや不安である）は要支援認定者で8割以上となっている。

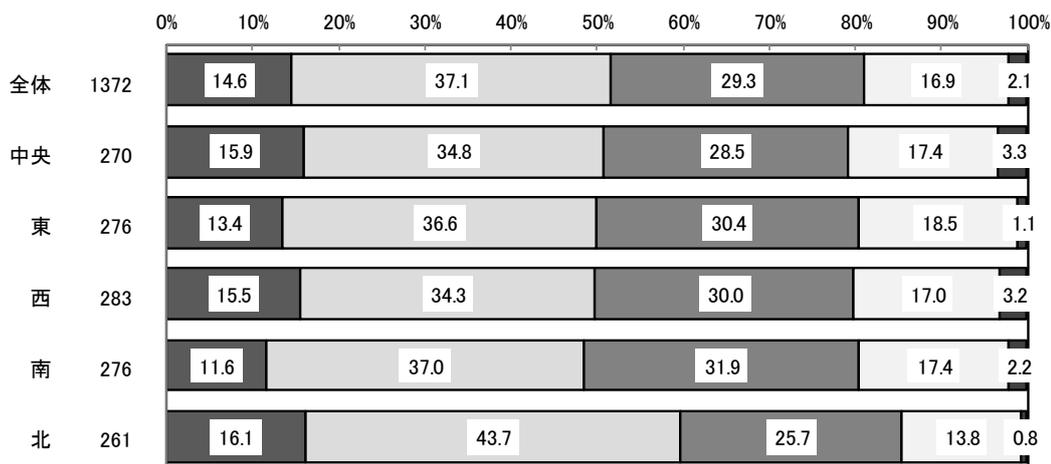
【全体】



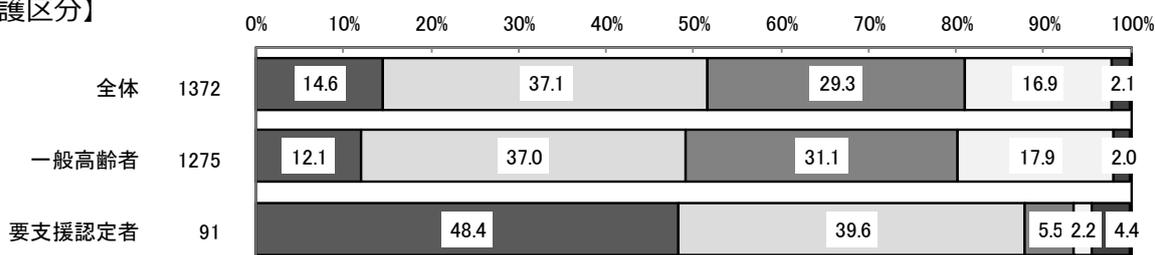
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(6) 週に1回以上は外出していますか

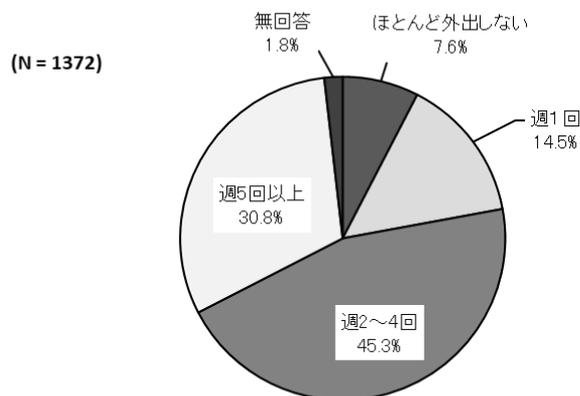
全体では、「週2～4回」が45.3%と最も高く、次いで「週5回以上」が30.8%、「週1回」が14.5%となっている。

性別では、「ほとんど外出しない」「週1回」「週2～4回」は男性より女性の割合が高くなっている。

圏域では、「週2～4回」は南圏域で最も高く、次いで西圏域、北圏域で高くなっている。

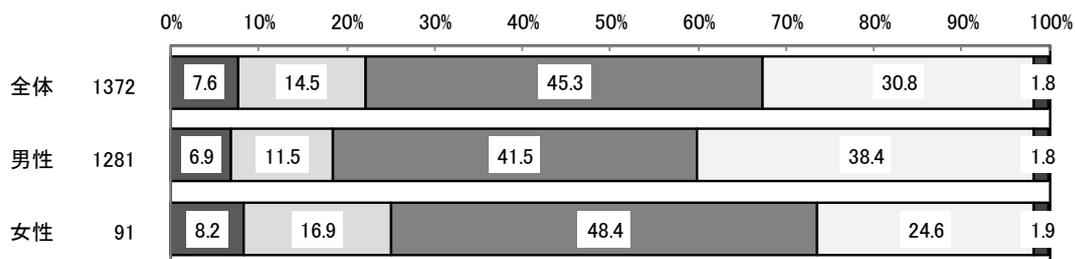
介護区分では、「ほとんど外出しない」は要支援認定者で1割強となっている。

【全体】

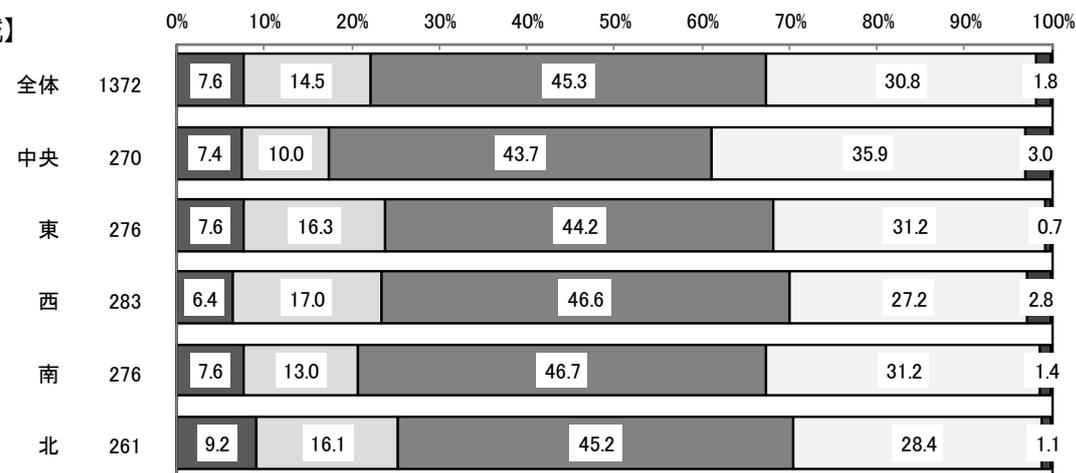


【性別】

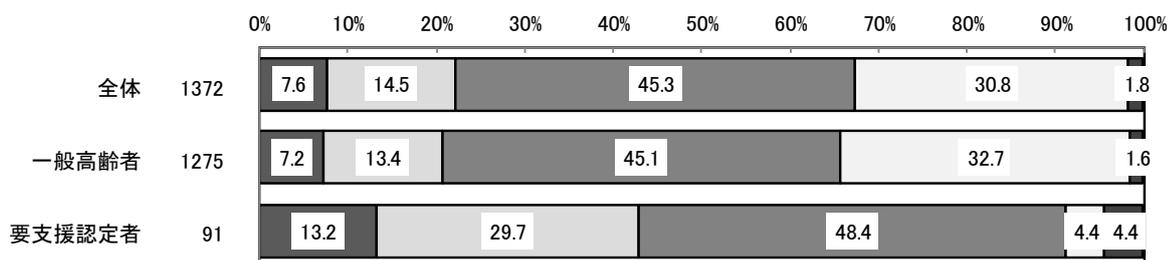
■ほとんど外出しない □週1回 ■週2～4回 □週5回以上 ■無回答



【圏域】



【介護区分】



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

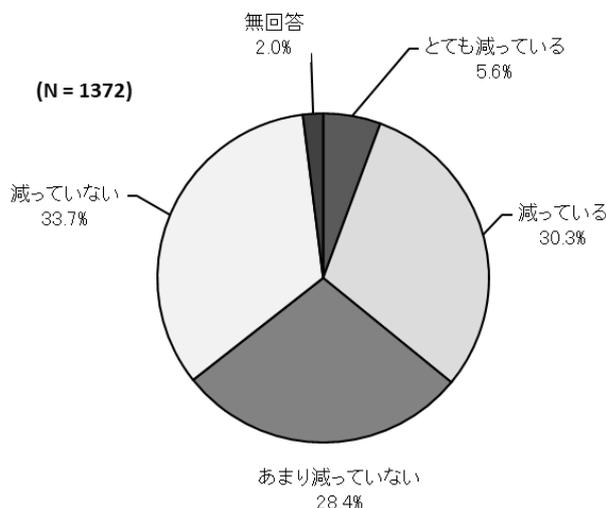
全体では、「減っていない」が 33.7%と最も高く、次いで「減っている」が 30.3%、「あまり減っていない」が 28.4%となっている。

性別では、「減っていない」は女性より男性の割合が高くなっている。

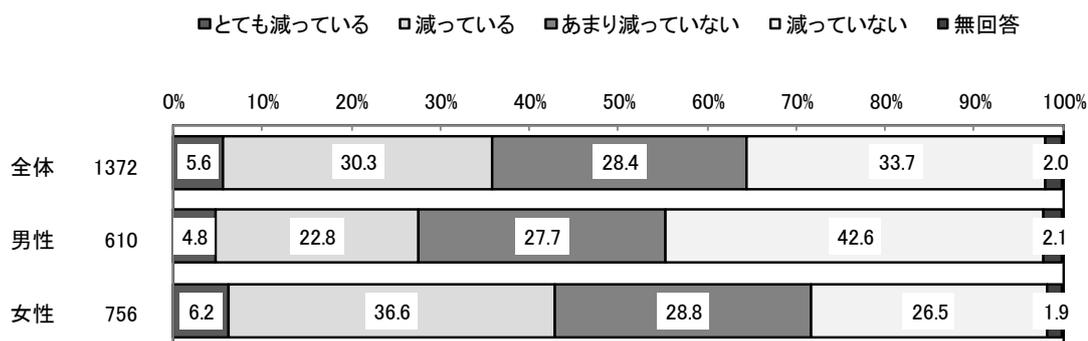
圏域では、「減っていない」は東圏域で高く、次いで中央圏域、南圏域と続いている。

介護区分では、「減っていない」は要支援認定者で 1 割程度にとどまっている。

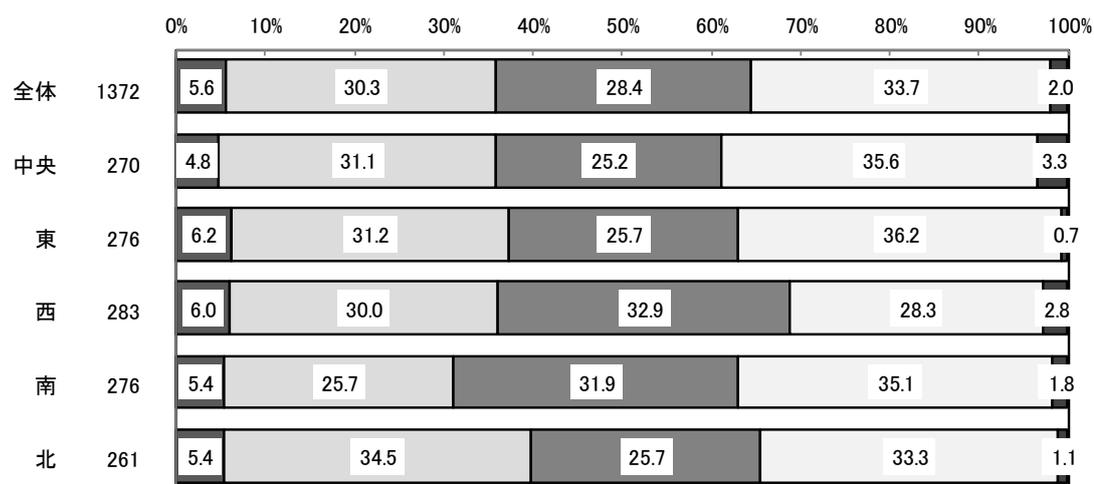
【全体】



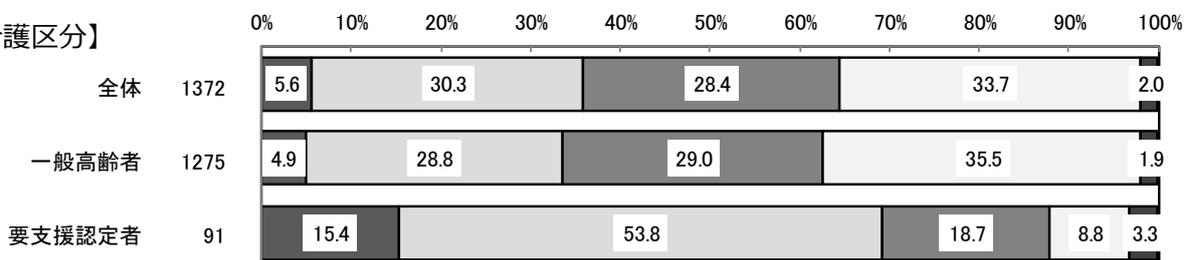
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(8) 外出を控えていますか

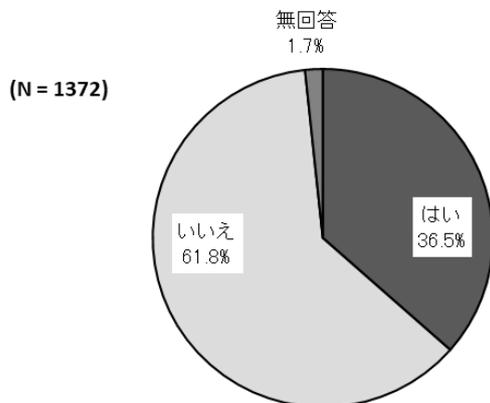
全体では、「いいえ」が61.8%、「はい」が36.5%となっている。

性別では、「はい」は男性より女性の割合が高くなっている。

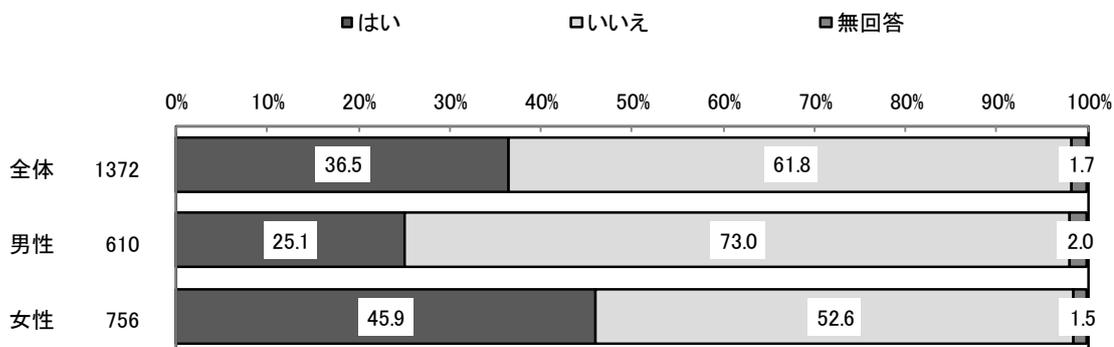
圏域では、「はい」は西圏域で高く、次いで中央圏域、北圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者で約7割と高くなっている。

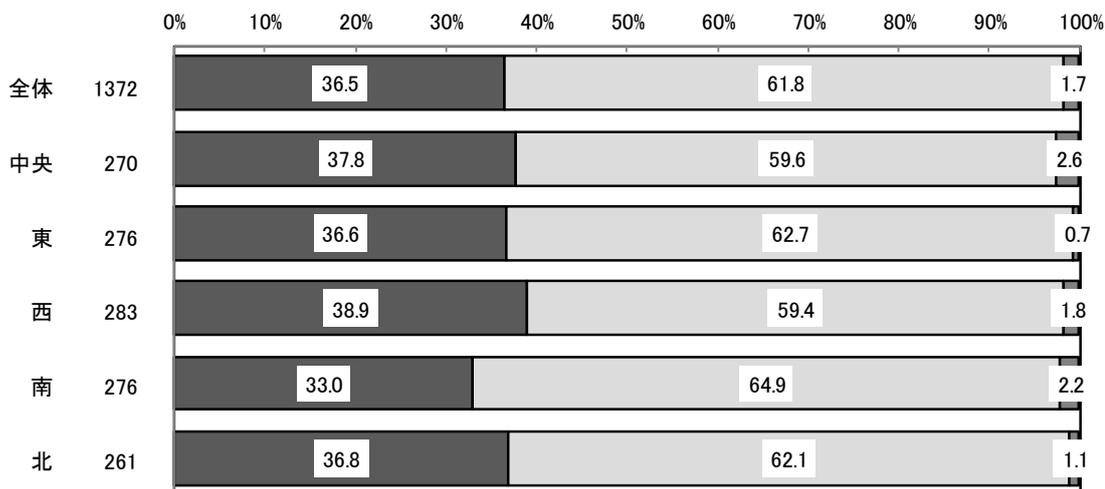
【全体】



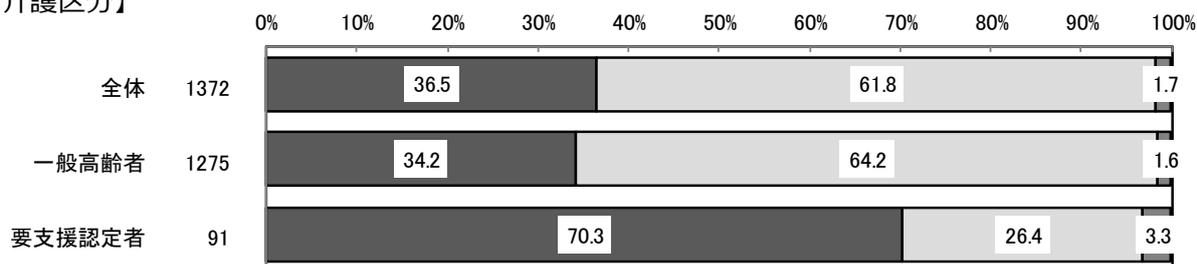
【性別】



【圏域】



【介護区分】



【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

① 外出を控えている理由は、次のどれですか

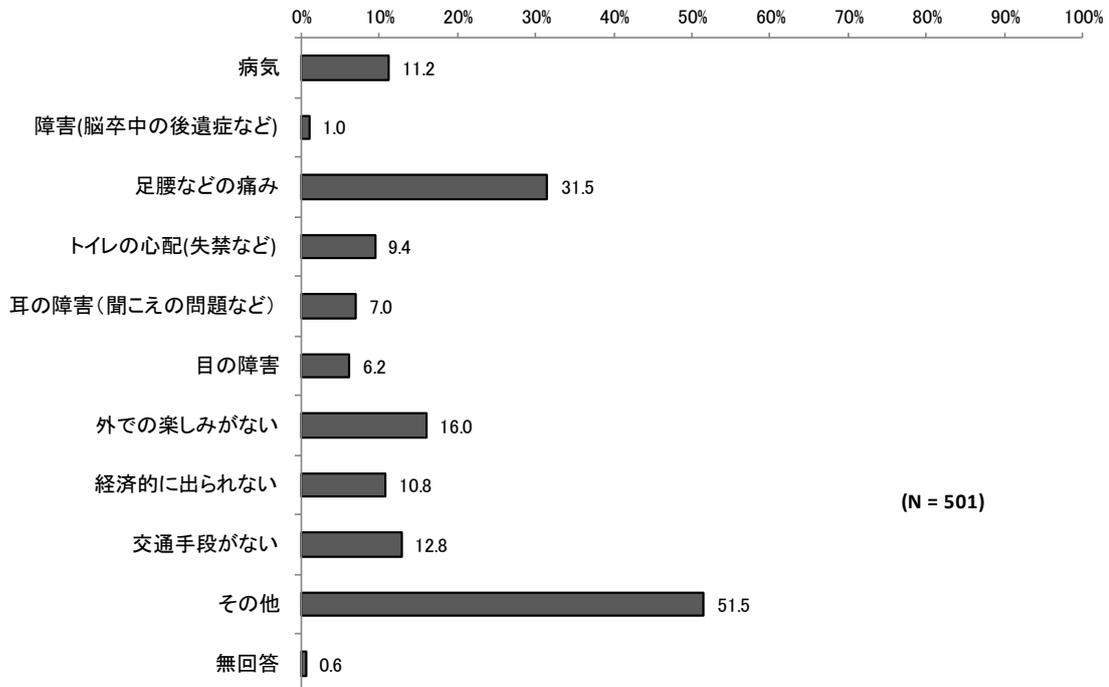
全体では、「その他」が 51.5%で最も高く、次いで「足腰などの痛み」が 31.5%「外での楽しみがない」が 16.0%となっている。

性別では、「足腰などの痛み」「外での楽しみがない」「交通手段がない」は男性より女性の割合が高くなっている。

圏域では、「外での楽しみがない」は東圏域で低くなっている。

介護区分では、「足腰などの痛み」が一般高齢者、要支援認定者のどちらも高くなっている。

【全体】



(%)

		調査数	病気	障害 (脳卒 中の後 遺症な ど)	足腰な どの痛 み	トイレ の心配 (失禁 など)	耳の障 害(聞 こえの 問題な ど)	目の障 害	外での 楽しみ がない	経済的 に出ら れない	交通手 段がな い	その他	無回答
全体		501	11.2	1.0	31.5	9.4	7.0	6.2	16.0	10.8	12.8	51.5	0.6
性別	男性	153	11.1	2.0	24.8	12.4	7.8	10.5	14.4	13.1	11.1	52.3	0.0
	女性	347	11.2	0.6	34.3	8.1	6.6	4.3	16.7	9.5	13.5	51.3	0.9
圏別	中央	102	12.7	1.0	37.3	11.8	8.8	5.9	16.7	7.8	13.7	52.9	0.0
	東	101	14.9	2.0	27.7	7.9	3.0	5.0	9.9	10.9	14.9	54.5	0.0
	西	110	9.1	0.9	35.5	4.5	10.0	6.4	20.0	17.3	10.9	47.3	0.9
	南	91	11.0	0.0	24.2	14.3	3.3	7.7	18.7	6.6	14.3	46.2	1.1
介護区分	北	96	8.3	1.0	31.3	9.4	9.4	6.3	14.6	9.4	10.4	57.3	1.0
	一般高齢者	436	11.2	0.7	26.4	8.3	4.6	5.5	16.7	11.5	12.2	55.5	0.7
	要支援認定者	64	10.9	3.1	65.6	17.2	23.4	10.9	10.9	4.7	17.2	25.0	0.0

(9) 外出する際の移動手段は何ですか

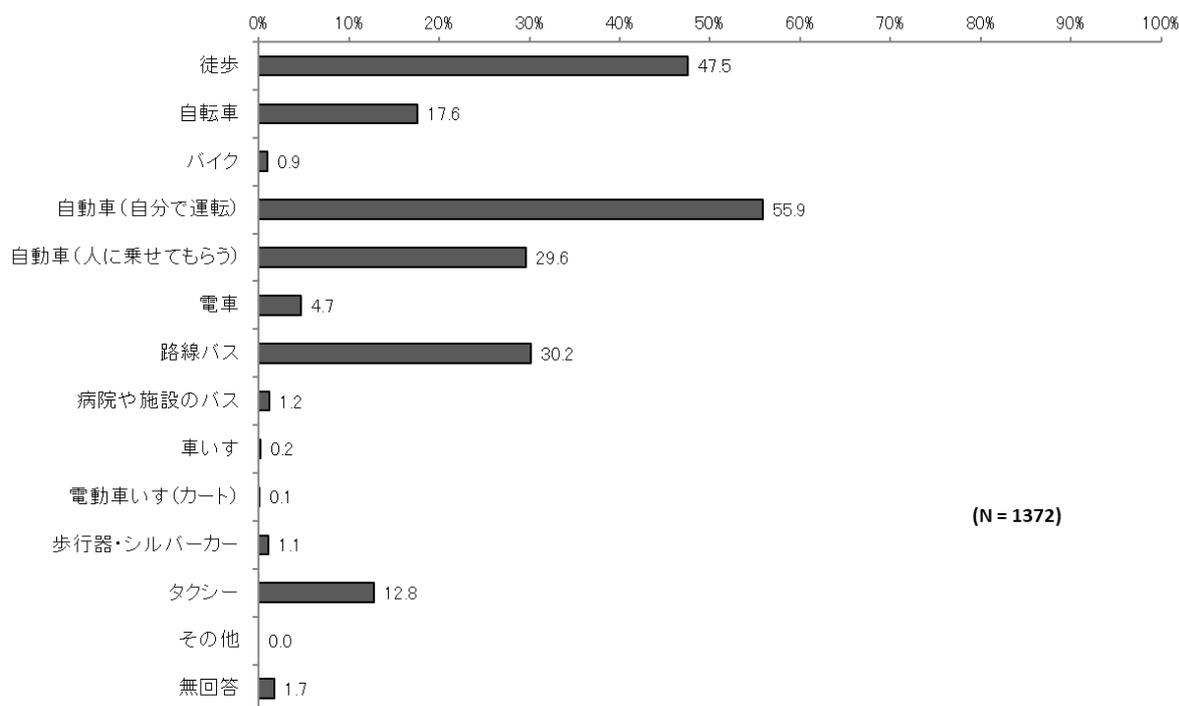
全体では、「自動車（自分で運転）」が 55.9%と最も高く、次いで「徒歩」が 47.5%、「路線バス」が 30.2%となっている。

性別では、「自動車（自分で運転）」は女性より男性、「路線バス」は男性より女性の割合が高くなっている。

圏域では、「自動車（自分で運転）」は南圏域と東圏域、「徒歩」は中央圏域で高くなっている。

介護区分では、「自動車（自分で運転）」は一般高齢者で最も高く、「自動車（人に乗せてもらう）」は要支援認定者で最も高くなっている。

【全体】



(%)

	調査数	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答	
全体	1372	47.5	17.6	0.9	55.9	29.6	4.7	30.2	1.2	0.2	0.1	1.1	12.8	0.0	1.7	
性別	男性	610	45.1	19.3	1.3	78.2	13.3	2.5	21.1	0.3	0.0	0.2	6.9	0.0	2.5	
	女性	756	49.6	16.3	0.5	37.8	42.9	6.3	37.4	1.9	0.4	0.0	1.7	17.5	0.0	1.2
圏別	中央	270	67.8	24.8	1.1	47.0	31.9	3.7	38.5	1.9	0.4	0.0	0.7	21.1	0.0	0.7
	東	276	42.8	15.2	0.4	58.7	29.3	3.3	23.6	1.8	0.0	0.0	0.7	13.0	0.0	2.9
	西	283	43.1	13.4	0.7	57.2	27.9	6.0	37.1	1.4	0.7	0.4	1.4	9.9	0.0	2.1
	南	276	44.6	17.4	1.4	58.7	30.1	3.3	26.1	0.4	0.0	0.0	0.4	10.1	0.0	0.7
	北	261	39.8	17.6	0.8	57.5	29.1	6.9	25.3	0.4	0.0	0.0	2.3	9.6	0.0	2.3
介護区分	一般高齢者	1275	48.5	18.6	0.9	58.4	28.3	4.7	30.1	0.5	0.2	0.0	0.6	10.6	0.0	1.7
	要支援認定者	91	35.2	4.4	0.0	20.9	48.4	3.3	30.8	11.0	1.1	1.1	7.7	42.9	0.0	2.2

(10) 健康保持・介護予防のため、どのような取組に参加したいと思いますか

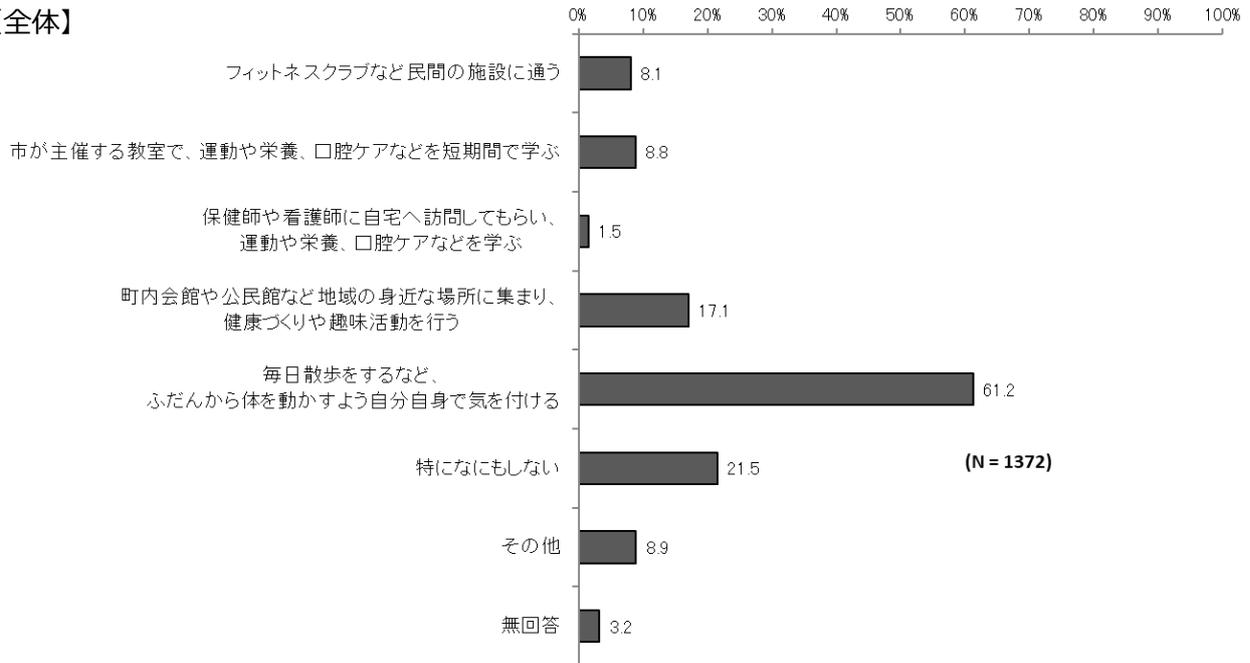
全体では、「毎日散歩をするなど、ふだんから体を動かすよう自分自身で気を付ける」が 61.2%と最も高く、次いで「特になにもしない」が 21.5%、「町内会館や公民館など地域の身近な場所に集まり、健康づくりや趣味活動を行う」が 17.1%となっている。

性別では、「毎日散歩をするなど、ふだんから体を動かすよう自分自身で気を付ける」は女性より男性の割合が高くなっている。

圏域では、「毎日散歩をするなど、ふだんから体を動かすよう自分自身で気を付ける」は西圏域で高くなっている。

介護区分では、一般高齢者も要支援認定者も「毎日散歩をするなど、ふだんから体を動かすよう自分自身で気を付ける」が最も高く、一般高齢者では6割、要支援認定者では5割程度となっている。

【全体】



		調査数	の施設に通う	で学ぶ	市が主催する教室で、運動や	腔ケアなど、を学ぶ	保健師や看護師に自宅へ訪問	く身近な場所に集まり、健康づくり	町内会館や公民館など地域の	で気を付ける	毎日散歩をするなど、ふだん	特になにもしない	その他	無回答
全体		1372	8.1	8.8	1.5	17.1	61.2	21.5	8.9	3.2				
性別	男性	610	6.2	6.6	1.5	12.1	63.9	24.1	6.9	3.3				
	女性	756	9.7	10.4	1.6	20.9	59.0	19.4	10.6	3.2				
圏別	中央	270	10.4	8.5	1.5	17.8	61.5	22.2	10.4	1.5				
	東	276	9.8	11.2	2.5	11.2	58.0	23.2	9.1	5.4				
	西	283	5.7	7.1	1.4	19.1	63.6	19.4	7.4	3.5				
	南	276	9.4	10.9	0.7	18.5	63.0	21.0	10.5	2.2				
	北	261	5.4	5.7	1.5	18.4	59.8	21.8	7.3	3.4				
介護区分	一般高齢者	1275	8.3	8.8	1.3	16.9	61.9	21.4	8.9	3.1				
	要支援認定者	91	5.5	7.7	5.5	17.6	51.6	23.1	9.9	5.5				

問3. 食べることについて

(1) 身長・体重 (BMI)

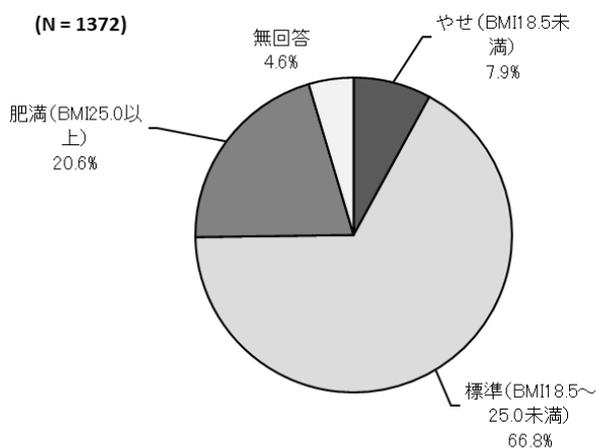
全体では、「標準 (BMI18.5～25.0 未満)」が 66.8%と最も高く、次いで「肥満 (BMI25.0 以上)」が 20.6%、「やせ (BMI18.5 未満)」が 7.9%となっている。

性別では、「やせ (BMI18.5 未満)」は男性より女性の割合が高くなっている。

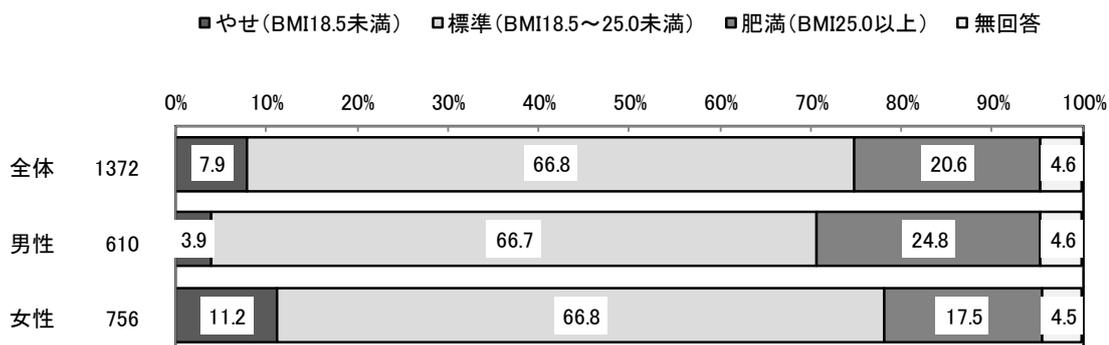
圏域では、「やせ (BMI18.5 未満)」は北圏域で最も高く、次いで東圏域、西圏域と続いている。

介護区分では、「やせ (BMI18.5 未満)」は要支援認定者のほうが高くなっている。

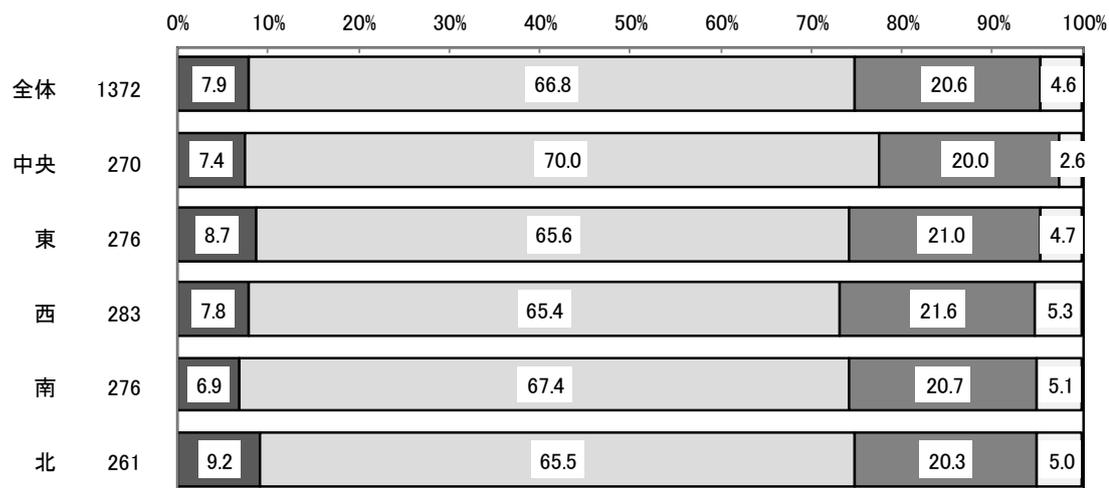
【全体】



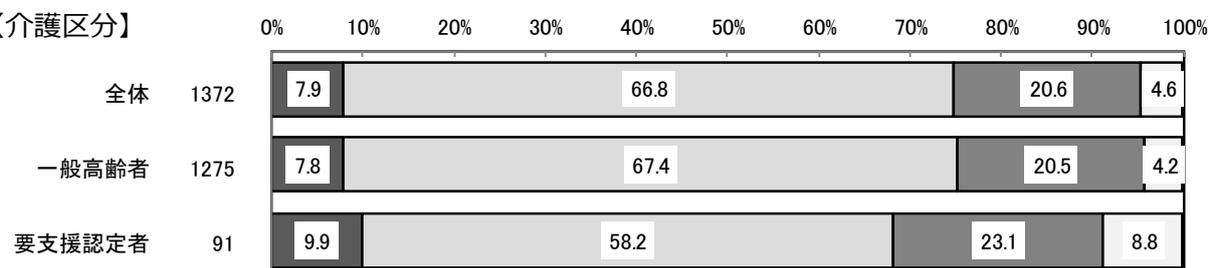
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

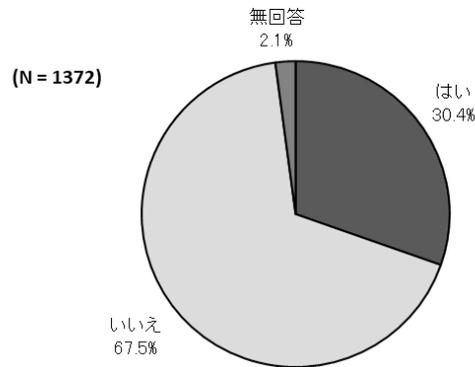
全体では、「いいえ」が67.5%と最も高く、次いで「はい」が30.4%となっている。

性別では、ほとんど差は見られなかった。

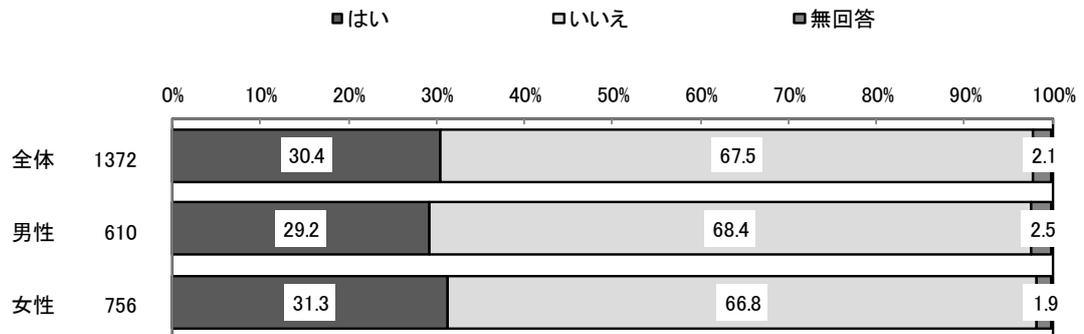
圏域では、「はい」は西圏域で高く、次いで北圏域、中央圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者で4割半ばと高くなっている。

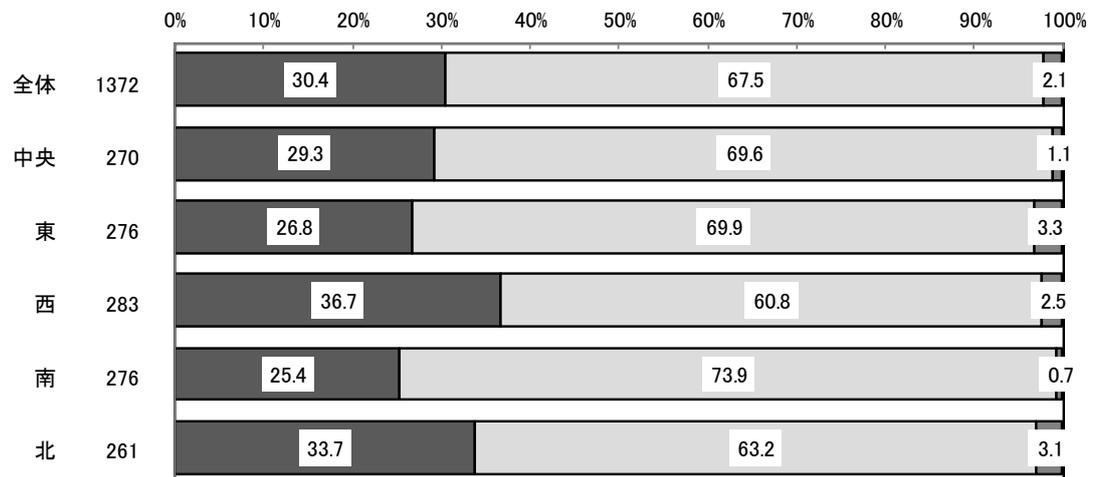
【全体】



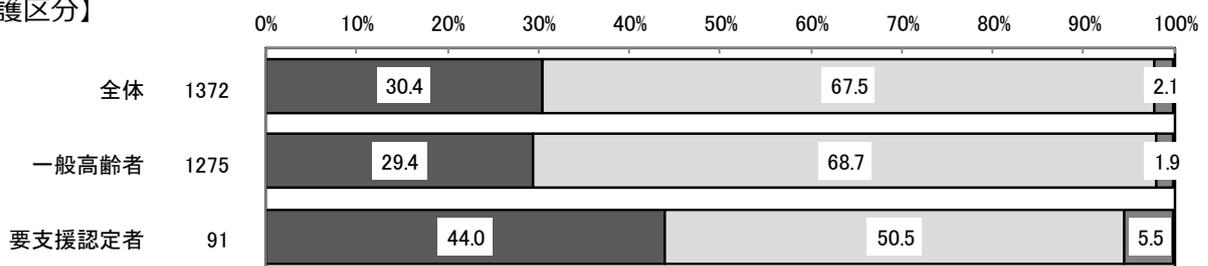
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

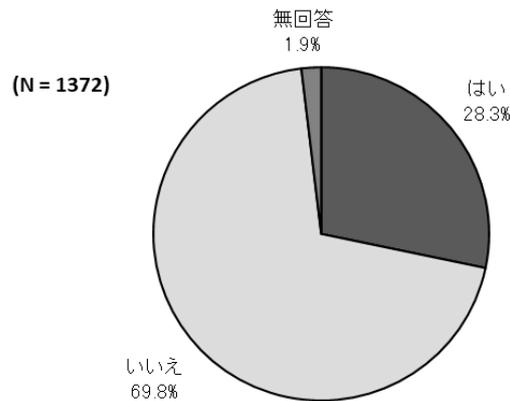
全体では、「いいえ」が69.8%、「はい」が28.3%となっている。

性別では、ほとんど差は見られなかった。

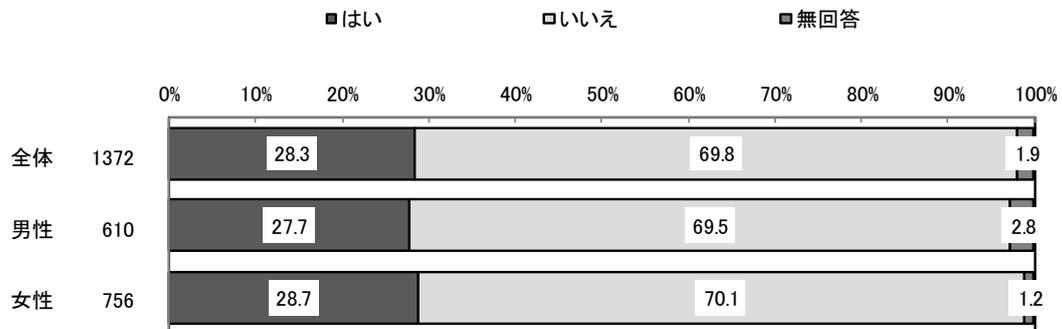
圏域では、「はい」は西圏域で最も高く、次いで北圏域、中央圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者で3割程度と高くなっている。

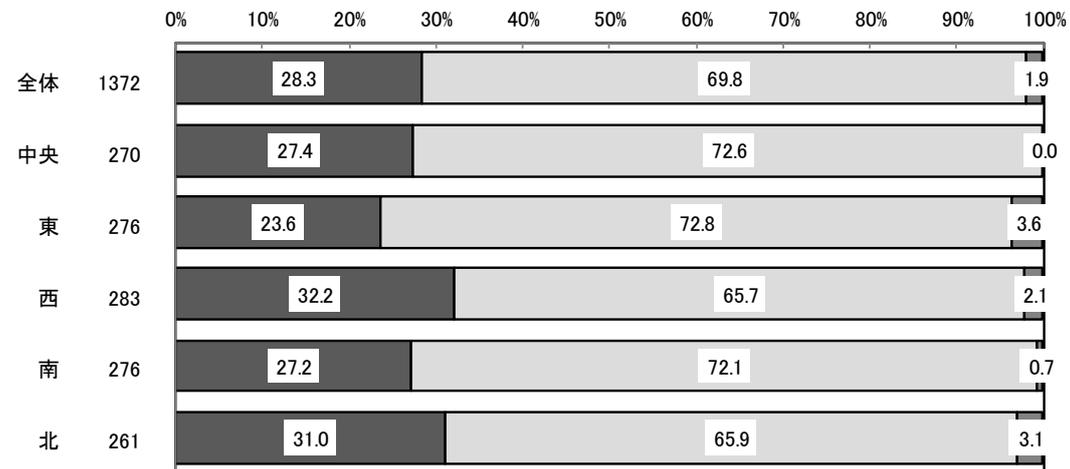
【全体】



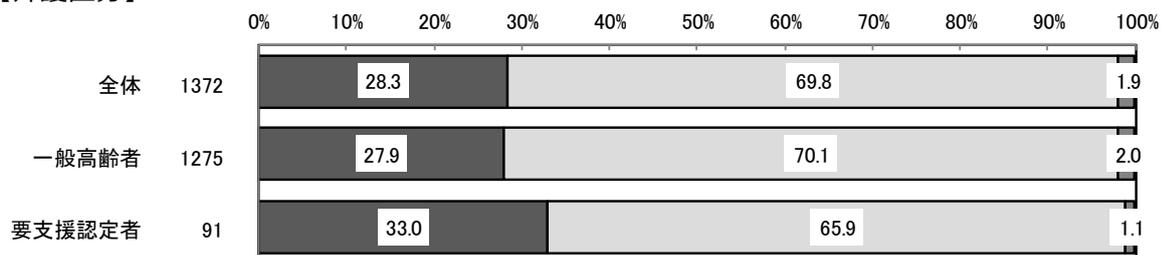
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(4) 口の渇きが気になりますか

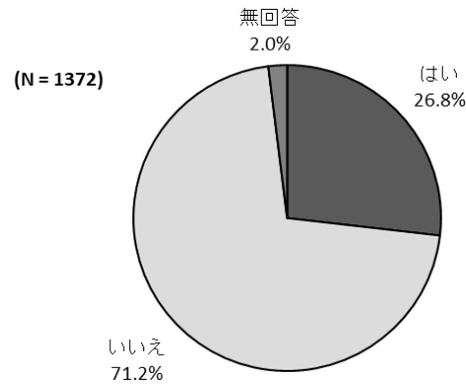
全体では、「いいえ」が71.2%、「はい」が26.8%となっている。

性別では、「はい」は男性より女性の割合が高くなっている。

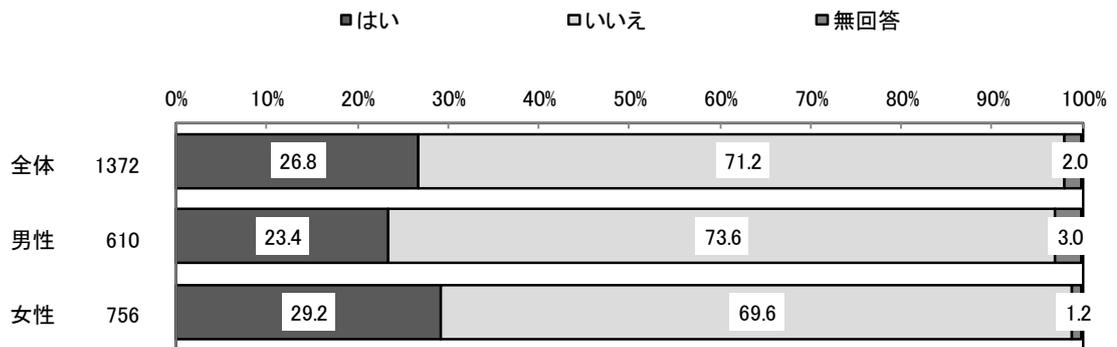
圏域では、「はい」は西圏域で最も高く、次いで中央圏域、北圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者で4割半ばと高くなっている。

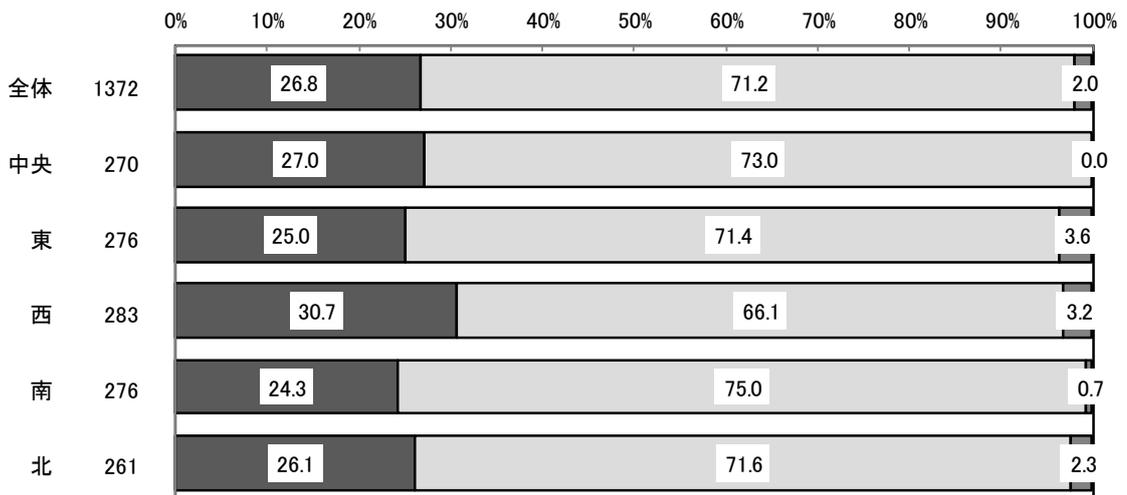
【全体】



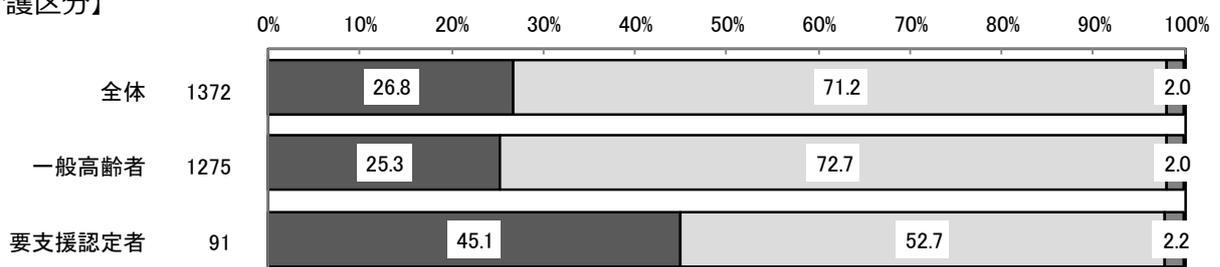
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

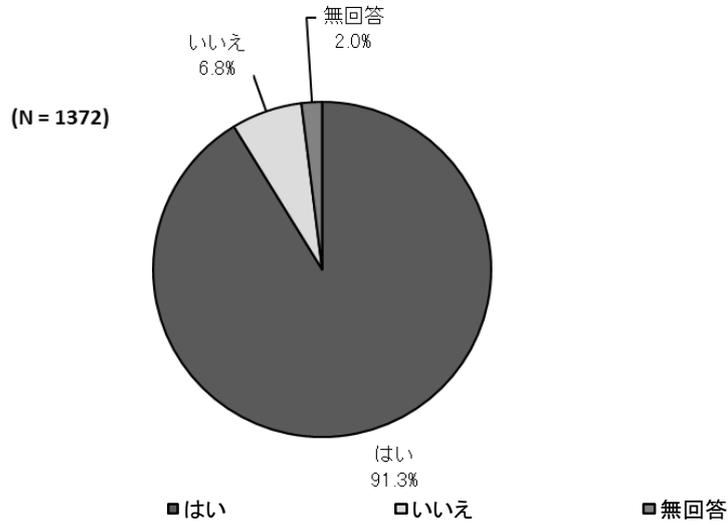
全体では、「はい」が 91.3%、「いいえ」が 6.8%となっている。

性別では、「はい」は男性より女性の割合が高くなっている。

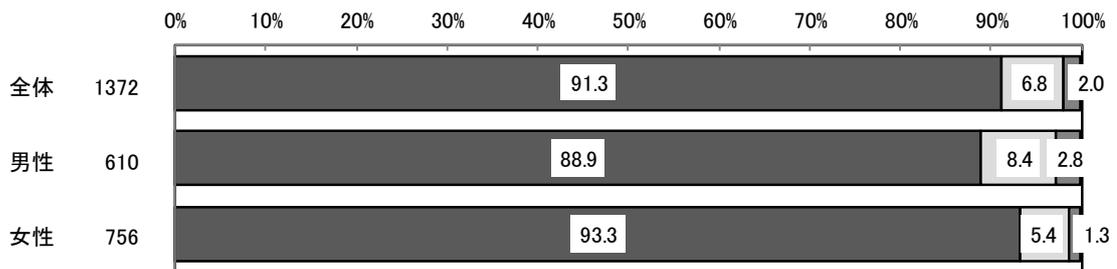
圏域では、「はい」は中央圏域で最も高く、次いで西圏域、南圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者でやや低くなっている。

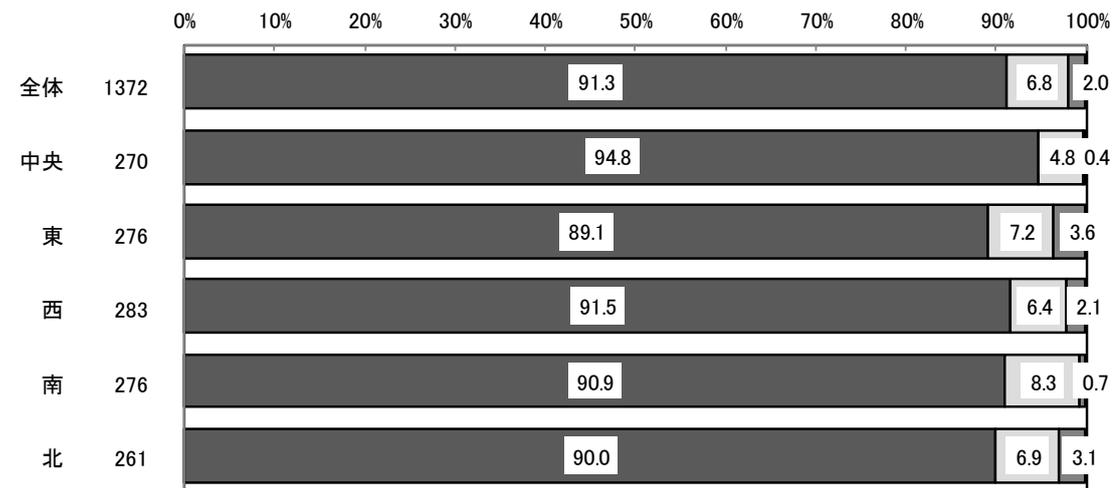
【全体】



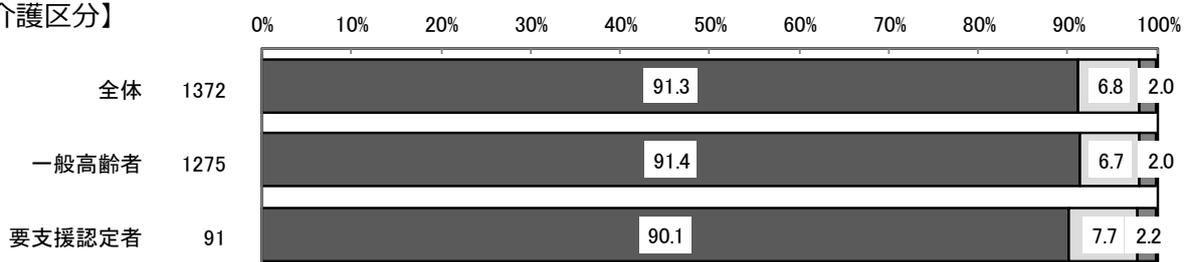
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

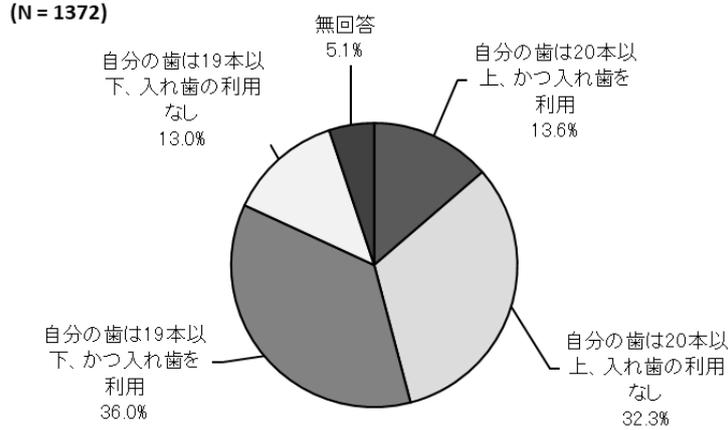
全体では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 36.0%と最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 32.3%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 13.6%となっている。

性別では、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」は女性より男性の割合が高くなっている。

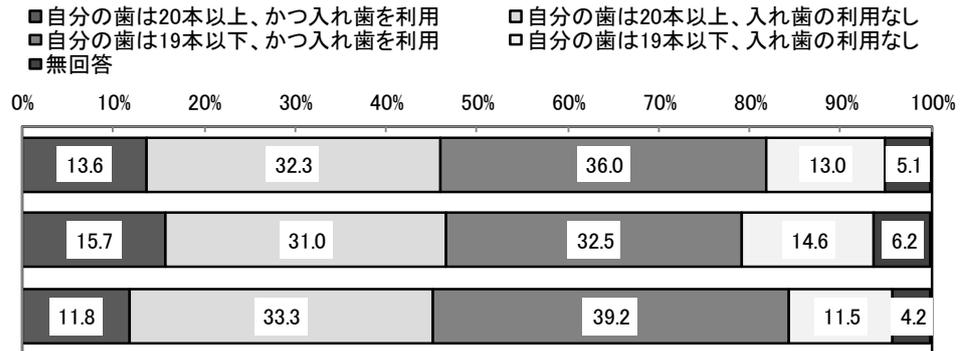
圏域では、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」は東圏域で最も高く、次いで中央圏域、北圏域と続いている。

介護区分では、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」は要支援認定者で 5 割を超えている。

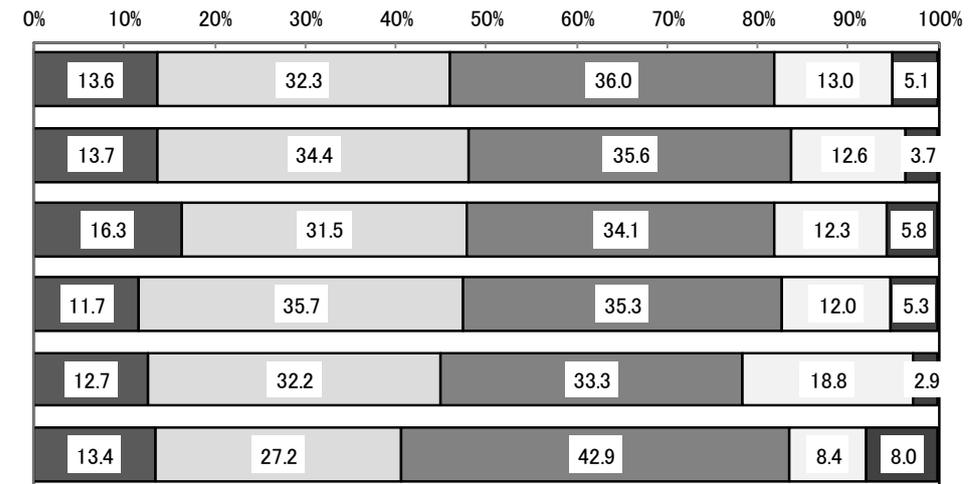
【全体】



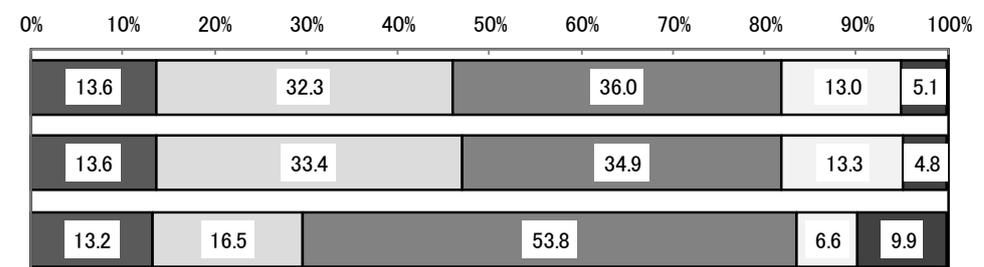
【性別】



【圏域】



【介護区分】



① 噛み合わせは良いですか

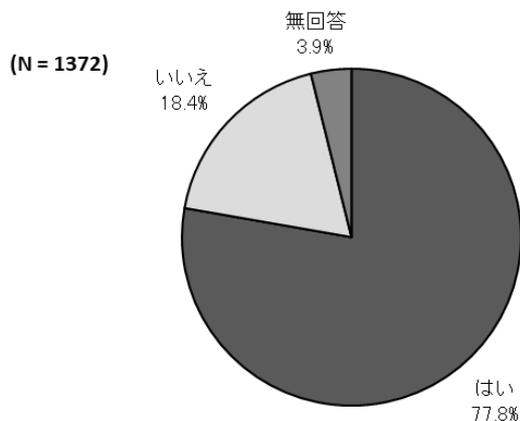
全体では、「はい」が 77.8%、「いいえ」が 18.4%となっている。

性別では、ほとんど差が見られなかった。

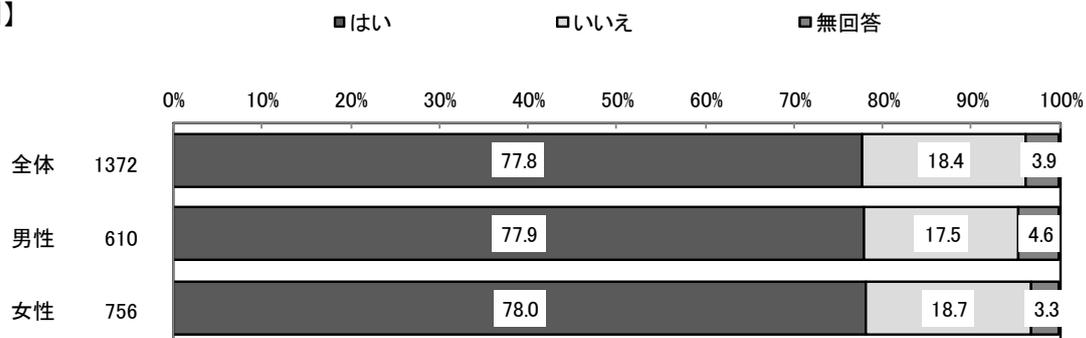
圏域では、「はい」は中央圏域、北圏域が高く、次いで西圏域、東圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者のほうが低くなっている。

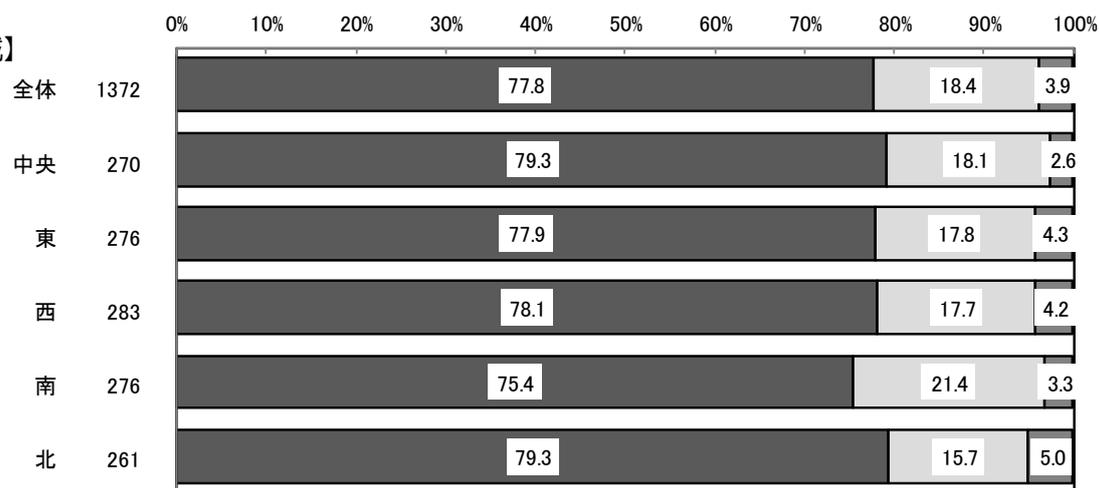
【全体】



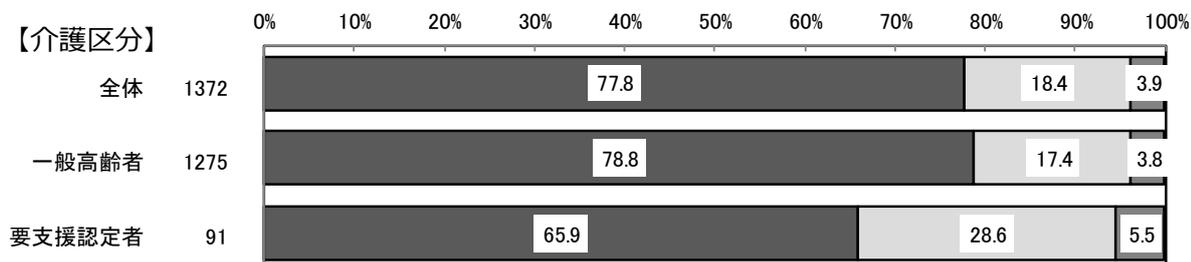
【性別】



【圏域】



【介護区分】



【（6）で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

②毎日入れ歯の手入れをしていますか

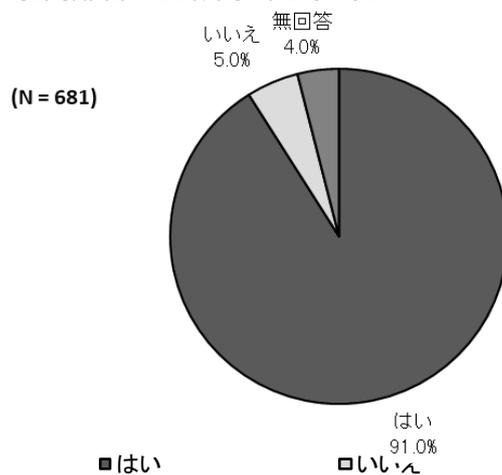
全体では、「はい」が 91.0%、「いいえ」が 5.0%となっている。

性別では、「はい」は男性より女性の割合が高くなっている。

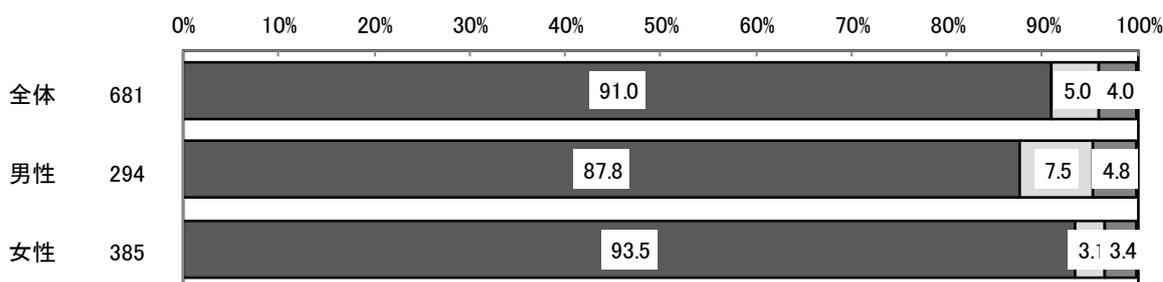
圏域では、「はい」は中央圏域で最も高く、次いで西圏域、南圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は一般高齢者のほうが高くなっている。

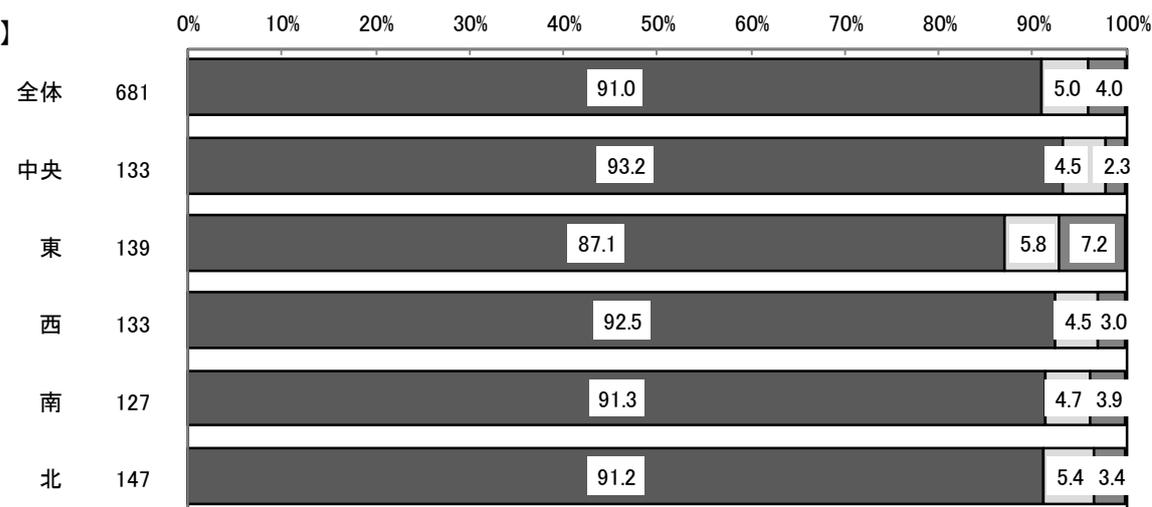
【全体】



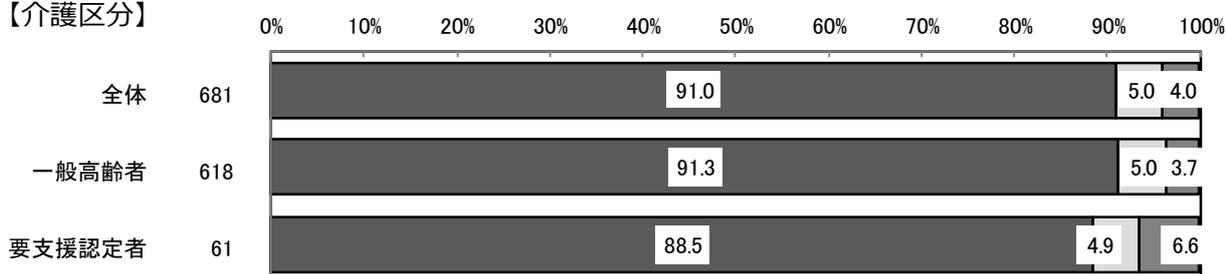
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

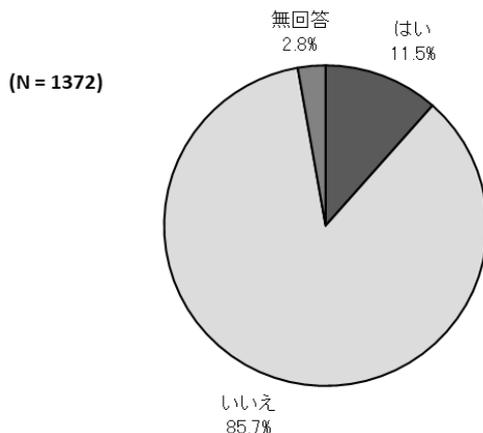
全体では、「いいえ」が85.7%、「はい」が11.5%となっている。

性別では、「いいえ」は男性より女性の割合が高くなっている。

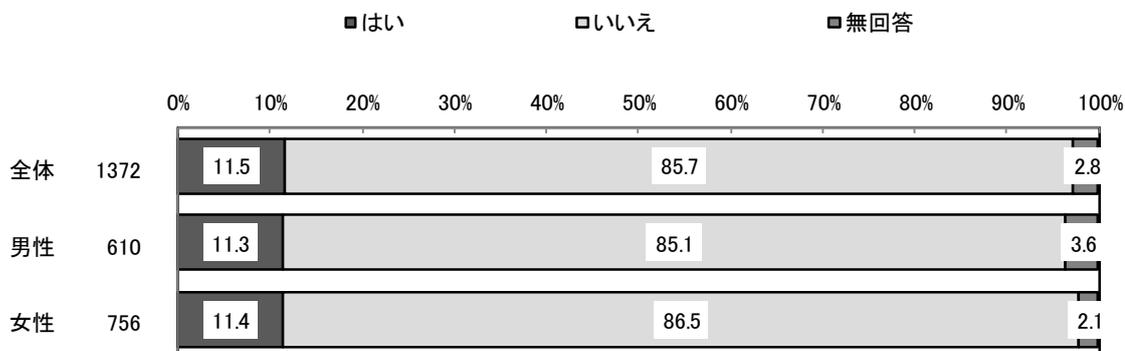
圏域では、「はい」は中央圏域で最も高く、次いで北圏域、南圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者で高くなっている。

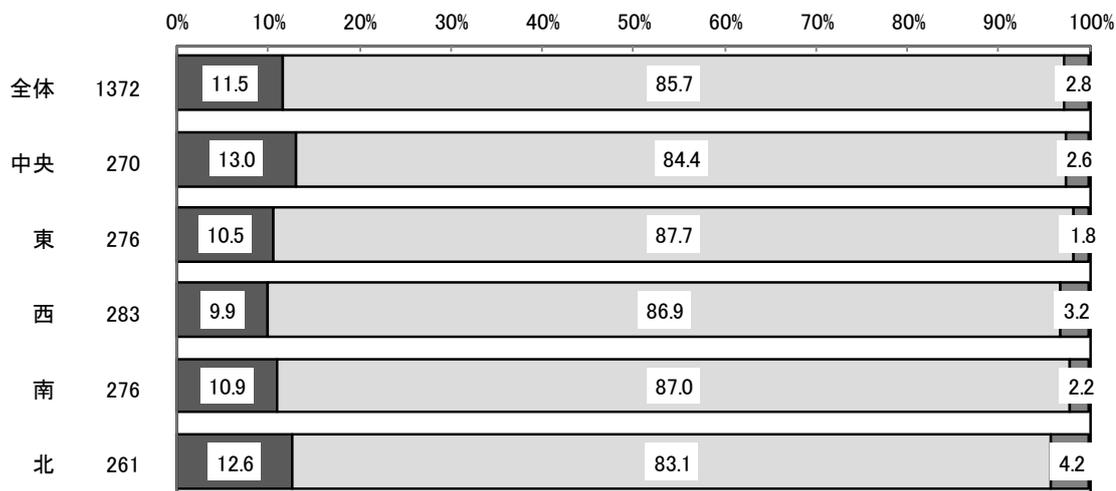
【全体】



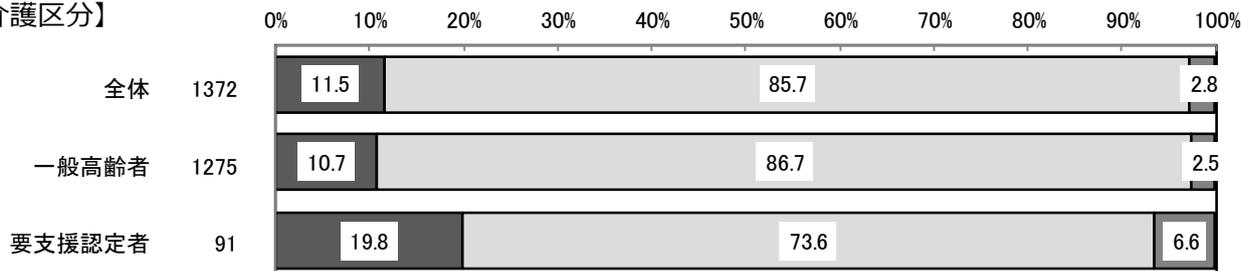
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか

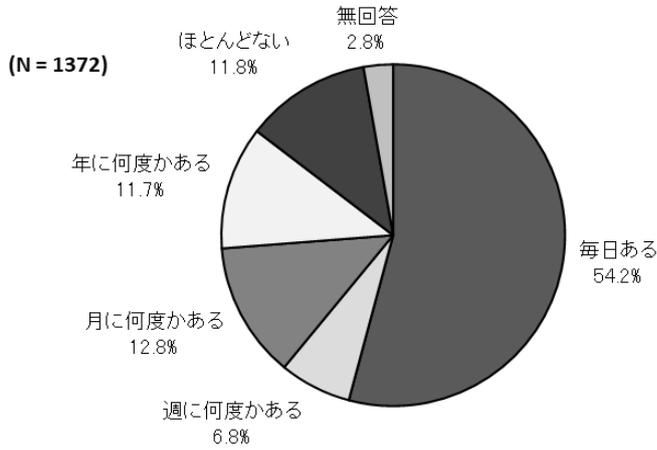
全体では、「毎日ある」が 54.2%と最も高く、次いで「月に何度かある」が 12.8%、「ほとんどない」が 11.8%となっている。

性別では、「毎日ある」は女性より男性の割合が高くなっている。

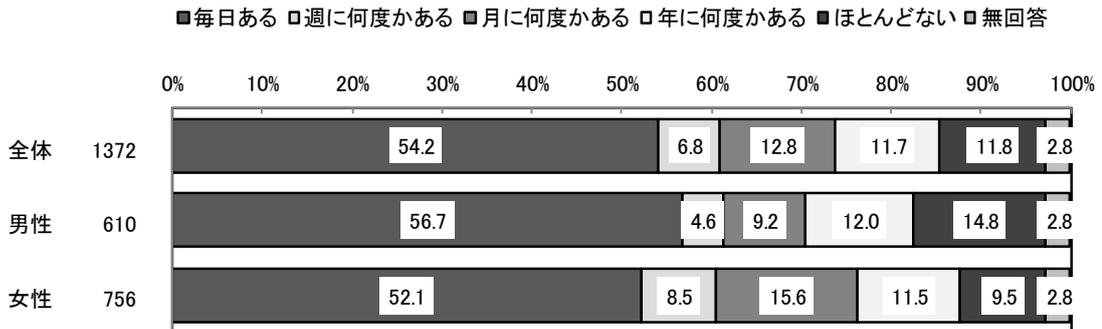
圏域では、「毎日ある」は東圏域で高く、次いで西圏域、北圏域と続いている。

介護区分では、「毎日ある」は要支援認定者でかなり低くなっている。

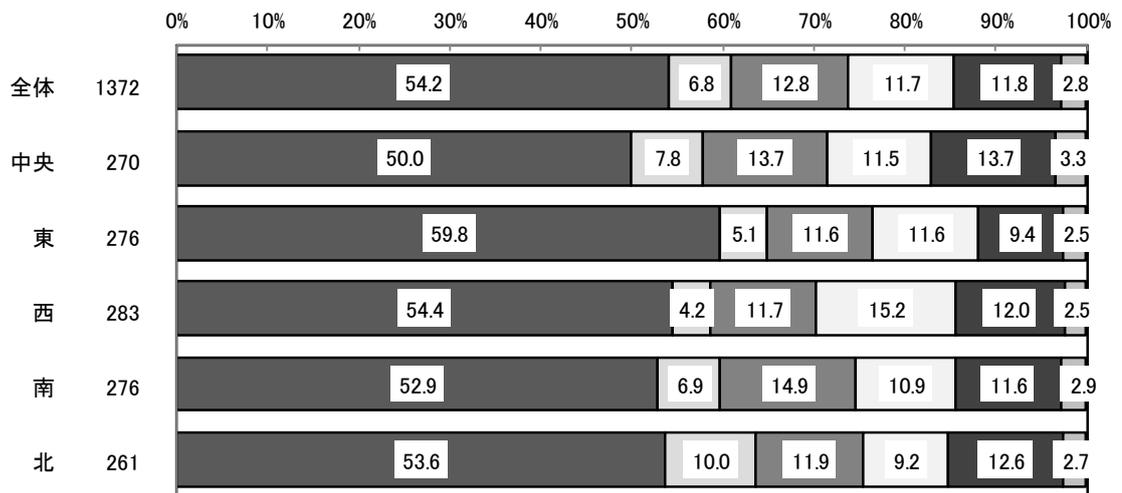
【全体】



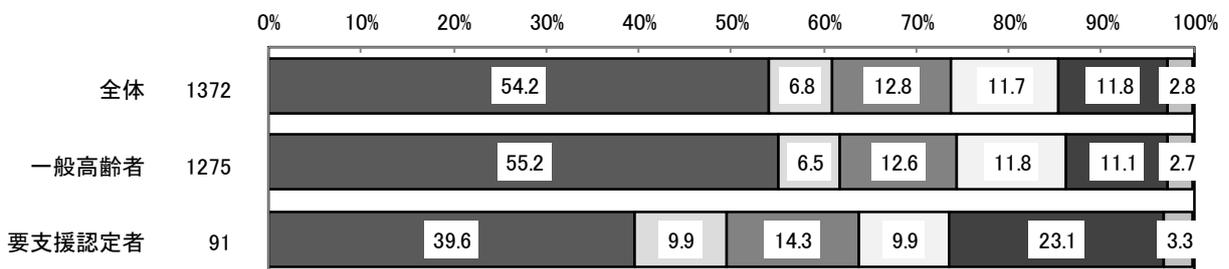
【性別】



【圏域】



【介護区分】

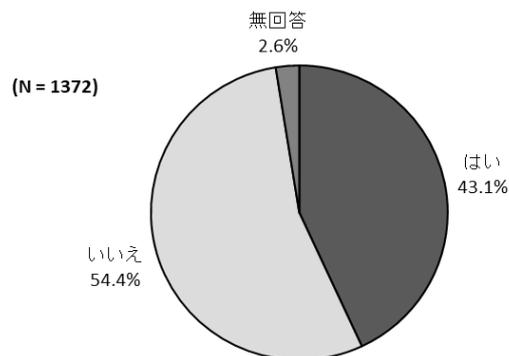


問4. 毎日の生活について

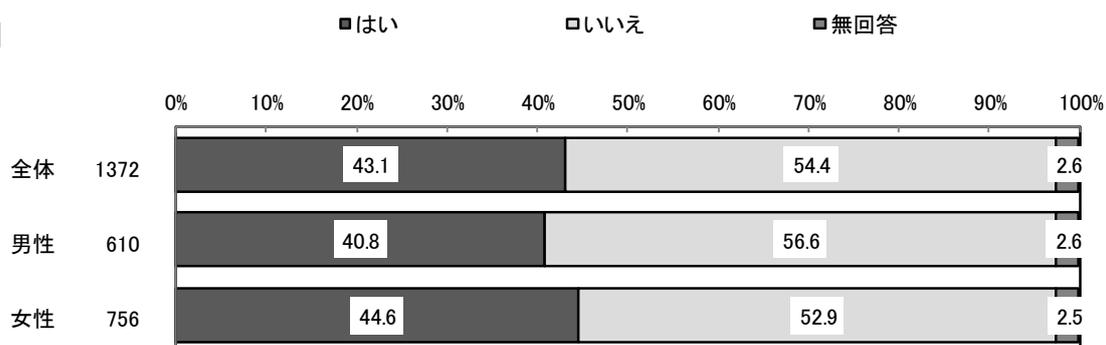
(1) 物忘れが多いと感じますか

全体では、「いいえ」が54.4%、「はい」が43.1%となっている。
 性別では、「はい」は男性より女性の割合がやや高くなっている。
 圏域では、「はい」は北圏域で高く、次いで南圏域と続いている。
 介護区分では、「はい」は要支援認定者で6割程度と高くなっている。

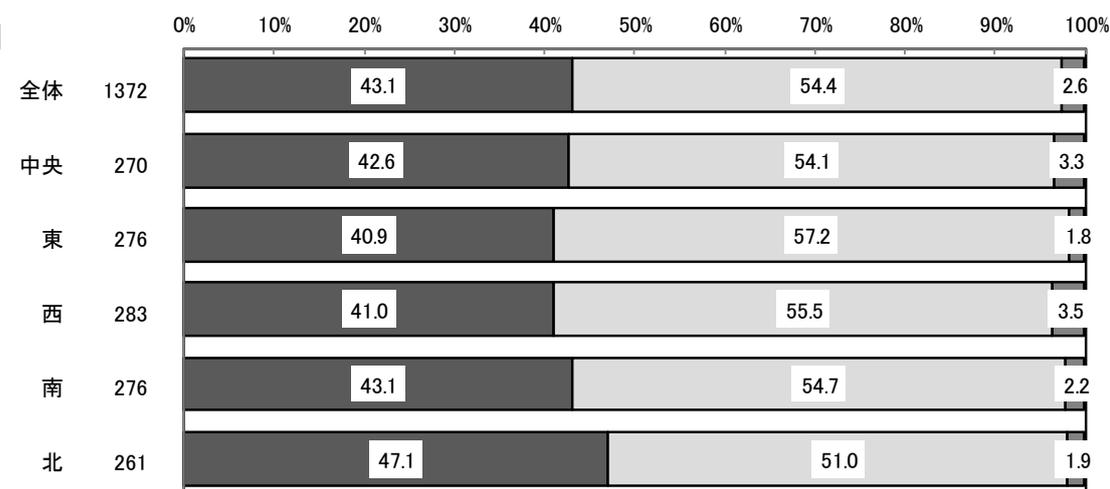
【全体】



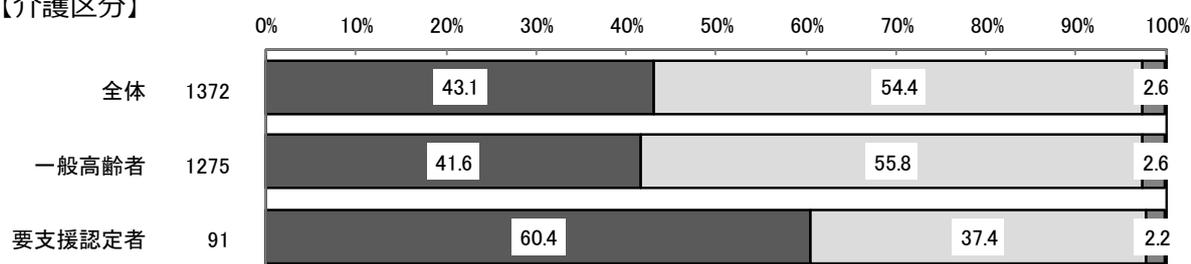
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

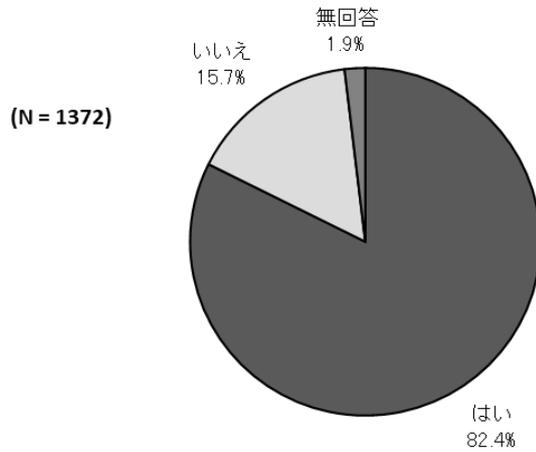
全体では、「はい」が 82.4%、「いいえ」が 15.7%となっている。

性別では、「はい」は男性より女性の割合が高くなっている。

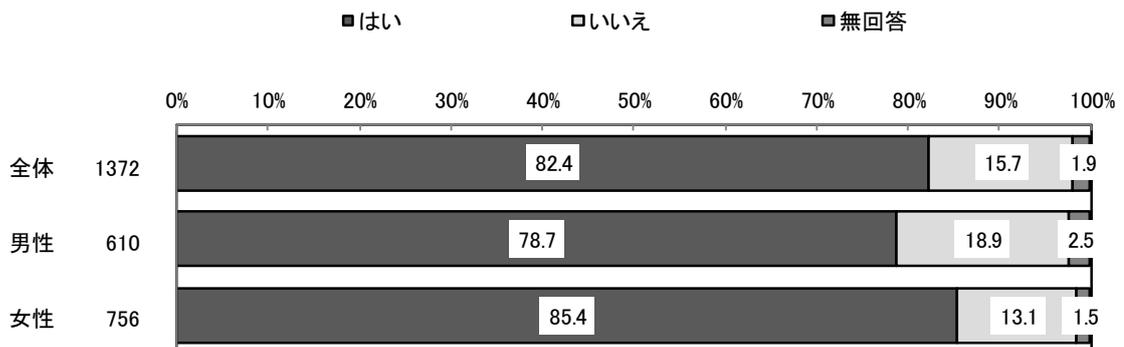
圏域では、「はい」は中央圏域で最も高く、次いで南圏域、西圏域と続いている。

介護区分では、ほとんど差が見られなかった。

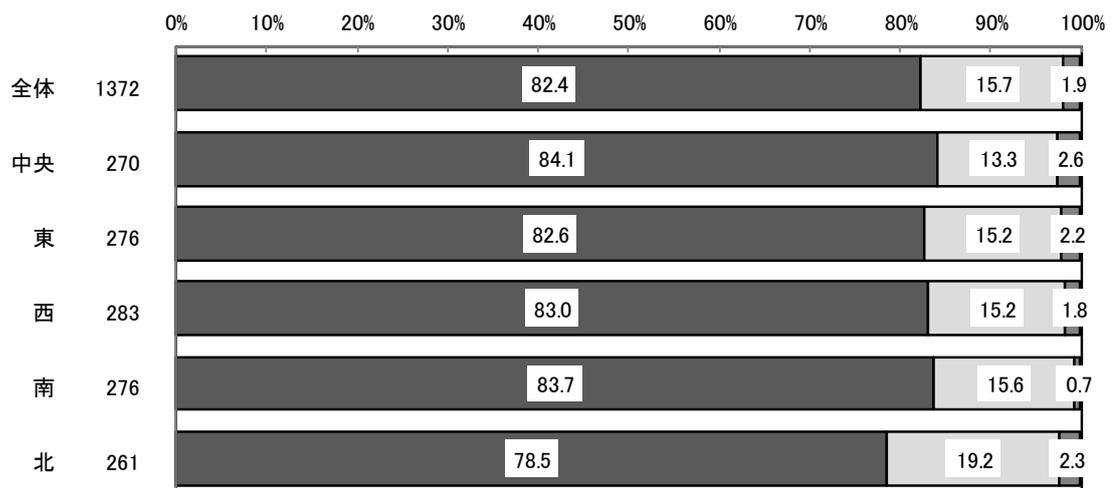
【全体】



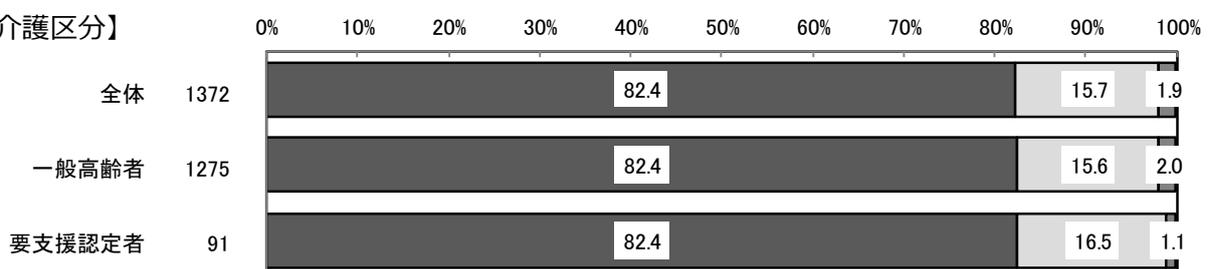
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

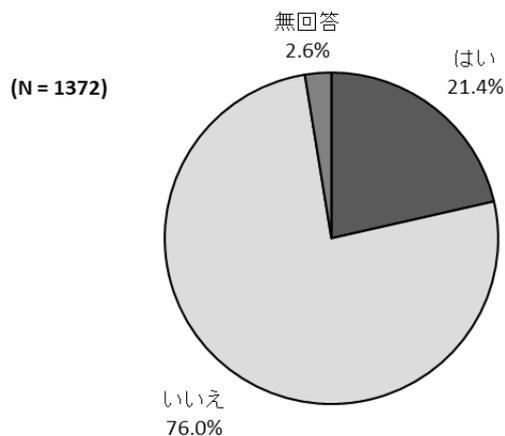
全体では、「いいえ」が76.0%、「はい」が21.4%となっている。

性別では、「はい」は女性より男性の割合がやや高くなっている。

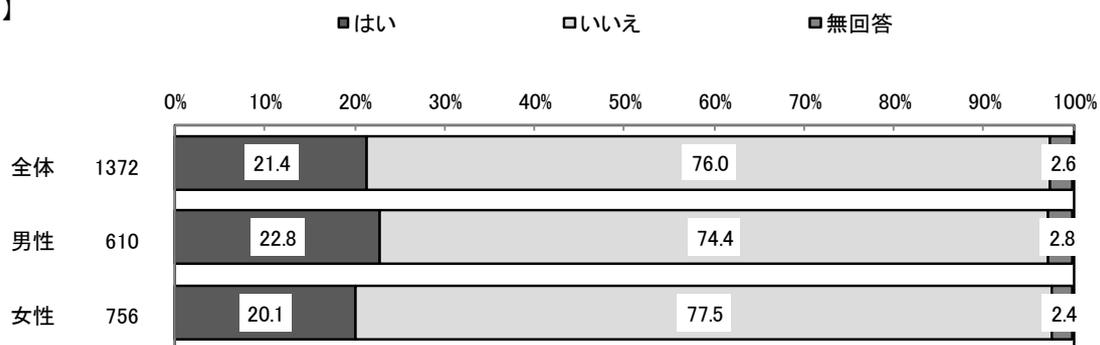
圏域では、「はい」は北圏域で最も高く、次いで中央圏域、東圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者で4割弱と高くなっている。

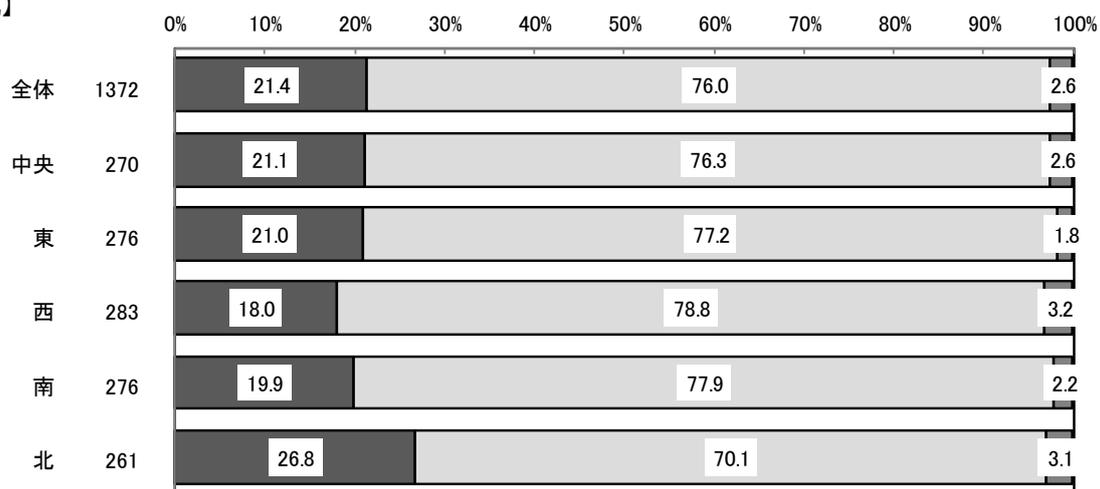
【全体】



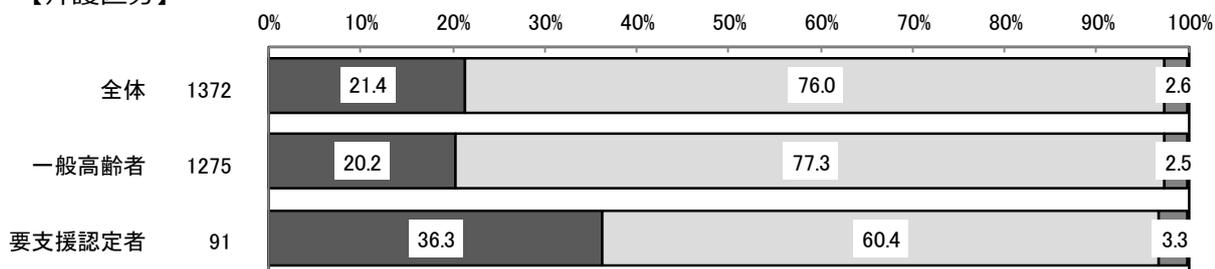
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

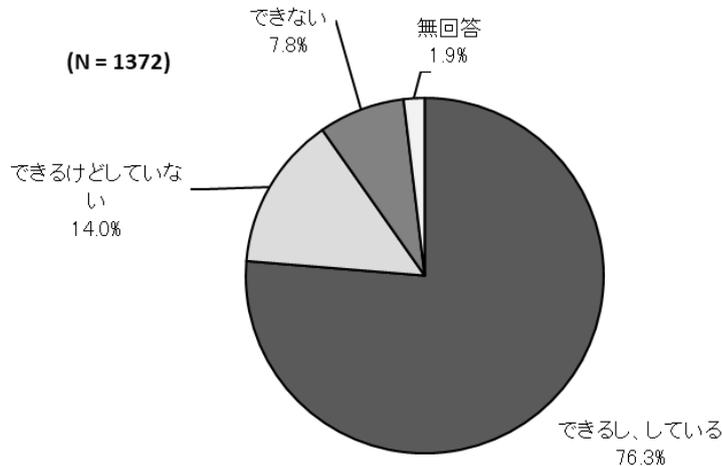
全体では、「できるし、している」が76.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.0%、「できない」が7.8%となっている。

性別では、「できるし、している」は女性より男性の割合が高くなっている。

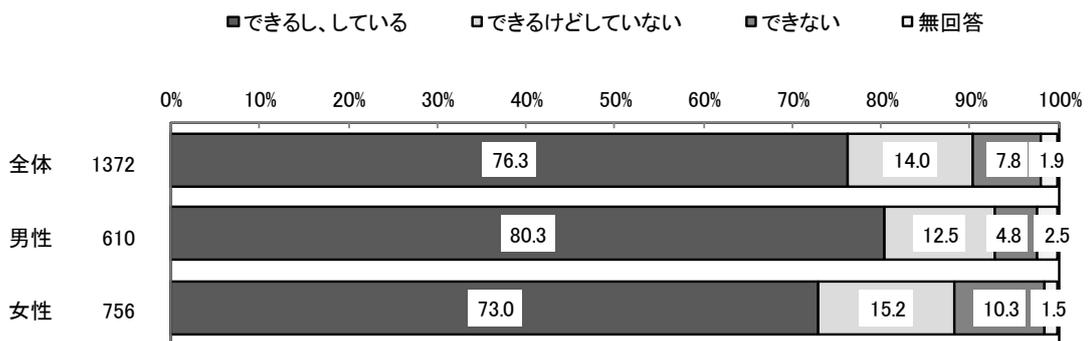
圏域では、「できるし、している」は西圏域で最も高く、次いで北圏域、東圏域と続いている。

介護区分では、「できるし、している」は要支援認定者でかなり低くなっている。

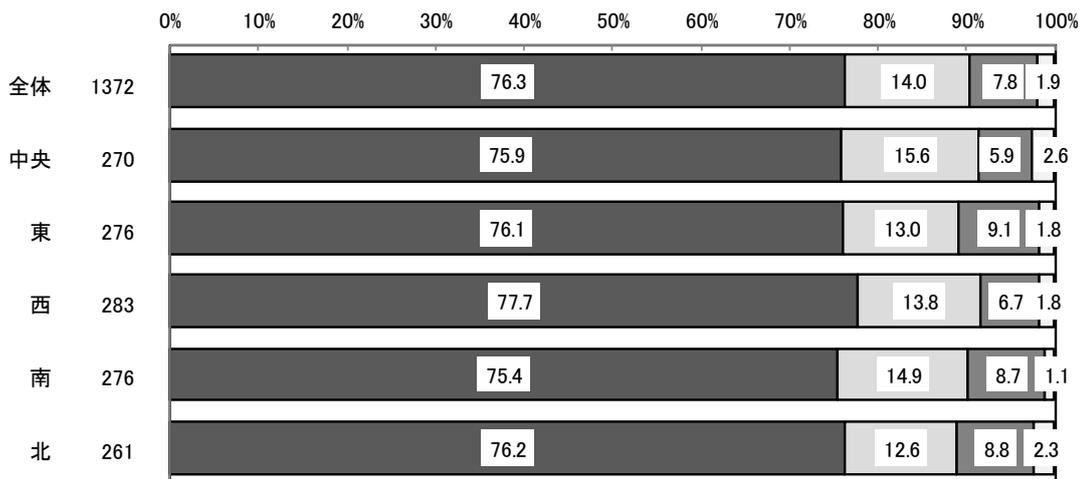
【全体】



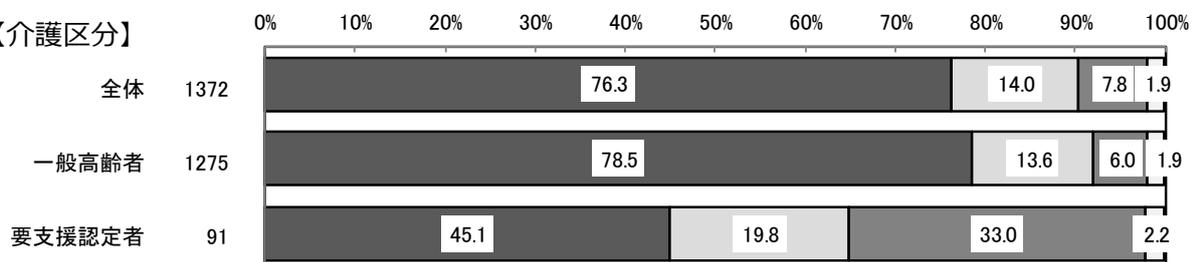
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

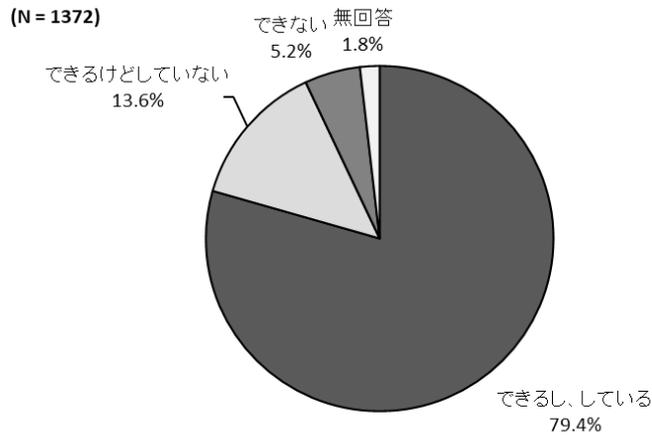
全体では、「できるし、している」が 79.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が 13.6%、「できない」が 5.2%となっている。

性別では、「できるし、している」は男性より女性の割合が高くなっている。

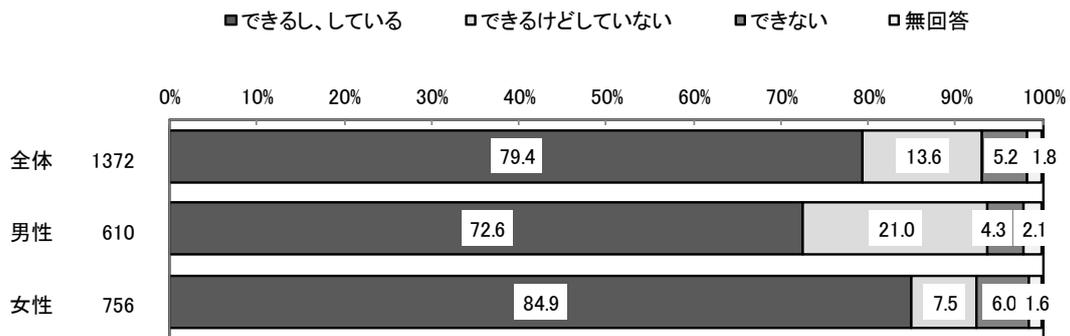
圏域では、「できるし、している」は中央圏域で最も高く、次いで南圏域、西圏域と続いている。

介護区分では、「できるし、している」は要支援認定者でかなり低くなっている。

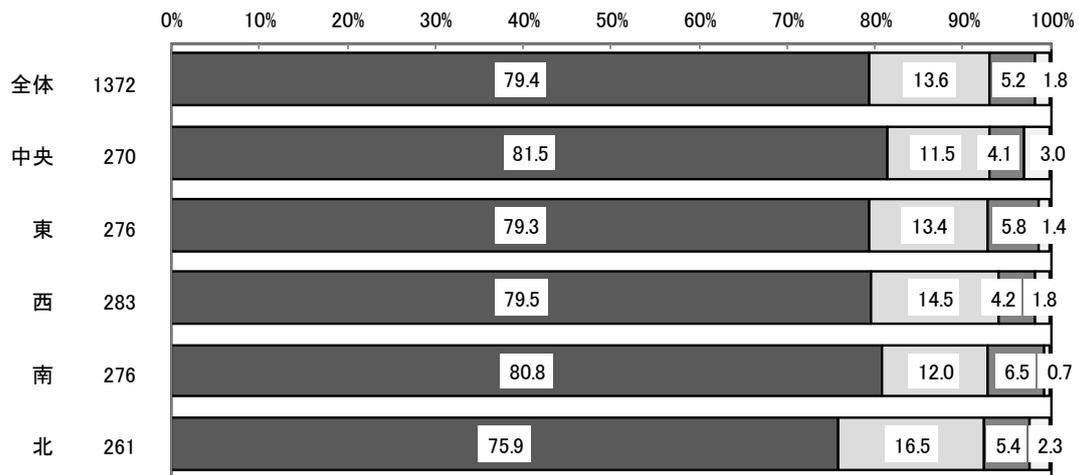
【全体】



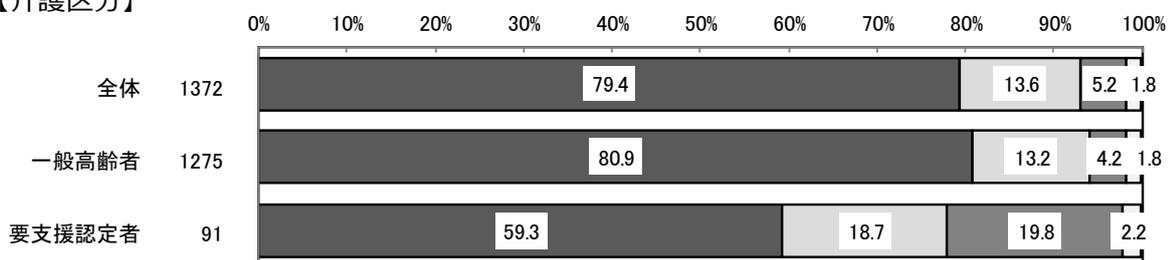
【性別】



【圏域】



【介護区分】



【(5)で「2. できるだけしていない」「3. できない」の方のみ】

①食品・日用品の買物をする人はどなたですか

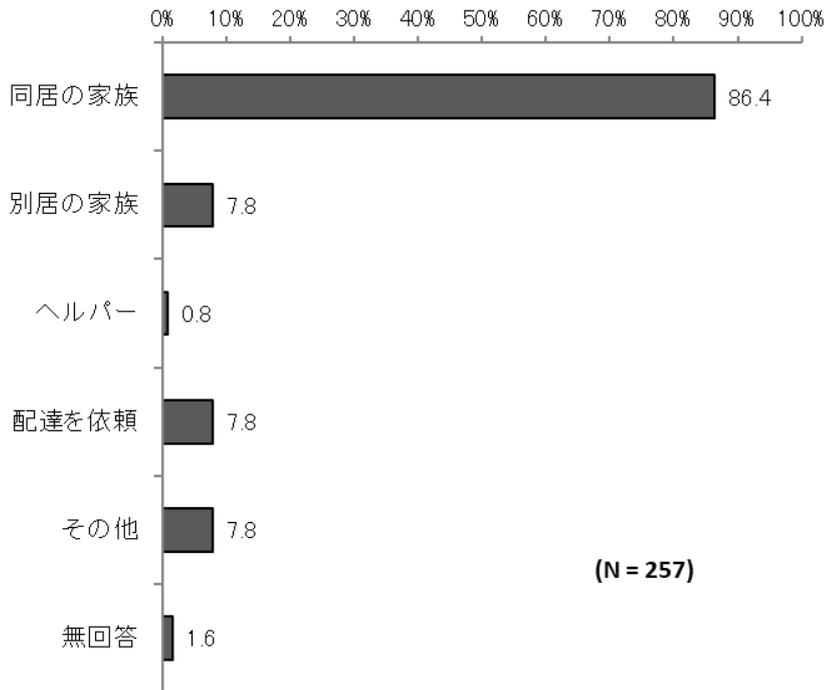
全体では、「同居の家族」が86.4%と最も高い。

性別では、「同居の家族」は女性より男性の割合が高くなっている。

圏域では、「同居の家族」は南圏域で高く、次いで東圏域、西圏域と続いている。

介護区分では、「同居の家族」は要支援認定者でかなり低くなっている。

【全体】



(%)

		調査数	同居の家族	別居の家族	ヘルパー	配達を依頼	その他	無回答
全体		257	86.4	7.8	0.8	7.8	7.8	1.6
性別	男性	154	93.5	1.9	0.0	4.5	4.5	1.3
	女性	102	75.5	16.7	2.0	12.7	12.7	2.0
圏別	中央	42	76.2	14.3	4.8	9.5	7.1	0.0
	東	53	92.5	3.8	0.0	3.8	5.7	1.9
	西	53	84.9	13.2	0.0	9.4	5.7	3.8
	南	51	94.1	0.0	0.0	7.8	5.9	0.0
	北	57	82.5	8.8	0.0	8.8	14.0	1.8
介護区分	一般高齢者	221	89.6	5.9	0.0	6.3	6.3	1.8
	要支援認定者	35	65.7	20.0	5.7	17.1	17.1	0.0

(6) 自分で食事の用意をしていますか

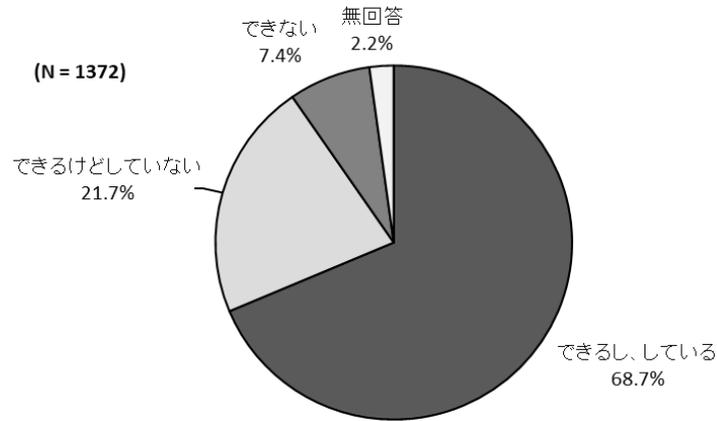
全体では、「できるし、している」が 68.7%と最も高く、「できるけどしていない」が 21.7%、「できない」が 7.4%となっている。

性別では、「できるし、している」は男性より女性の割合がかなり高くなっている。

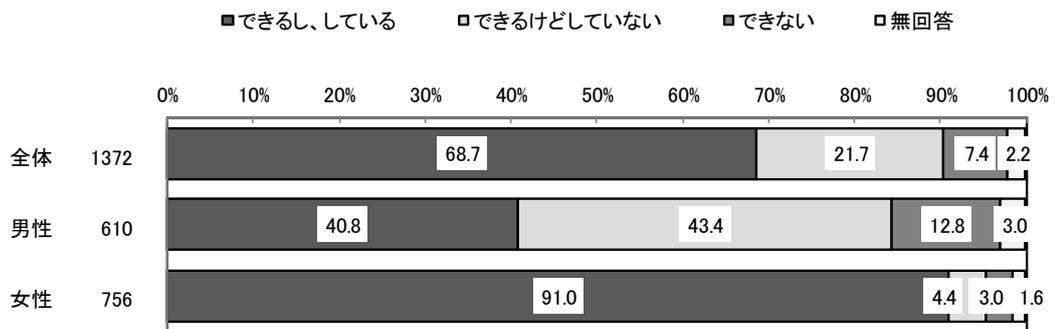
圏域では、「できるし、している」は中央圏域で最も高く、次いで南圏域、東圏域と続いている。

介護区分では、「できるし、している」は要支援認定者のほうがやや高くなっている。

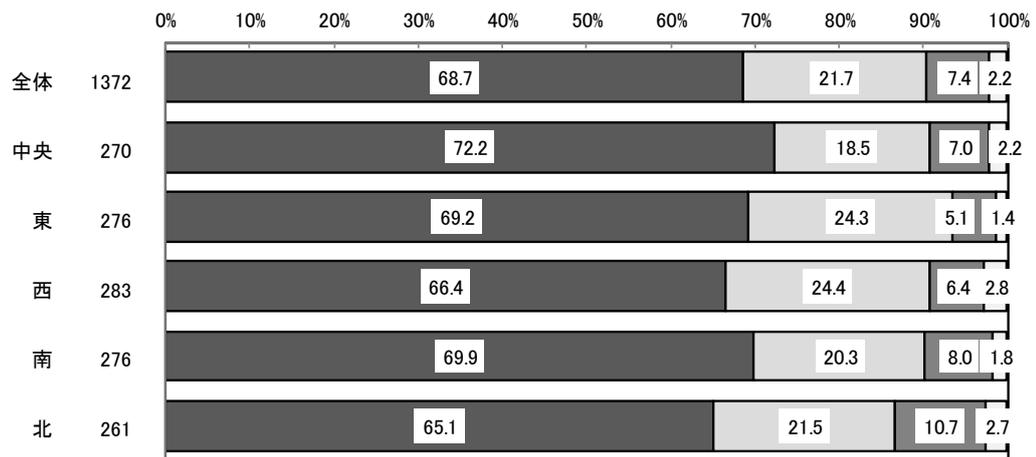
【全体】



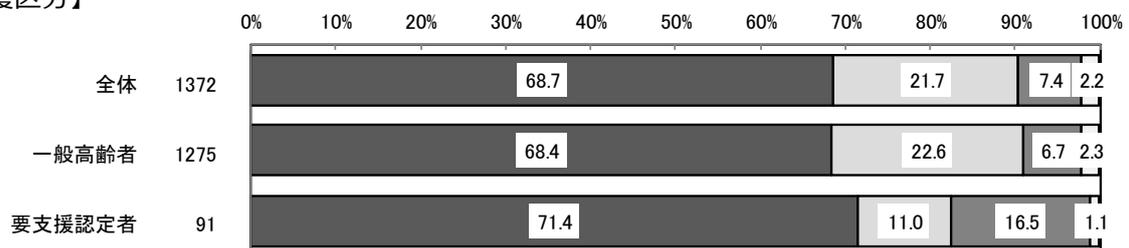
【性別】



【圏域】



【介護区分】



【(6)で「2. できるだけしていない」「3. できない」の方のみ】

①食事前の用意をする人はどなたですか

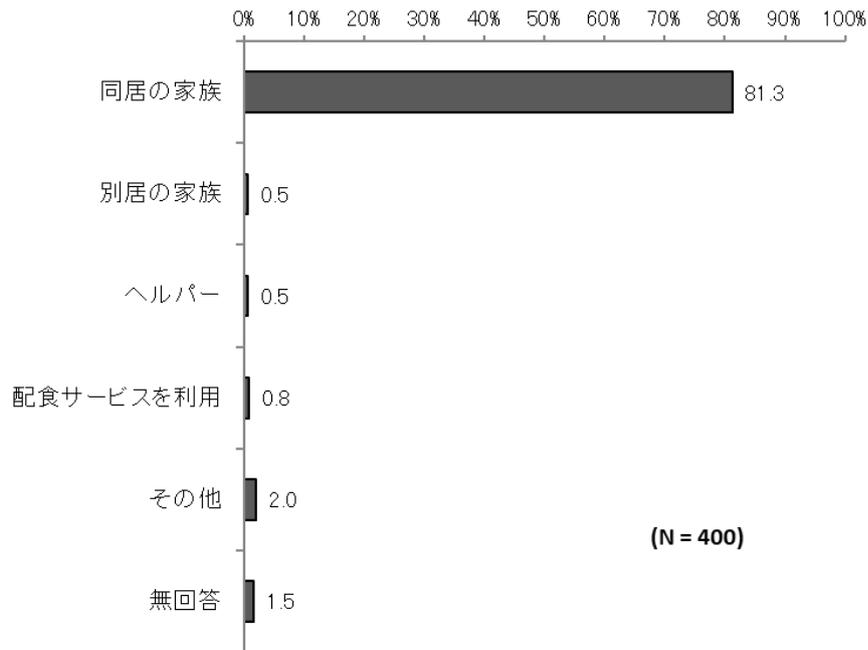
全体では、「同居の家族」が81.3%と最も高くなっている。

性別では、「同居の家族」は女性より男性の割合が高くなっている。

圏域では、「同居の家族」は東圏域で最も高く、次いで南圏域、中央圏域と続いている。

介護区分では、「同居の家族」は要支援認定者のほうが一般高齢者より低くなっている。

【全体】



		調査数	同居の家族	別居の家族	ヘルパー	配食サービスを利用	その他	無回答
全体		400	81.3	0.5	0.5	0.8	2.0	1.5
性別	男性	343	94.8	0.6	0.6	0.9	2.3	1.7
	女性	56	76.8	7.1	5.4	3.6	16.1	1.8
圏別	中央	69	91.3	2.9	1.4	2.9	1.4	2.9
	東	81	96.3	0.0	0.0	0.0	6.2	0.0
	西	87	90.8	3.4	3.4	0.0	3.4	2.3
	南	78	96.2	0.0	0.0	1.3	1.3	2.6
	北	84	86.9	1.2	1.2	2.4	8.3	1.2
介護区分	一般高齢者	374	93.9	0.8	0.5	0.8	4.0	1.6
	要支援認定者	25	68.0	12.0	12.0	8.0	8.0	4.0

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

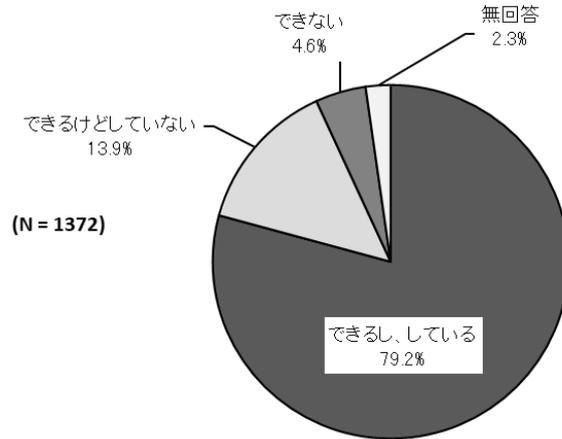
全体では、「できるし、している」が 79.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が 13.9%、「できない」が 4.6%となっている。

性別では、「できるし、している」は男性より女性の割合が高くなっている。

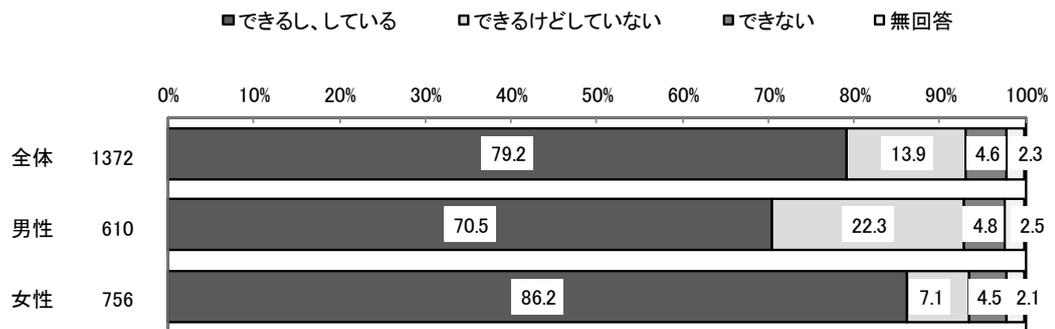
圏域では、「できるし、している」は南圏域で最も高く、次いで中央圏域、西圏域と続いている。

介護区分では、「できるし、している」は要支援認定者で7割半ばとなっている。

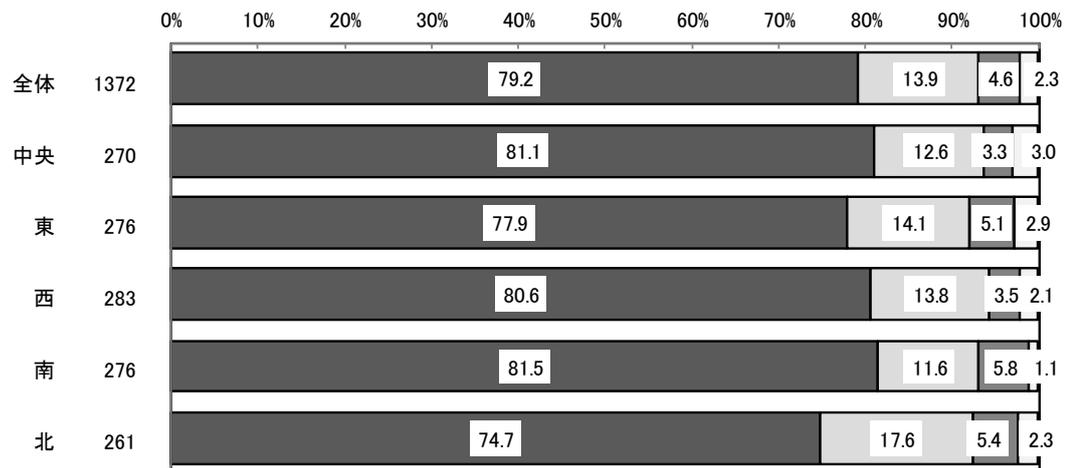
【全体】



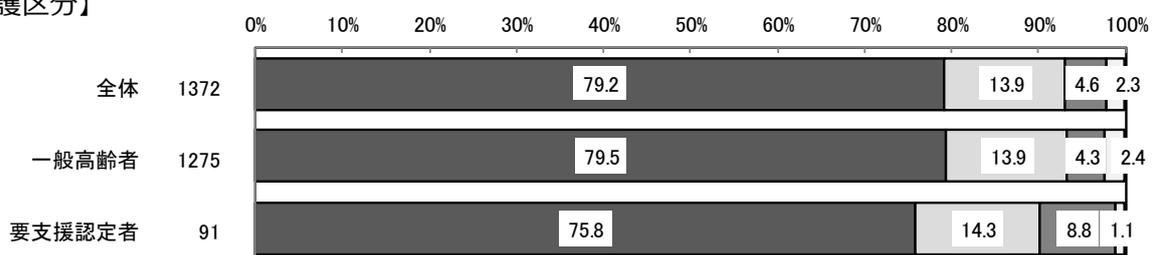
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

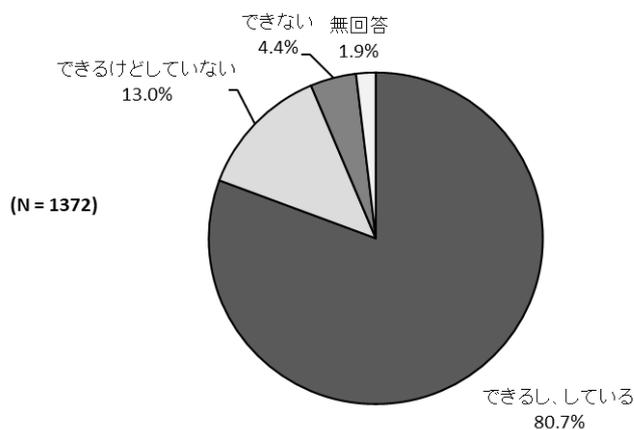
全体では、「できるし、している」が 80.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が 13.0%、「できない」が 4.4%となっている。

性別では、「できるし、している」は男性より女性の割合が高くなっている。

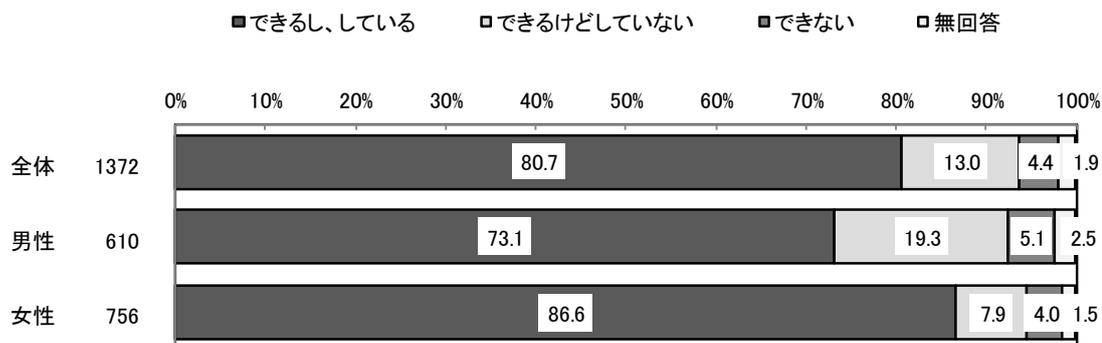
圏域では、「できるし、している」は中央圏域で最も高く、次いで西圏域、南圏域と続いている。

介護区分では、「できるし、している」は要支援認定者で 7 割半ばとなっている。

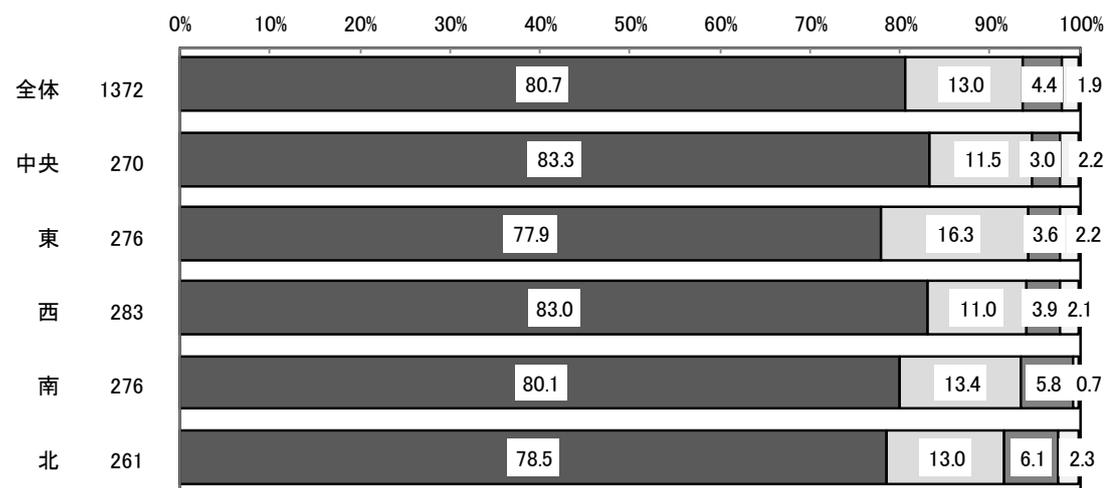
【全体】



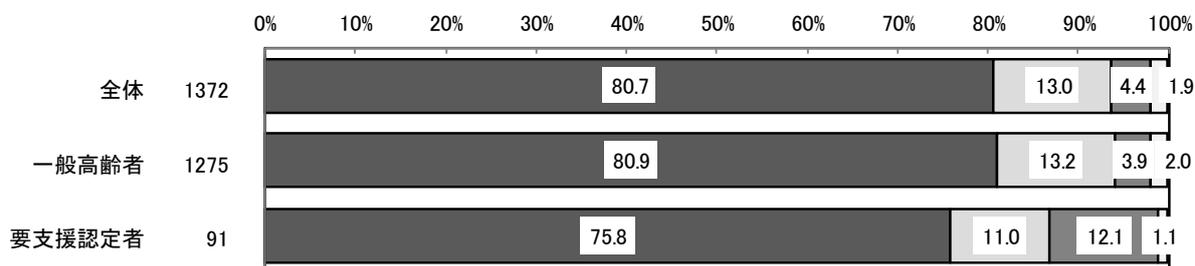
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

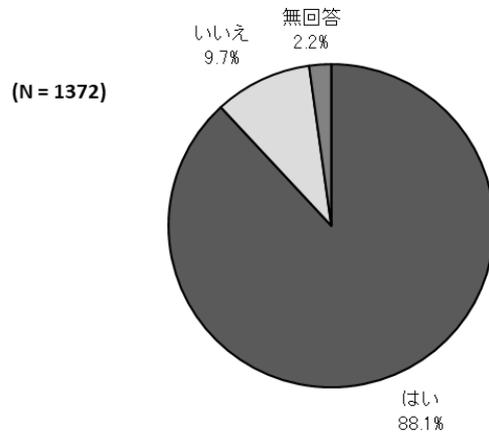
全体では、「はい」が 88.1%、「いいえ」が 9.7%となっている。

性別では、「はい」は女性より男性の割合が高くなっている。

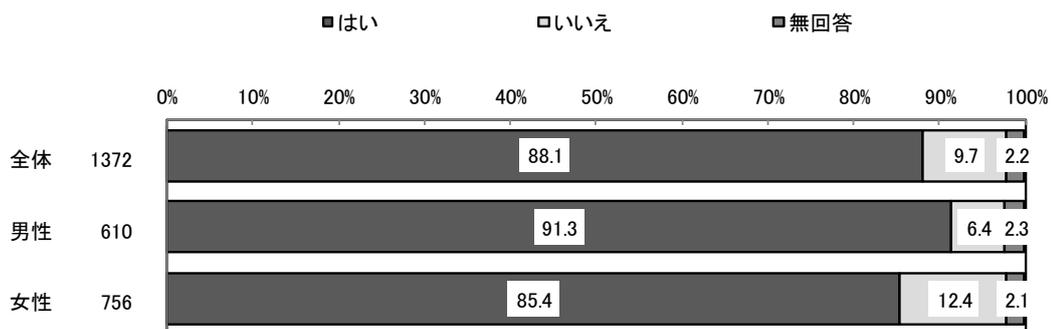
圏域では、「はい」は東圏域で最も高く、次いで西圏域、中央圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者で 6 割程度と、一般高齢者より低くなっている。

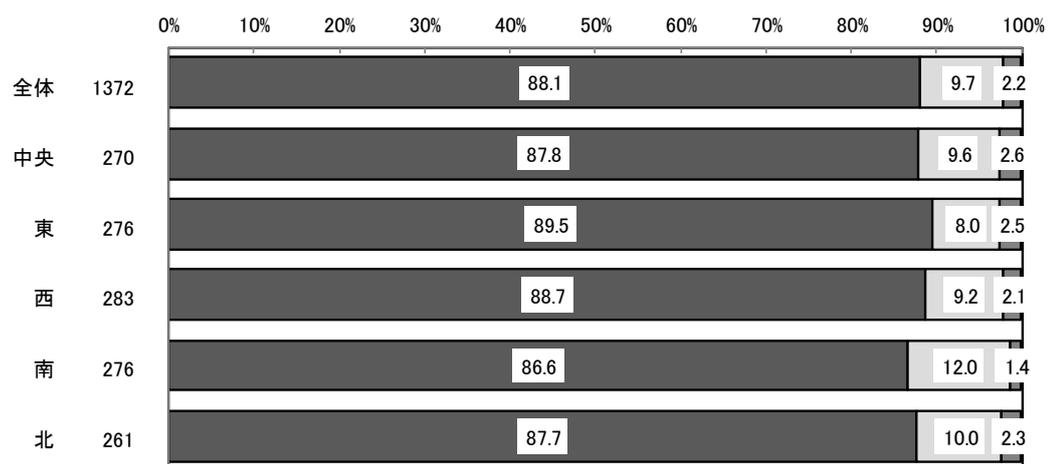
【全体】



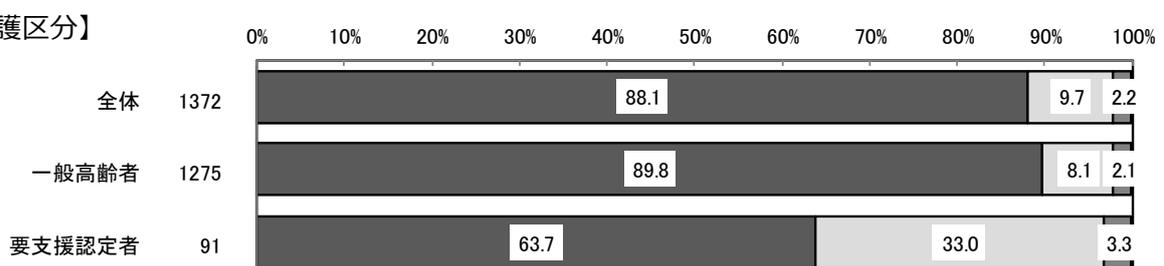
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(10) 新聞を読んでいますか

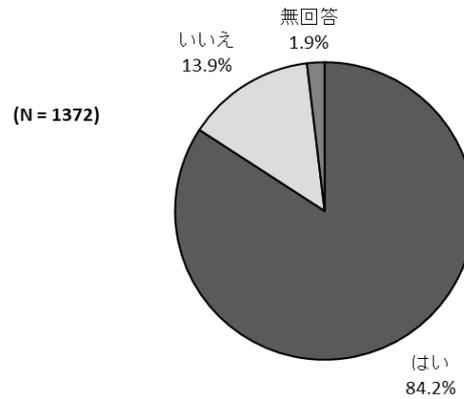
全体では、「はい」が 84.2%、「いいえ」が 13.9%となっている。

性別では、「はい」は女性より男性の割合が高くなっている。

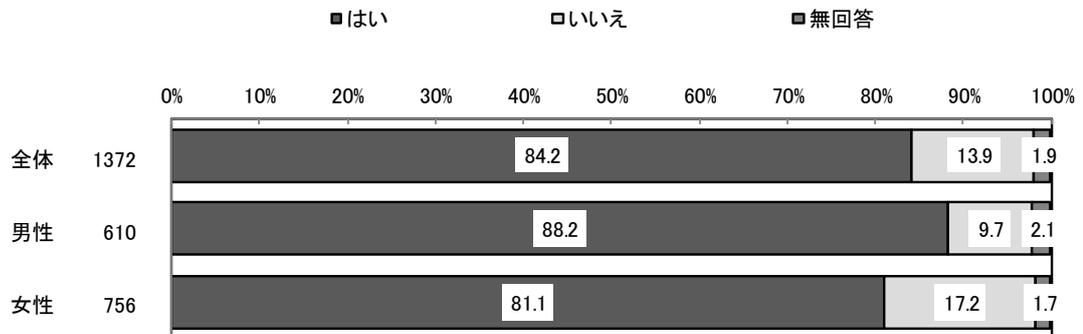
圏域では、「はい」は東圏域で最も高く、次いで南圏域、西圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者のほうが一般高齢者より低くなっている。

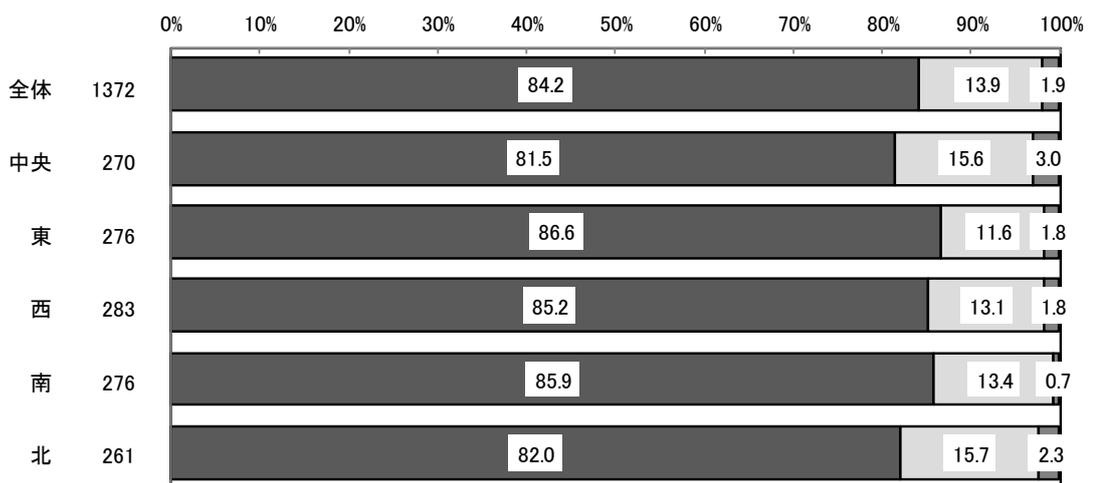
【全体】



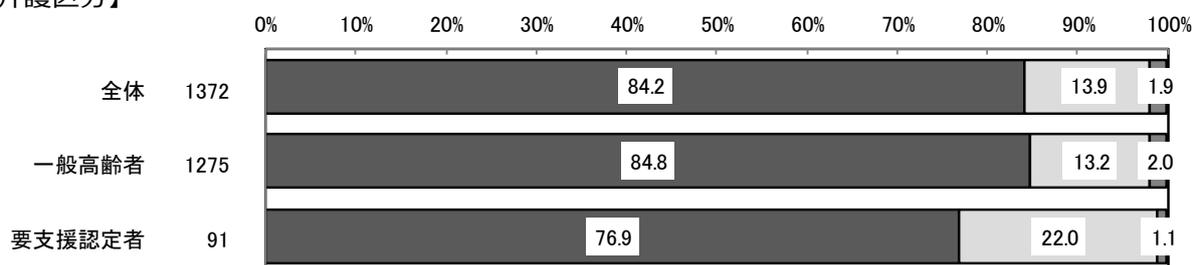
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(11) 本や雑誌を読んでいますか

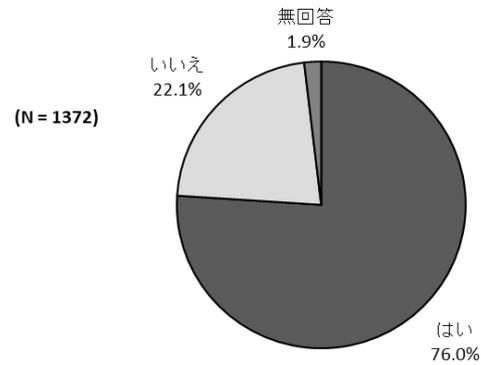
全体では、「はい」が76.0%、「いいえ」が22.1%となっている。

性別では、「はい」は男性より女性の割合が高くなっている。

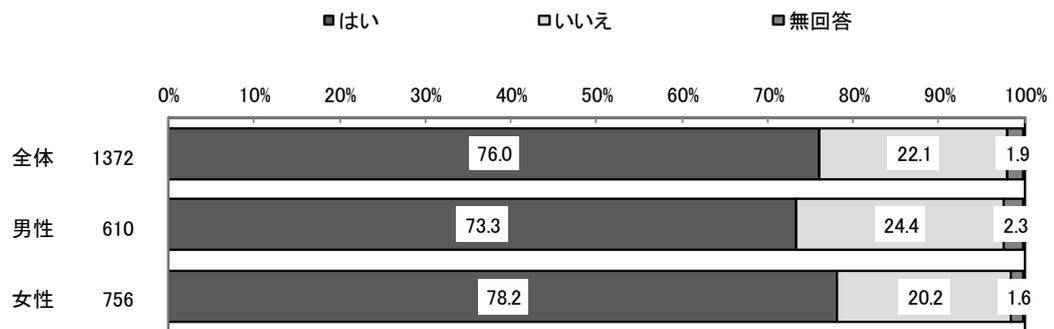
圏域では、「はい」は中央圏域で最も高く、次いで東圏域、北圏域となっている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者で6割半ばにとどまっている。

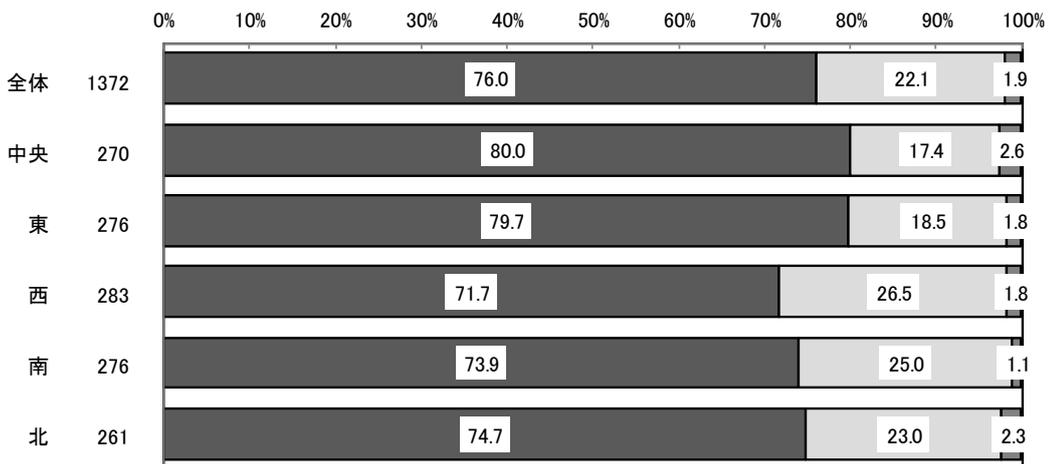
【全体】



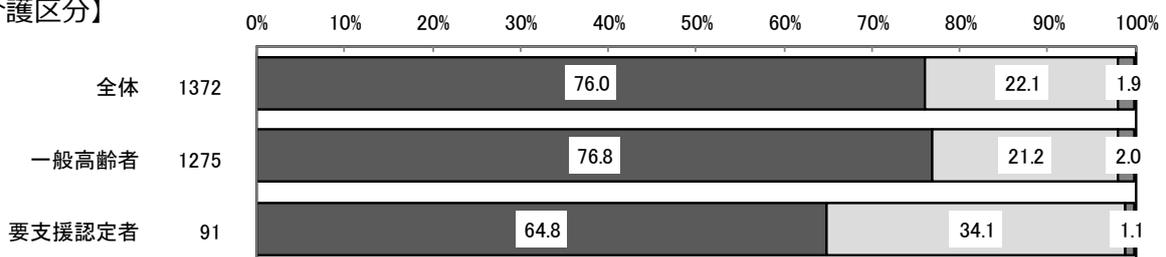
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

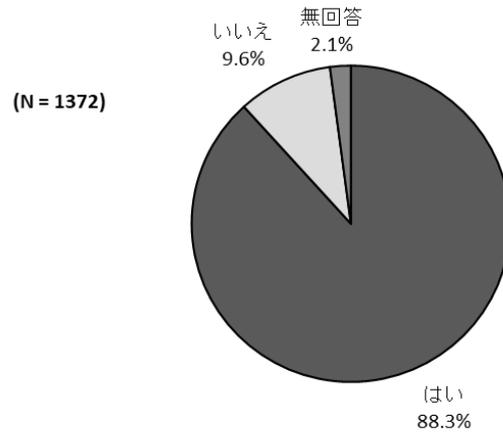
全体では、「はい」が88.3%、「いいえ」が9.6%となっている。

性別では、「はい」は男性より女性の割合が高くなっている。

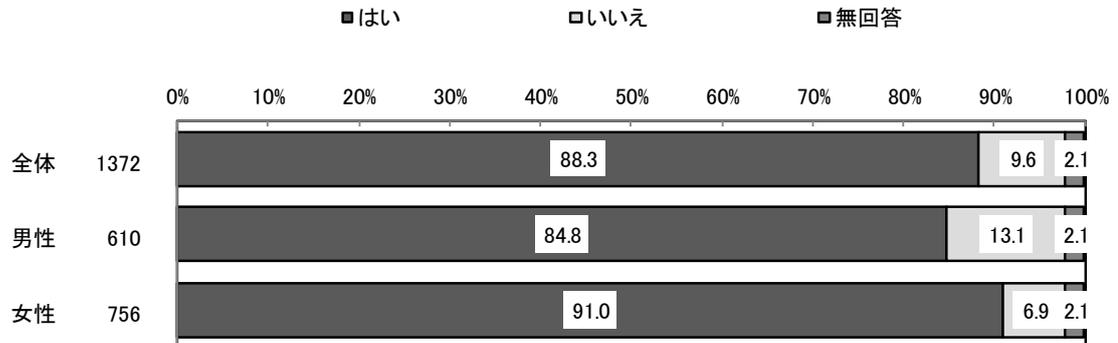
圏域では、「はい」は東圏域で最も高く、次いで南圏域、中央圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者のほうが低くなっている。

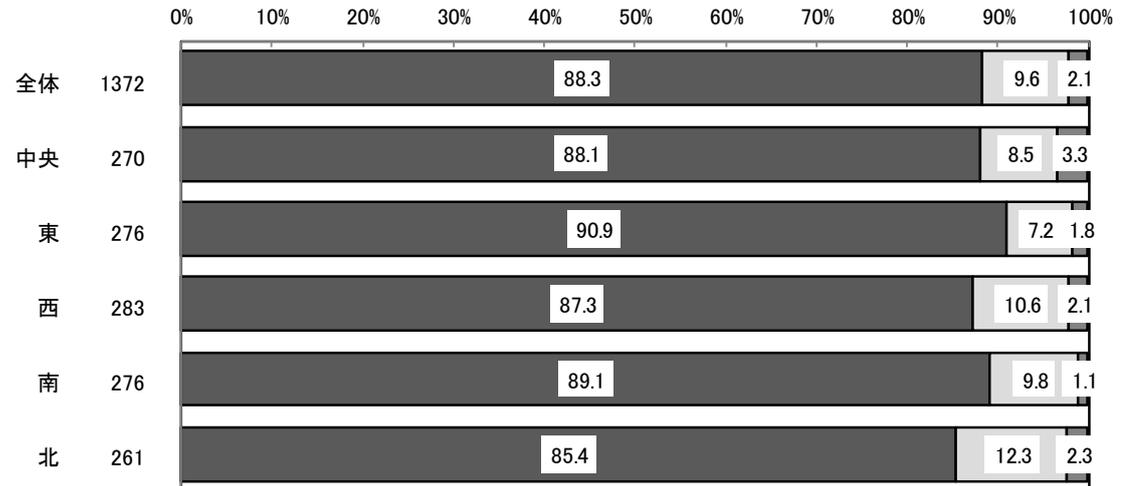
【全体】



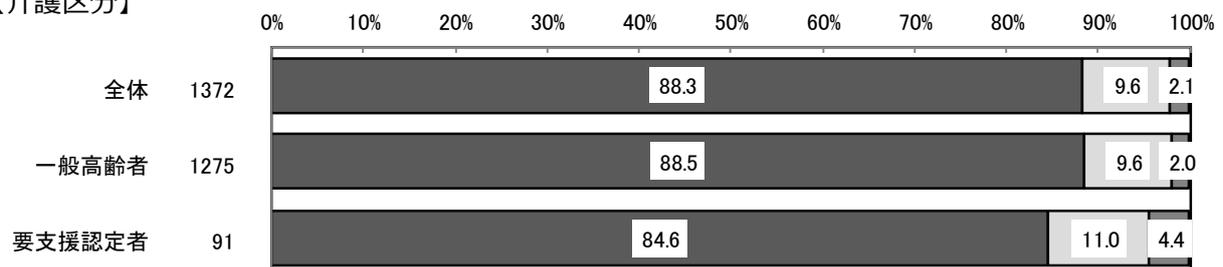
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(13) 友人の家を訪ねていますか

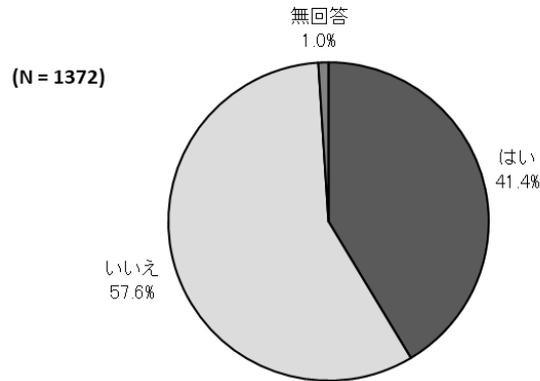
全体では、「いいえ」が57.6%、「はい」が41.4%となっている。

性別では、「はい」は男性より女性の割合が高くなっている。

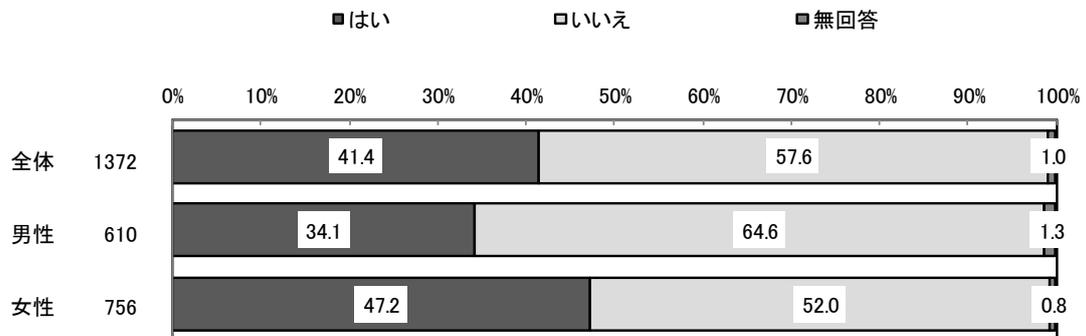
圏域では、「はい」は中央圏域で最も高く、次いで南圏域、北圏域となっている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者で2割半ばにとどまっている。

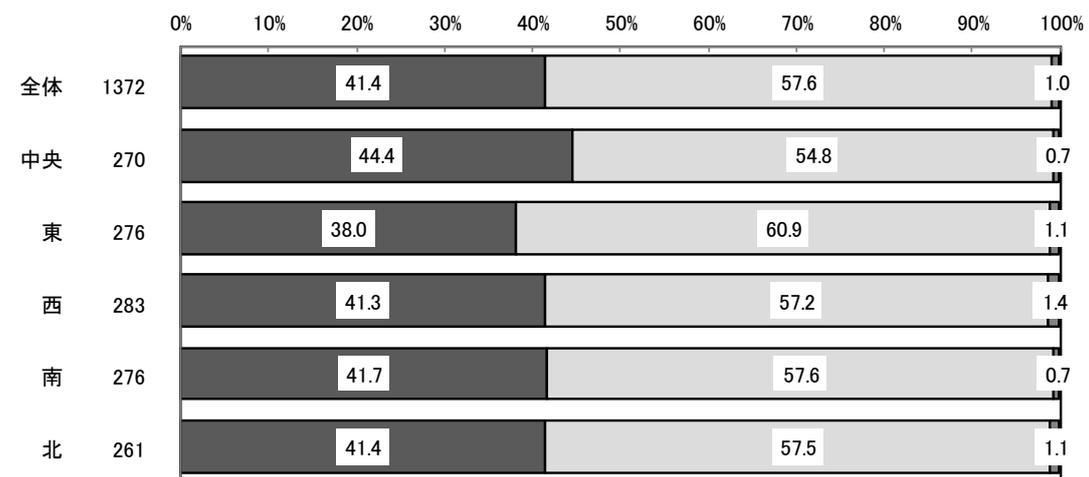
【全体】



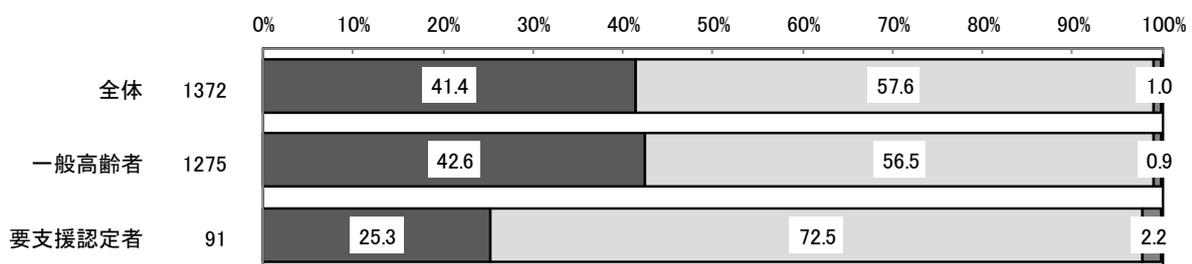
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(14) 家族や友人の相談にのっていますか

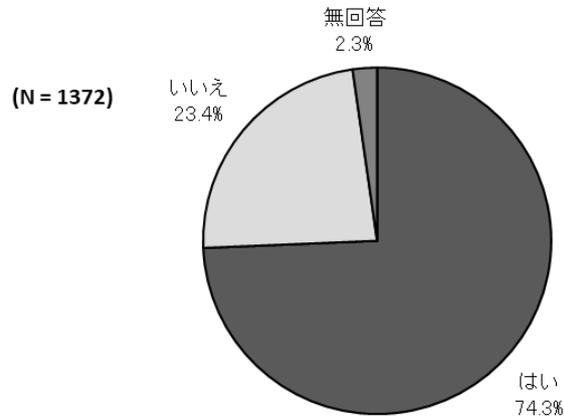
全体では、「はい」が74.3%、「いいえ」が23.4%となっている。

性別では、「はい」は男性より女性の割合が高くなっている。

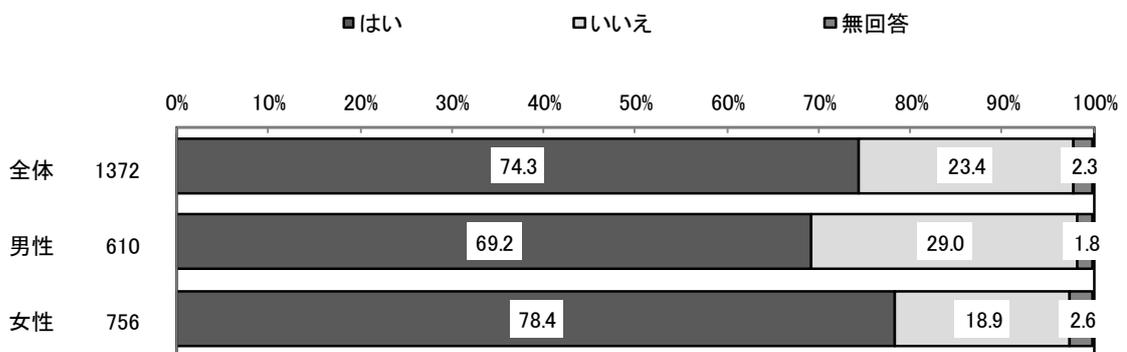
圏域では、「はい」は中央圏域で最も高く、次いで南圏域となっている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者で5割程度にとどまっている。

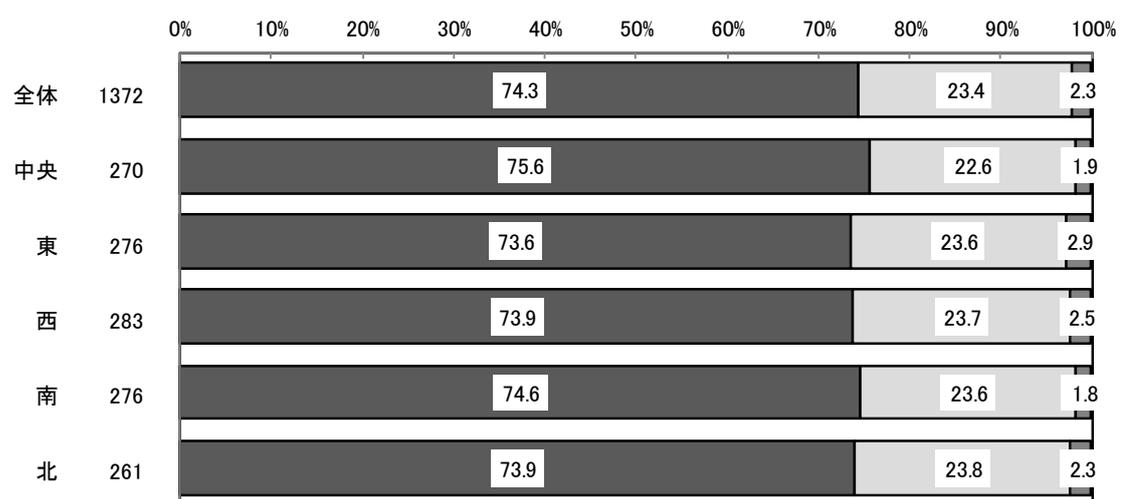
【全体】



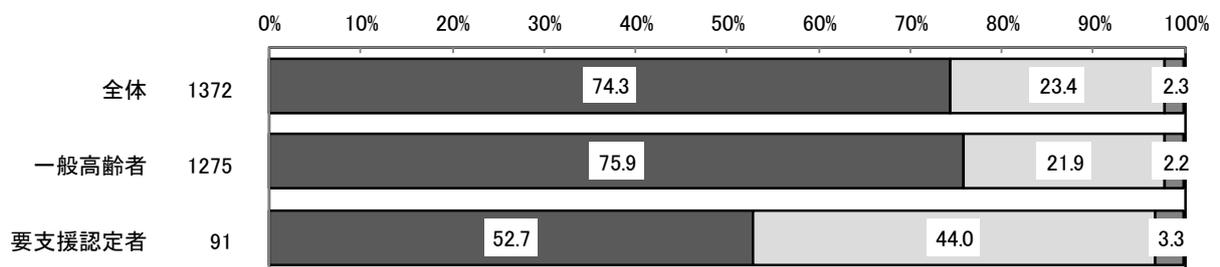
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(15) 病人を見舞うことができますか

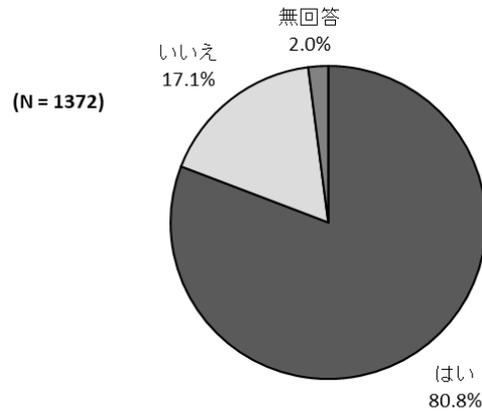
全体では、「はい」が 80.8%、「いいえ」が 17.1%となっている。

性別では、「はい」は女性より男性の割合が高くなっている。

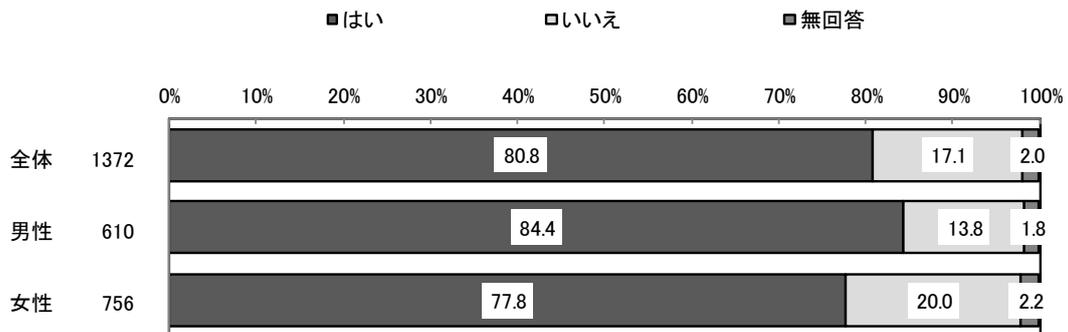
圏域では、「はい」は南圏域で最も高く、次いで西圏域、中央圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者で 5 割にとどまっている。

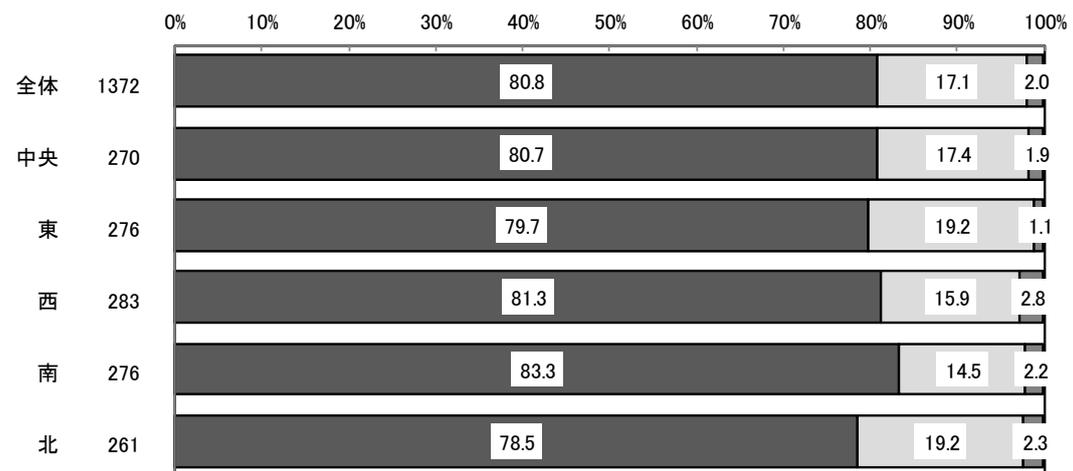
【全体】



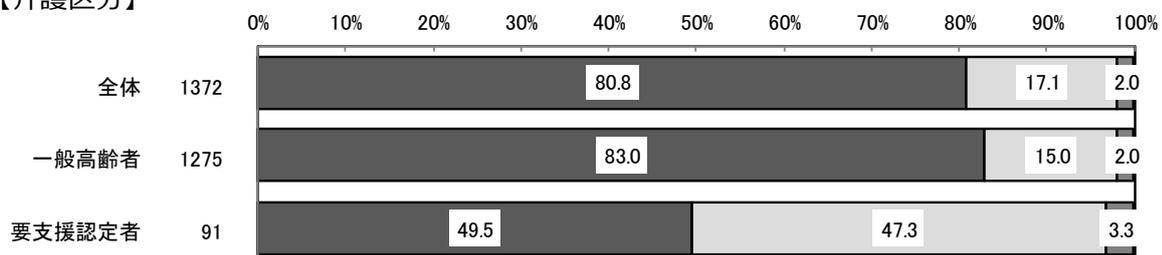
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

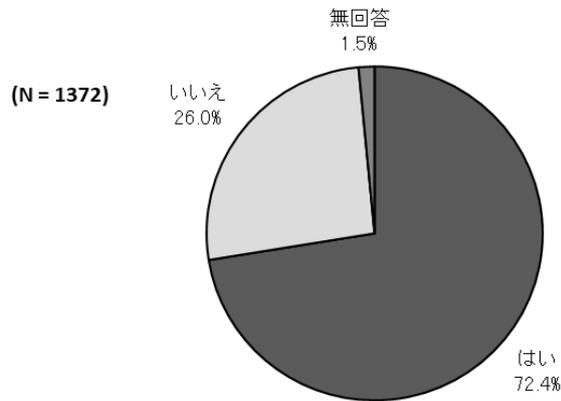
全体では、「はい」が72.4%、「いいえ」が26.0%となっている。

性別では、「はい」は男性より女性の割合が高くなっている。

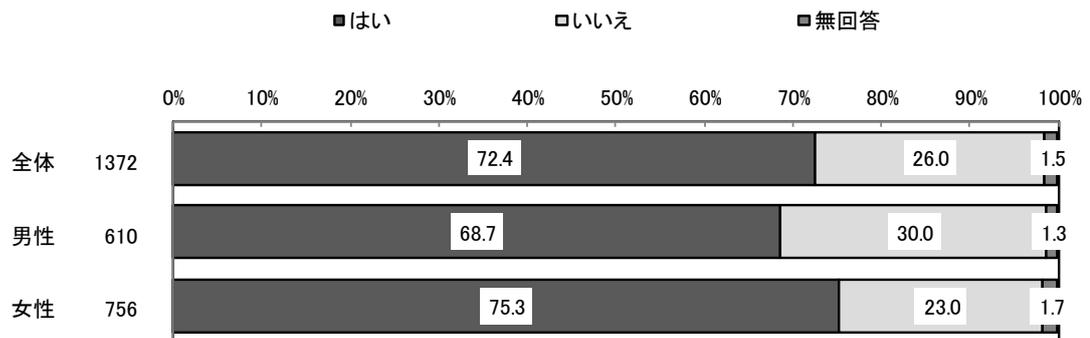
圏域では、「はい」は東圏域で最も高く、次いで中央圏域、南圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者で6割程度にとどまっている。

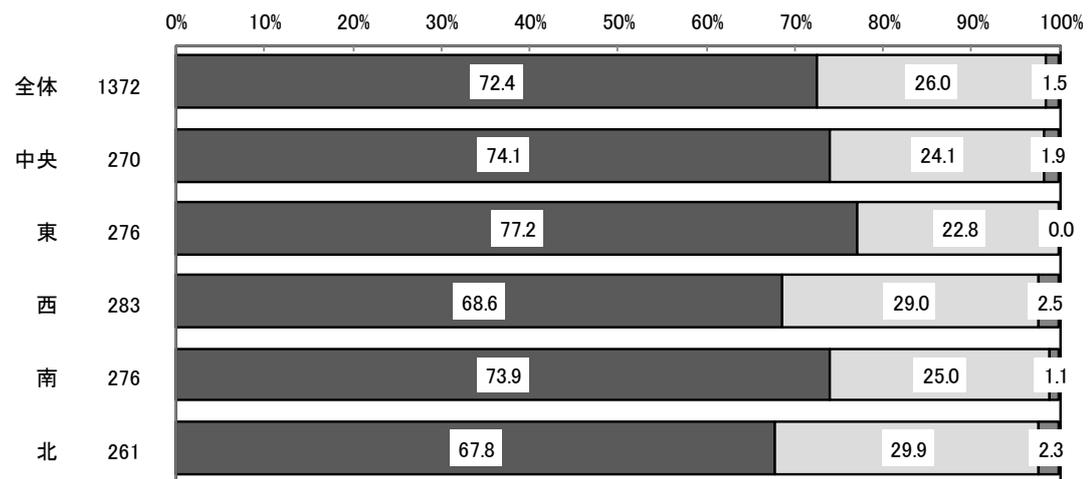
【全体】



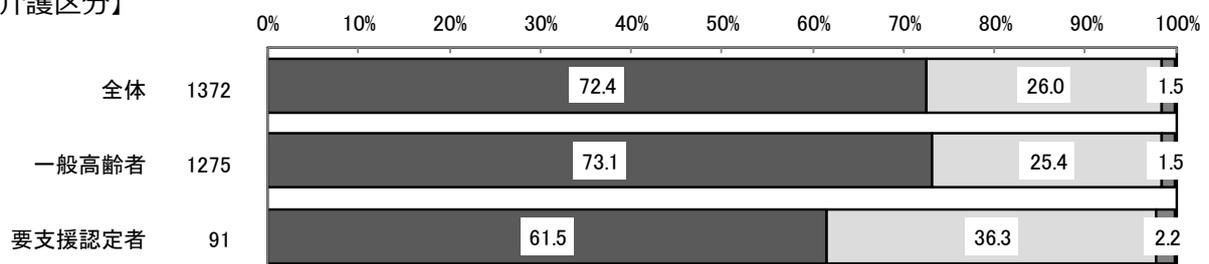
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(17) 趣味はありますか

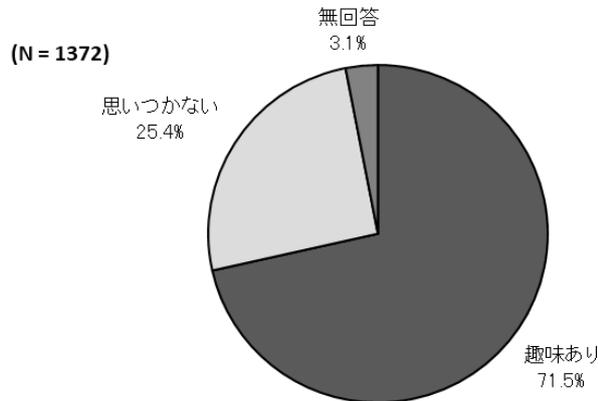
全体では、「趣味あり」が71.5%、「思いつかない」が25.4%となっている。

性別では、「趣味あり」は女性より男性の割合がやや高くなっている。

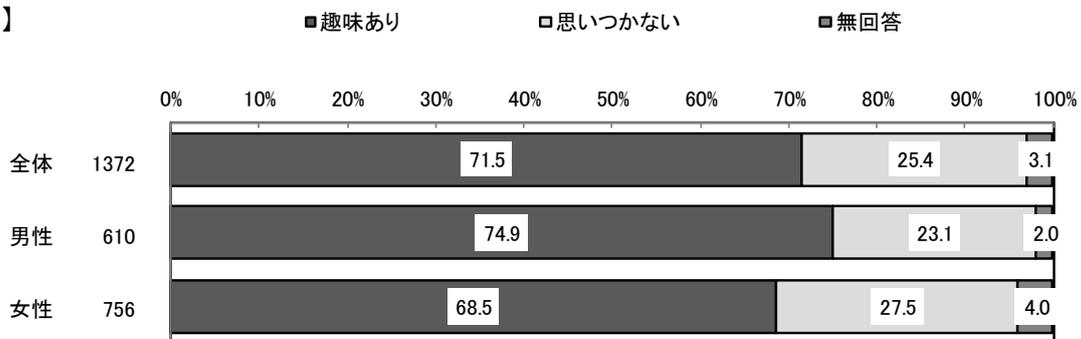
圏域では、「趣味あり」は中央圏域で最も高く、次いで東圏域、南圏域と続いている。

介護区分では、「趣味あり」は要支援認定者で5割程度にとどまっている。

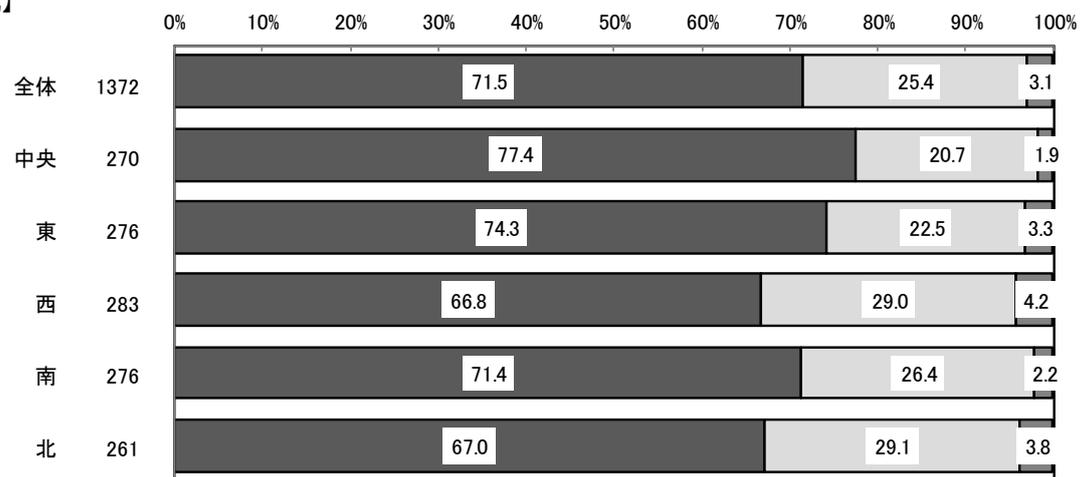
【全体】



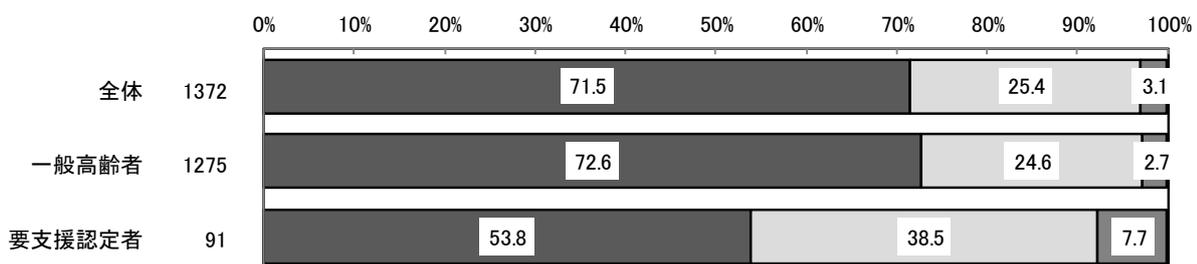
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(18) 生きがいはありますか

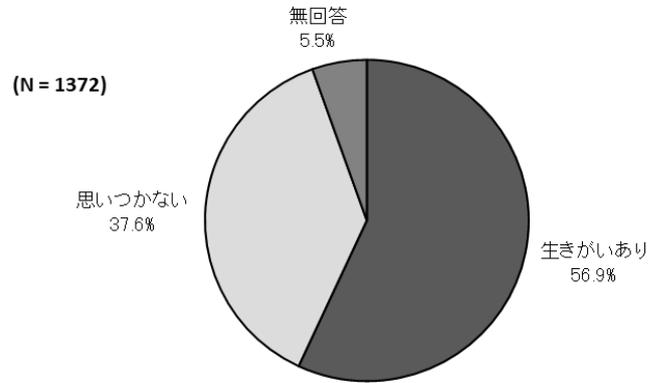
全体では、「生きがいあり」が 56.9%、「思いつかない」が 37.6%となっている。

性別では、「生きがいあり」はほとんど差が見られなかった。

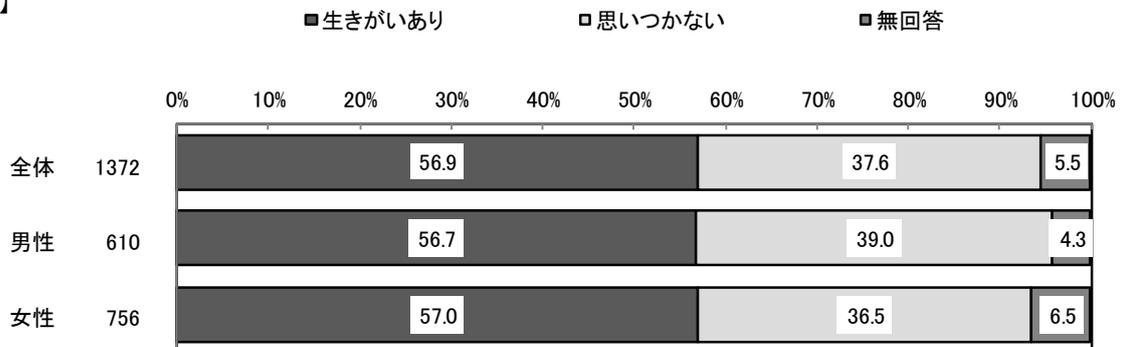
圏域では、「生きがいあり」は東圏域で最も高く、次いで南圏域、中央圏域と続いている。

介護区分では、「生きがいあり」は要支援認定者で 4 割半ばにとどまっている。

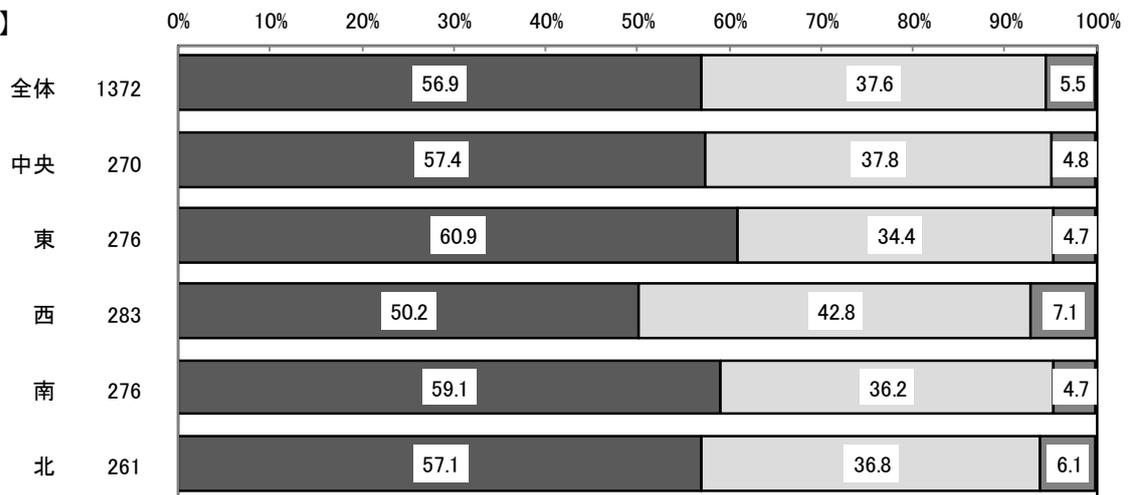
【全体】



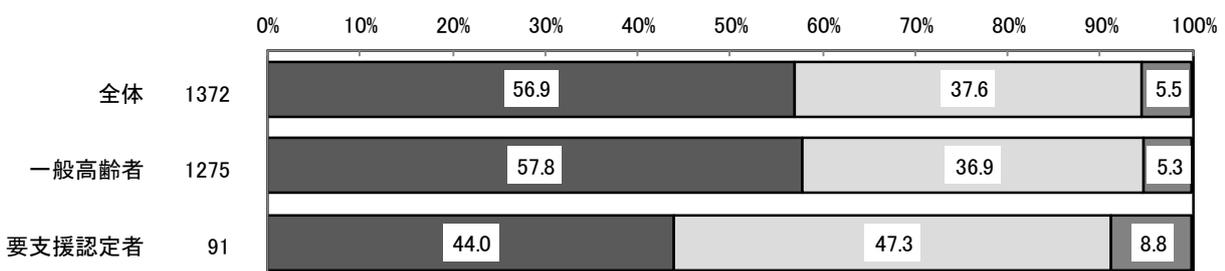
【性別】



【圏域】



【介護区分】



問5. 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※① - ⑧それぞれに回答してください

① ボランティアのグループ

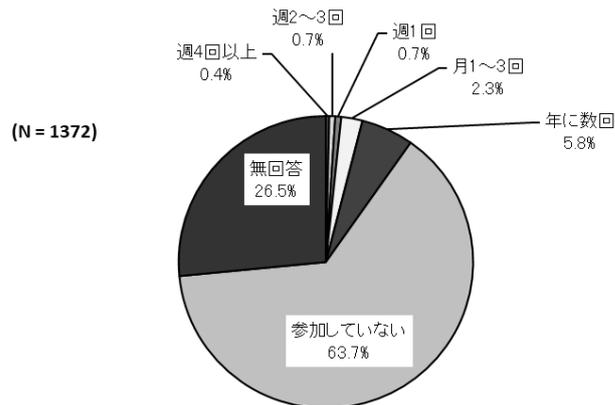
全体では、「参加していない」が63.7%と最も高く、次いで「年に数回」が5.8%、「月1~3回」が2.3%となっている。

性別では、「参加していない」は女性より男性の割合がやや高くなっている。

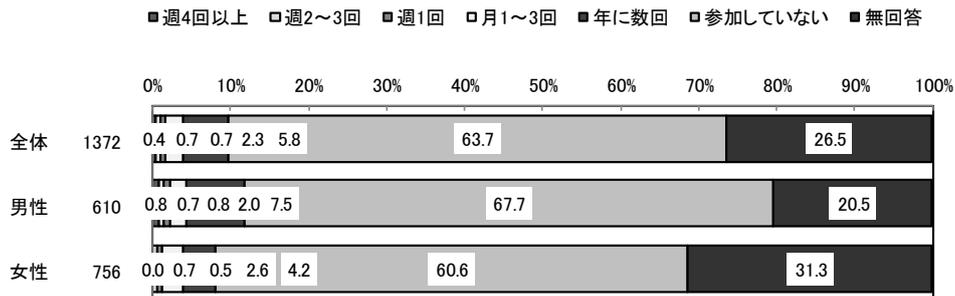
圏域では、「参加していない」は東圏域で最も高く、次いで北圏域、中央圏域と続いている。

年齢では、「参加していない」は65~69歳で高くなっている。

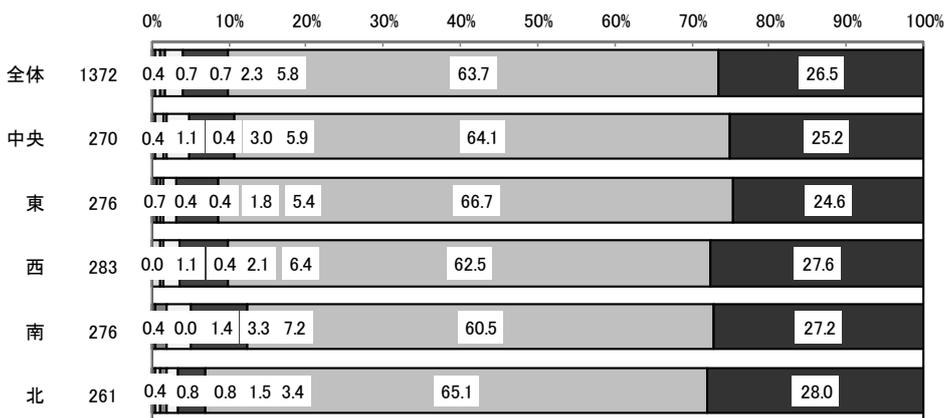
【全体】



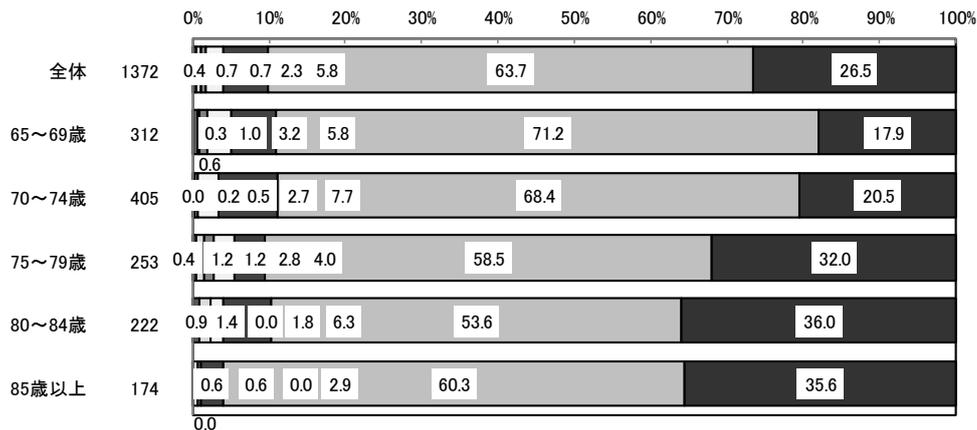
【性別】



【圏域】



【年齢】



② スポーツ関係のグループやクラブ*

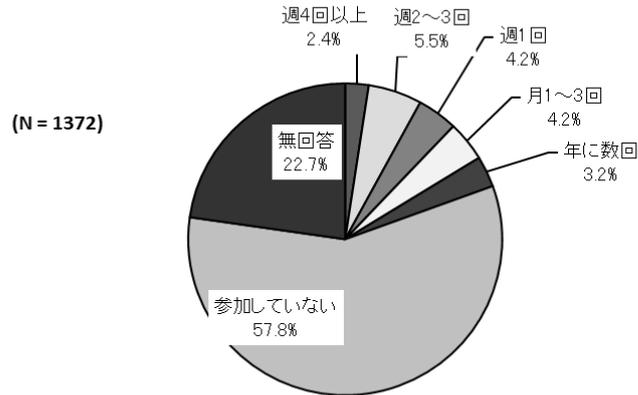
全体では、「参加していない」が 57.8%と最も高く、次いで「週 2～3 回」が 5.5%、「年に数回」が 3.2%となっている。

性別では、「参加していない」は女性より男性の割合が高くなっている。

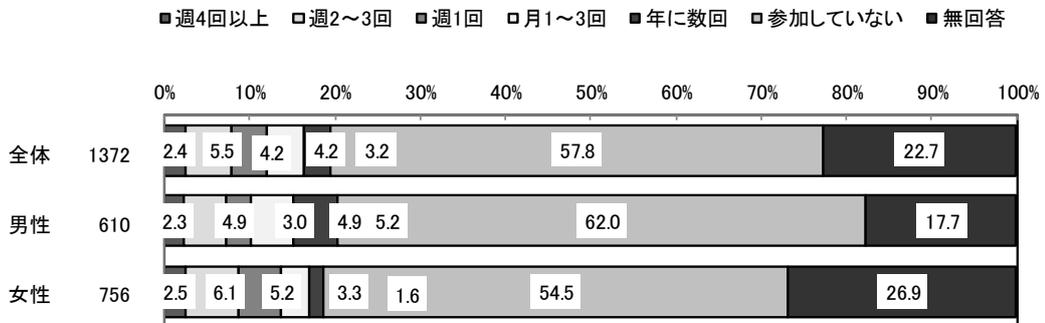
圏域では、「参加していない」は北圏域で最も高く、次いで東圏域、西圏域が同率で続いている。

年齢では、「参加していない」は 65～69 歳で高くなっている。

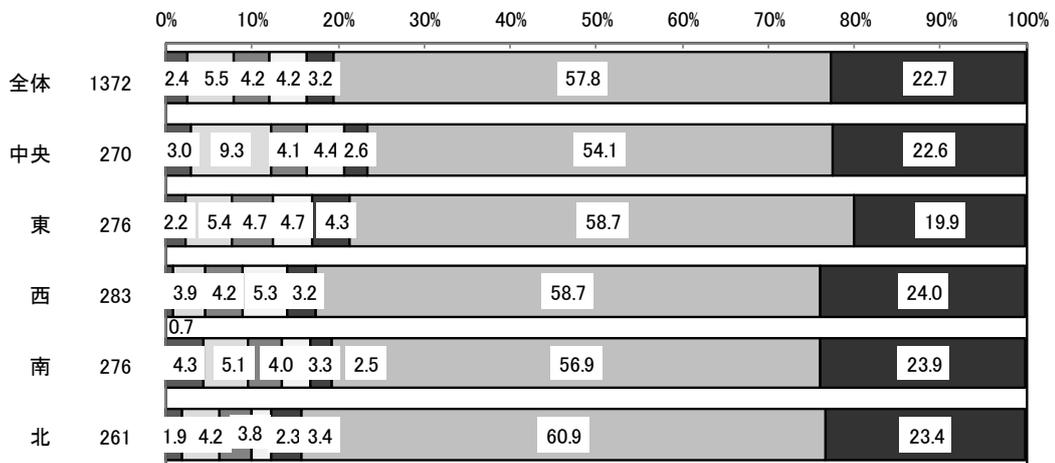
【全体】



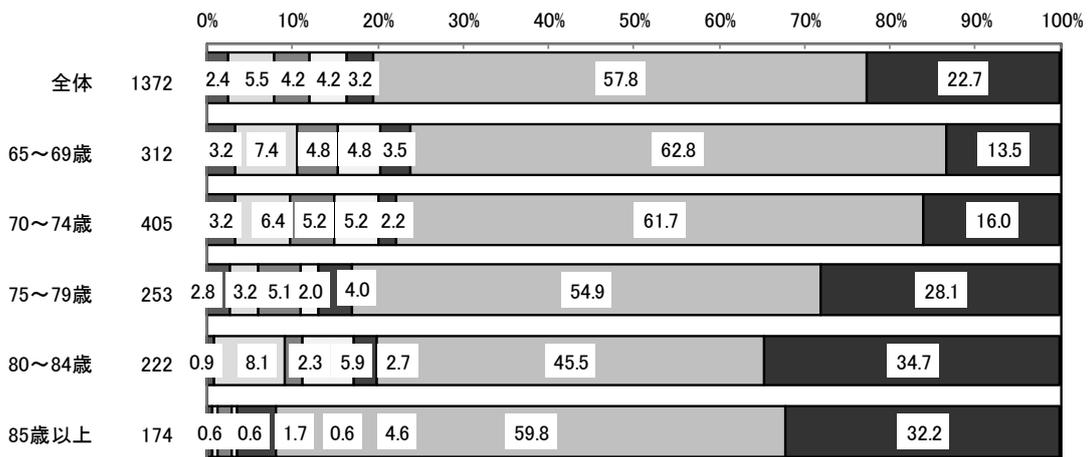
【性別】



【圏域】



【年齢】



③ 趣味関係のグループ

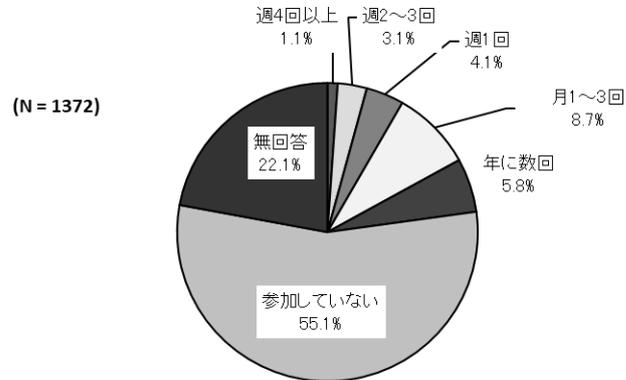
全体では、「参加していない」が 55.1%と最も高く、次いで「月 1～3 回」が 8.7%、「年に数回」が 5.8%となっている。

性別では、「参加していない」は女性より男性の割合が高くなっている。

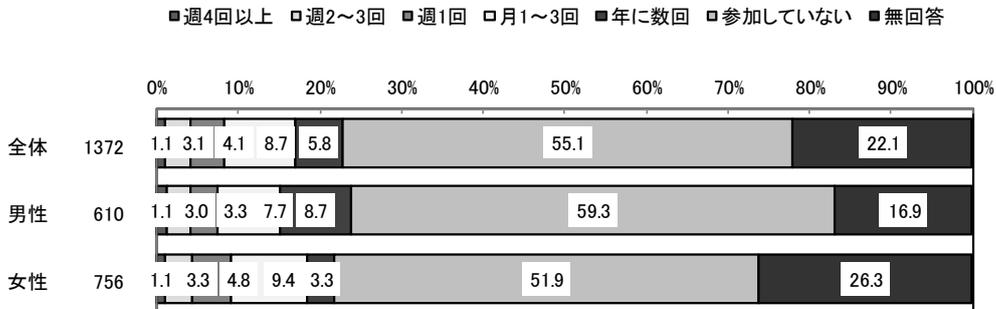
圏域では、「参加していない」は北圏域で最も高く、次いで西圏域、南圏域と続いている。

年齢では、「参加していない」は 65～69 歳で高くなっている。

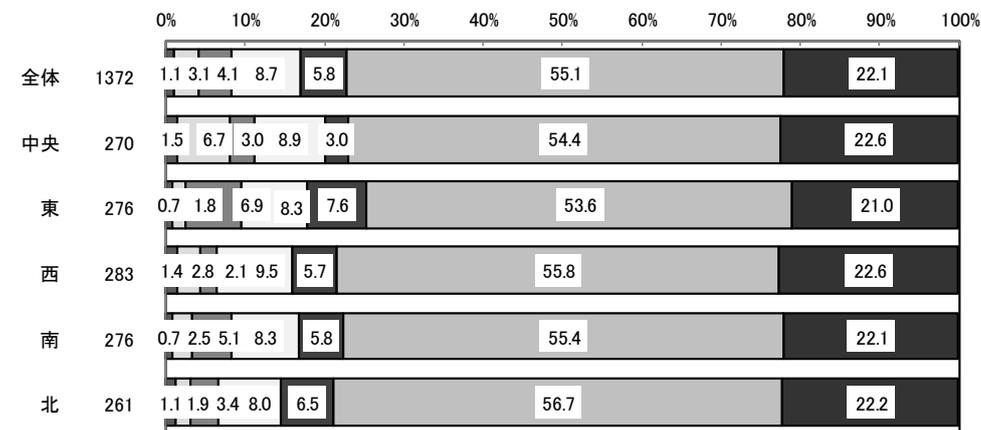
【全体】



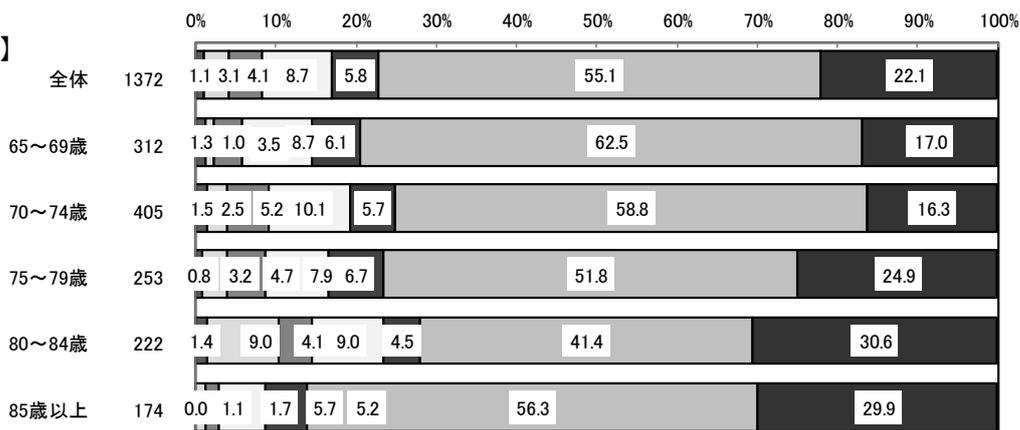
【性別】



【圏域】



【年齢】



④ 学習・教養サークル

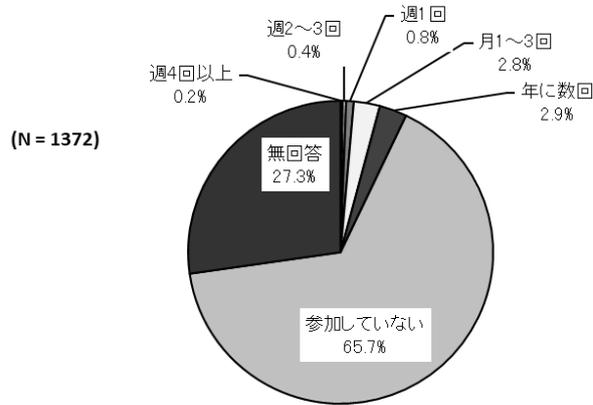
全体では、「参加していない」が 65.7%と最も高く、「年に数回」が 2.9%、「月 1～3 回」が 2.8%となっている。

性別では、「参加していない」は女性より男性の割合が高くなっている。

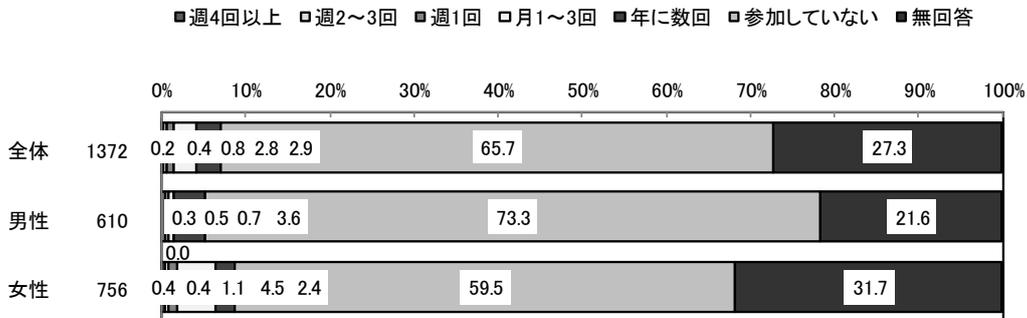
圏域では、「参加していない」は東圏域で最も高く、次いで北圏域、西圏域と続いている。

年齢では、「参加していない」は 65～69 歳で最も高くなっている。

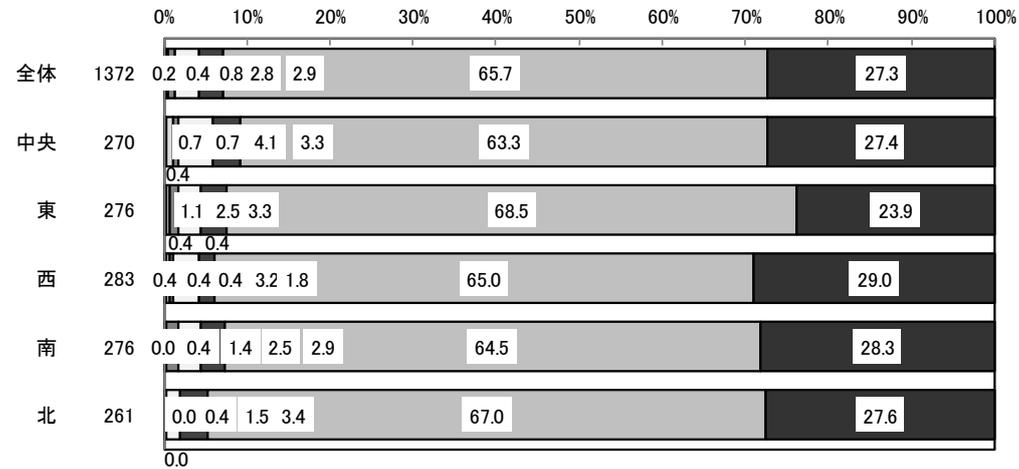
【全体】



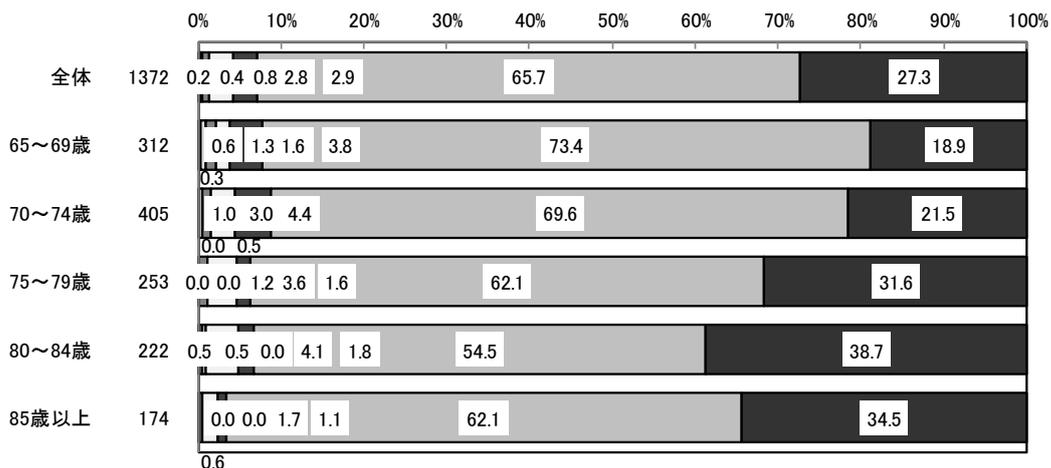
【性別】



【圏域】



【年齢】



⑤ (はつらつくらぶ、地域サロンなど)介護予防のための通いの場

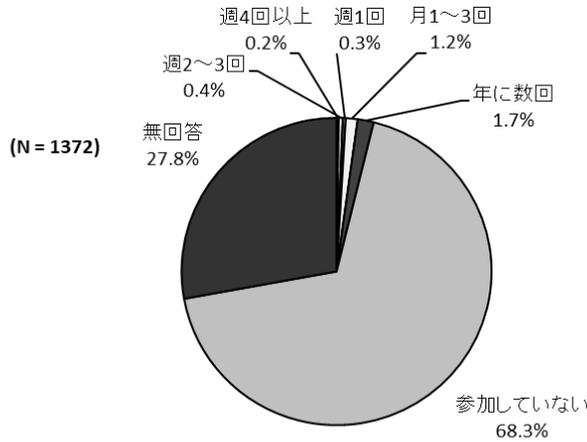
全体では、「参加していない」が 68.3%と最も高く、次いで「年に数回」が 1.7%、「月 1～3 回」が 1.2%となっている。

性別では、「参加していない」は女性より男性の割合が高くなっている。

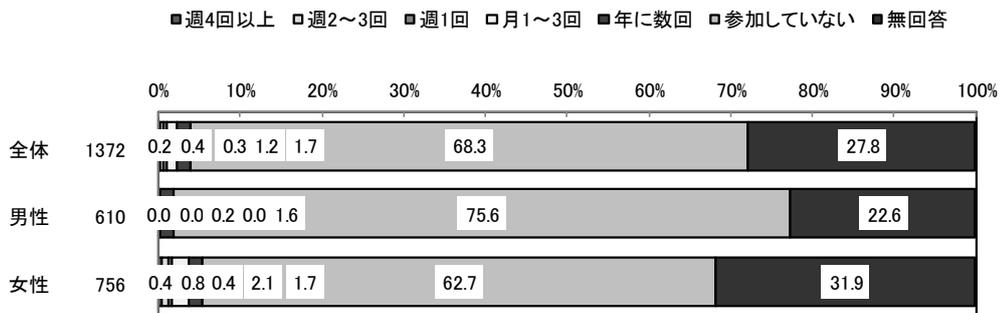
圏域では、「参加していない」は中央圏域で最も高く、次いで東圏域、北圏域と続いている。

年齢では、「参加していない」は 65～69 歳で最も高くなっている。

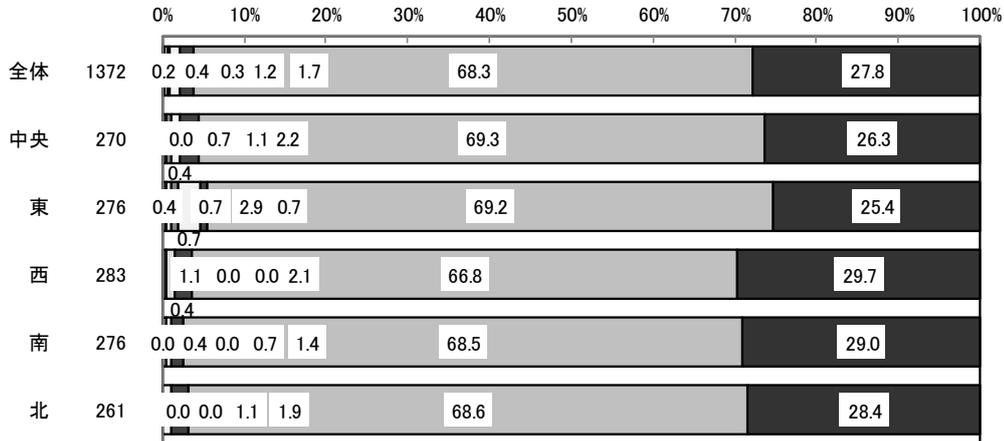
【全体】



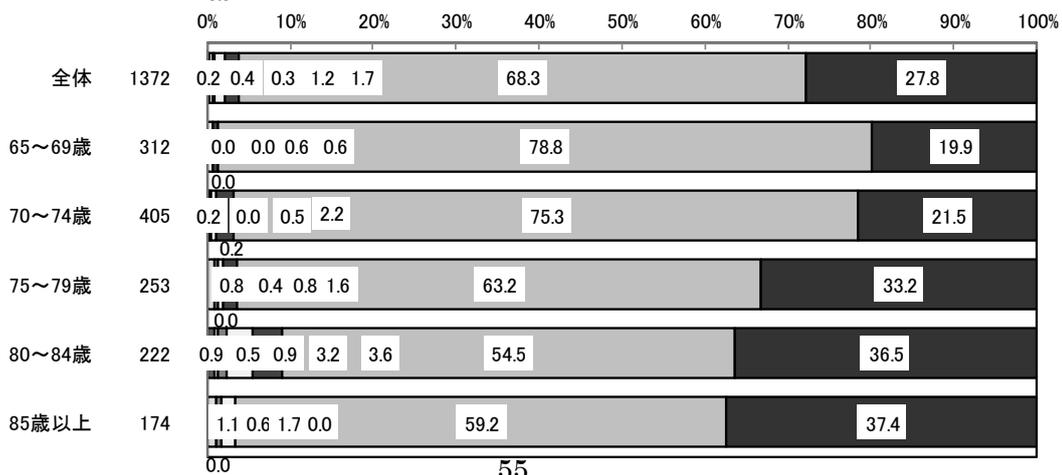
【性別】



【圏域】



【年齢】



⑥ 老人クラブ

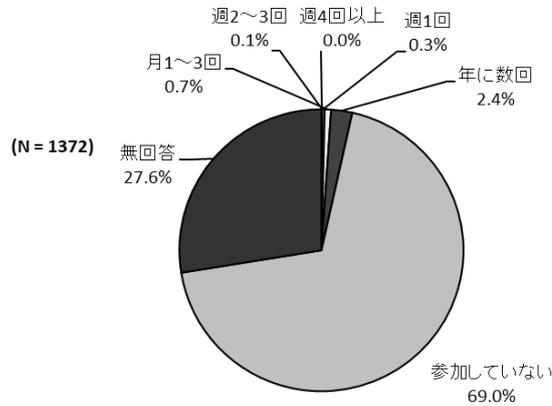
全体では、「参加していない」が 69.0%と最も高く、次いで「年に数回」が 2.4%、「月に 1~3 回」が 0.7%となっている。

性別では、「参加していない」は女性より男性の割合が高くなっている。

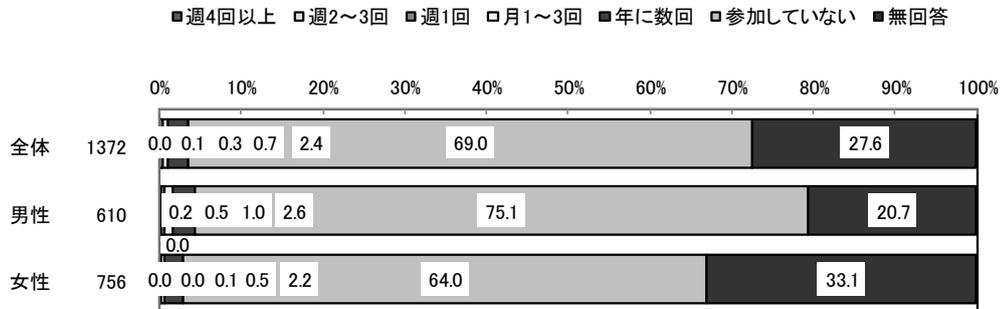
圏域では、「参加していない」は東圏域で最も高く、次いで中央圏域、西圏域と続いている。

年齢では、「参加していない」は 65~69 歳で最も高くなっている。

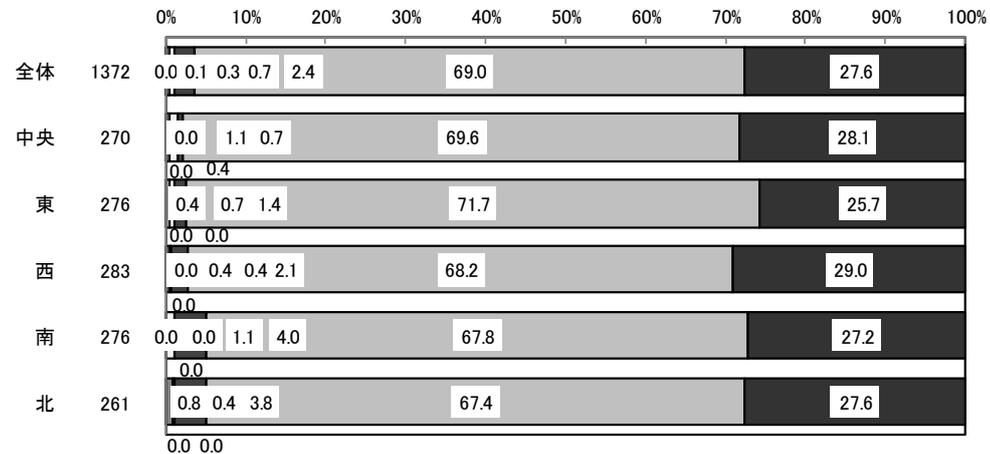
【全体】



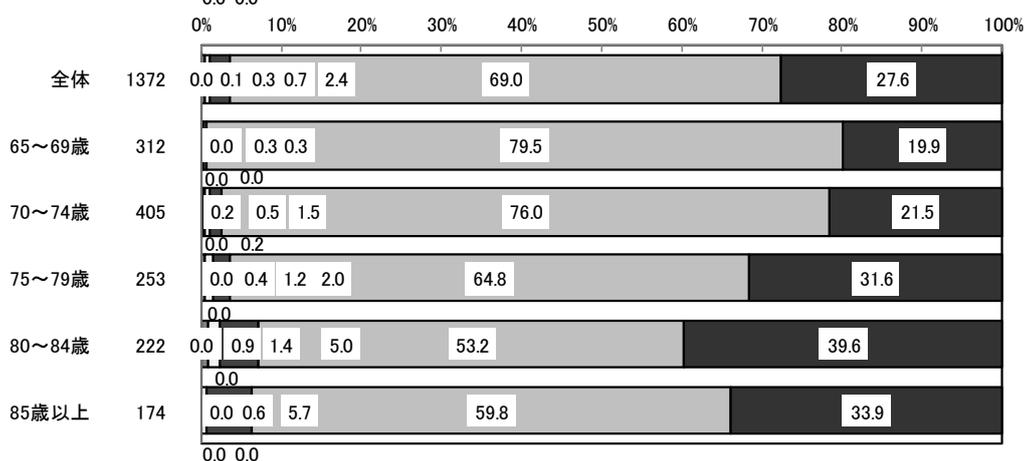
【性別】



【圏域】



【年齢】



⑦ 町内会・自治会

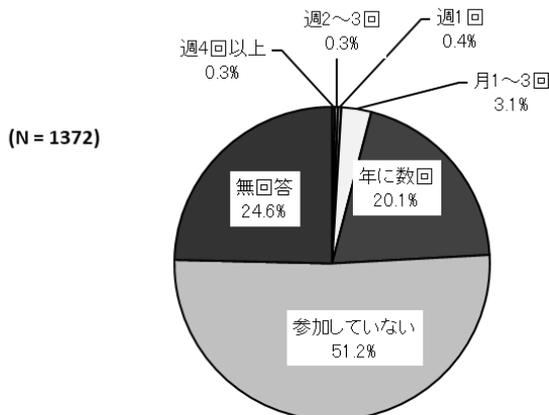
全体では、「参加していない」が 51.2%と最も高く、次いで「年に数回」が 20.1%、「月 1~3 回」が 3.1% となっている。

性別では、「参加していない」は男性より女性の割合が高くなっている。

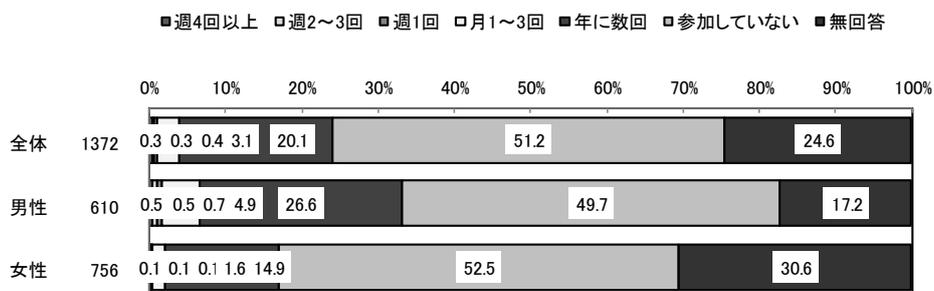
圏域では、「参加していない」は西圏域で高く、次いで中央圏域、北圏域と続いている。

年齢では、「参加していない」は 65~69 歳で最も高くなっている。

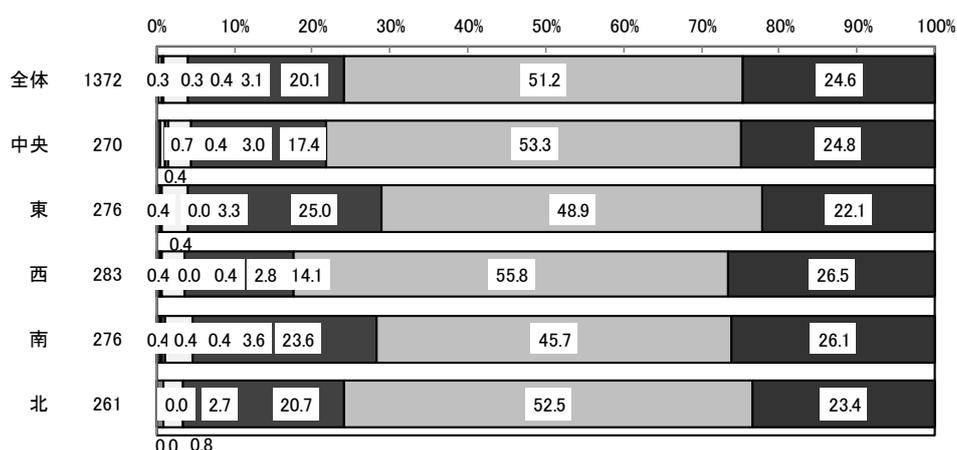
【全体】



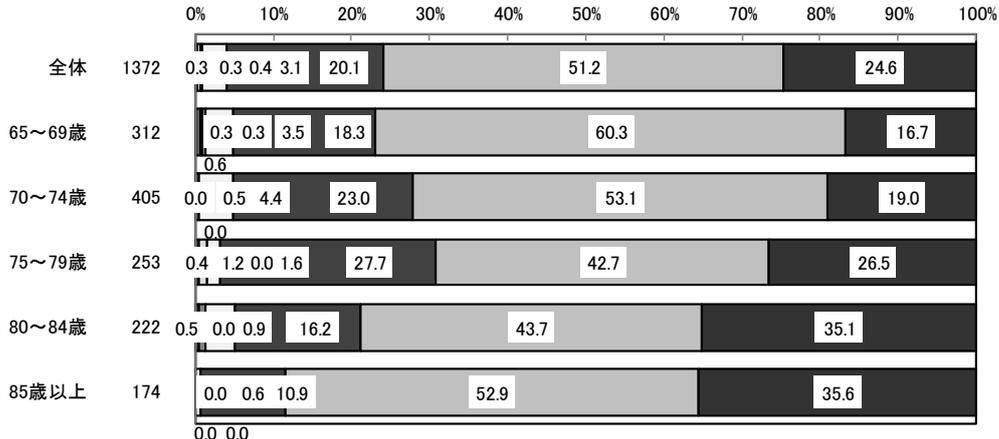
【性別】



【圏域】



【年齢】



⑧ 収入のある仕事

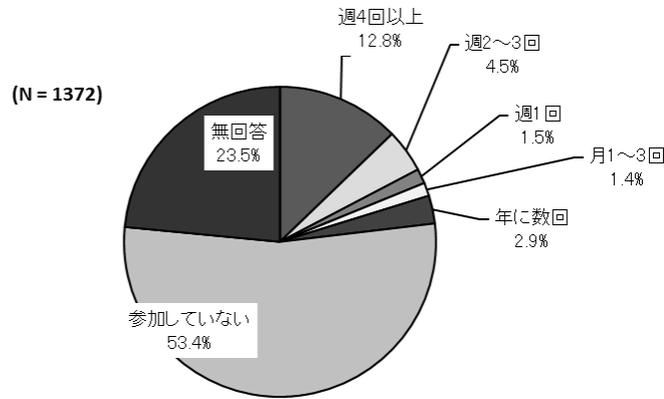
全体では、「参加していない」が 53.4%と最も高く、次いで「週 4 回以上」が 12.8%、「週 2~3 回」が 4.5%となっている。

性別では、「参加していない」は男性より女性の割合がやや高くなっている。

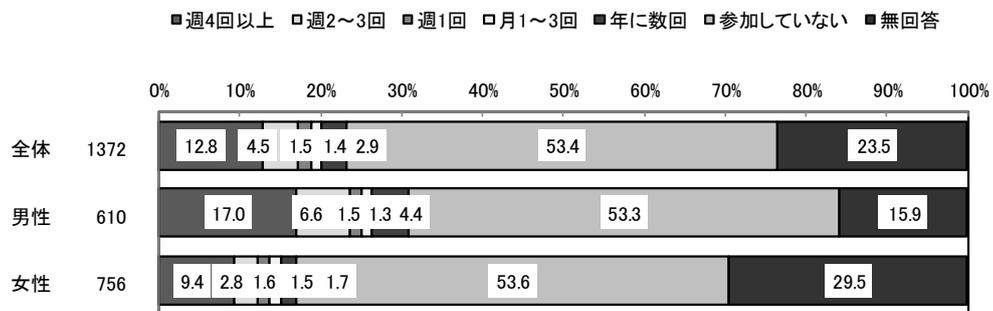
圏域では、「参加していない」は東圏域でやや高く、次いで北圏域、西圏域と続いている。

年齢では、「参加していない」は 85 歳以上で最も高くなっている。

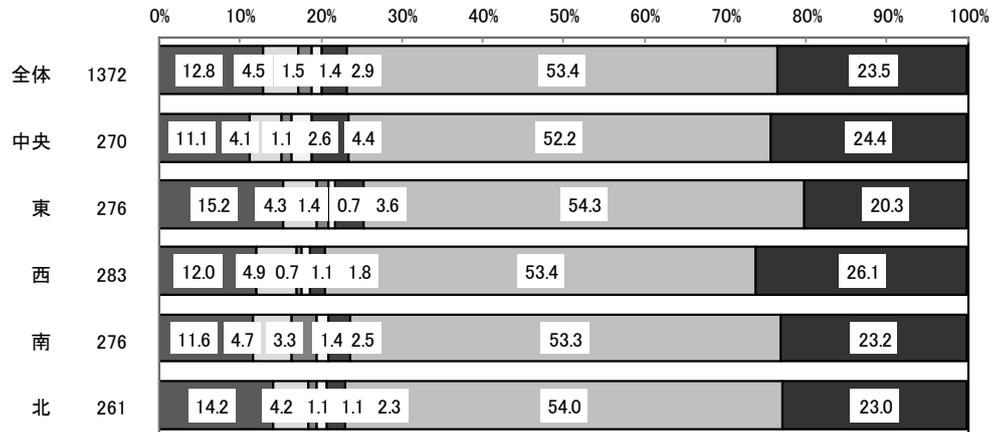
【全体】



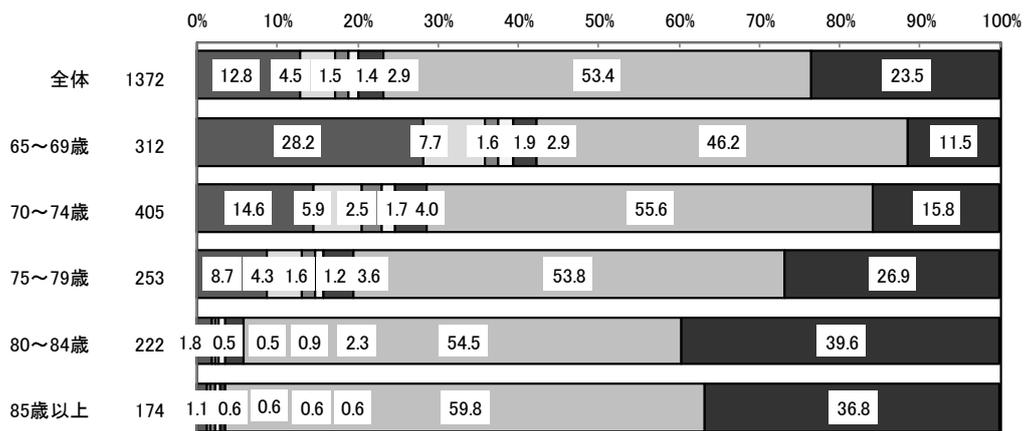
【性別】



【圏域】



【年齢】



(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

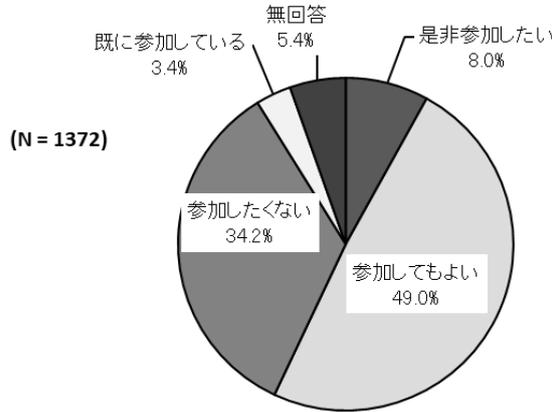
全体では、「参加してもよい」が 49.0%と最も高く、次いで「参加したくない」が 34.2%、「是非参加したい」が 8.0%となっている。

性別では、「参加してもよい」は女性より男性の割合が高くなっている。

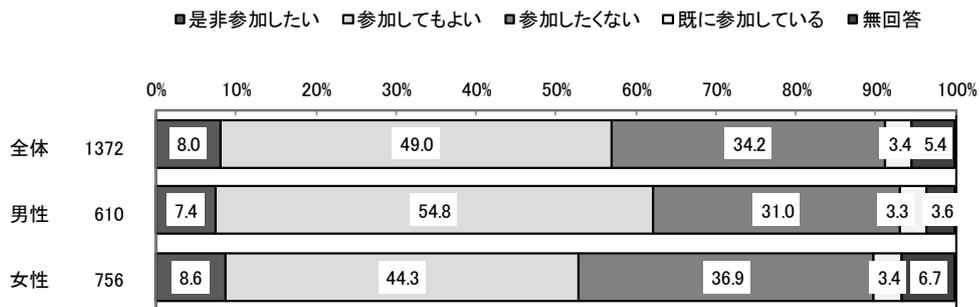
圏域では、「参加してもよい」は東圏域で最も高く、次いで中央圏域、南圏域と続いている。

年齢では、「参加してもよい」は 65～69 歳で 6 割程度と高くなっている。

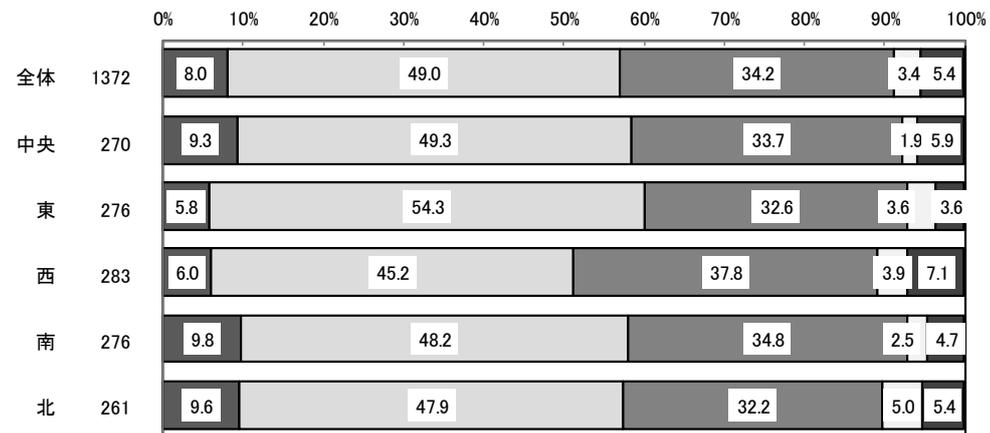
【全体】



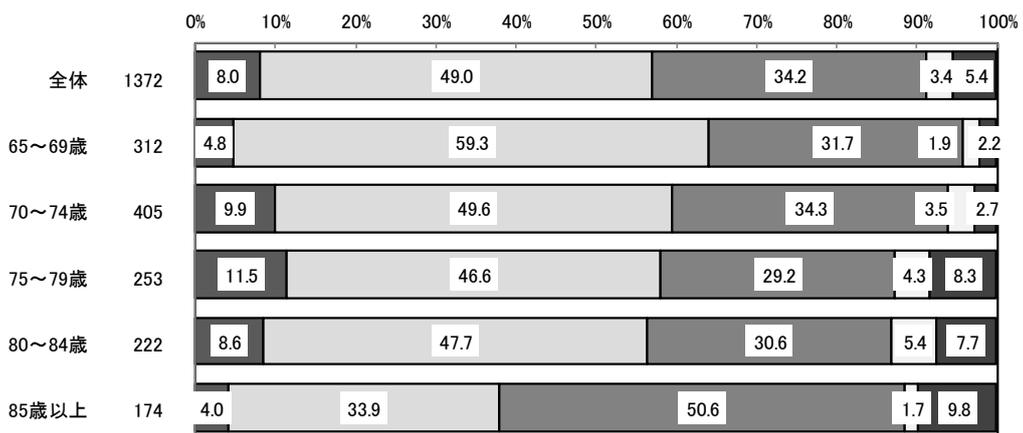
【性別】



【圏域】



【年齢】



(3) あなたが地域活動に参加するとき、支障になること（参加しないまたは参加できない理由）は何ですか

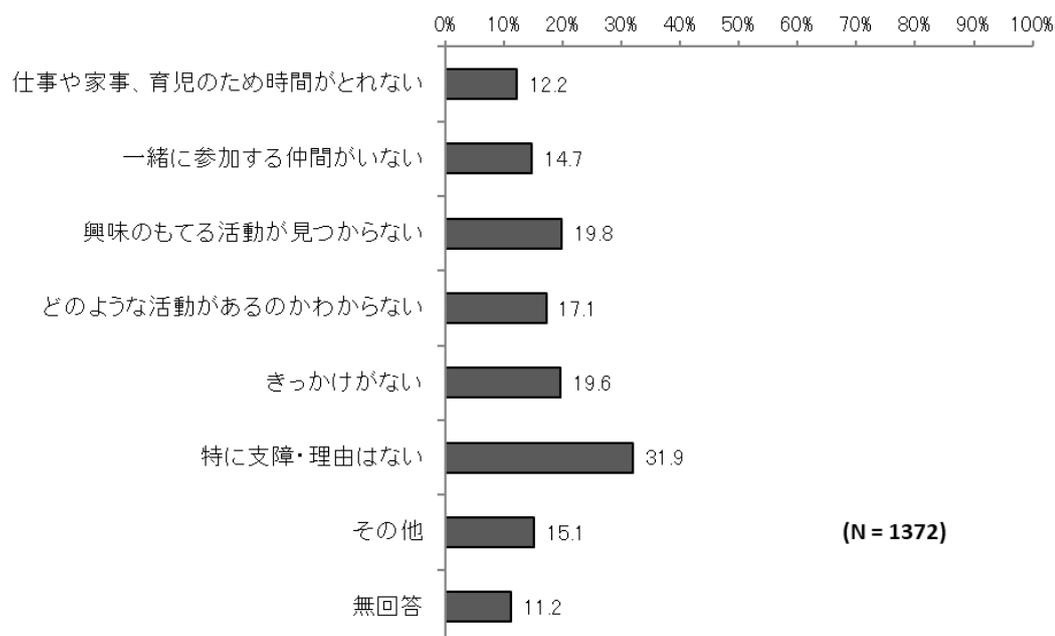
全体では、「特に支障・理由はない」が 31.9%と最も高く、次いで「興味のもてる活動が見つからない」が 19.8%、「きっかけがない」が 19.6%となっている。

性別では、「特に支障・理由はない」は女性より男性の割合が高くなっている。

圏域では、「特に支障・理由はない」は東圏域、南圏域で最も高くなっている。

年齢では、全ての年齢で「特に支障・理由はない」が最も高くなっている。

【全体】



(%)

		調査数	仕事や家事、育児のため時間がとれない	一緒に参加する仲間がいない	興味のもてる活動が見つからない	どのような活動があるのかわからない	きっかけがない	特に支障・理由はない	その他	無回答
全体		1372	12.2	14.7	19.8	17.1	19.6	31.9	15.1	11.2
性別	男性	610	12.8	14.4	20.7	17.7	20.0	35.6	10.5	9.5
	女性	756	11.8	15.1	19.2	16.5	19.2	29.1	18.8	12.3
圏別	中央	270	10.4	14.1	17.4	21.5	22.2	33.7	18.1	11.1
	東	276	10.1	17.0	19.6	15.6	17.0	34.8	11.6	11.2
	西	283	14.8	15.5	25.1	16.3	20.8	23.3	14.1	12.0
	南	276	12.0	10.9	18.8	14.1	15.9	34.8	17.8	10.5
	北	261	13.8	16.5	18.0	18.0	21.8	33.7	13.8	10.3
年齢別	65～69歳	312	24.4	14.7	22.1	24.4	21.5	29.8	13.1	6.1
	70～74歳	405	13.3	13.6	22.7	17.0	20.0	34.6	10.1	10.6
	75～79歳	253	11.1	12.6	20.2	16.2	20.6	29.2	14.2	11.5
	80～84歳	222	3.2	17.6	15.8	14.4	21.2	34.2	17.6	15.8
	85歳以上	174	1.1	17.2	13.8	8.6	11.5	31.0	28.2	14.4

(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

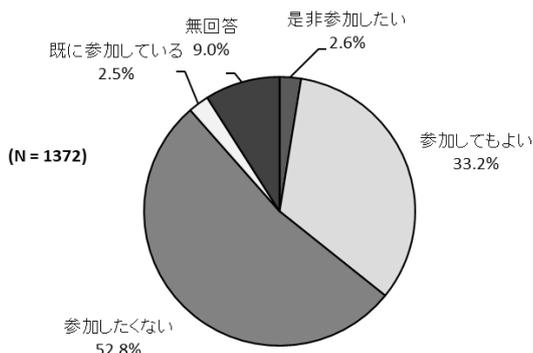
全体では、「参加したくない」が 52.8%と最も高く、次いで「参加してもよい」が 33.2%、「是非参加したい」が 2.6%となっている。

性別では、「参加したくない」は男性より女性の割合が高くなっている。

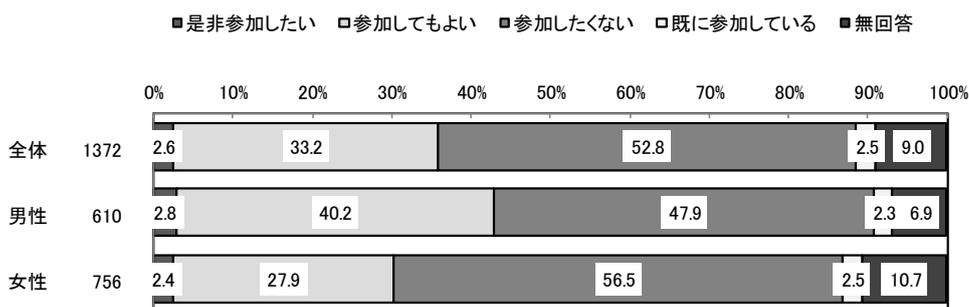
圏域では、「参加したくない」は南圏域で最も高く、次いで中央圏域、西圏域と続いている。

年齢では、『参加したい』（是非参加したい+参加してもよい）は、85歳以上で2割程度と低くなっている。

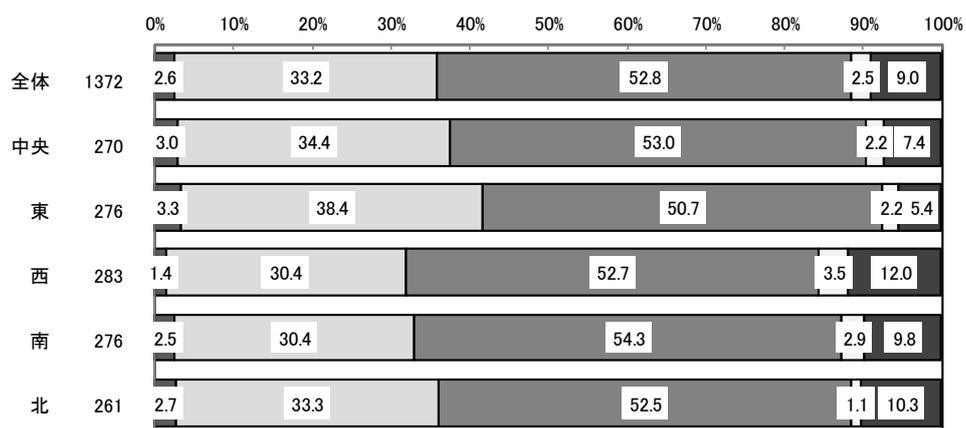
【全体】



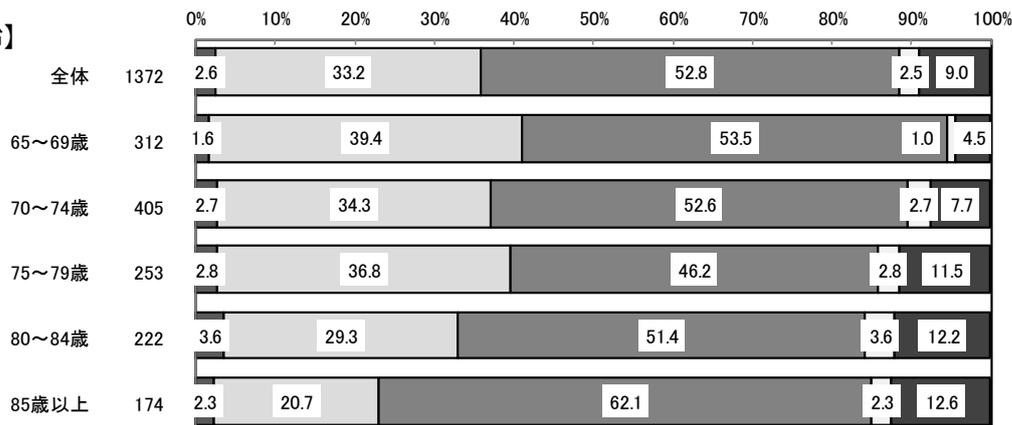
【性別】



【圏域】



【年齢】



(5) あなたは地域でどんな支援ができますか

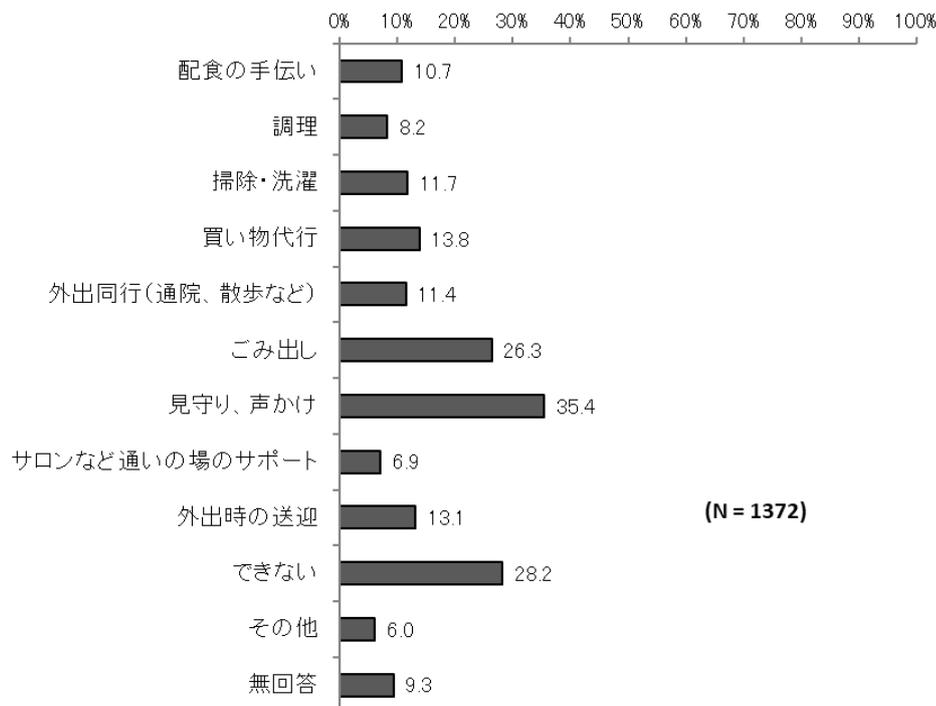
全体では、「見守り、声かけ」が 35.4%と最も高く、次いで「できない」が 28.2%、「ごみ出し」が 26.3%、となっている。

性別では、「ごみ出し」は女性より男性の割合が高くなっている。

圏域では、「ごみ出し」は西圏域で最も高く、次いで東圏域、北圏域と続いている。

年齢では、「ごみ出し」は 70～74 歳で最も高くなっている。

【全体】



(%)

		調査数	配食の手伝い	調理	掃除・洗濯	買い物代行	外出同行(通院、散歩など)	ごみ出し	見守り、声かけ	サロンなど通いの場のサポート	9時の送迎	できない	その他	無回答
全体		1372	10.7	8.2	11.7	13.8	11.4	26.3	35.4	6.9	13.1	28.2	6.0	9.3
性別	男性	610	4.1	2.5	7.2	14.4	13.3	33.0	36.2	6.4	22.1	25.1	6.4	8.4
	女性	756	16.1	13.0	15.5	13.2	9.9	20.9	34.8	7.3	6.0	30.7	5.7	10.1
圏別	中央	270	11.9	10.0	11.5	8.9	13.7	22.6	31.5	8.5	9.3	30.0	6.7	10.4
	東	276	8.7	6.9	9.4	15.6	11.6	27.9	32.2	7.6	17.4	29.7	5.4	8.0
	西	283	12.4	7.8	11.3	14.8	9.9	28.6	37.8	5.7	10.6	24.7	8.5	11.7
	南	276	10.9	10.1	13.0	15.2	9.4	25.0	38.0	6.9	14.5	27.5	5.4	9.4
	北	261	10.0	6.5	13.8	14.2	12.6	27.2	37.5	5.7	14.2	29.1	3.8	6.9
年齢別	65～69歳	312	13.8	10.6	11.2	17.3	12.8	26.9	42.6	8.7	15.4	23.7	5.1	6.1
	70～74歳	405	13.3	9.6	14.3	20.0	16.0	33.1	40.5	9.6	20.5	22.2	4.9	6.4
	75～79歳	253	11.5	9.5	13.8	12.3	9.5	29.6	36.8	4.7	12.3	21.7	9.9	12.3
	80～84歳	222	7.2	5.4	11.7	8.6	7.7	19.4	30.6	5.9	6.3	31.5	6.3	12.2
	85歳以上	174	2.9	2.9	4.0	1.7	5.7	13.2	14.9	1.7	2.3	55.2	4.0	13.8

問 6. たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

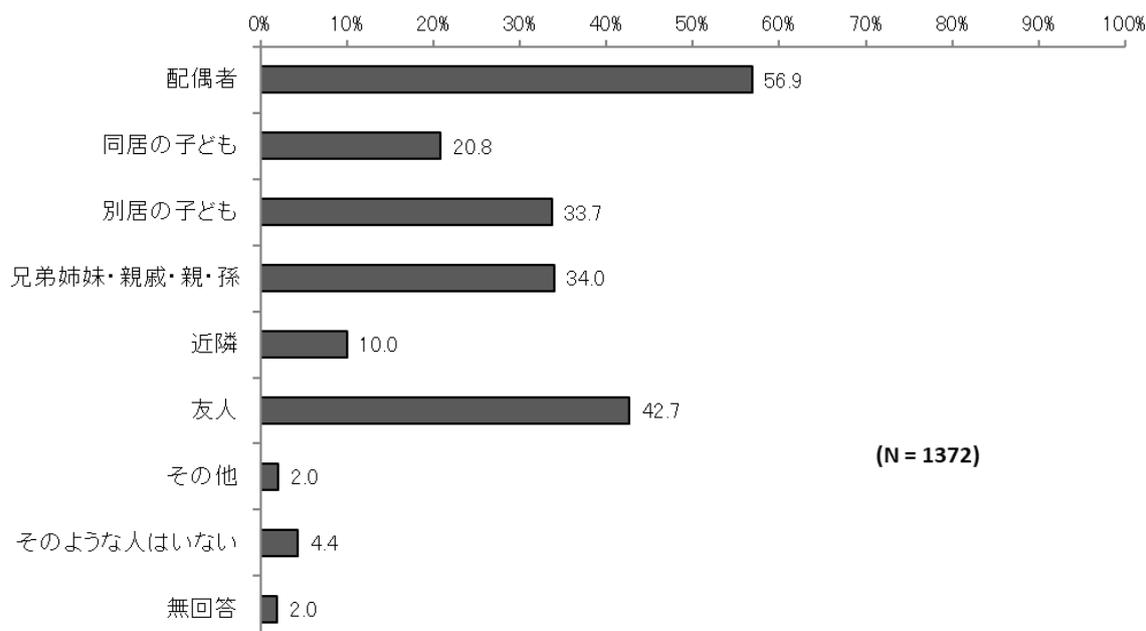
全体では、「配偶者」が 56.9%と最も高く、次いで「友人」が 42.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 34.0%となっている。

性別では、「配偶者」は女性より男性の割合がかなり高くなっている。

圏域では、「配偶者」は東圏域で最も高く、次いで北圏域、西圏域と続いている。

年齢では、「配偶者」は 65～84 歳で最も高く、85 歳以上では「別居の子ども」が最も高くなっている。

【全体】



(%)

		調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1372	56.9	20.8	33.7	34.0	10.0	42.7	2.0	4.4	2.0
性別	男性	610	73.4	16.7	25.6	22.1	3.9	26.6	1.3	5.9	2.3
	女性	756	43.8	24.3	40.3	43.4	14.8	55.6	2.5	3.2	1.7
圏別	中央	270	52.6	18.5	37.8	40.0	10.7	50.4	2.6	3.0	1.9
	東	276	60.9	21.0	31.5	30.8	9.1	42.4	0.4	5.1	1.1
	西	283	57.6	23.3	37.1	34.6	9.9	37.1	2.1	4.2	2.8
	南	276	55.8	23.2	28.6	31.2	9.4	39.1	1.1	5.1	2.2
	北	261	58.2	18.4	33.7	33.0	10.7	44.4	3.8	4.6	1.9
年齢別	65～69歳	312	64.1	19.9	33.3	34.9	8.0	47.4	3.2	3.8	1.0
	70～74歳	405	67.2	21.0	33.1	35.3	9.6	48.9	2.2	3.0	1.2
	75～79歳	253	59.7	15.4	32.4	34.0	9.5	42.3	1.2	3.6	2.8
	80～84歳	222	50.5	22.1	36.5	33.8	12.2	40.1	0.5	6.8	2.7
	85歳以上	174	25.3	29.3	34.5	28.7	12.1	23.0	2.3	6.9	3.4

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

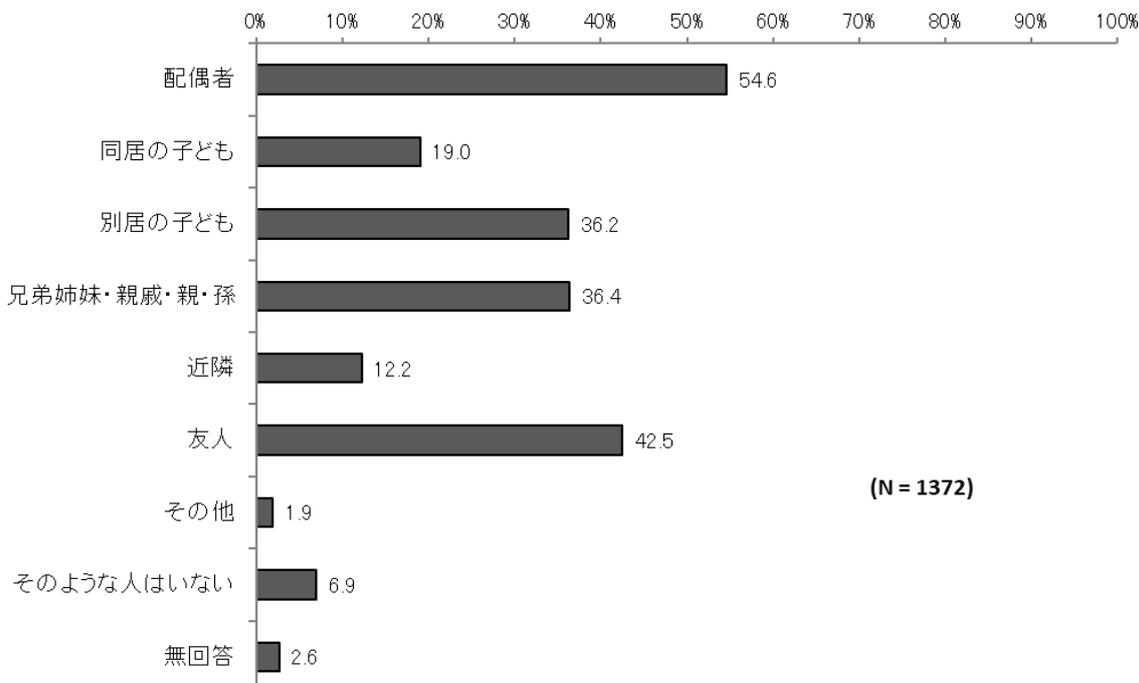
全体では、「配偶者」が 54.6%と最も高く、次いで「友人」が 42.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 36.4%となっている。

性別では、「配偶者」は女性より男性の割合がかなり高くなっている。

圏域では、「配偶者」は北圏域で最も高く、次いで南圏域、西圏域と続いている。

年齢では、「配偶者」は 65～84 歳で 5～6 割程度と高くなっている。

【全体】



(%)

		調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1372	54.6	19.0	36.2	36.4	12.2	42.5	1.9	6.9	2.6
性別	男性	610	70.8	16.4	30.3	26.9	6.6	26.6	1.3	8.4	2.6
	女性	756	41.9	21.3	41.1	44.2	16.8	55.2	2.2	5.7	2.6
圏別	中央	270	52.6	16.3	35.6	40.0	11.1	48.9	3.7	6.7	1.9
	東	276	54.0	18.8	36.2	35.1	10.9	43.5	1.4	6.2	1.4
	西	283	54.4	21.9	38.2	37.8	11.7	35.0	1.4	6.0	4.2
	南	276	55.1	22.8	35.1	35.9	13.8	40.9	1.8	7.6	3.3
	北	261	58.2	15.3	36.4	33.3	13.8	44.1	0.8	8.0	2.3
年齢別	65～69歳	312	63.8	20.5	37.8	37.8	10.3	48.7	2.2	5.1	0.6
	70～74歳	405	63.2	20.0	40.7	41.0	13.6	48.4	1.5	4.9	1.7
	75～79歳	253	56.9	14.6	37.5	36.4	12.6	40.3	1.2	4.7	3.6
	80～84歳	222	48.6	20.7	34.2	34.7	13.5	39.6	1.4	7.2	3.2
	85歳以上	174	24.1	19.0	24.1	25.9	10.3	23.6	3.4	17.2	6.3

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

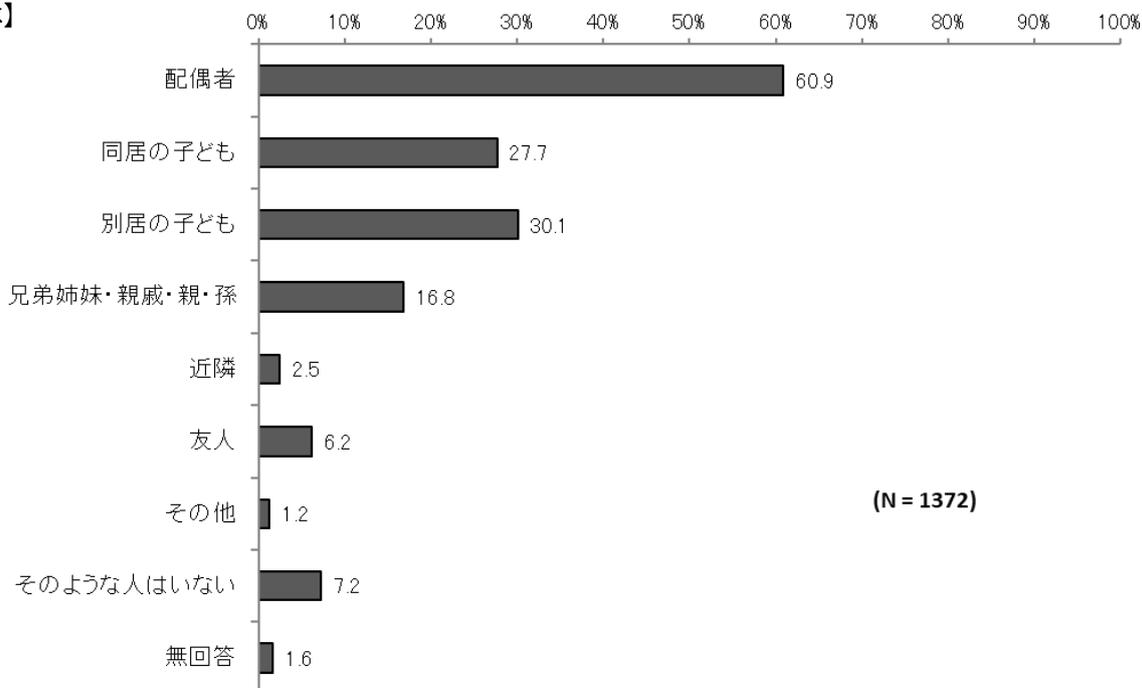
全体では、「配偶者」が 60.9%と最も高く、次いで「別居の子ども」が 30.1%、「同居の子ども」が 27.7%となっている。

性別では、「配偶者」は女性より男性の割合がかなり高くなっている。

圏域では、「配偶者」は東圏域で最も高く、次いで南圏域、北圏域と続いている。

年齢では、「配偶者」は 65～79 歳で 6～7 割程度と高くなっている。

【全体】



(%)

		調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1372	60.9	27.7	30.1	16.8	2.5	6.2	1.2	7.2	1.6
性別	男性	610	77.7	23.6	24.4	10.8	1.3	2.3	1.0	5.2	1.1
	女性	756	47.5	31.2	34.8	21.4	3.4	9.1	1.5	8.7	2.0
圏別	中央	270	56.3	22.2	31.5	17.8	1.9	10.0	0.7	10.0	1.1
	東	276	64.9	30.8	27.9	16.7	4.0	5.4	1.1	5.4	0.4
	西	283	60.1	29.0	28.3	14.1	1.8	4.6	1.8	8.1	3.2
	南	276	62.7	32.6	33.0	19.2	2.2	4.0	0.7	4.7	2.2
年齢別	北	261	60.9	24.1	30.3	15.7	2.7	6.5	1.9	7.7	1.1
	65～69歳	312	71.8	26.9	21.2	17.3	1.9	6.4	1.3	6.7	0.3
	70～74歳	405	69.4	24.7	28.6	16.5	2.5	6.9	1.2	6.4	1.5
	75～79歳	253	65.2	20.6	30.4	18.6	2.4	5.9	1.6	7.1	1.2
	80～84歳	222	52.7	31.5	39.6	14.4	4.1	6.3	0.5	8.6	1.8
	85歳以上	174	26.4	42.5	37.4	16.1	1.7	3.4	1.7	8.0	4.6

(4) 反対に、看病や世話をしあげる人

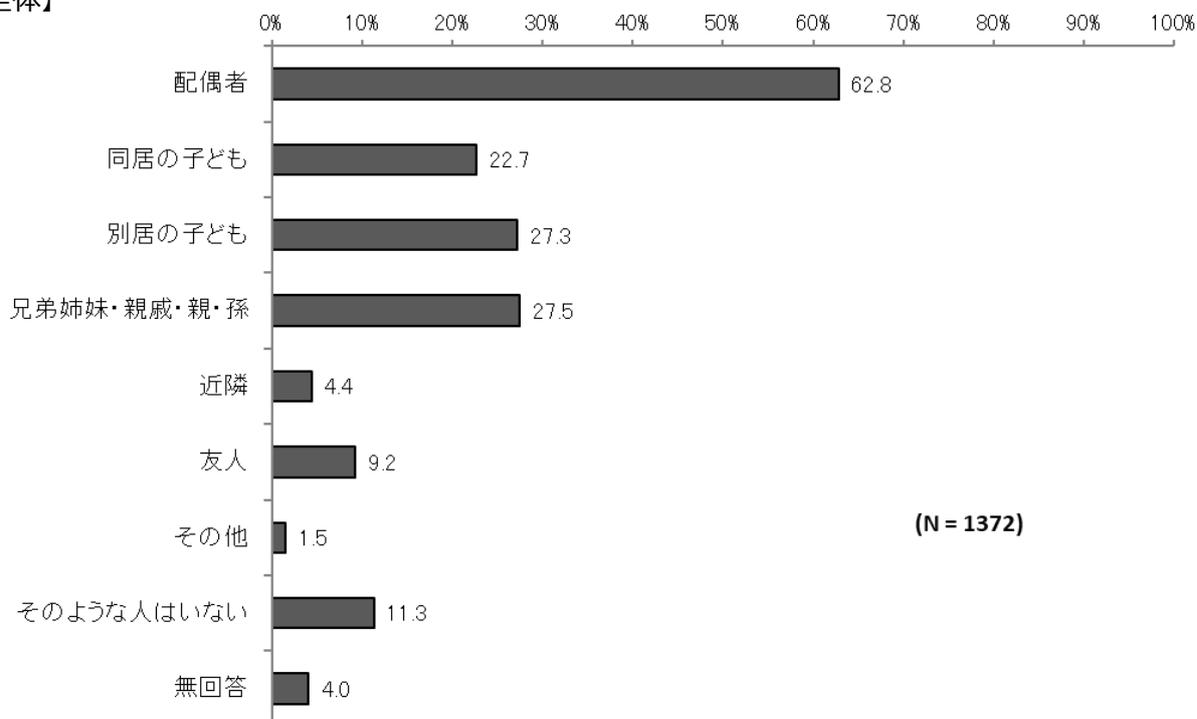
全体では、「配偶者」が62.8%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が27.5%、「別居の子ども」が27.3%となっている。

性別では、「配偶者」は女性より男性の割合がかなり高くなっている。

圏域では、「配偶者」は東圏域で最も高く、次いで西圏域、北圏域が続いている。

年齢では、「配偶者」は65～79歳で6～7割程度と高くなっている。

【全体】



(%)

		調査数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1372	62.8	22.7	27.3	27.5	4.4	9.2	1.5	11.3	4.0
性別	男性	610	75.9	19.2	21.5	21.0	2.6	4.6	1.5	10.0	2.3
	女性	756	52.5	25.7	31.9	32.5	5.8	12.7	1.5	12.3	5.4
圏別	中央	270	60.4	18.5	28.5	29.6	4.1	13.3	3.0	9.6	3.3
	東	276	64.1	23.2	27.2	28.3	5.1	9.4	0.4	10.5	3.3
	西	283	64.0	26.1	24.0	26.5	4.2	6.0	1.4	11.0	5.7
	南	276	62.3	26.1	28.6	27.9	4.7	7.2	1.1	12.7	4.7
	北	261	64.0	19.5	28.0	24.5	3.8	9.6	1.5	12.6	3.1
年齢別	65～69歳	312	71.8	26.6	26.9	34.0	2.6	9.3	1.3	7.1	1.0
	70～74歳	405	73.1	23.5	32.8	32.8	5.7	12.6	0.7	6.2	2.5
	75～79歳	253	66.4	16.6	25.3	25.7	4.3	7.9	0.8	9.5	3.2
	80～84歳	222	55.4	27.0	28.4	21.6	5.9	9.9	1.4	14.4	6.8
	85歳以上	174	28.2	17.8	16.1	12.6	2.9	1.1	4.6	29.3	10.9

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください

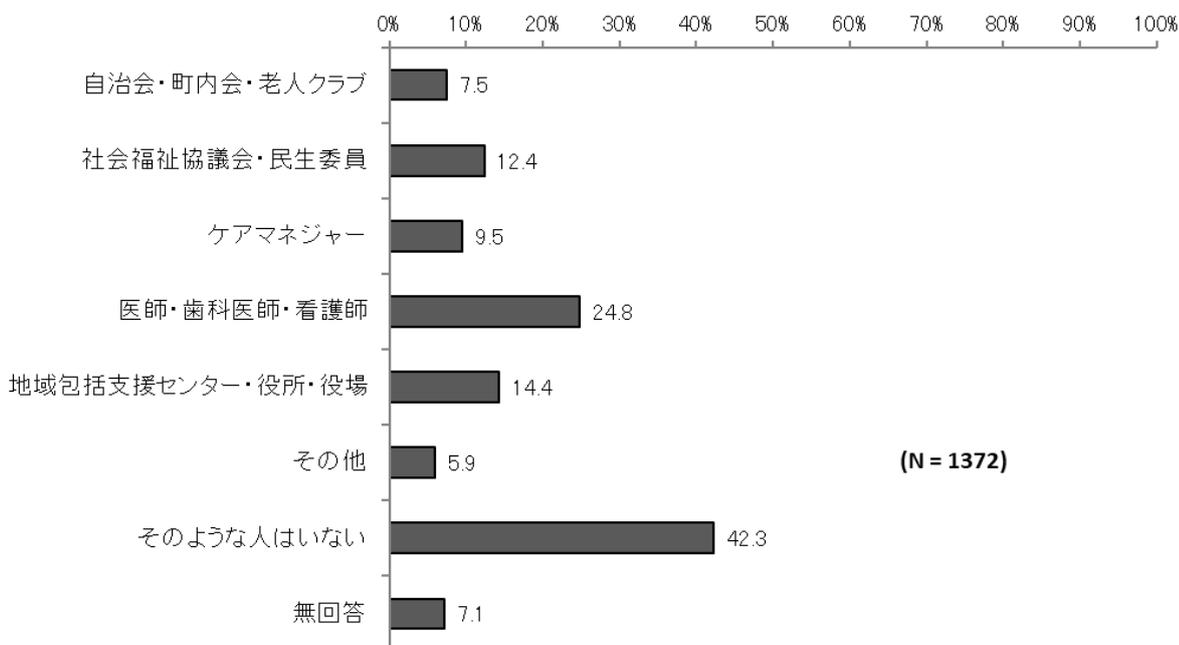
全体では、「そのような人はいない」が 42.3%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 24.8%、「地域包括支援センター・役所・役場」が 14.4%となっている。

性別では、「そのような人はいない」は女性より男性の割合が高くなっている。

圏域では、「そのような人はいない」は東圏域で最も高く、次いで北圏域、西圏域と続いている。

年齢では、「そのような人はいない」は 65～79 歳で 4 割以上と高くなっている。

【全体】



(%)

		調査数	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1372	7.5	12.4	9.5	24.8	14.4	5.9	42.3	7.1
性別	男性	610	10.8	11.3	7.2	25.1	12.1	5.9	44.6	5.7
	女性	756	4.8	13.4	11.5	24.6	16.0	6.0	40.2	8.3
圏別	中央	270	6.3	11.9	10.0	29.3	14.4	5.9	40.4	6.7
	東	276	8.3	11.6	9.4	24.3	13.0	6.2	43.5	6.5
	西	283	7.1	12.4	12.0	24.0	15.5	5.3	42.8	8.5
	南	276	8.7	15.2	10.1	22.5	15.2	6.9	40.9	7.6
	北	261	6.9	11.1	6.1	24.1	13.0	5.4	43.3	6.5
年齢別	65～69歳	312	4.8	6.7	7.4	24.0	13.5	8.3	51.3	4.5
	70～74歳	405	8.4	10.6	7.4	25.2	14.6	4.7	46.9	6.2
	75～79歳	253	7.5	11.9	7.1	24.5	11.1	4.3	42.3	9.9
	80～84歳	222	10.4	21.6	11.3	25.2	17.1	7.2	28.4	7.2
	85歳以上	174	6.3	16.1	20.1	25.3	16.1	5.2	32.2	10.3

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

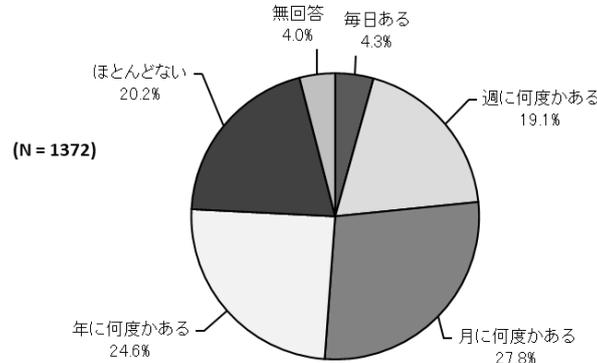
全体では、「月に何度かある」が 27.8%と最も高く、次いで「年に何度かある」が 24.6%、「ほとんどない」が 20.2%となっている。

性別では、「月に何度かある」は男性より女性の割合が高くなっている。

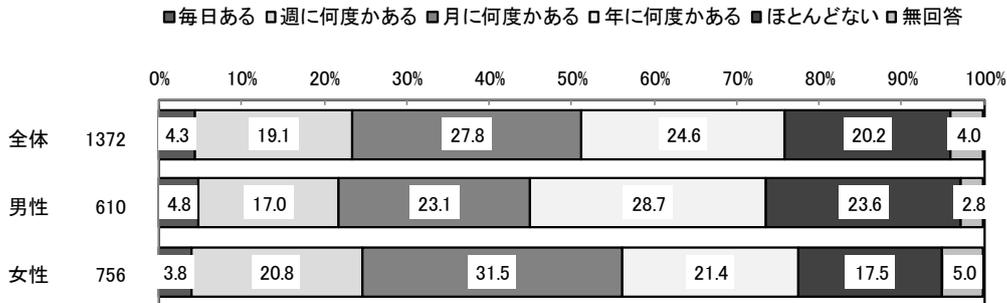
圏域では、「月に何度かある」は西圏域で最も高く、次いで中央圏域、東圏域と続いている。

年齢では、「ほとんどない」は 85 歳以上で 3 割程度と高くなっている。

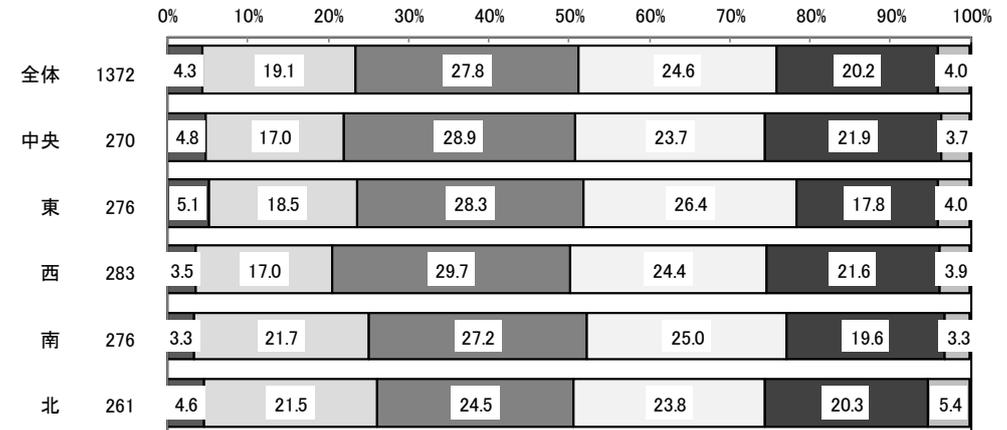
【全体】



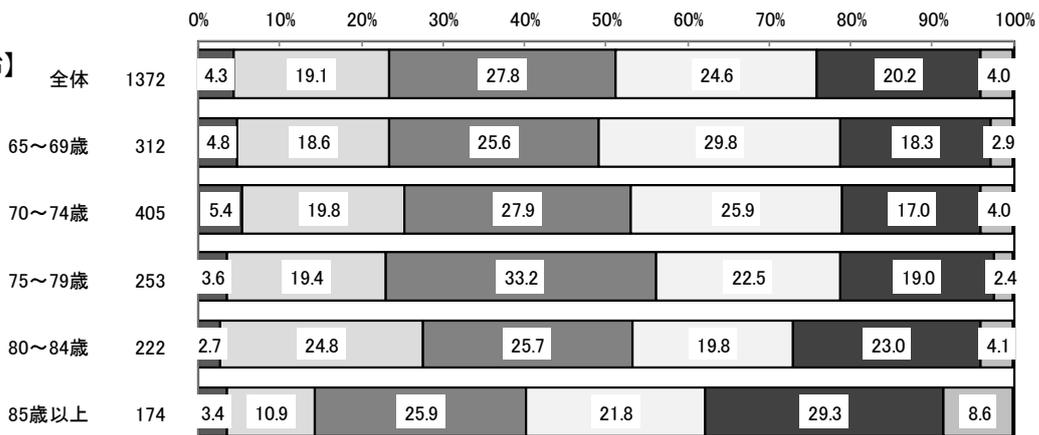
【性別】



【圏域】



【年齢】



(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか

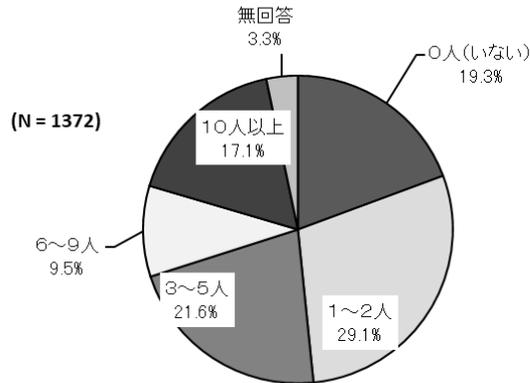
全体では、「1～2人」が29.1%と最も高く、次いで「3～5人」が21.6%、「0人（いない）」が19.3%となっている。

性別では、「1～2人」は男性より女性の割合がやや高くなっている。

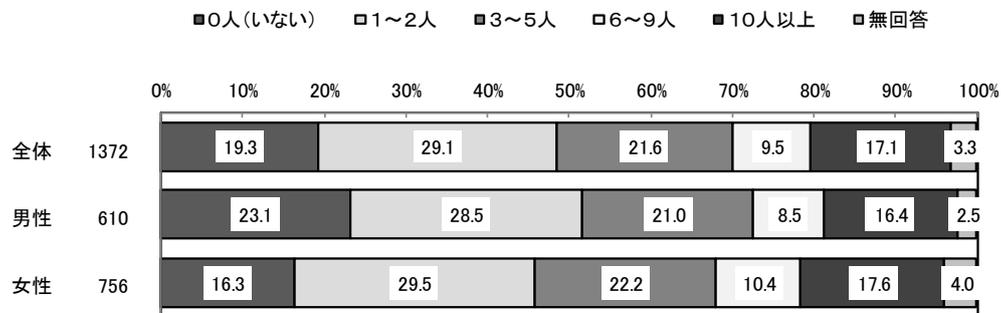
圏域では、「1～2人」は西圏域で最も高く、次いで東圏域、中央圏域と続いている。

年齢では、「0人（いない）」は85歳以上で2割半ばと高くなっている。

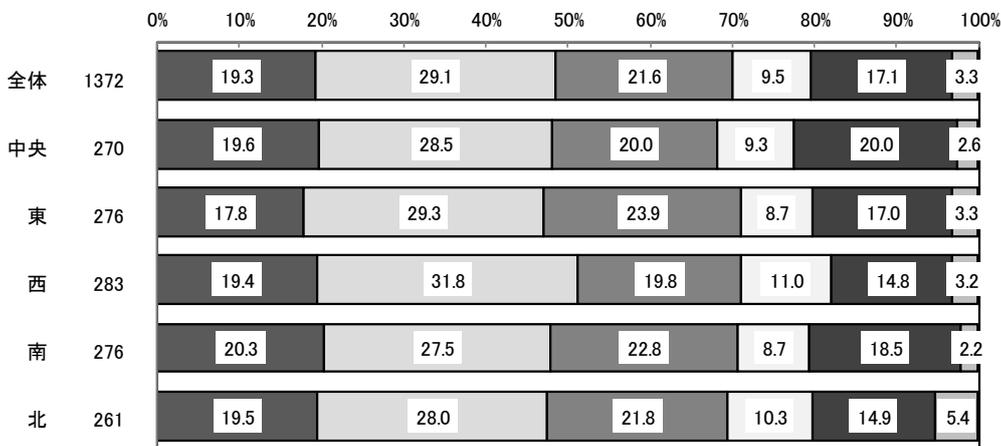
【全体】



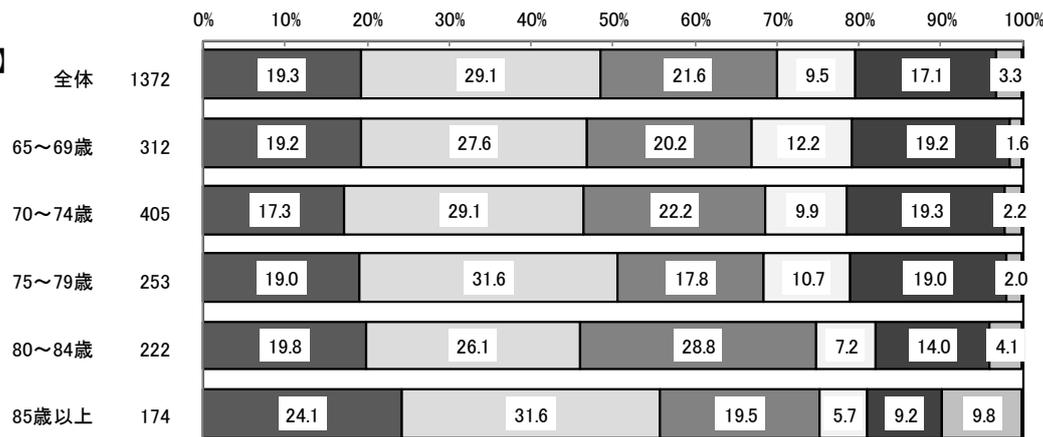
【性別】



【圏域】



【年齢】



(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか

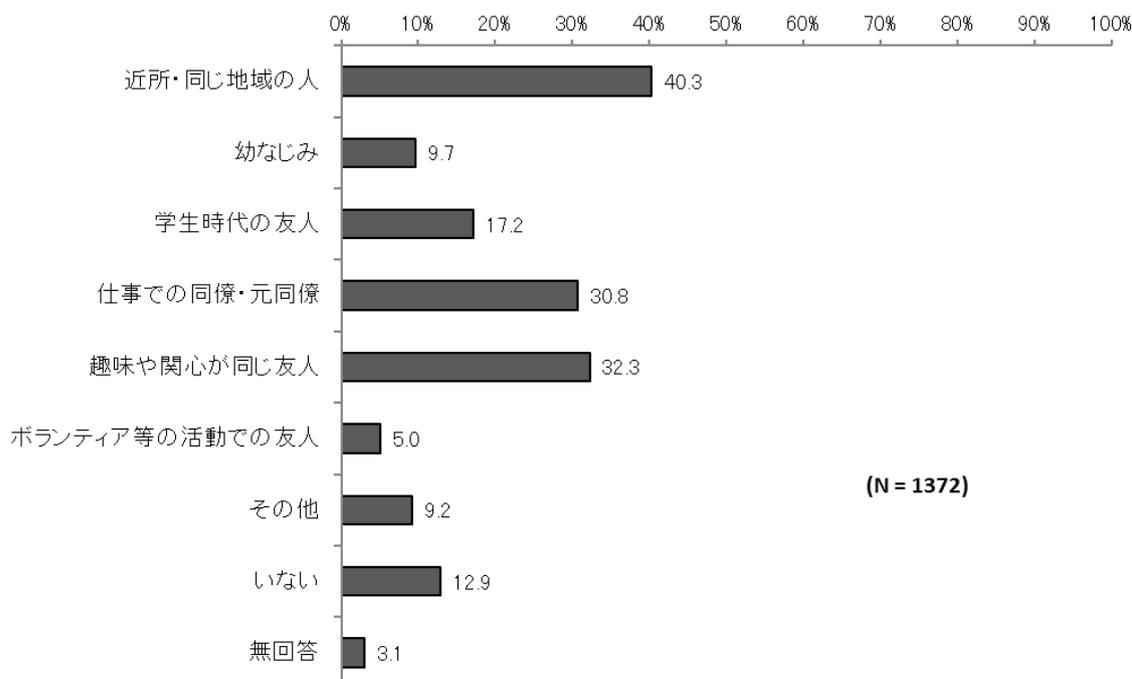
全体では、「近所・同じ地域の人」が 40.3%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 32.3%、「仕事での同僚・元同僚」が 30.8%となっている。

性別では、「近所・同じ地域の人」は男性より女性の割合が高くなっている。

圏域では、「近所・同じ地域の人」は南圏域で最も高く、次いで西圏域、北圏域と続いている。

年齢では、年齢が若いほど「仕事での同僚・元同僚」の割合が高くなっている。

【全体】



(%)

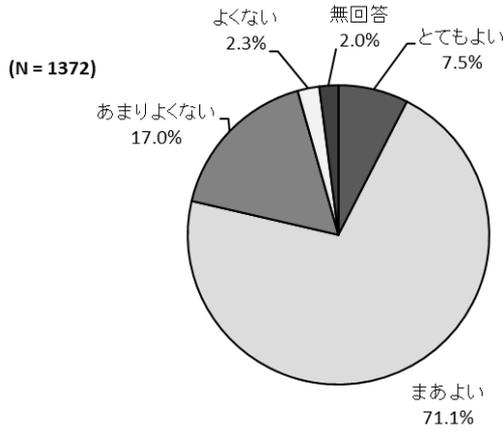
		調査数	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体		1372	40.3	9.7	17.2	30.8	32.3	5.0	9.2	12.9	3.1
性別	男性	610	32.0	10.2	15.9	35.7	31.0	4.1	7.2	15.7	3.1
	女性	756	47.1	9.3	18.1	26.6	33.5	5.8	10.7	10.6	3.0
圏別	中央	270	34.8	8.5	20.7	26.7	36.7	5.9	10.7	14.8	2.6
	東	276	37.3	11.6	17.8	33.0	34.8	4.7	9.1	9.8	3.3
	西	283	43.5	11.0	18.7	31.1	30.0	4.2	8.5	13.1	2.5
	南	276	45.7	8.0	14.1	33.7	30.1	6.2	8.7	12.3	2.2
	北	261	40.2	9.2	14.2	28.7	30.3	4.2	8.8	14.6	5.0
年齢別	65～69歳	312	32.7	11.2	20.5	45.8	31.4	5.1	8.0	12.8	1.3
	70～74歳	405	36.3	9.9	19.0	36.3	35.8	6.2	9.4	11.4	3.0
	75～79歳	253	43.9	10.3	20.6	25.3	32.0	4.3	7.5	12.3	2.0
	80～84歳	222	51.4	11.3	12.6	20.3	36.0	6.8	9.0	11.3	4.1
	85歳以上	174	44.3	3.4	7.5	11.5	21.8	1.1	13.2	19.5	6.9

問7. 健康について

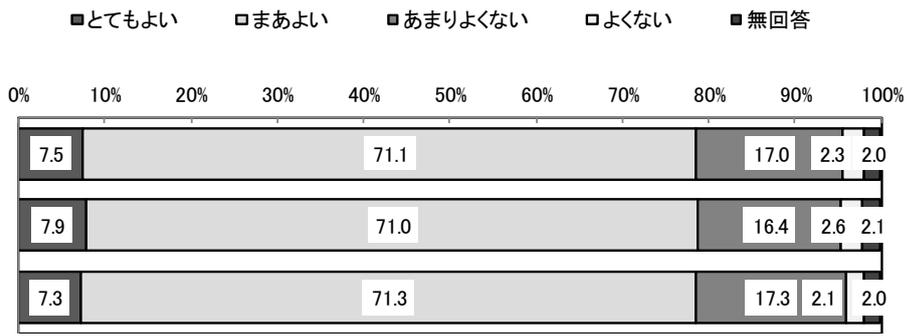
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

全体では、「まあよい」が71.1%と最も高く、次いで「あまりよくない」が17.0%、「とてもよい」が7.5%となっている。
 性別では、ほとんど差が見られなかった。
 圏域では、「とてもよい」は東圏域で低くなっている。
 介護区分では、『よい』（とてもよい+まあよい）は要支援認定者で5割程度にとどまっている。

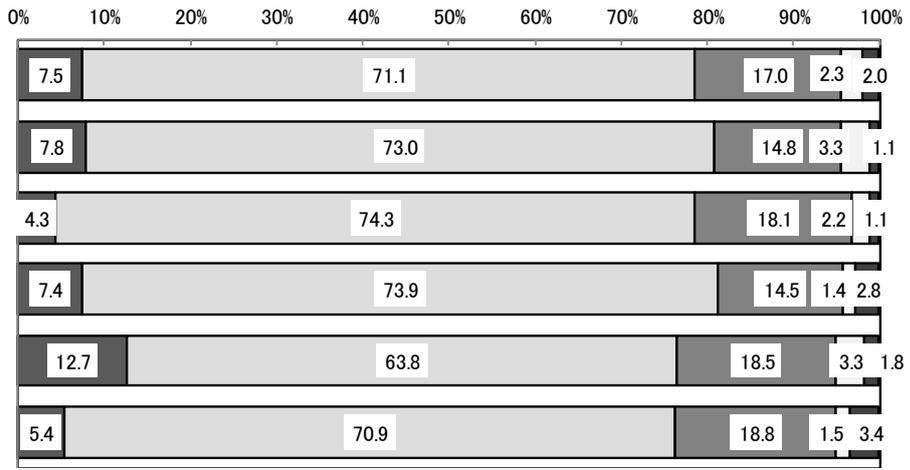
【全体】



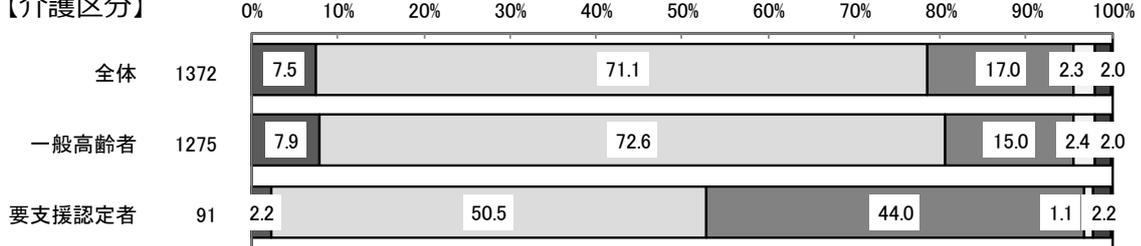
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

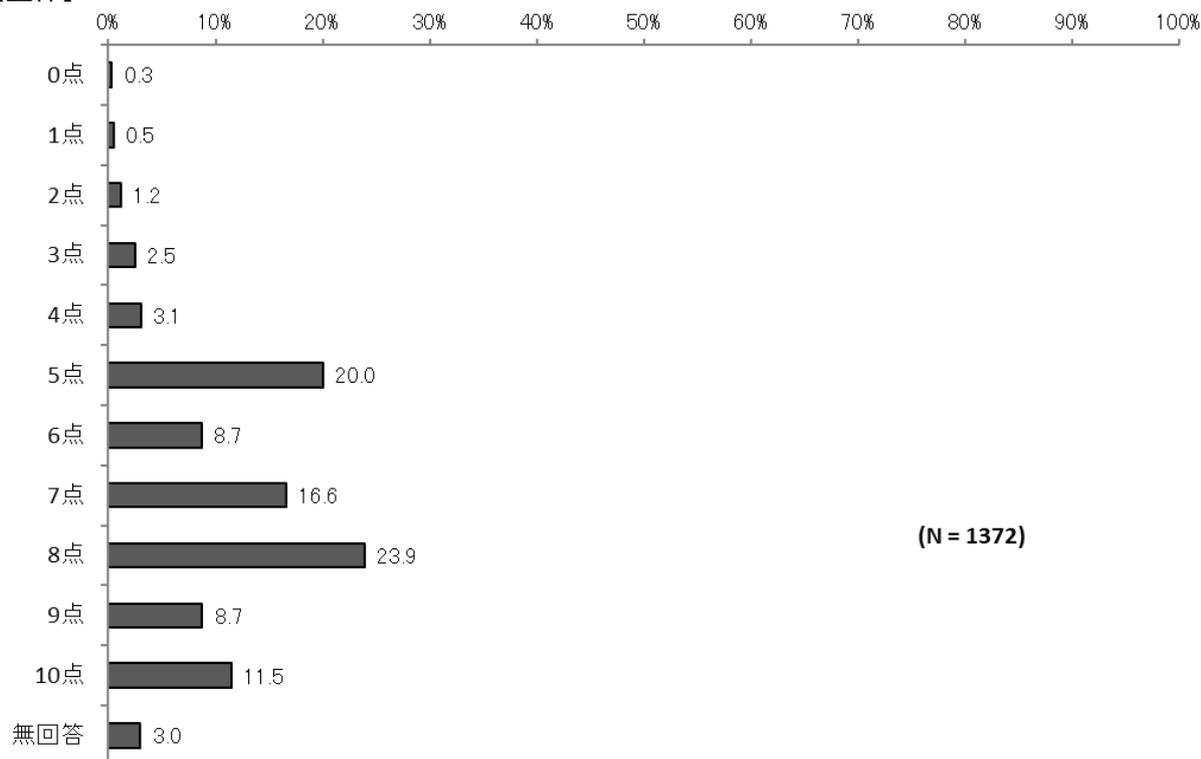
全体では、「8点」が23.9%と最も高く、次いで「5点」が20.0%、「7点」が16.6%となっている。

性別では、「5点」は女性より男性の割合がやや高くなっている。

圏域では、「5点」は中央圏域、北圏域が最も高くなっている。

介護区分では、要支援認定者では一般高齢者より点数が低い傾向にある。

【全体】



(%)

		調査数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体		1372	0.3	0.5	1.2	2.5	3.1	20.0	8.7	16.6	23.9	8.7	11.5	3.0
性別	男性	610	0.5	0.3	1.5	2.1	3.9	20.8	10.7	17.9	20.7	8.7	10.8	2.1
	女性	756	0.1	0.7	0.8	2.8	2.4	19.3	7.0	15.6	26.7	8.7	12.2	3.7
圏別	中央	270	0.4	0.0	0.0	3.0	4.1	21.5	7.0	12.6	27.0	12.6	9.6	2.2
	東	276	0.7	0.7	1.8	2.2	2.9	15.6	8.3	21.4	21.7	8.7	13.4	2.5
	西	283	0.0	0.7	1.1	1.8	3.2	20.1	9.9	18.7	23.0	8.1	10.2	3.2
	南	276	0.4	0.4	1.1	2.2	2.5	21.4	9.8	13.8	25.4	6.2	14.9	2.2
	北	261	0.0	0.8	1.5	3.4	2.7	21.5	8.0	16.5	23.0	8.0	9.6	5.0
年齢別	一般高齢者	1275	0.3	0.5	1.2	2.3	3.0	19.6	8.5	16.7	24.1	9.2	11.8	2.8
	要支援認定者	91	0.0	1.1	0.0	5.5	4.4	25.3	9.9	15.4	23.1	2.2	7.7	5.5

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

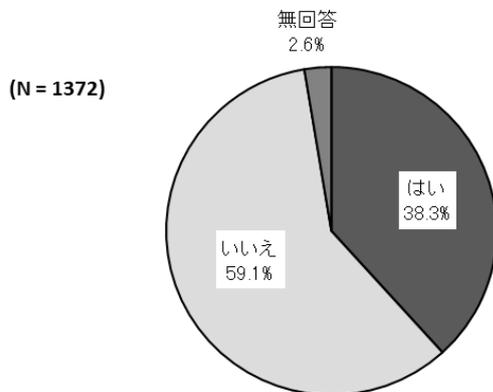
全体では、「いいえ」が59.1%、「はい」が38.3%となっている。

性別では、「はい」は男性より女性の割合が高くなっている。

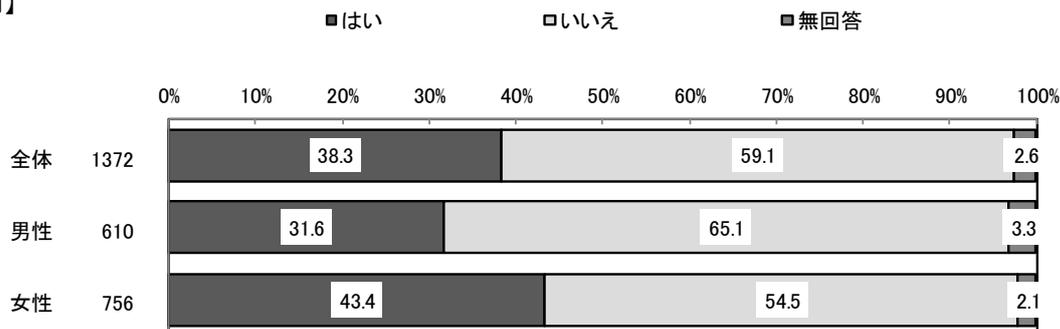
圏域では、「はい」は中央圏域で最も高く、次いで西圏域、東圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者で5割半ばと高くなっている。

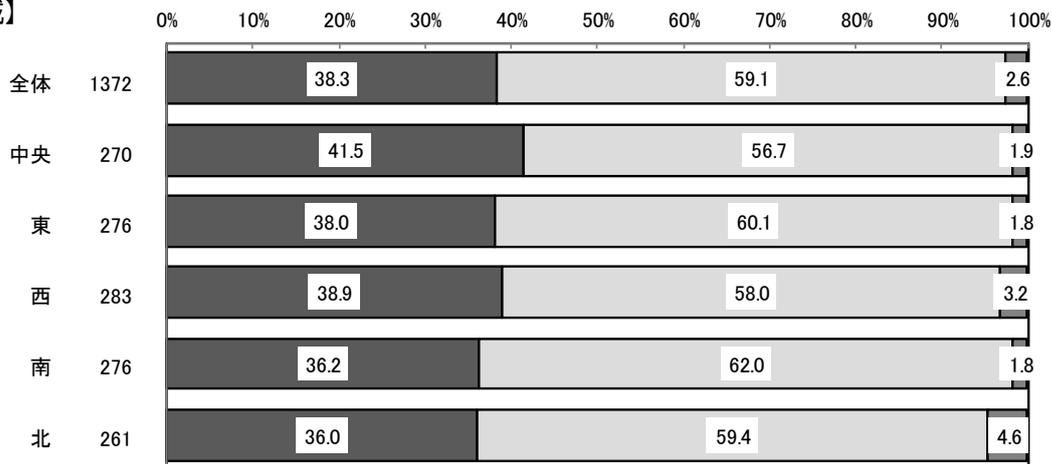
【全体】



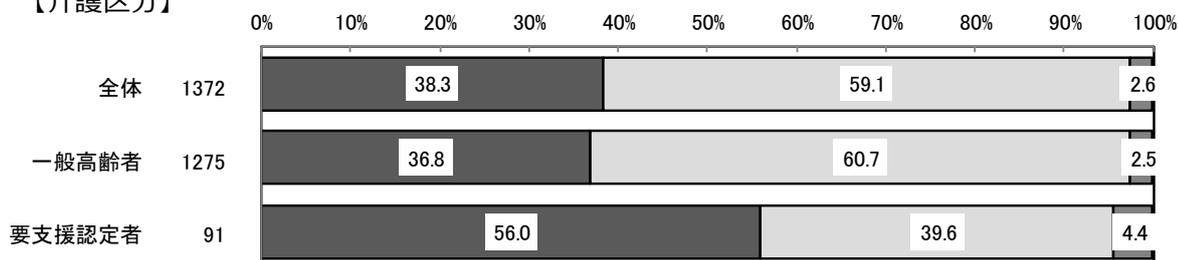
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

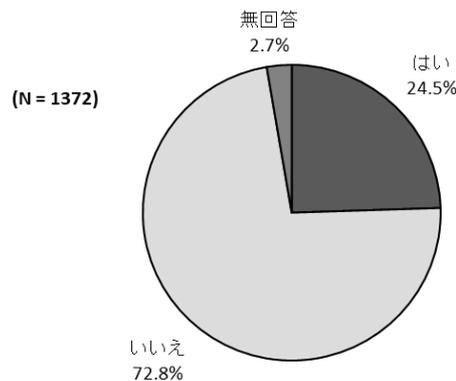
全体では、「いいえ」が72.8%、「はい」が24.5%となっている。

性別では、「はい」は男性より女性の割合がやや高くなっている。

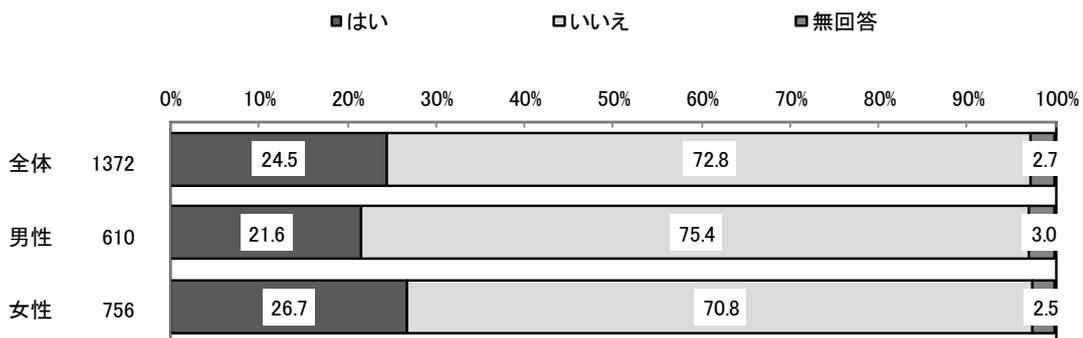
圏域では、「はい」は中央圏域で最も高く、次いで東圏域、南圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は要支援認定者で4割半ばと高くなっている。

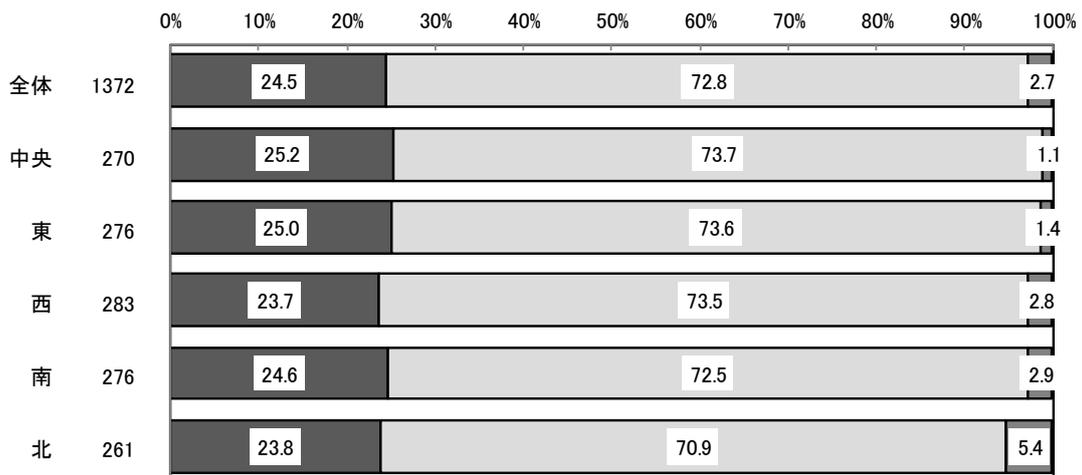
【全体】



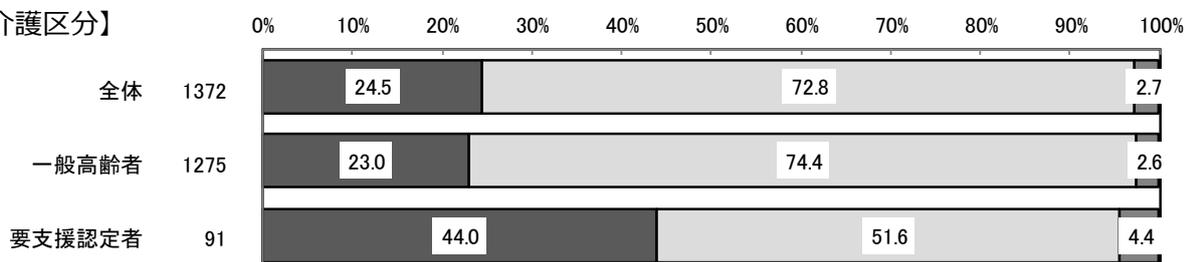
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(5) お酒は飲みますか

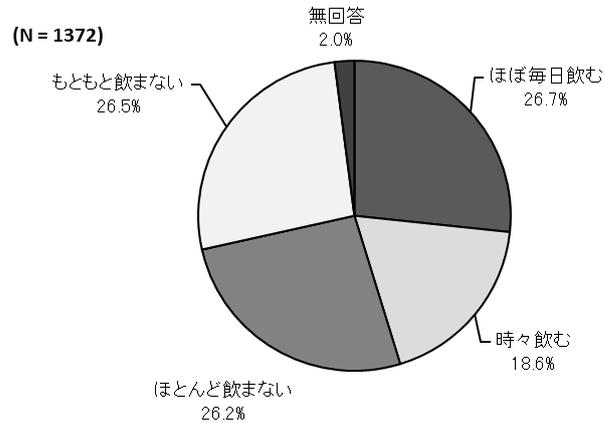
全体では、「ほぼ毎日飲む」が 26.7%と最も高く、次いで「もともと飲まない」が 26.5%、「ほとんど飲まない」が 26.2%となっている。

性別では、「ほとんど飲まない」は男性より女性の割合がかなり高くなっている。

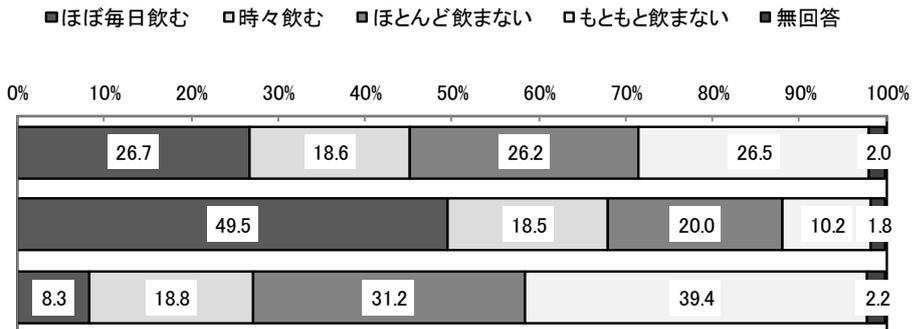
圏域では、「ほとんど飲まない」は中央圏域で最も高く、次いで南圏域、西圏域と続いている。

介護区分では、「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」は要支援認定者で低くなっている。

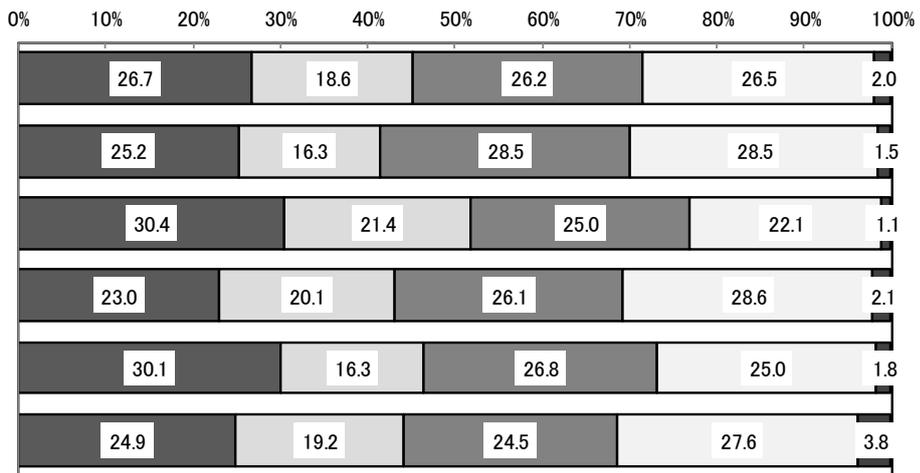
【全体】



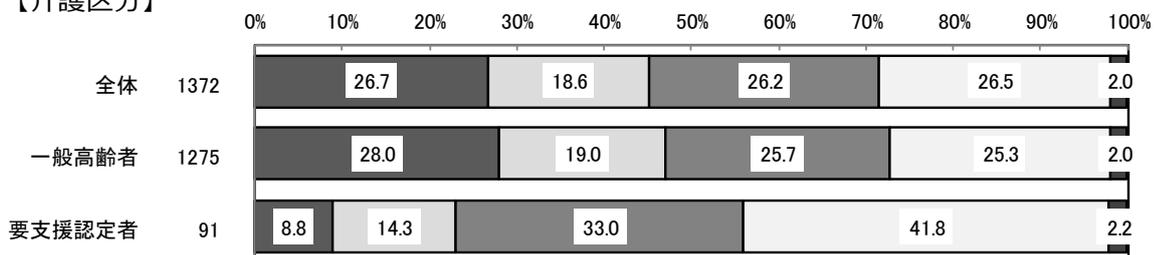
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(6) タバコは吸っていますか

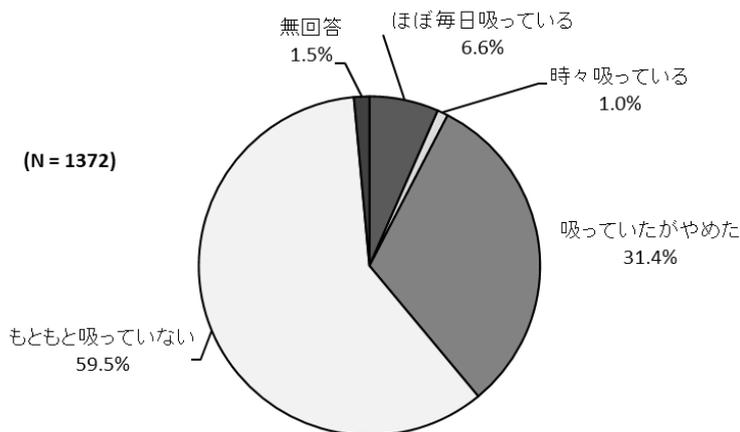
全体では、「もともと吸っていない」が 59.5%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が 31.4%、「ほぼ毎日吸っている」が 6.6%となっている。

性別では、「もともと吸っていない」は男性より女性の割合がかなり高くなっている。

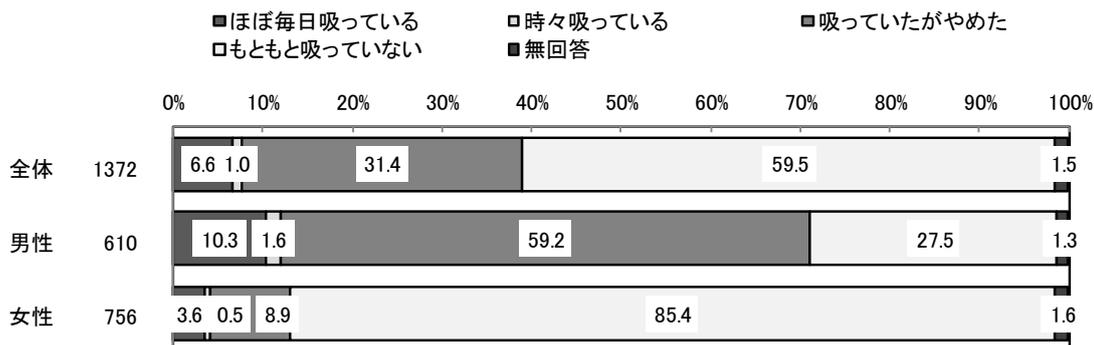
圏域では、「もともと吸っていない」は中央圏域で最も高く、次いで南圏域、西圏域と続いている。

介護区分では、「もともと吸っていない」は要支援認定者で高くなっている。

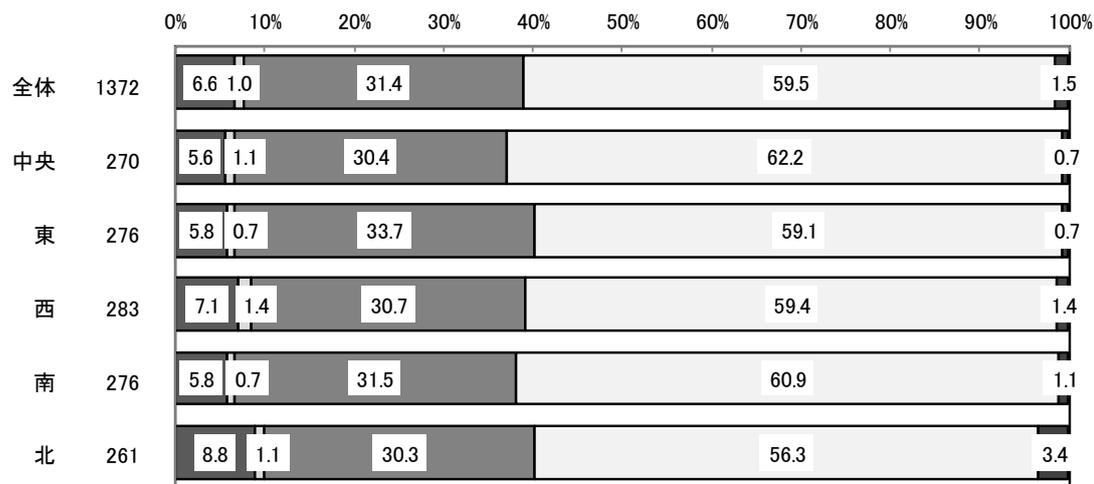
【全体】



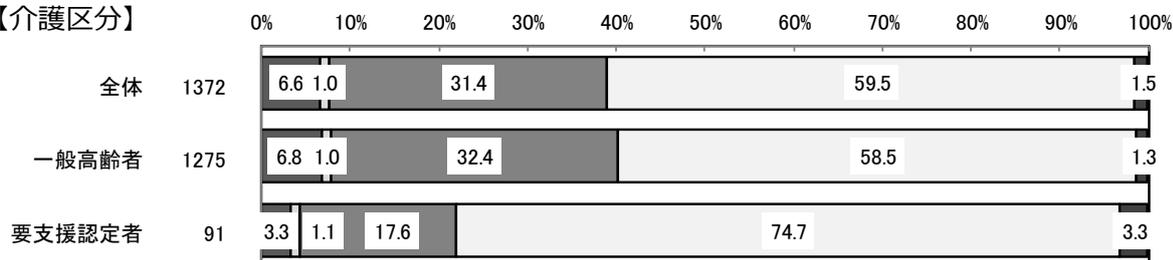
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか

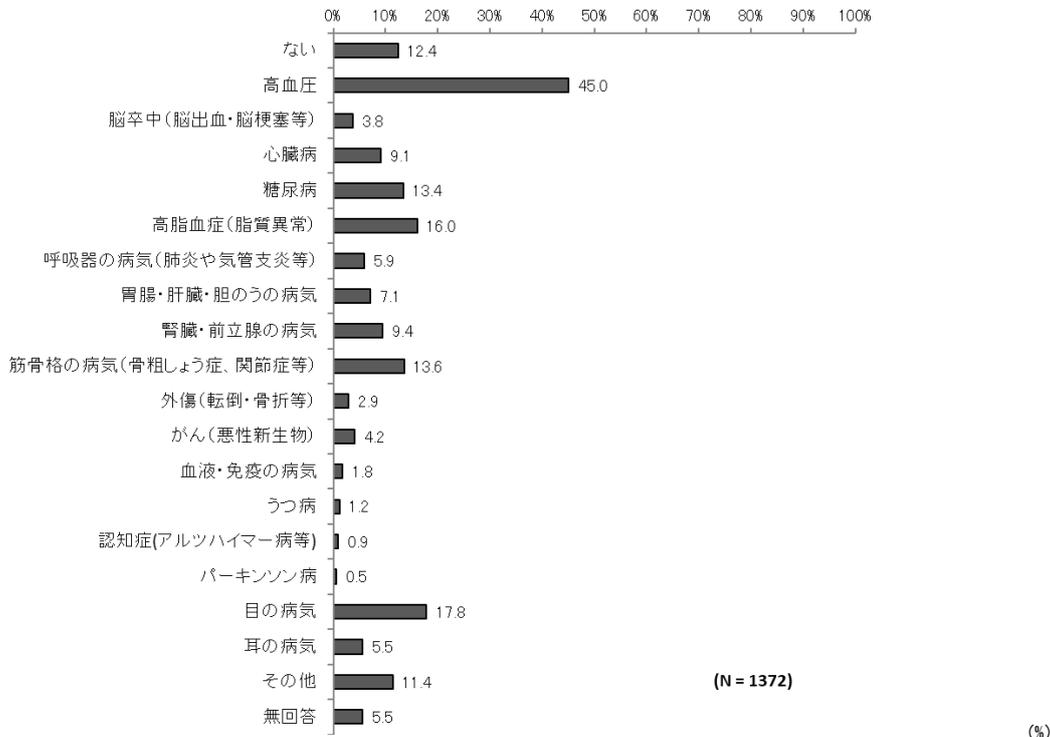
全体では、「高血圧」が 45.0%と最も高く、次いで「目の病気」が 17.8%、「高脂血症（脂質異常）」が 16.0%となっている。

性別では、「高血圧」は女性より男性、「高脂血症（脂質異常）」「目の病気」は男性より女性の割合が高くなっている。

圏域では、「高血圧」は中央圏域で最も高く、次いで西圏域、東圏域と続いている。

介護区分では、一般高齢者、要支援認定者ともに「高血圧」が高くなっている。

【全体】



		調査数	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器 の病気 (肺炎や 気管支 炎等)	胃腸・肝 臓・胆の うの病気	腎臓・前 立腺の 病気	筋骨格 の病気 (骨粗 しょう症、 関節症 等)
全体		1372	12.4	45.0	3.8	9.1	13.4	16.0	5.9	7.1	9.4	13.6
性別	男性	610	11.5	48.5	5.6	13.0	17.7	11.0	6.2	7.0	18.9	2.8
	女性	756	13.2	42.3	2.4	6.1	9.9	20.0	5.3	7.3	1.9	22.2
圏別	中央	270	13.0	46.7	3.3	9.6	13.0	19.3	6.7	7.0	7.8	16.7
	東	276	12.7	45.3	2.5	10.9	13.4	14.1	7.2	8.0	12.7	12.7
	西	283	12.7	45.9	3.9	7.1	13.8	14.1	6.0	6.4	8.1	15.5
	南	276	16.3	43.5	4.0	8.7	12.3	16.3	4.7	6.9	9.1	9.8
年齢別	一般高齢者	1275	7.3	44.1	5.4	9.6	14.6	16.1	3.8	7.7	9.6	13.0
	要支援認定者	91	7.7	47.3	11.0	15.4	15.4	11.0	12.1	6.6	12.1	31.9

		調査数	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		1372	2.9	4.2	1.8	1.2	0.9	0.5	17.8	5.5	11.4	5.5
性別	男性	610	2.3	5.1	2.1	0.7	1.0	0.8	16.7	5.2	10.7	5.2
	女性	756	3.3	3.3	1.6	1.6	0.9	0.3	18.5	5.8	12.0	5.8
圏別	中央	270	3.3	5.2	2.2	1.5	0.4	0.7	15.9	5.9	11.5	6.3
	東	276	2.9	3.3	1.8	1.1	0.7	0.0	17.8	5.1	9.8	6.2
	西	283	1.8	3.2	2.5	1.8	0.7	0.4	18.0	6.0	10.6	5.7
	南	276	2.9	4.7	1.1	0.4	1.1	0.0	15.2	3.3	12.3	5.4
年齢別	一般高齢者	1275	2.4	4.0	1.5	0.9	1.0	0.5	16.9	5.2	11.5	5.6
	要支援認定者	91	9.9	5.5	6.6	5.5	0.0	1.1	29.7	11.0	9.9	4.4

(8) 健康状態や病気のことで気軽に相談でき、決まって診察を受ける「かかりつけ医」がいますか

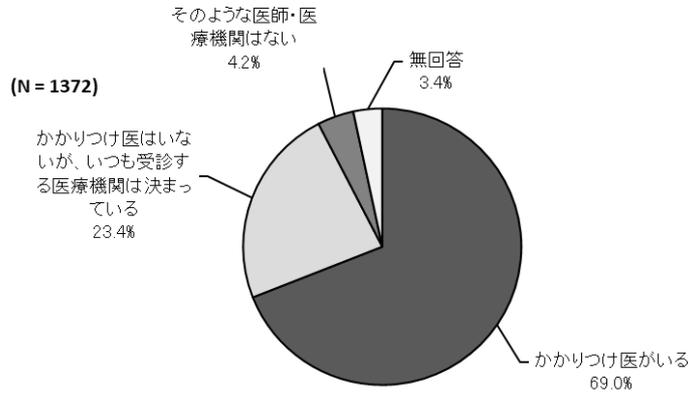
全体では、「かかりつけ医がいる」が 69.0%と最も高く、次いで「かかりつけ医はいないが、いつも受診する医療機関は決まっている」が 23.4%、「そのような医師・医療機関はない」が 4.2%となっている。

性別では、「かかりつけ医がいる」は男性より女性の割合がやや高くなっている。

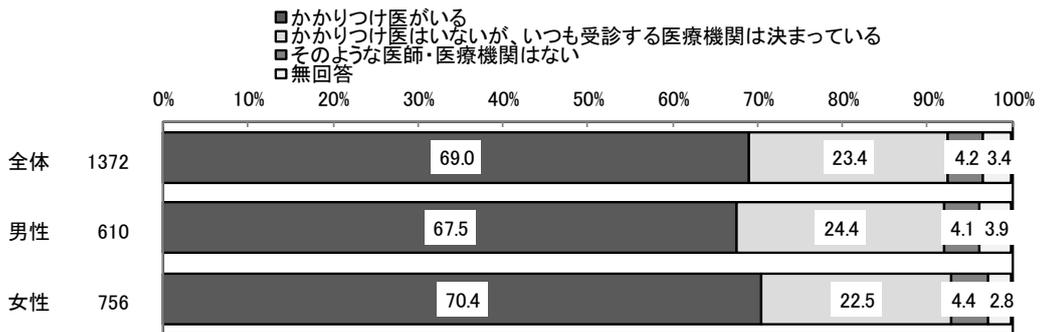
圏域では、「かかりつけ医がいる」は西圏域で最も高く、次いで東圏域、中央圏域と続いている。

介護区分では、「かかりつけ医がいる」は要支援認定者で高くなっている。

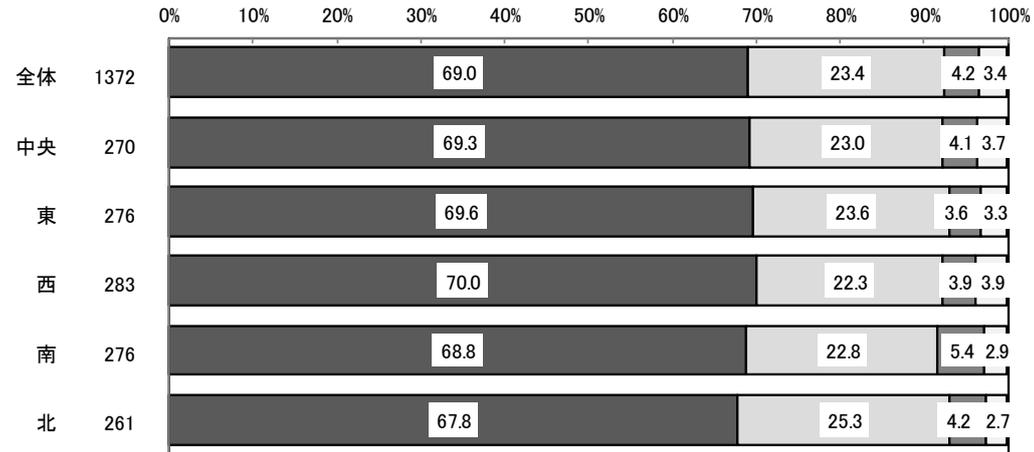
【全体】



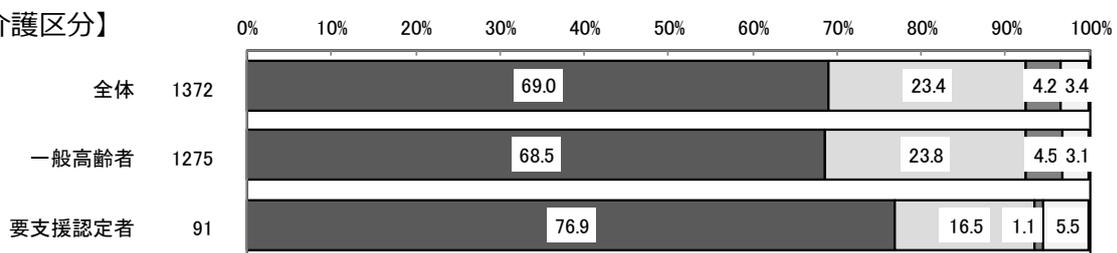
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(9) 脳卒中の後遺症やがんなど、認知症以外の病気により長期の療養が必要になったとき、どこで過ごしたいですか

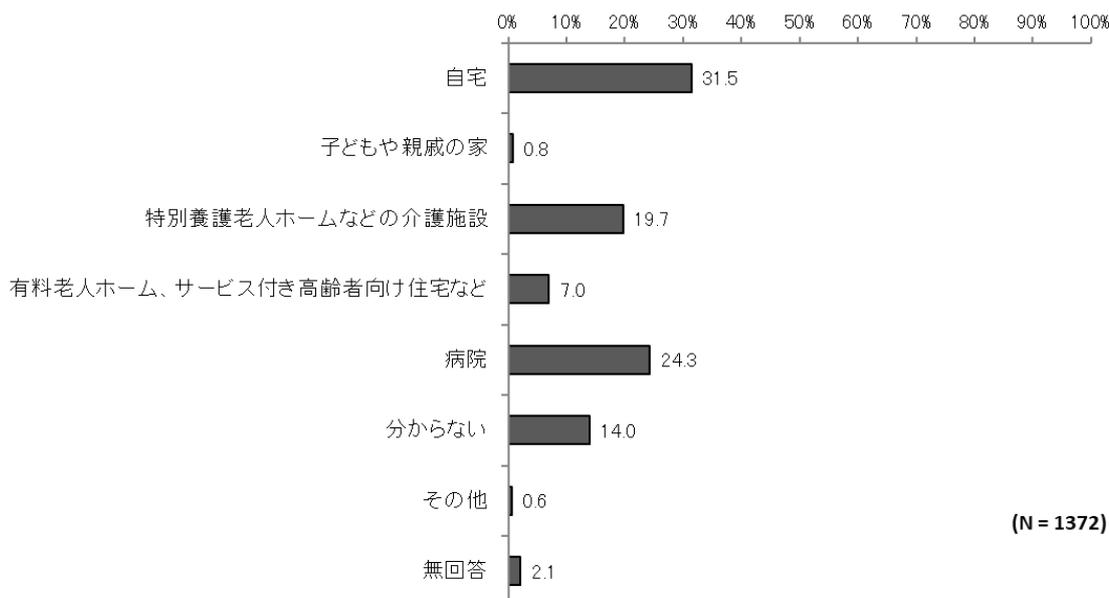
全体では、「自宅」が 31.5%と最も高く、次いで「病院」が 24.3%、「特別養護老人ホームなどの介護施設」が 19.7%となっている。

性別では、「自宅」は女性より男性の割合が高くなっている。

圏域では、「自宅」は中央圏域で最も高く、次いで西圏域、北圏域と続いている。

介護区分では、「自宅」は要支援認定者で 2 割強と低くなっている。

【全体】



(%)

		調査数	自宅	子どもや親戚の家	特別養護老人ホームなどの介護施設	有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など	病院	分からない	その他	無回答
全体		1372	31.5	0.8	19.7	7.0	24.3	14.0	0.6	2.1
性別	男性	610	34.1	0.5	19.2	6.3	24.6	12.4	0.2	2.5
	女性	756	29.5	0.9	20.2	7.5	24.0	15.2	0.9	1.9
圏別	中央	270	33.6	0.9	19.8	7.1	24.4	12.0	0.7	1.4
	東	276	29.6	0.5	19.8	7.7	24.8	15.2	0.2	2.2
	西	283	31.9	0.9	19.7	5.8	25.0	12.7	1.2	2.8
	南	276	29.6	1.2	21.7	6.4	24.6	14.2	0.0	2.4
	北	261	30.0	0.2	16.1	7.3	20.6	14.7	0.7	1.9
年齢別	一般高齢者	1275	31.9	0.8	19.8	6.7	24.4	14.0	0.6	1.9
	要支援認定者	91	26.2	0.8	19.2	11.5	23.1	13.1	0.0	6.2

(10) あなたの家族が脳卒中の後遺症やがんなど、認知症以外の病気により長期の療養が必要になったとき、どこで過ごしてもらいたいですか

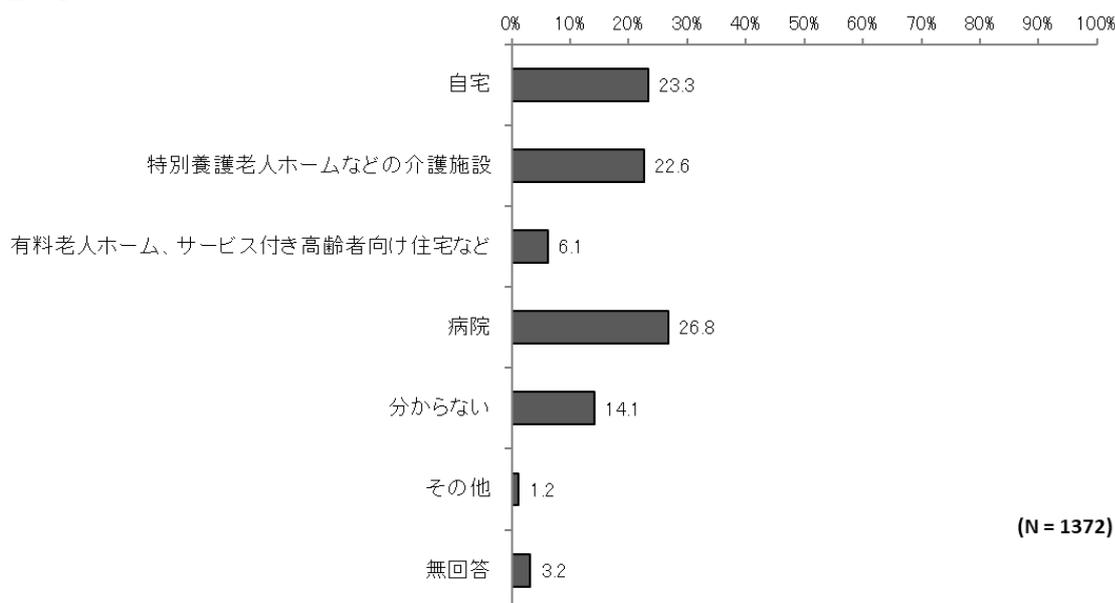
全体では、「病院」が 26.8%と最も高く、次いで「自宅」が 23.3%、「特別養護老人ホームなどの介護施設」が 22.6%となっている。

性別では、「自宅」は女性より男性の割合が高くなっている。

圏域では、「自宅」は中央圏域が最も高く、次いで北圏域、南圏域と続いている。

介護区分では、「自宅」は要支援認定者でかなり低くなっている。

【全体】



(%)

	調査数	自宅	特別養護老人ホームなどの介護施設	有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など	病院	分からない	その他	無回答	
全体	1372	23.3	22.6	6.1	26.8	14.1	1.2	3.2	
性別	男性	610	26.8	23.7	6.4	27.8	10.7	1.2	3.3
	女性	756	21.8	22.8	6.3	27.4	17.3	1.2	3.2
圏別	中央	270	25.8	20.8	7.2	27.5	15.2	0.7	2.7
	東	276	22.3	23.5	6.3	28.0	15.3	1.3	3.5
	西	283	23.4	24.3	6.0	28.7	13.0	2.3	2.3
	南	276	23.9	26.4	5.5	27.2	12.6	0.5	3.8
	北	261	24.8	21.0	6.6	26.3	15.9	1.3	4.1
年齢別	一般高齢者	1275	24.7	23.2	6.5	27.6	14.0	1.2	2.9
	要支援認定者	91	13.6	23.7	4.2	27.1	21.2	1.7	8.5

(11) あなたやあなたの家族は自宅で最期まで過ごすことができますか

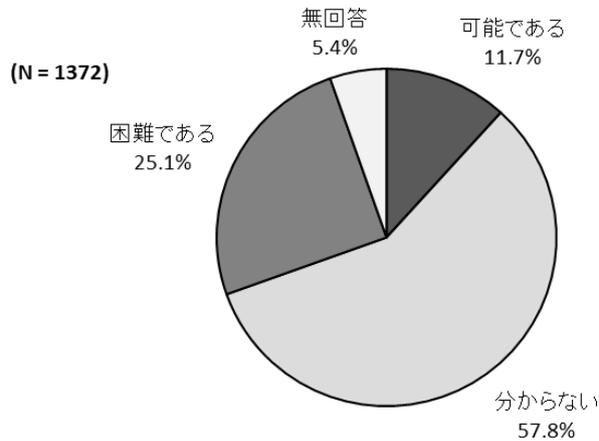
全体では、「分からない」が 57.8%と最も高く、次いで「困難である」が 25.1%、「可能である」が 11.7%となっている。

性別では、「困難である」は男性より女性の割合が高くなっている。

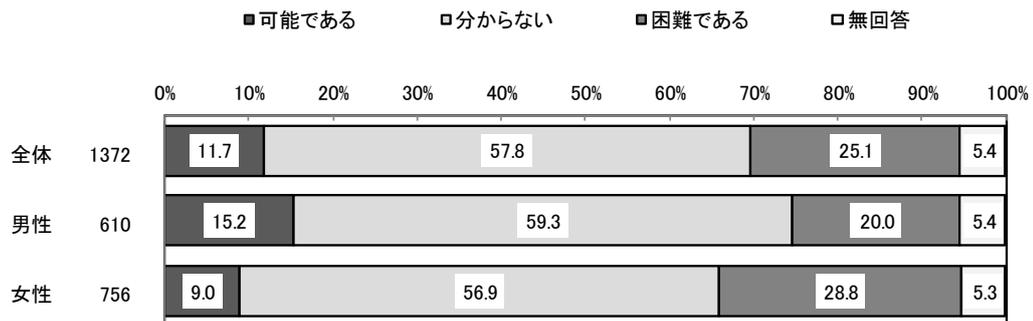
圏域では、「困難である」は南圏域で最も高く、次いで東圏域、中央圏域と続いている。

介護区分では、「困難である」は要支援認定者で高くなっている。

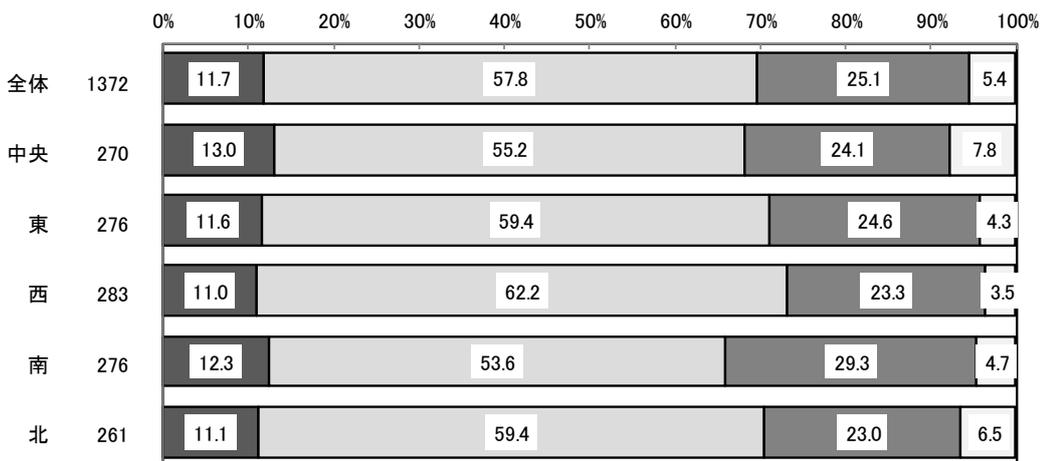
【全体】



【性別】



【圏域】



【介護区分】



【(11)で「3. 困難である」の方のみ】

① 自宅で最期まで過ごすことが難しいと思う理由は何ですか

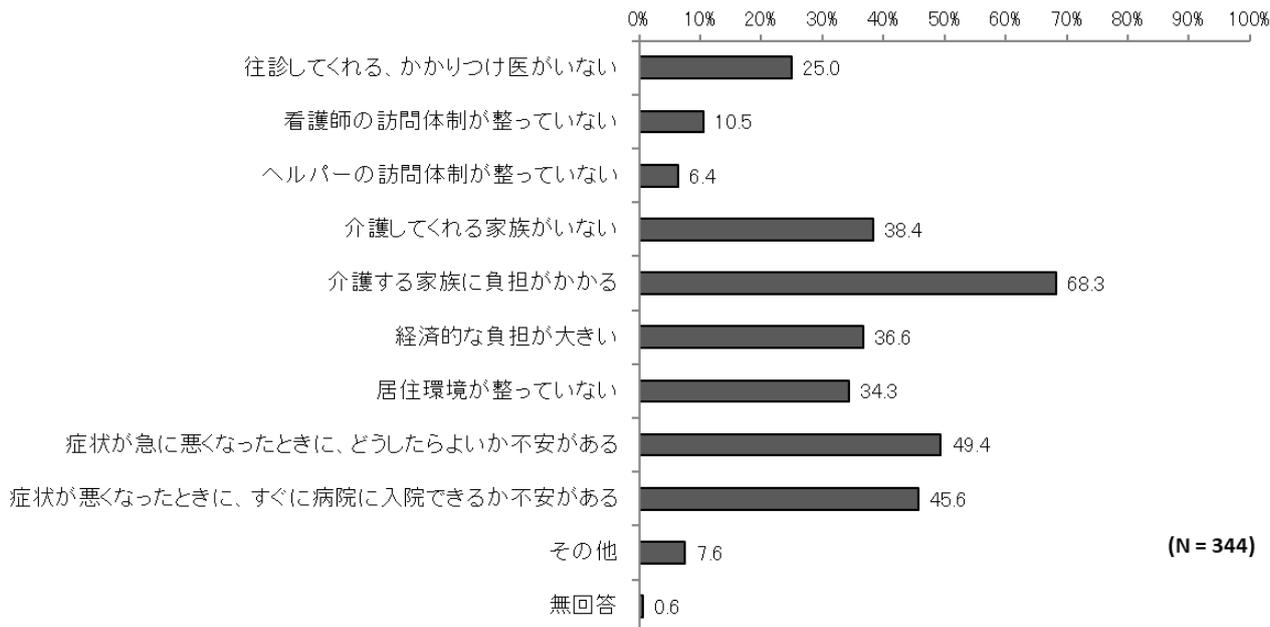
「介護する家族に負担がかかる」が 68.3%と最も高く、次いで「症状が急に悪くなったときに、どうしたらよいか不安がある」が 49.4%、「症状が悪くなったときに、すぐに病院に入院できるか不安がある」が 45.6%となっている。

性別では、「介護する家族に負担がかかる」は男性より女性の割合が高くなっている。

圏域では、「介護する家族に負担がかかる」は西圏域で最も高く、次いで北圏域、南圏域と続いている。

介護区分では、「介護する家族に負担がかかる」は一般高齢者、要支援認定者ともに最も高くなっている。

【全体】



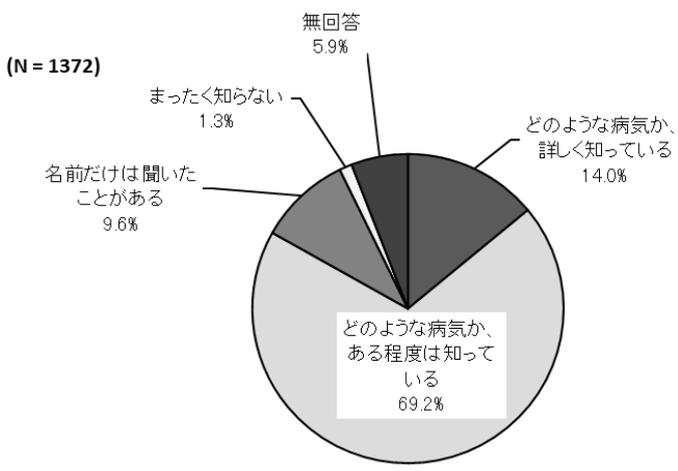
		調査数	が往診してくれない「かかりつけ医」	看護師の訪問体制が整っていない	ヘルパーの訪問体制が整っていない	介護してくれる家族がない	介護する家族に負担がかかる	経済的な負担が大きい	居住環境が整っていない	症状が急に悪くなったときに、どうしたらよいか不安がある	症状が悪くなったときに、すぐに病院に入院できるか不安がある	その他	無回答
全体		344	25.0	10.5	6.4	38.4	68.3	36.6	34.3	49.4	45.6	7.6	0.6
性別	男性	122	27.0	9.8	4.9	34.4	66.4	40.2	36.1	41.8	47.5	4.9	1.6
	女性	218	24.3	11.0	7.3	41.3	69.7	34.4	33.0	54.6	45.0	8.7	0.0
圏別	中央	65	23.1	9.2	3.1	50.8	63.1	36.9	35.4	50.8	46.2	6.2	0.0
	東	68	17.6	8.8	2.9	33.8	66.2	26.5	38.2	45.6	45.6	7.4	0.0
	西	66	31.8	7.6	7.6	33.3	74.2	40.9	36.4	56.1	42.4	10.6	1.5
	南	81	28.4	12.3	7.4	37.0	67.9	34.6	28.4	51.9	49.4	3.7	1.2
年齢別	北	60	25.0	15.0	11.7	40.0	71.7	45.0	33.3	45.0	45.0	10.0	0.0
	一般高齢者	313	24.9	10.5	6.4	37.4	68.7	36.7	33.2	49.2	46.3	6.7	0.6
	要支援認定者	27	29.6	11.1	7.4	55.6	66.7	33.3	44.4	59.3	40.7	14.8	0.0

問 8. 認知症にかかる相談窓口の把握について

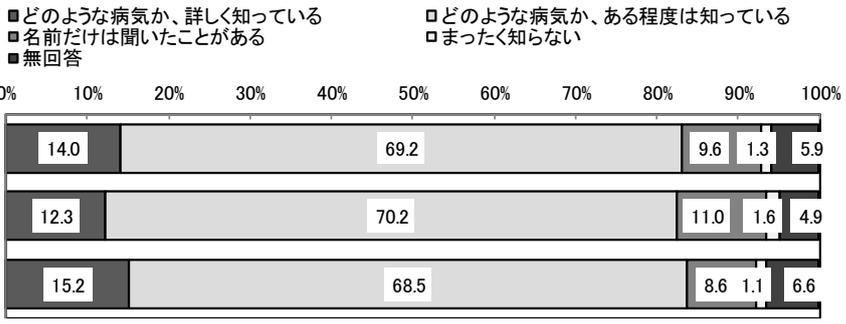
(1) あなたは、認知症について知っていますか

全体では、「どのような病気か、ある程度は知っている」が 69.2%と最も高く、次いで「どのような病気か、詳しく知っている」が 14.0%、「名前だけは聞いたことがある」が 9.6%となっている。
 性別では、「どのような病気か、詳しく知っている」は男性より女性の割合が高くなっている。
 圏域では、「どのような病気か、詳しく知っている」は北圏域でやや低くなっている。
 介護区分では、「どのような病気か、詳しく知っている」は要支援認定者で 1 割以下となっている。

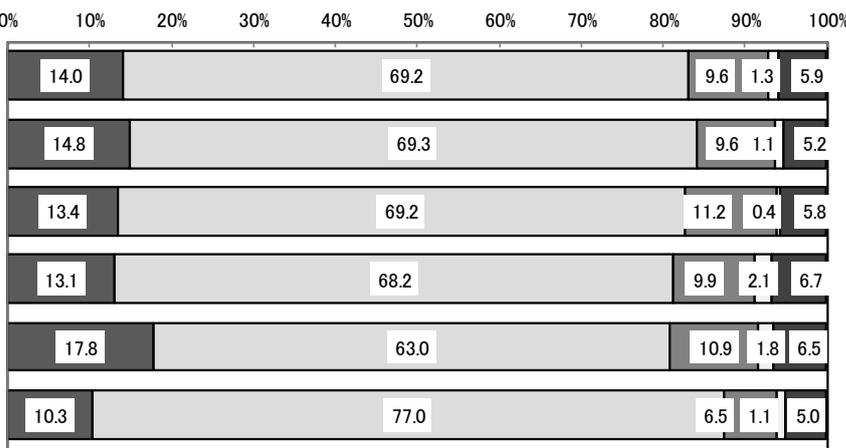
【全体】



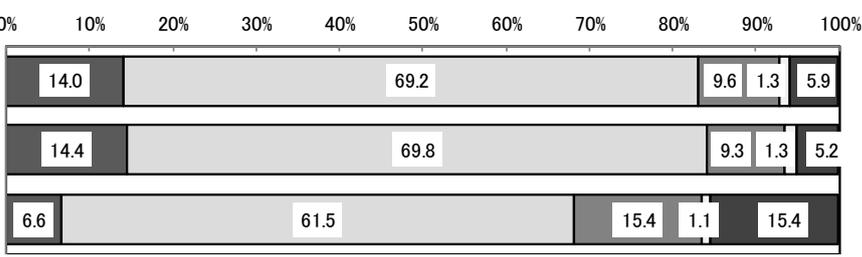
【性別】



【圏域】



【介護区分】



(2) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

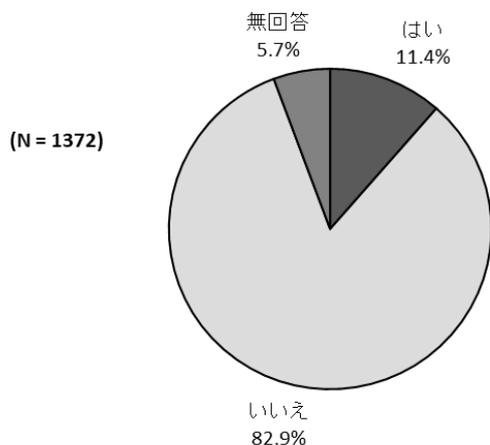
全体では、「いいえ」が82.9%、「はい」が11.4%となっている。

性別では、「はい」は女性より男性の割合がやや高くなっている。

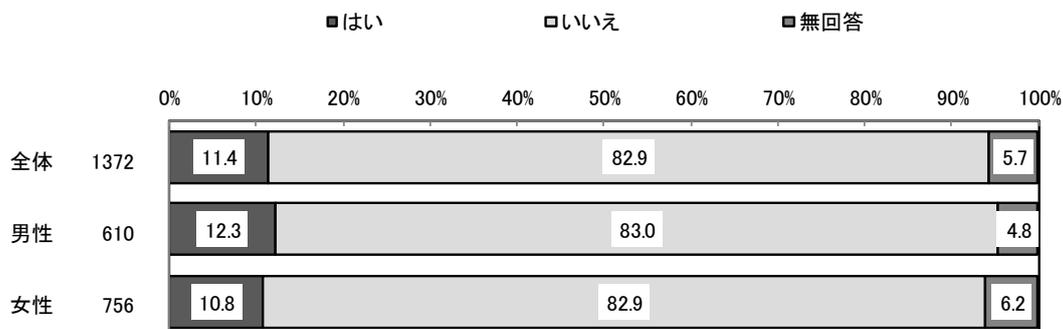
圏域では、「はい」は南圏域で最も高く、次いで中央圏域、東圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は一般高齢者でやや高くなっている。

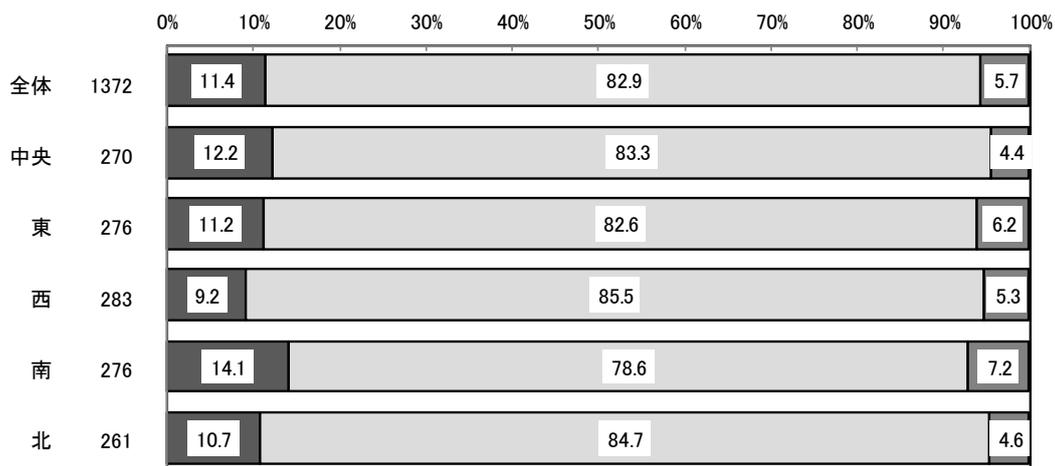
【全体】



【性別】



【圏域】



【介護区分】



(3) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

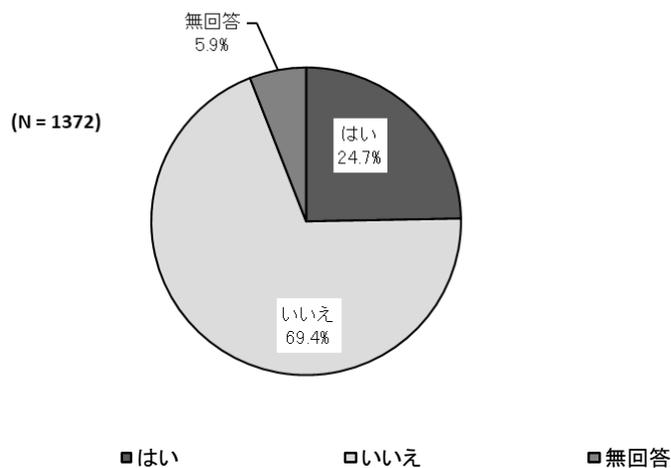
全体では、「いいえ」が69.4%、「はい」が24.7%となっている。

性別では、「はい」は男性より女性の割合が高くなっている。

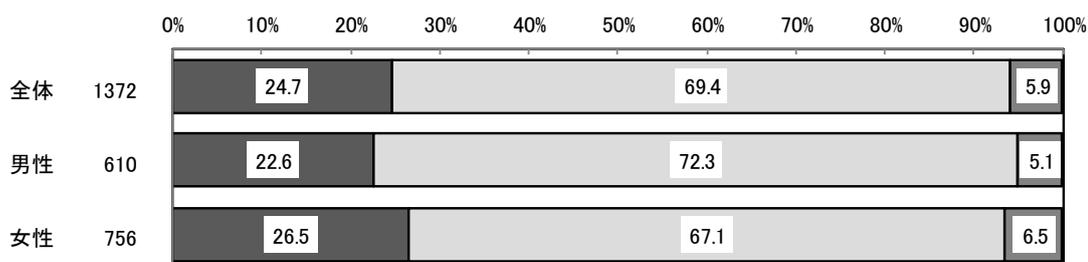
圏域では、「はい」は南圏域で最も高く、次いで中央圏域、西圏域と続いている。

介護区分では、「はい」は一般高齢者で高くなっている。

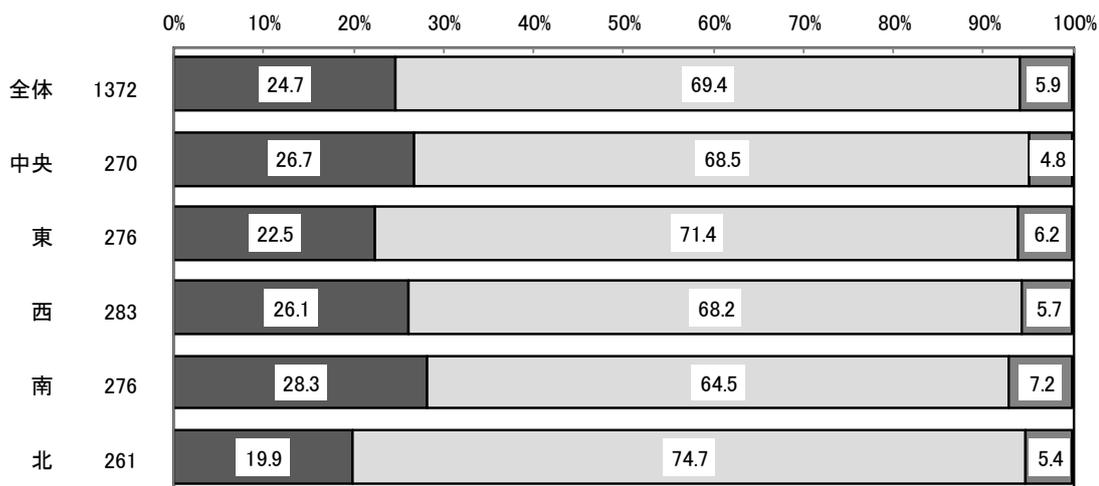
【全体】



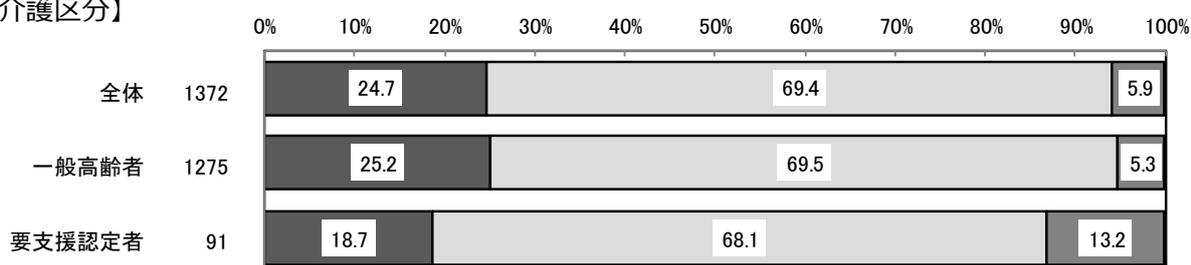
【性別】



【圏域】



【介護区分】



IV リスク判定・分析

1. リスクの判定条件

【運動器の機能低下】下記の設問で3問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問番号	設問内容	選択肢
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2(3)	15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

【転倒リスク】下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問番号	設問内容	選択肢
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

【閉じこもり傾向】下記の設問で、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問番号	設問内容	選択肢
問2(6)	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

【口腔機能の低下】下記の設問で2問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問番号	設問内容	選択肢
問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
問3(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
問3(4)	口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ

【低栄養の傾向】下記の設問で、BMIが18.5以下となり、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問番号	設問内容	選択肢
問3(1)	身長・体重	身長・体重から算出されるBMI（体重(kg) ÷ {身長(m) × 身長(m)}）が18.5以下の場合、低栄養が疑われる
問3(7)	6か月間で2～3Kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ

【IADL】下記の設問で、5点満点中、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価します。

設問番号	設問内容	選択肢	配点
問4(4)	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	1点 1点 0点
問4(5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	1点 1点 0点
問4(6)	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	1点 1点 0点
問4(7)	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	1点 1点 0点
問4(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない	1点 1点 0点

【うつ傾向】下記の設問で1問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問番号	設問内容	選択肢
問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

【知的能動性】下記の設問で、4点満点中、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」として評価します。

設問番号	設問内容	選択肢	配点
問4(9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点
問4(10)	新聞を読んでいますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点
問4(11)	本や雑誌を読んでいますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点
問4(12)	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点

【他者との関わり】下記の設問で、4点満点中、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」として評価します。

設問番号	設問内容	選択肢	配点
問4(13)	友人の家を訪ねていますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点
問4(14)	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点
問4(15)	病人を見舞うことができますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点
問4(16)	若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点

【認知機能の低下】下記の設問で、3点満点中、3点を「高い」、2点を「やや低い」、1点以下を「低い」として評価します。

設問番号	設問内容	選択肢	配点
問4(1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点
問4(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点
問4(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい 2. いいえ	1点 0点

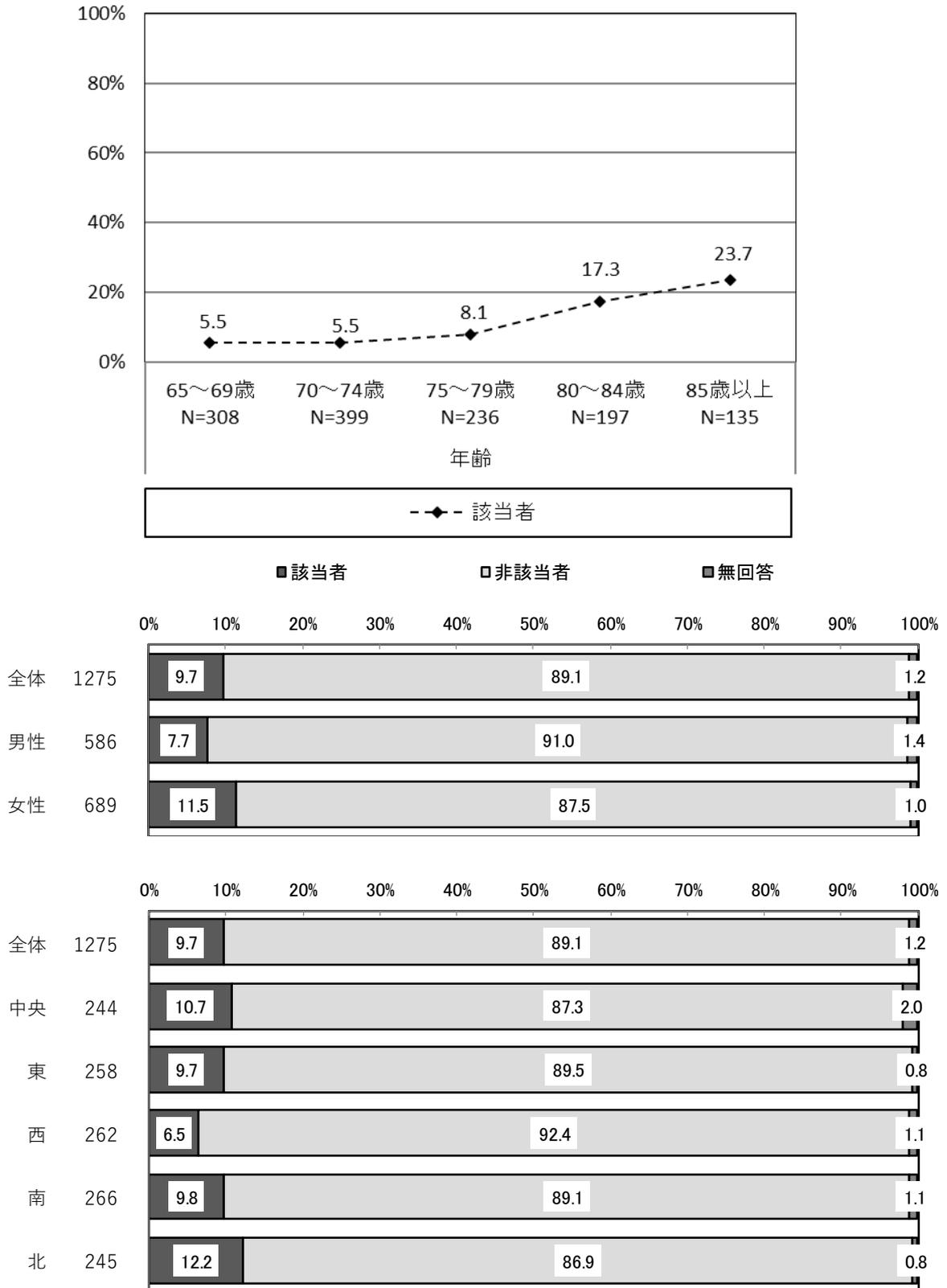
2. リスク判定分析

(1) 運動器の機能低下（一般高齢者）

年齢で見ると、年齢が上がるにつれて「該当者」の割合が増加する。

性別で見ると、男性より女性で「該当者」の割合がやや高い。

圏域別で見ると、北圏域では他の圏域と比べて「該当者」の割合がやや高い。

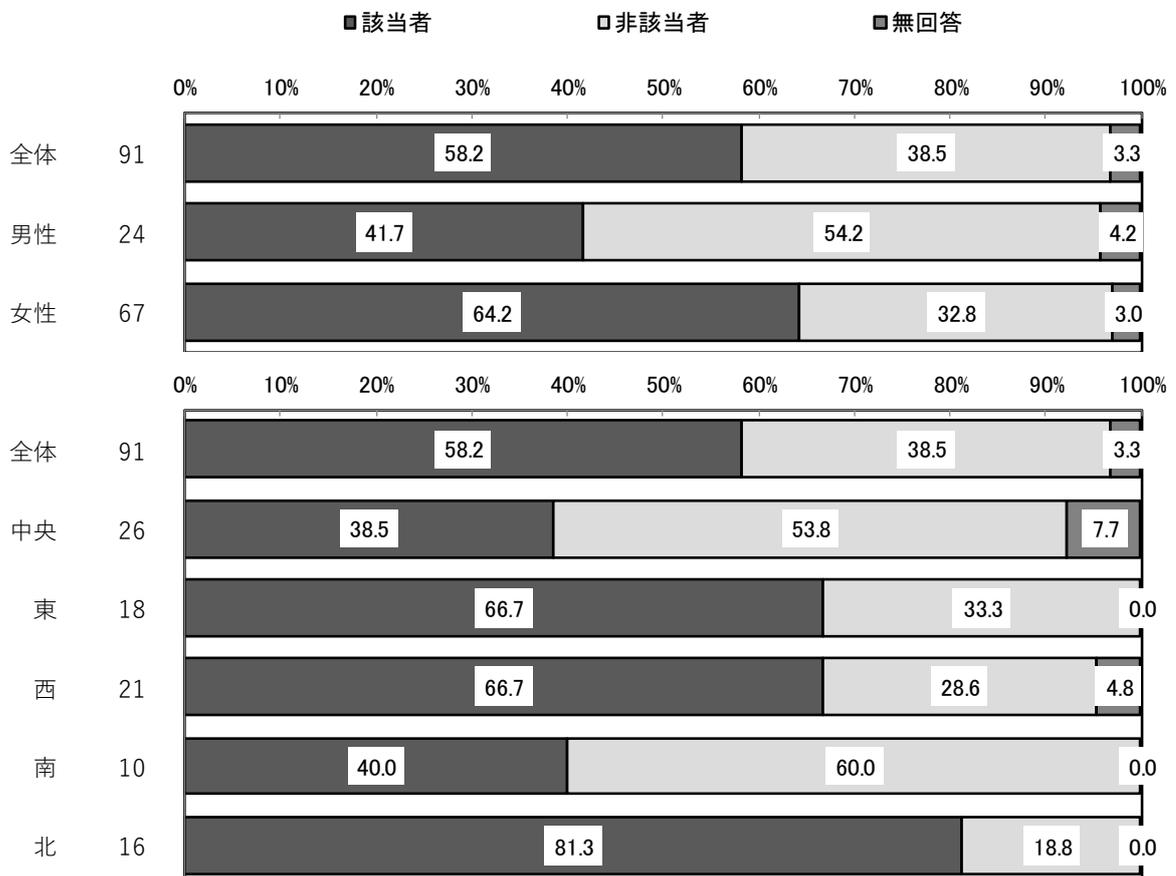
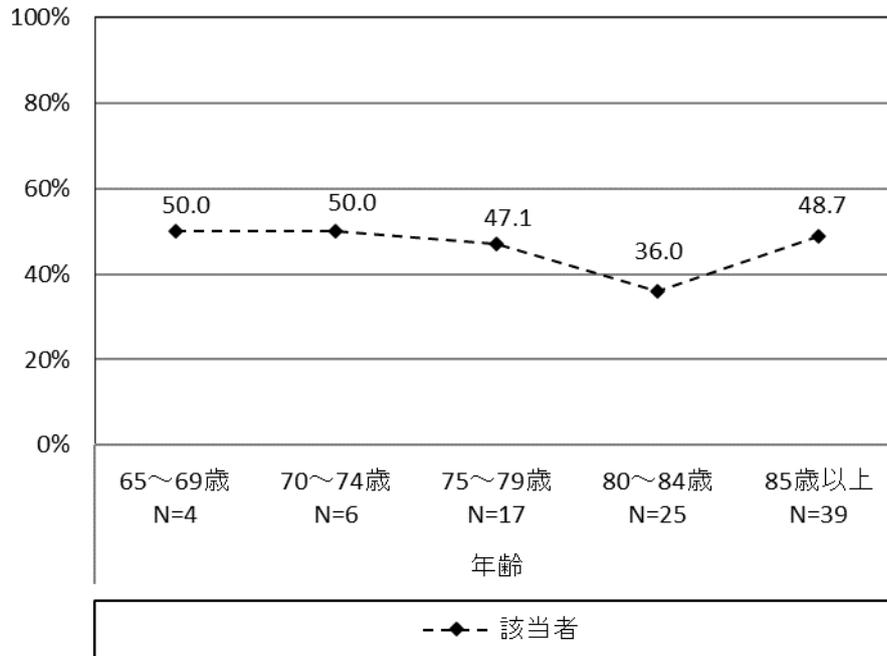


(1) 運動器の機能低下 (要支援認定者) ※「65～69 歳」、「70～74 歳」のサンプルサイズ(N)が小さいためコメントは割愛。(2)～(9)も同様。

年齢で見ると、75 歳以上では「該当者」が 3 割強～5 割未満と高い。

性別で見ると、男性より女性で「該当者」の割合が高い。

圏域別で見ると、北圏域では他の圏域と比べて「該当者」の割合がかなり高い。

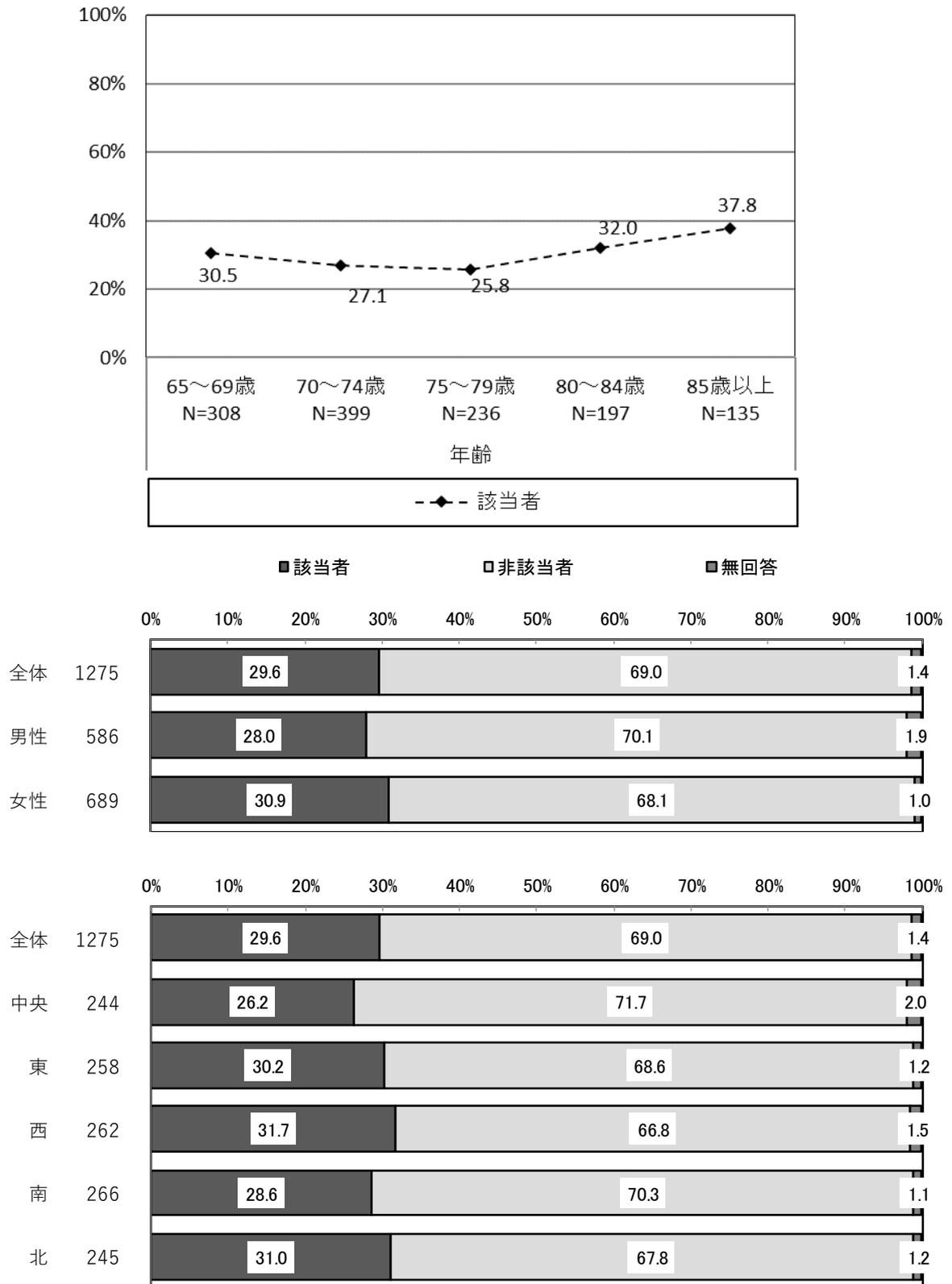


(2) 転倒リスク（一般高齢者）

年齢で見ると、80歳以上では「該当者」が3割を超えている。

性別で見ると、男性より女性で「該当者」の割合が高い。

圏域別で見ると、西圏域では他の圏域と比べて「該当者」の割合がやや高い。

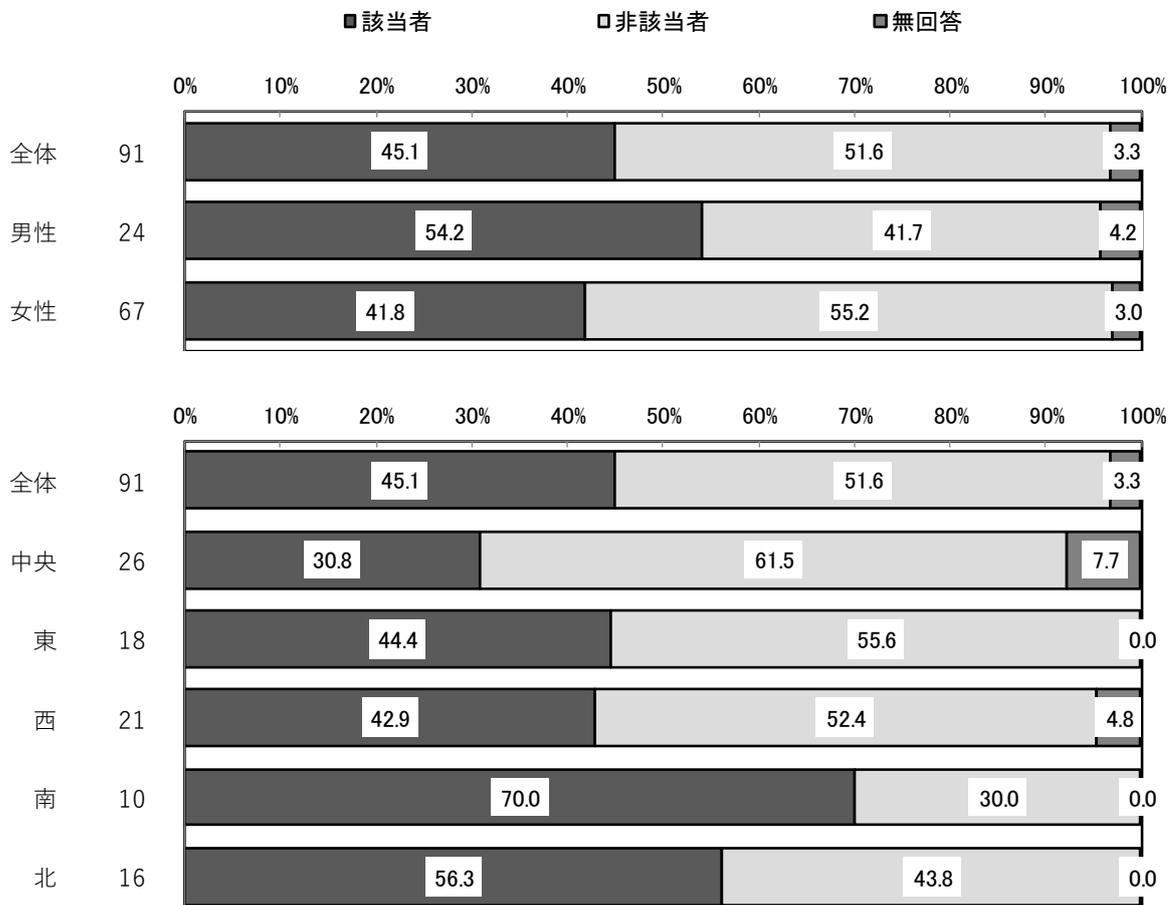
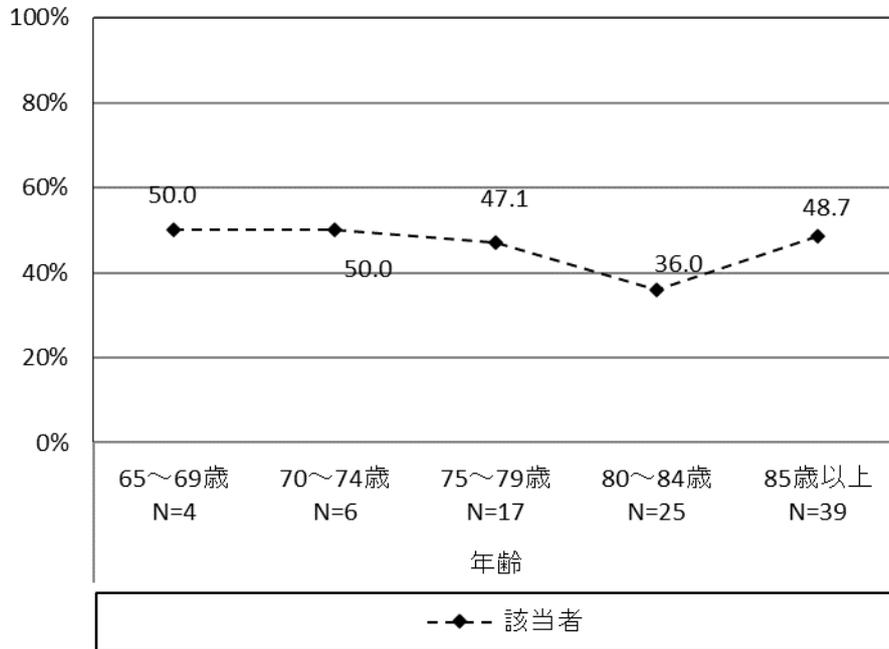


(2) 転倒リスク (要支援認定者)

年齢でみると、大きな差は見られない。

性別でみると、女性より男性で「該当者」の割合がやや高い。

圏域別でみると、南圏域では他の圏域と比べて「該当者」の割合が高い。

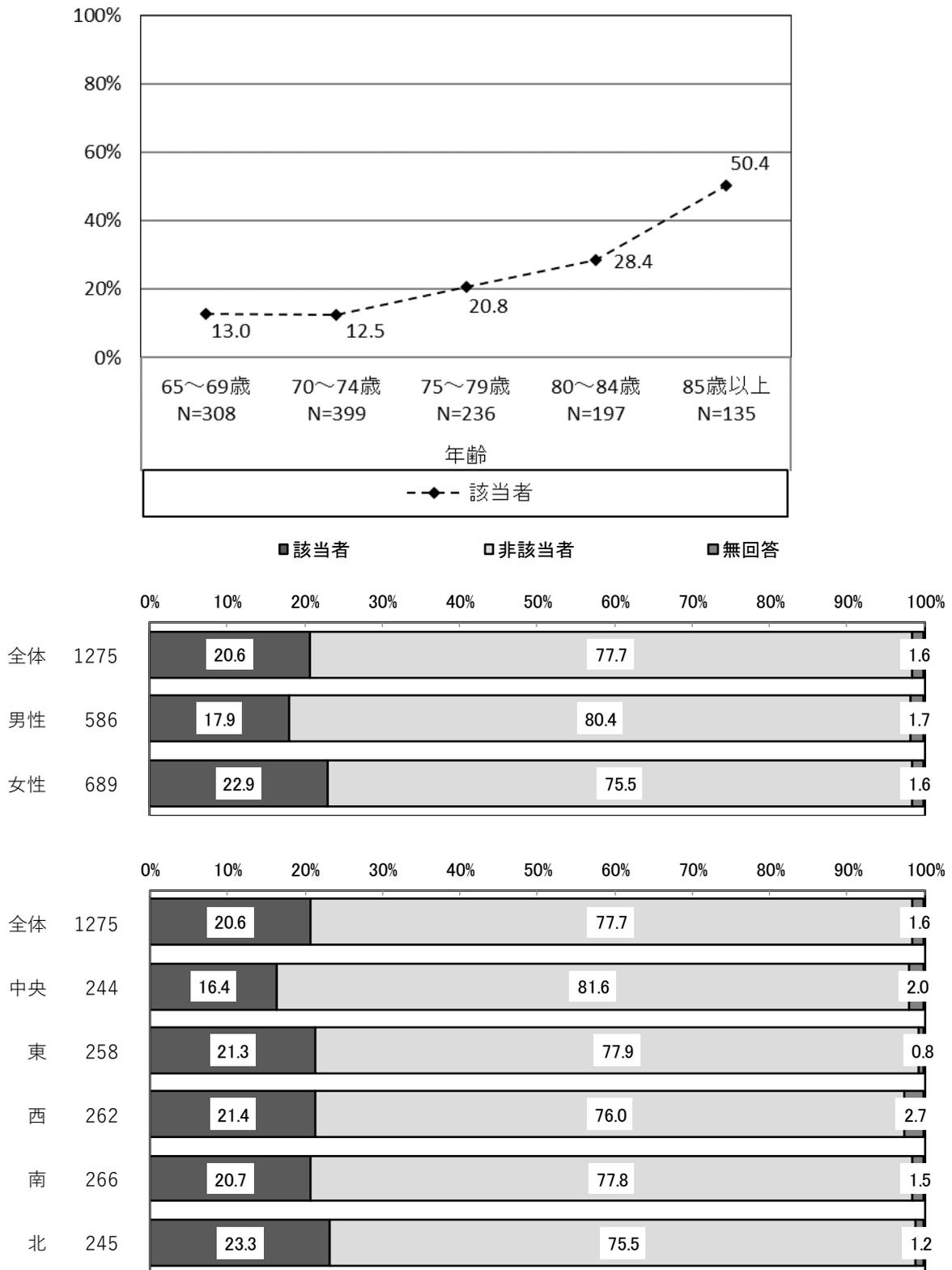


(3) 閉じこもり傾向（一般高齢者）

年齢でみると、70 歳以上では年齢が上がるにつれて「該当者」の割合が増加し、85 歳以上では「該当者」の割合が5割を超える。

性別でみると、男性より女性で「該当者」の割合がやや高い。

圏域別でみると、北圏域では他の圏域と比べて「該当者」の割合が高い。

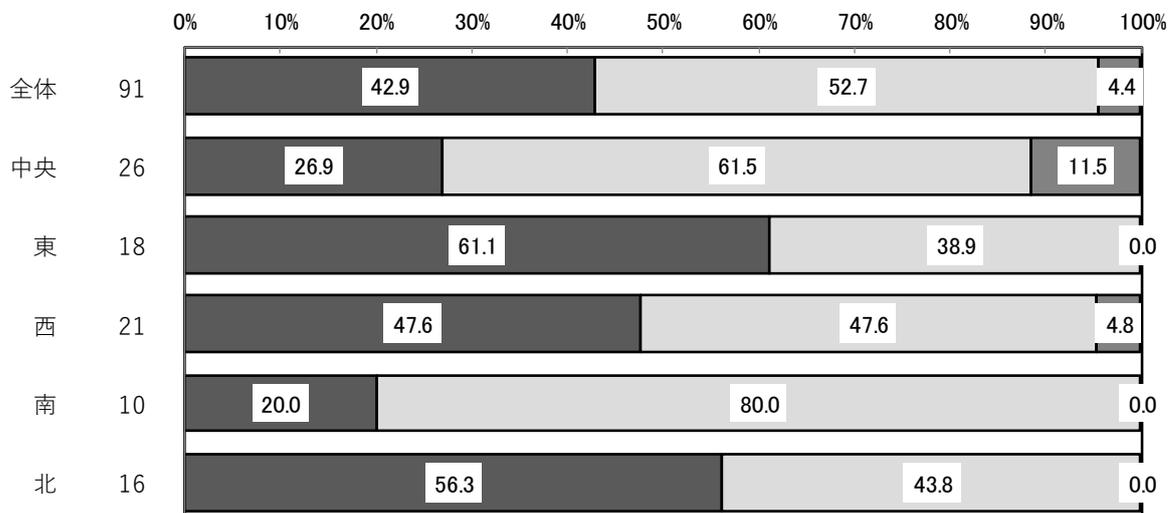
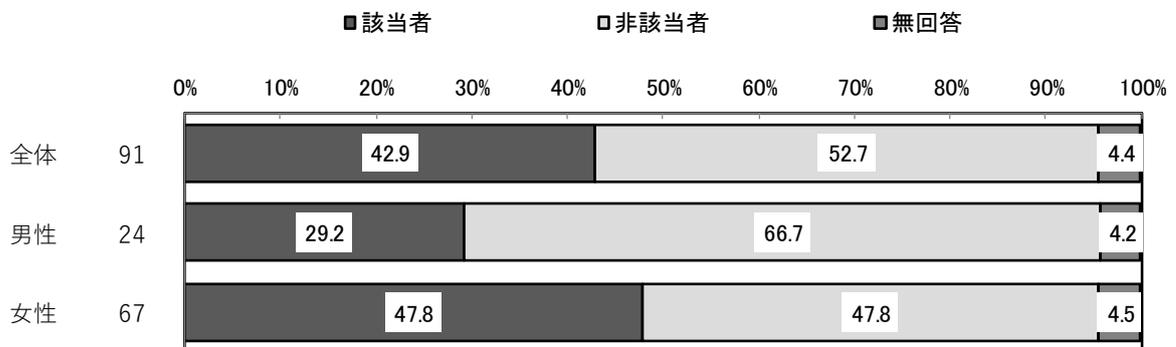
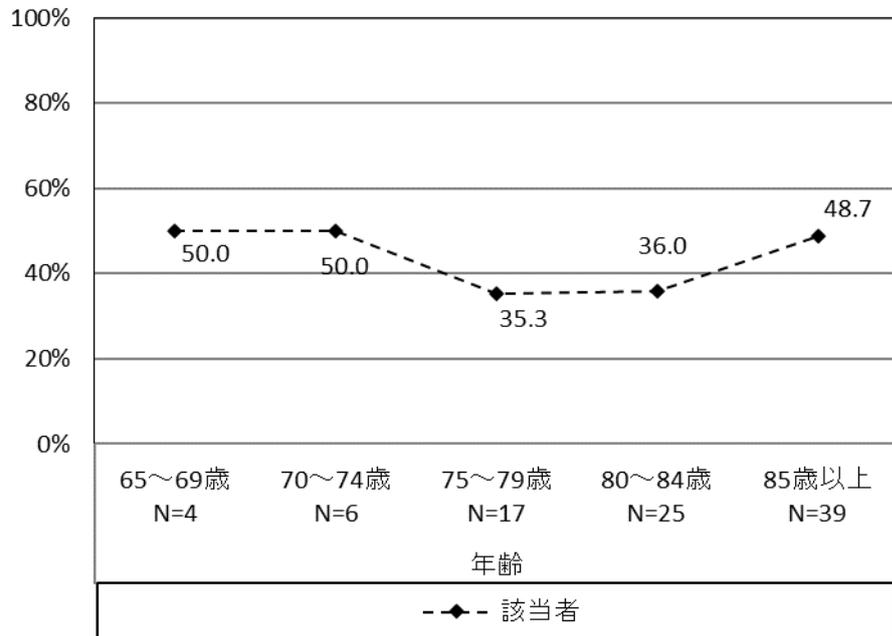


(3) 閉じこもり傾向 (要支援認定者)

年齢で見ると、年齢が上がるにつれて「該当者」の割合が増加する傾向にある。

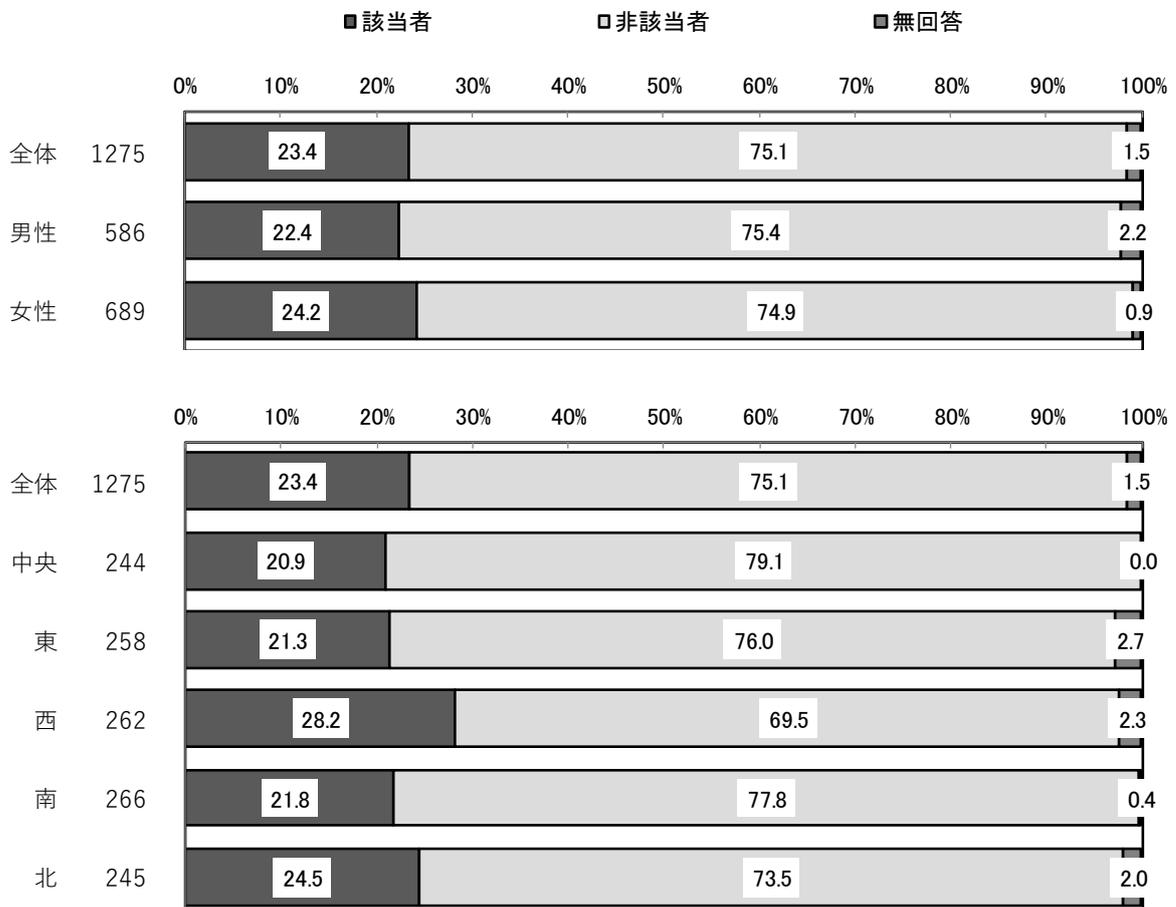
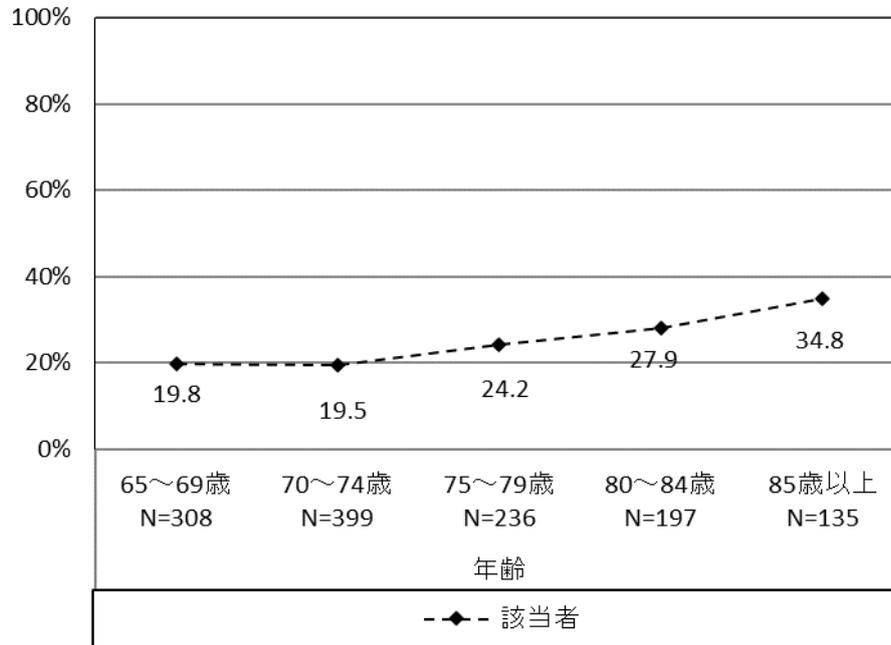
性別で見ると、男性より女性で「該当者」の割合が高い。

圏域別で見ると、東圏域では他の圏域と比べて「該当者」の割合が高い。



(4) 口腔機能の低下（一般高齢者）

年齢でみると、年齢が上がるにつれて「該当者」の割合が増加する。
 性別でみると、男性より女性で「該当者」の割合が高い。
 圏域別でみると、西圏域では他の圏域と比べて「該当者」の割合が高い。

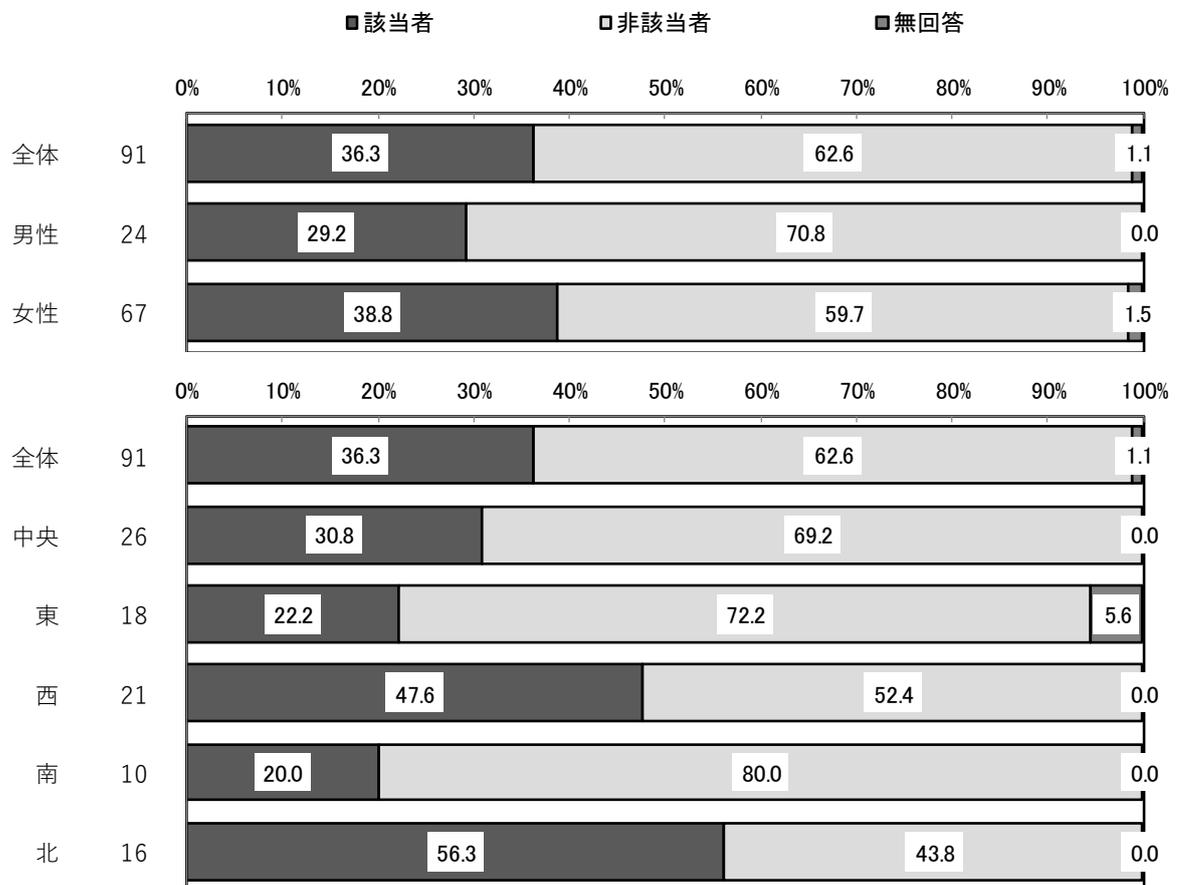
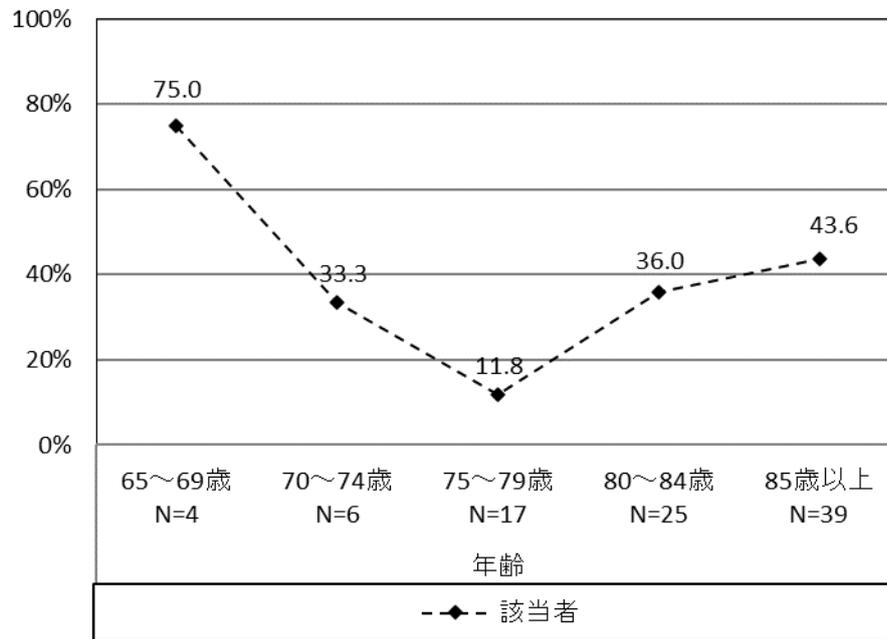


(4) 口腔機能の低下（要支援認定者）

年齢で見ると、85歳以上では「該当者」の割合が4割以上と高い。

性別で見ると、男性より女性で「該当者」の割合が高い。

圏域別で見ると、北圏域では他の圏域と比べて「該当者」の割合が高い。

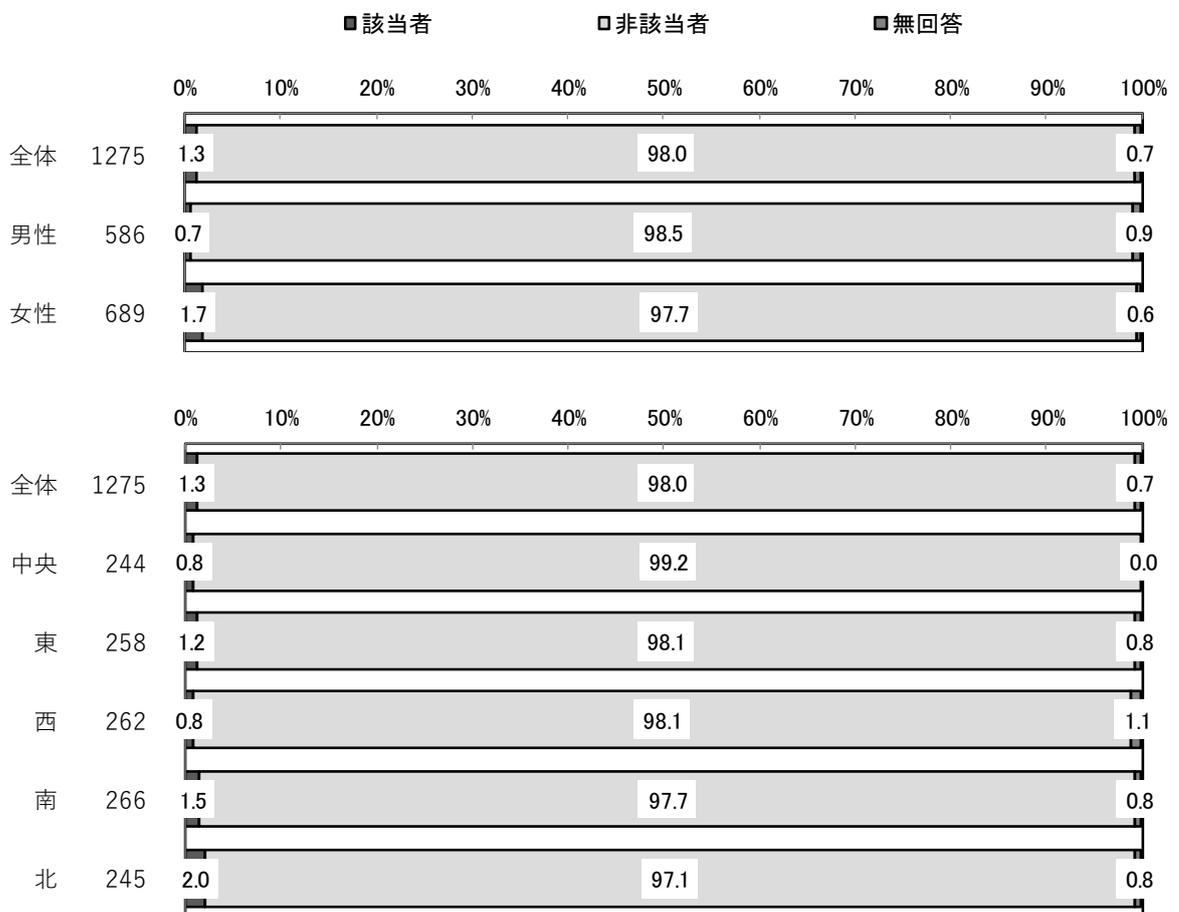
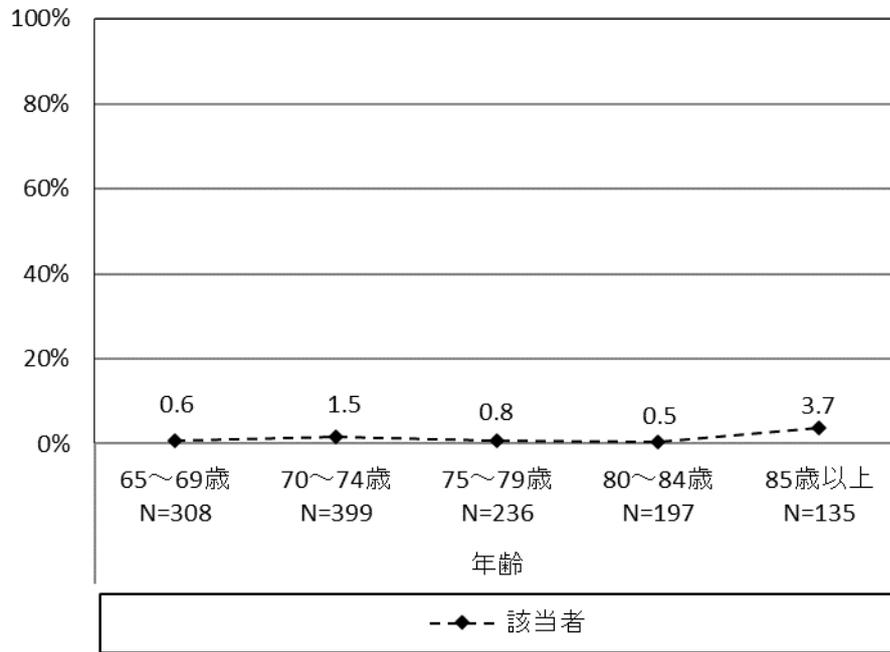


(5) 低栄養の傾向（一般高齢者）

年齢で見ると、大きな差は見られず、どの年齢でも低い。

性別で見ると、大きな差は見られず、男女とも低い。

圏域別でも、大きな差は見られない。

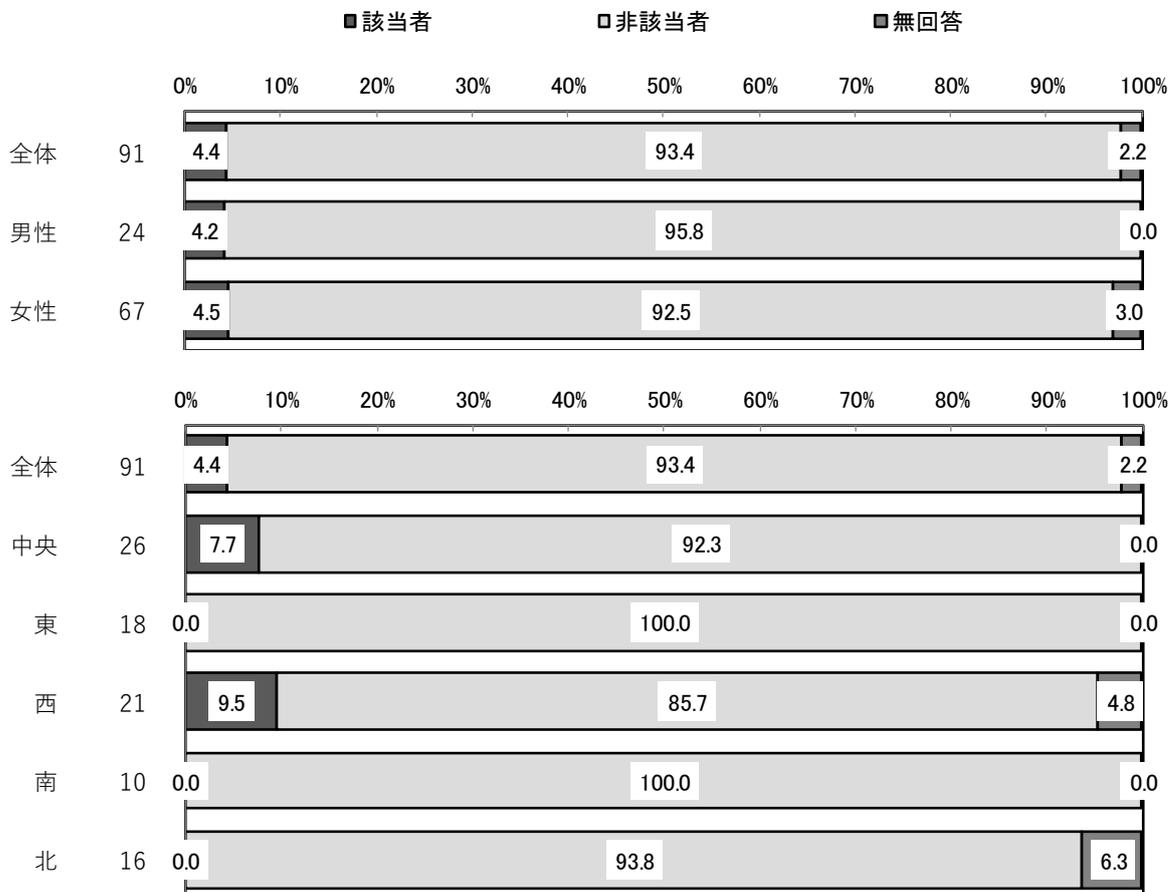
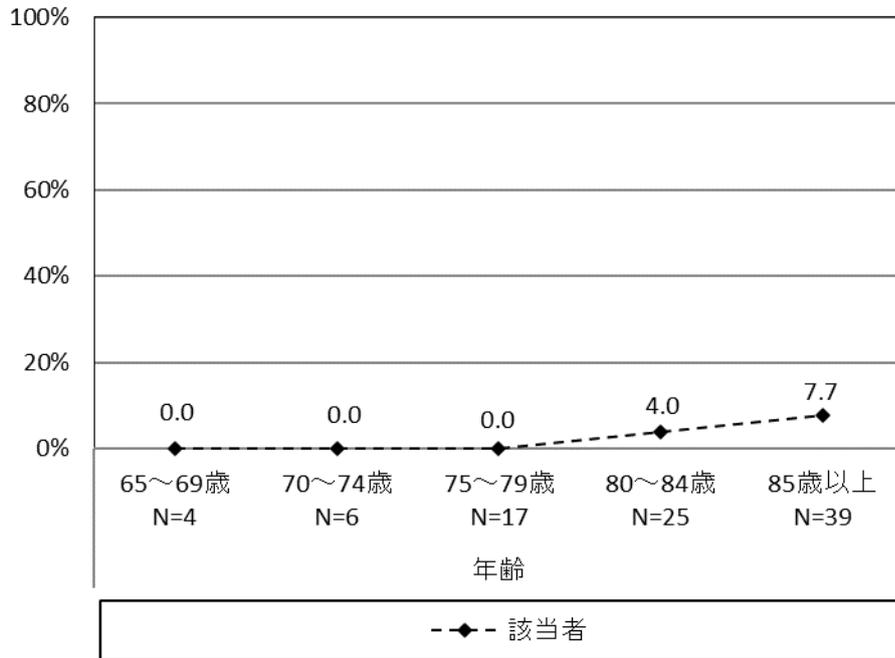


(5) 低栄養の傾向（要支援認定者）

年齢で見ると、80歳以上にのみ「該当者」が存在している。

性別で見ると、「該当者」は男性よりも女性の方が高い。

圏域別で見ると、西圏域、中央圏域では「該当者」の割合が高い。

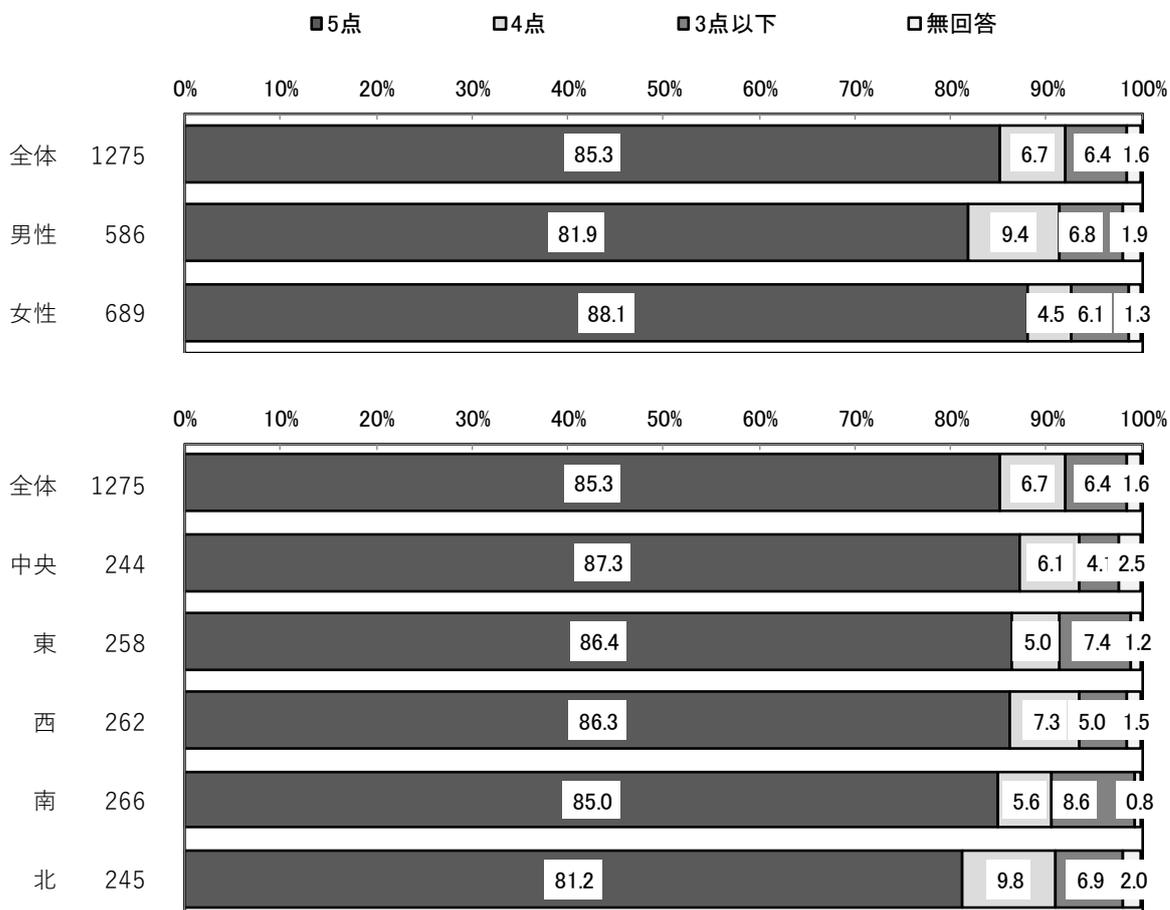
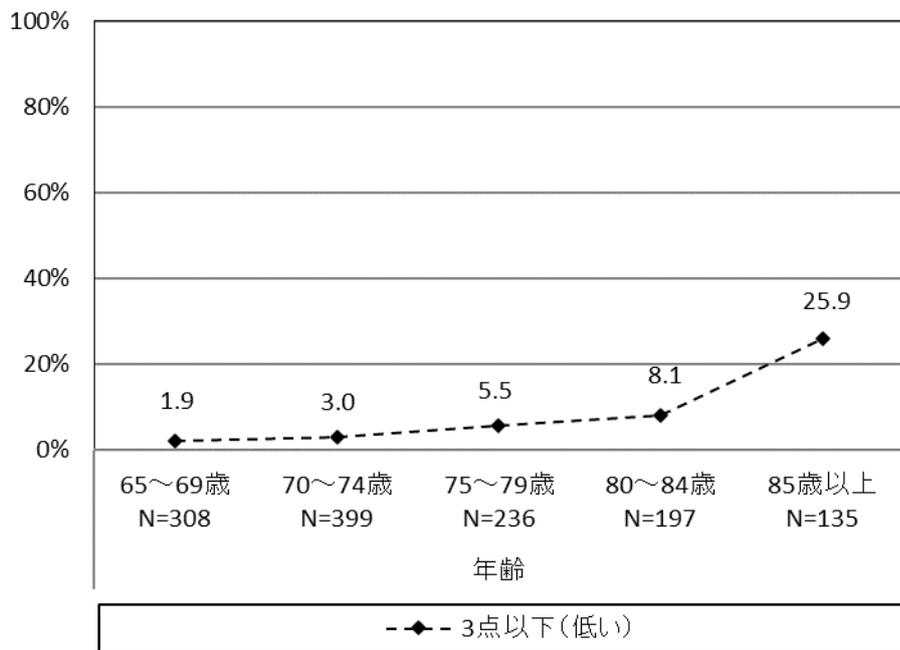


(6) 手段的日常生活動作 (IADL) 尺度 (一般高齢者)

年齢で見ると、年齢が上がるにつれて「3点以下(低い)」の割合が増加し、85歳以上では2割半ばとなる。

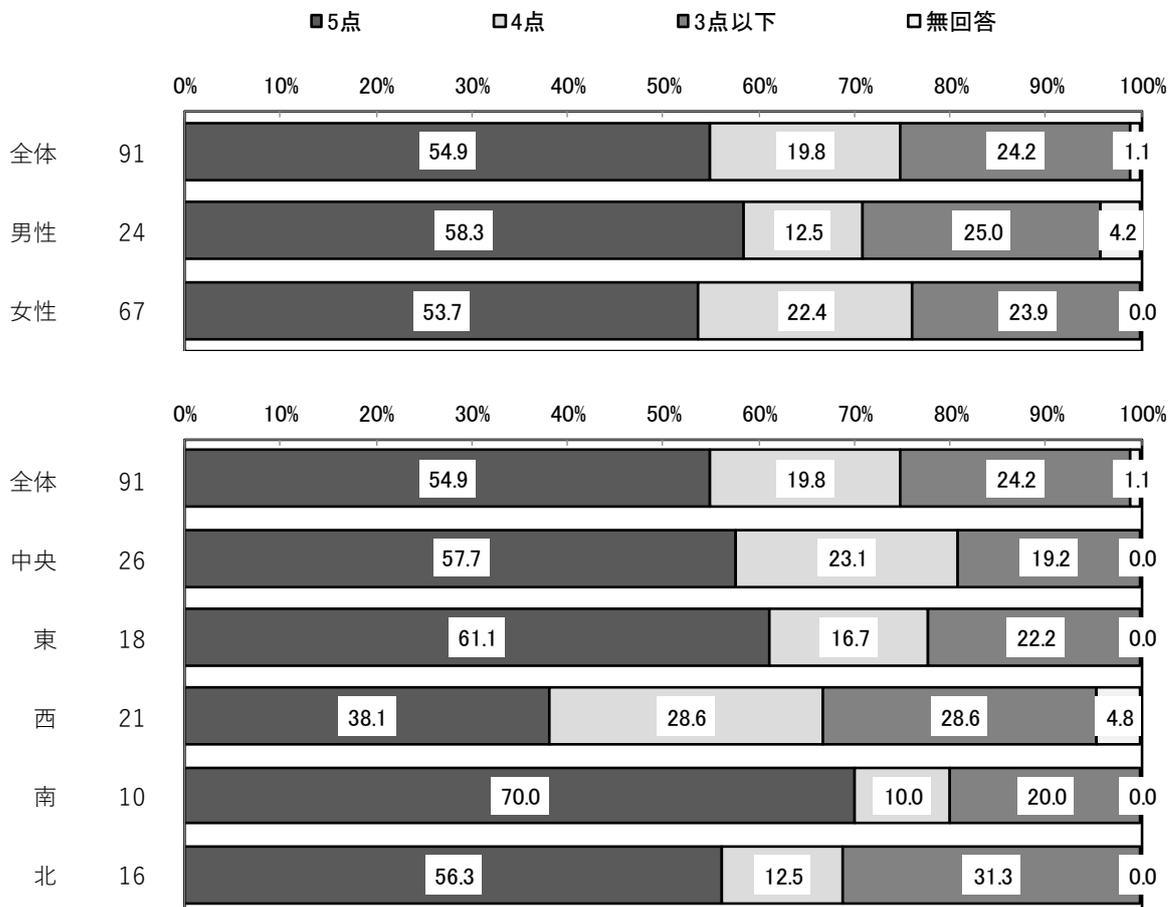
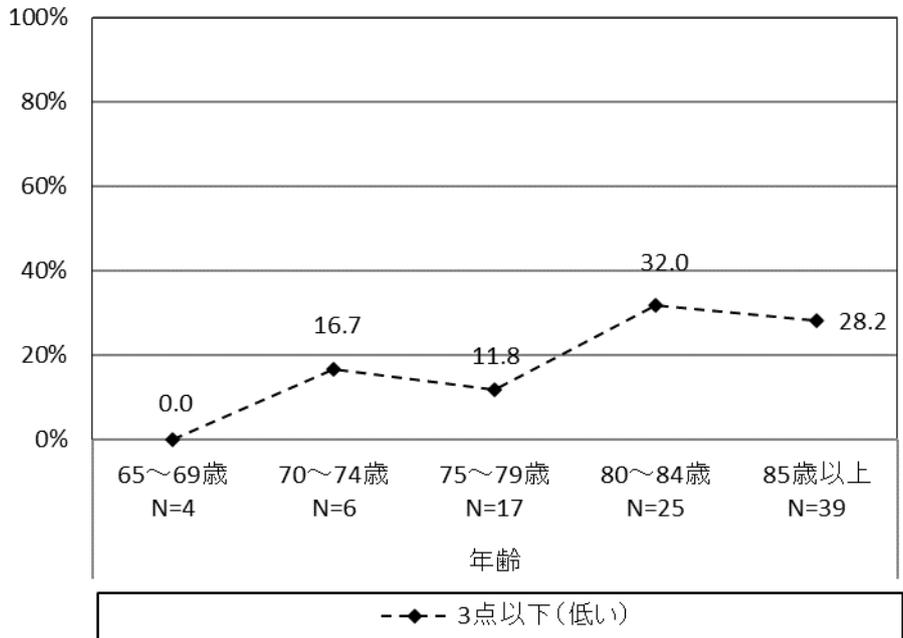
性別で見ると、女性より男性で「3点以下(低い)」の割合が高い。

圏域別で見ると、南圏域では他の圏域と比べて「3点以下(低い)」の割合が高い。



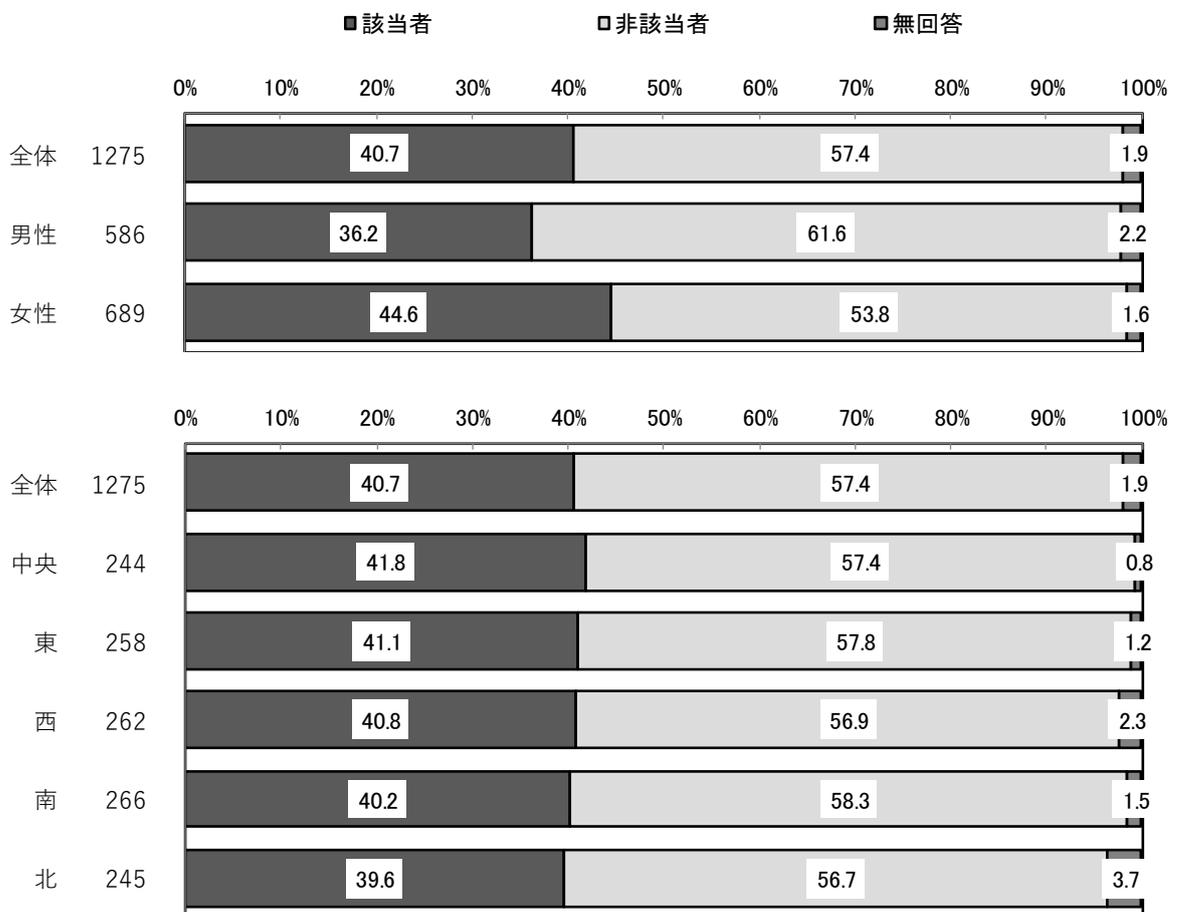
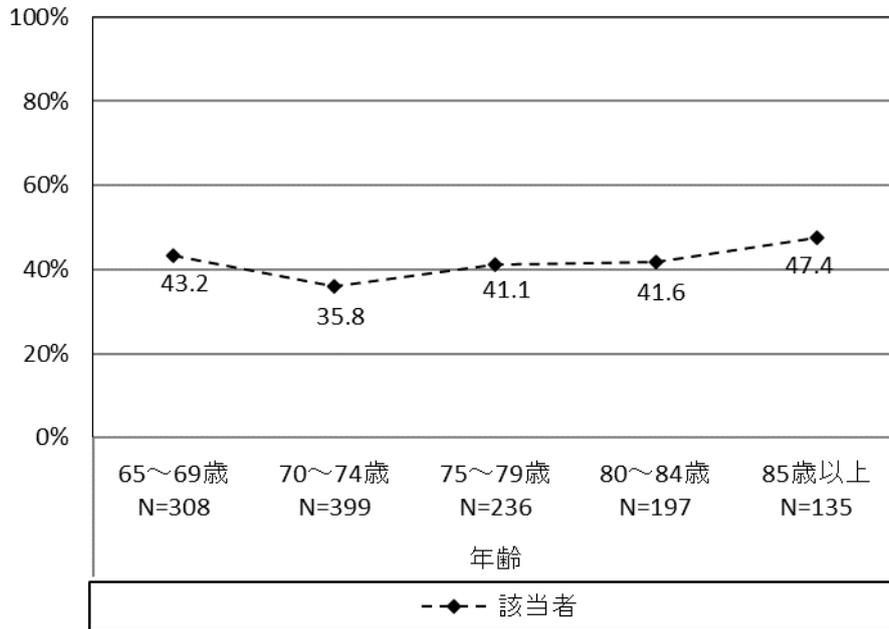
(6) 手段的日常生活動作 (IADL) 尺度 (要支援認定者)

年齢で見ると、80歳以上では「3点以下(低い)」の割合が3割程度となっている。
 性別で見ると、女性より男性で「3点以下(低い)」の割合が高い。
 圏域別で見ると、北圏域では他の圏域と比べて「3点以下(低い)」の割合が高い。



(7) うつ傾向（一般高齢者）

年齢で見ると、ほとんどの年齢層において4割を超えている。
 性別で見ると、男性より女性で「該当者」の割合が高い。
 圏域別で見ると、中央圏域では「該当者」の割合が高い。

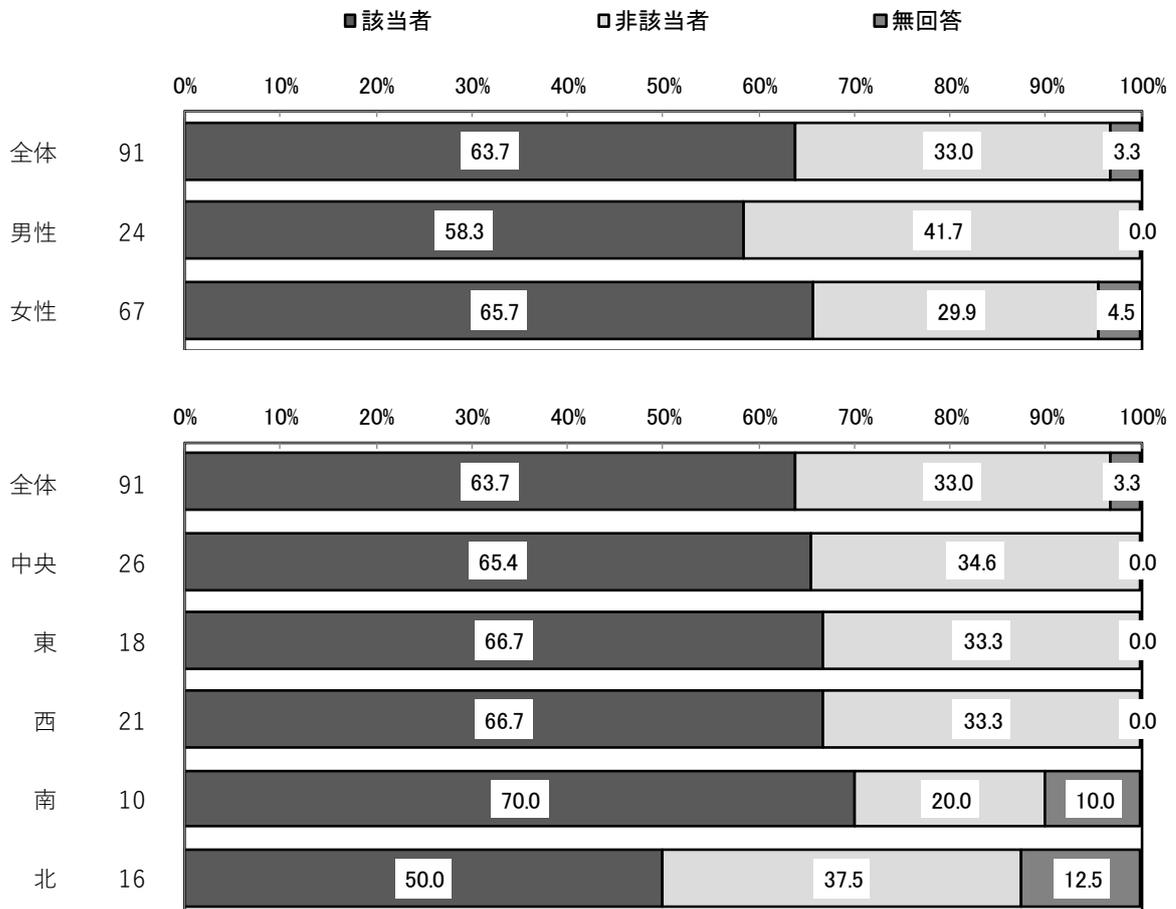
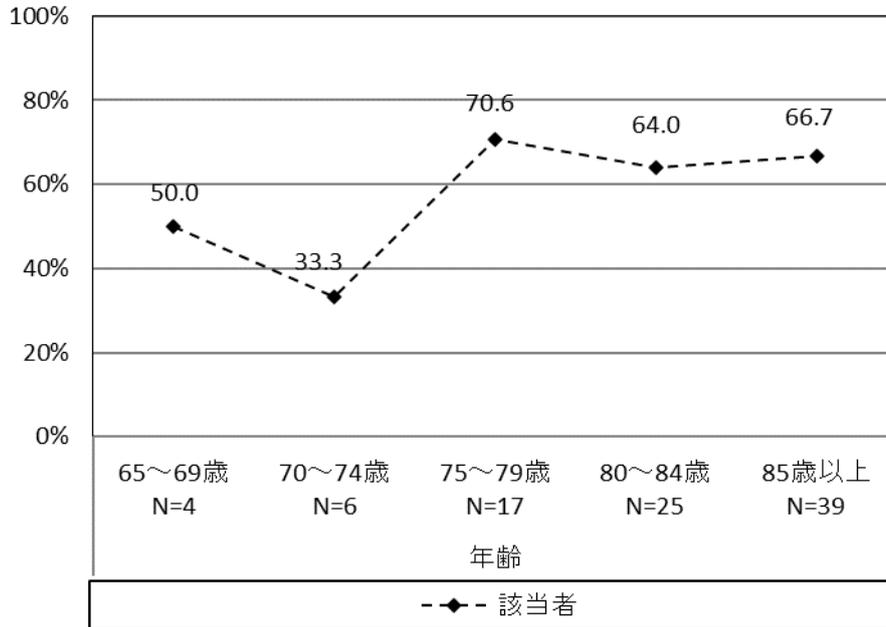


(7) うつ傾向（要支援認定者）

年齢で見ると、75歳以上では「該当者」の割合が6割以上と高い。

性別で見ると、男性より女性で「該当者」の割合が高い。

圏域別で見ると、南圏域では他の圏域と比べて「該当者」の割合が高い。



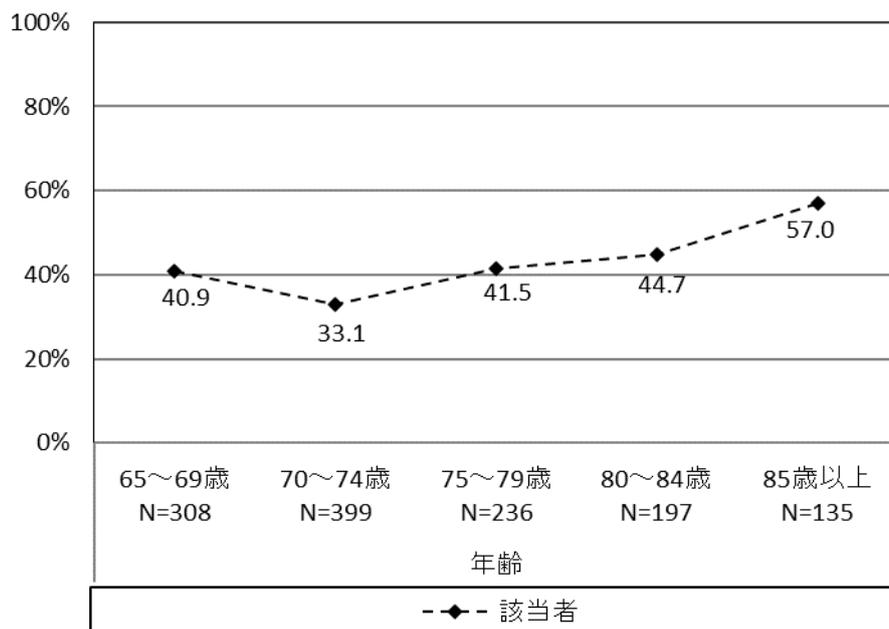
【参考】うつ傾向（一般高齢者）

リスク判定分析のうち、もっともリスクが高いうつ傾向について、項目別の分析を行った。

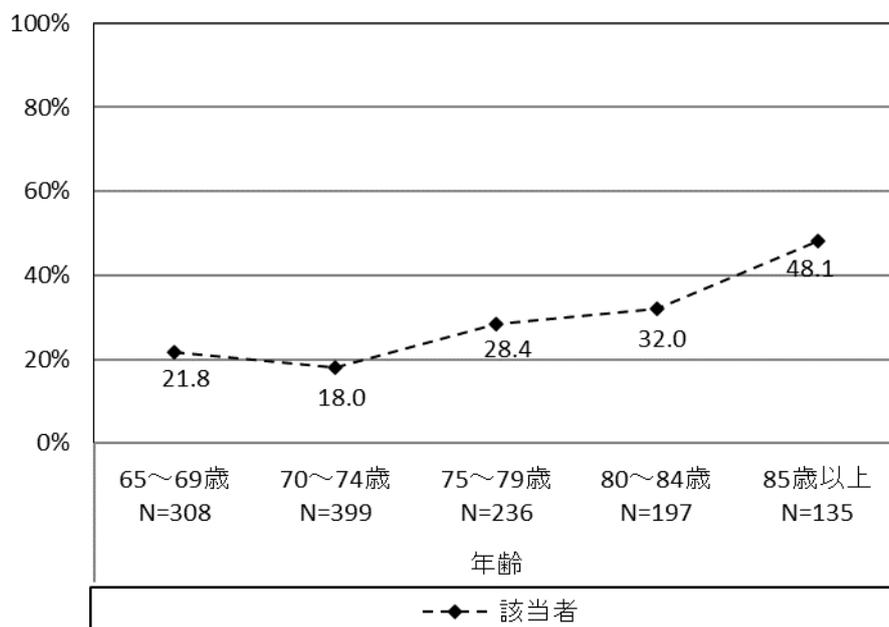
一般高齢者のうち、年齢別および項目別に見ると、問7「（3）この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか」のほうが全体的にリスクの高い状況。

設問番号	設問内容	選択肢
問7（3）	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
問7（4）	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

【問7（3）】



【問7（4）】



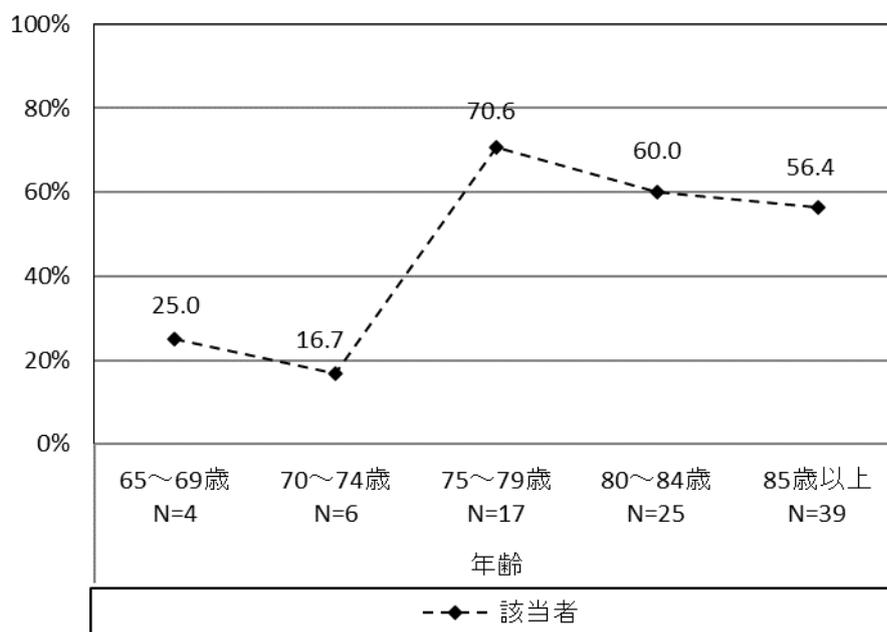
(参考) うつ傾向 (要支援認定者)

リスク判定分析のうち、もっともリスクが高いうつ傾向について、項目別の分析を行った。

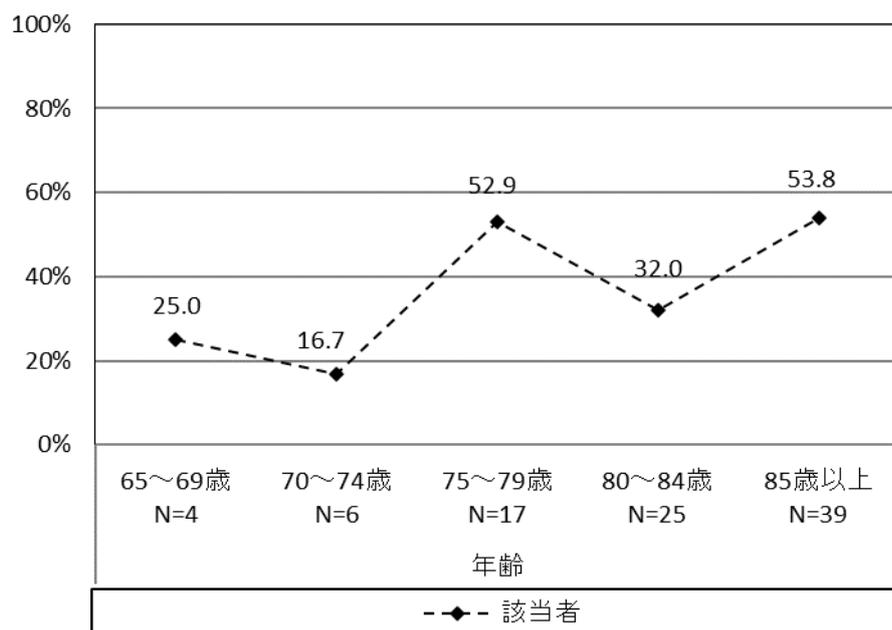
要支援認定者のうち、年齢別および項目別に見ると、問7「(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか」のほうが全体的にリスクの高い状況。

設問番号	設問内容	選択肢
問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

【問7(3)】



【問7(4)】

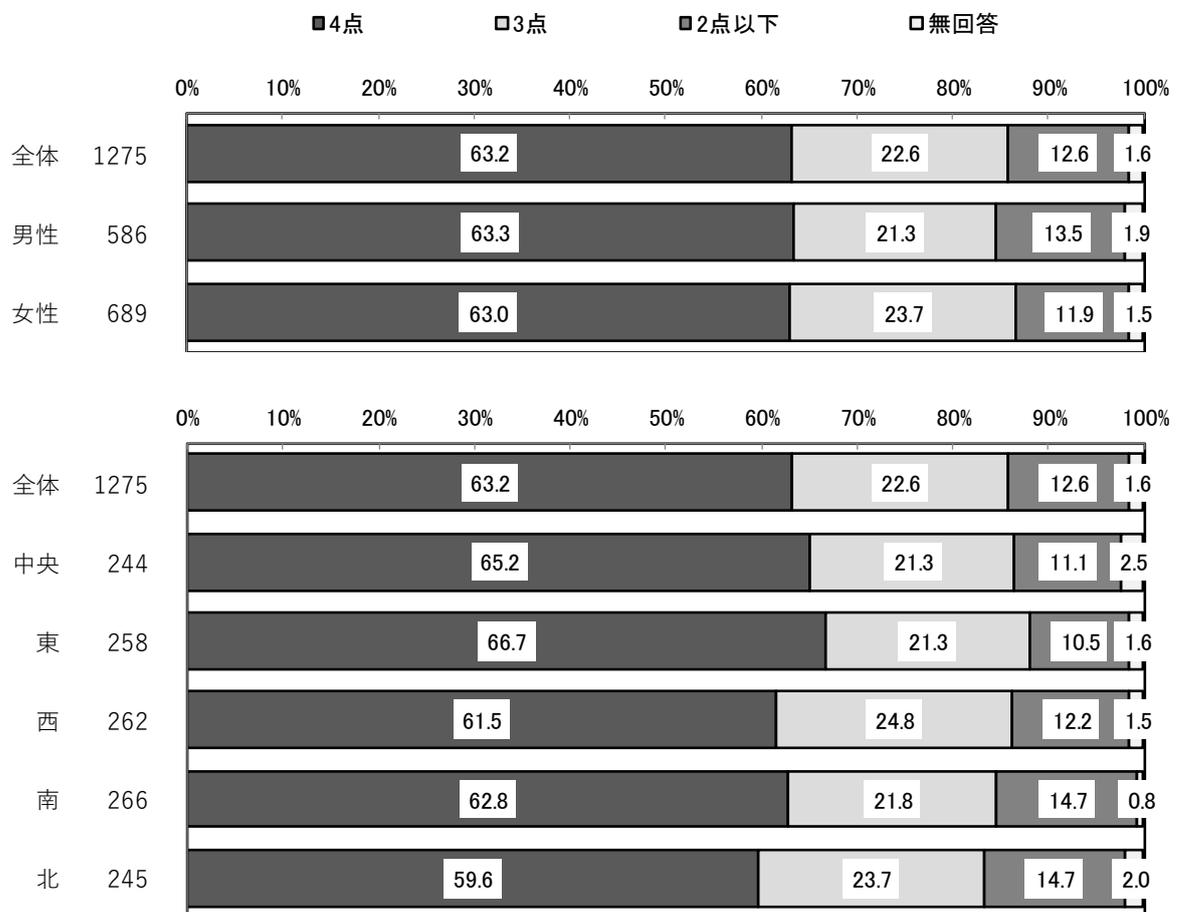
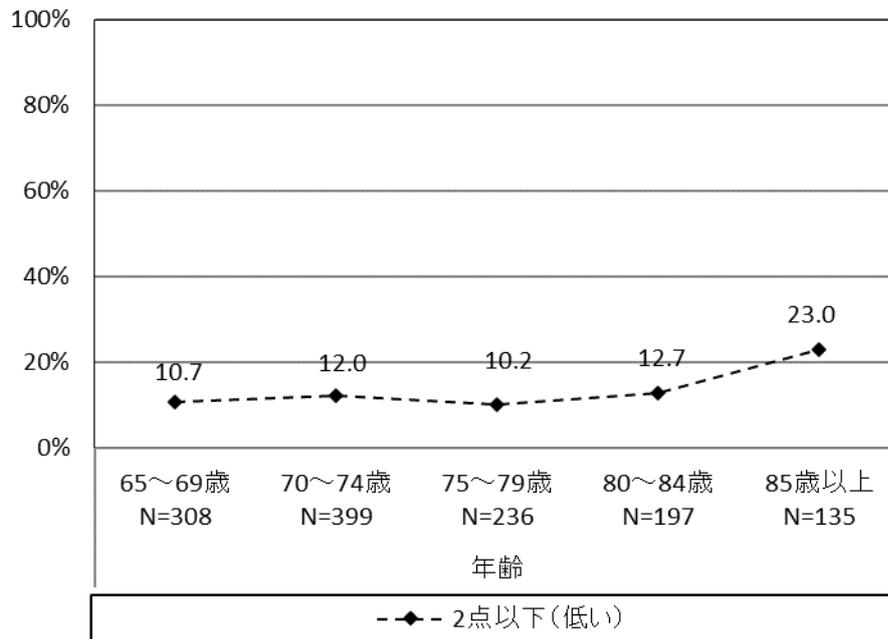


(8) 知的能動性（一般高齢者）

年齢で見ると、85歳以上では「2点以下（低い）」の割合が2割以上となっている。

性別で見ると、女性より男性で「2点以下（低い）」の割合がやや高い。

圏域別で見ると、南圏域、北圏域では「2点以下（低い）」の割合がやや高い。

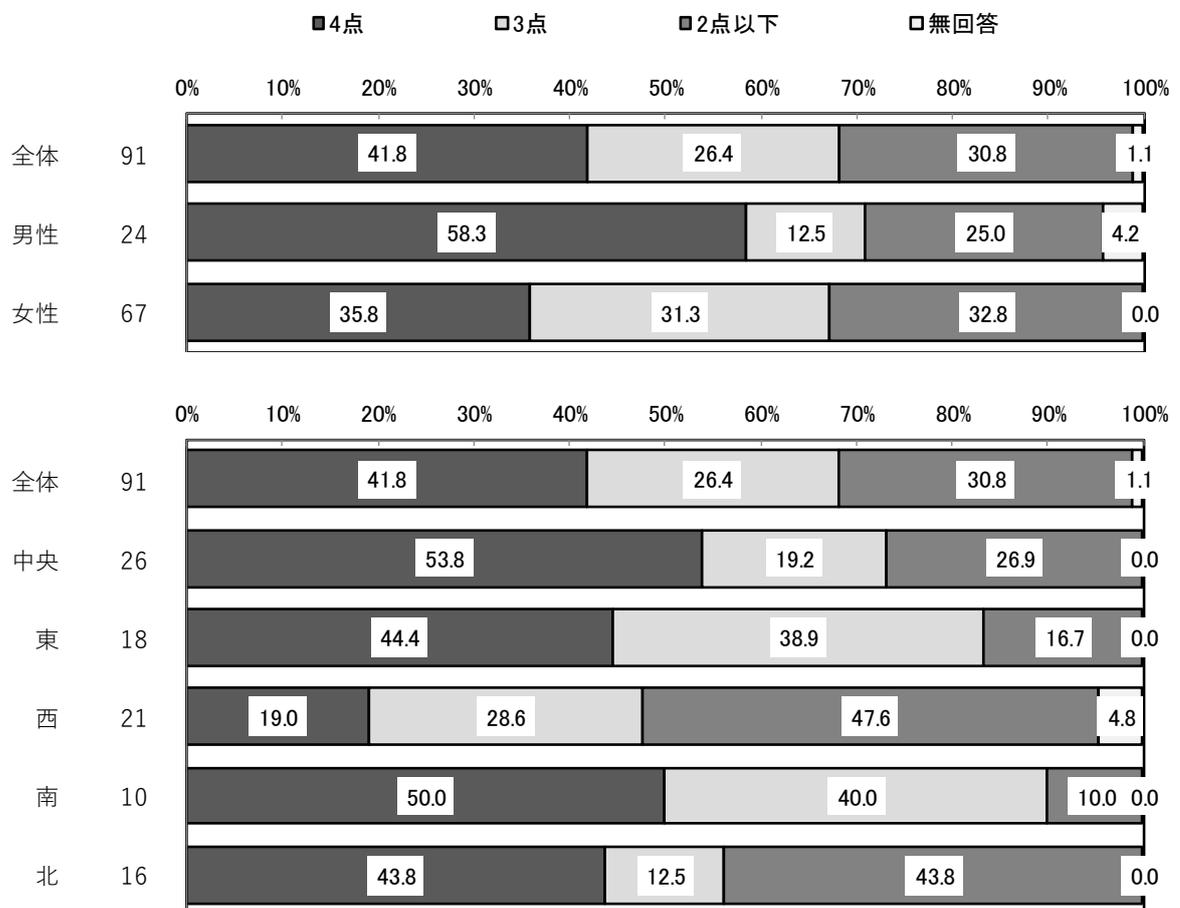
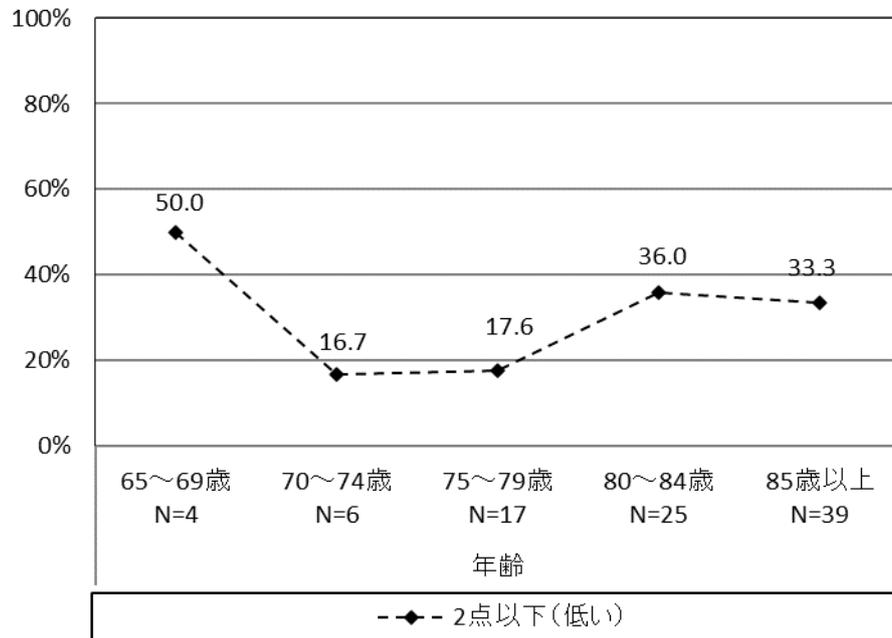


(8) 知的能動性 (要支援認定者)

年齢で見ると、80歳以上では「2点以下(低い)」の割合が3割を超えている。

性別で見ると、男性より女性で「2点以下(低い)」の割合が高い。

圏域別で見ると、西圏域では他の圏域と比べて「2点以下(低い)」の割合が高い。

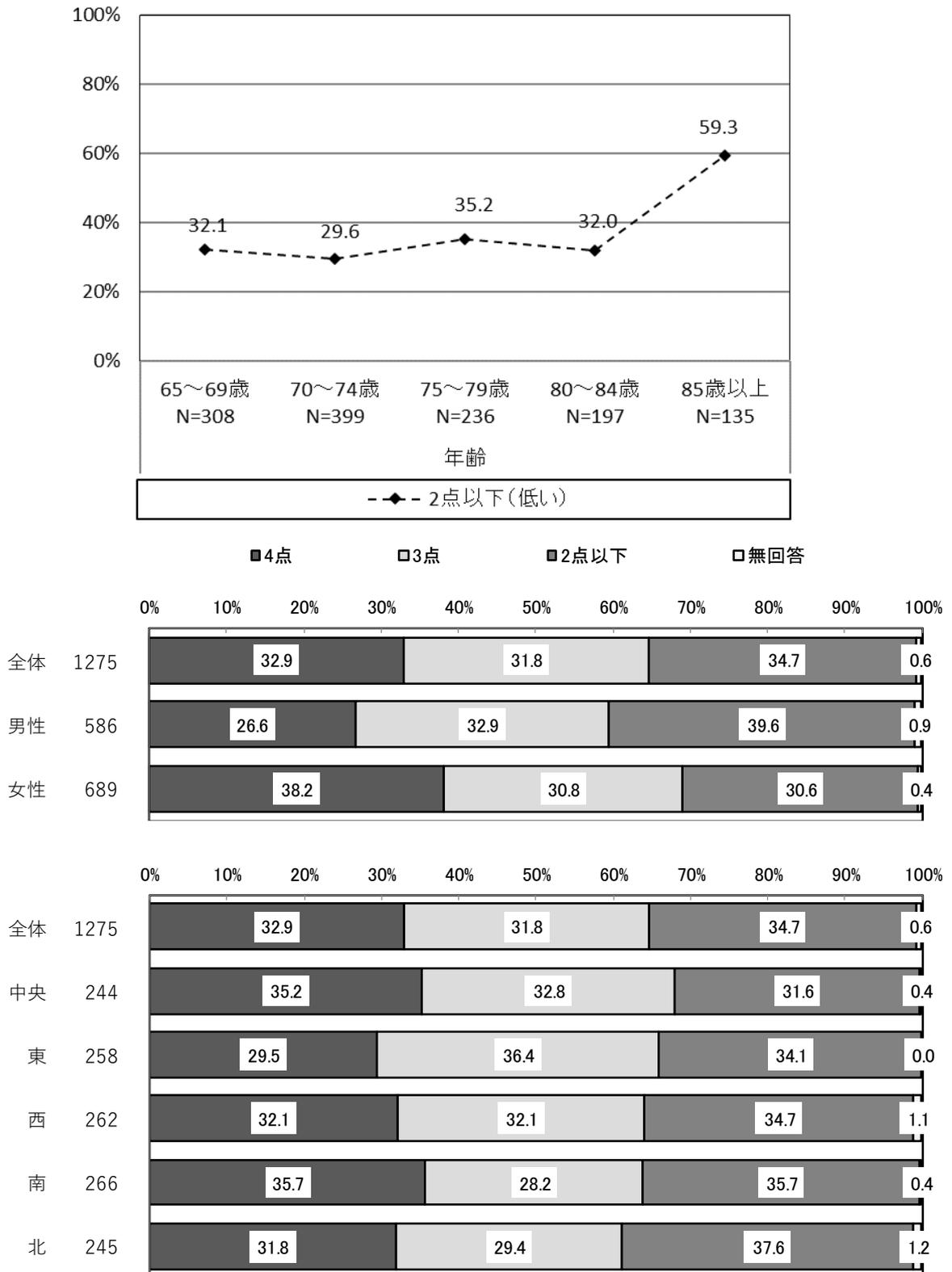


(9) 他者との関わり (一般高齢者)

年齢で見ると、85歳以上では「2点以下(低い)」の割合が6割程度と高い。

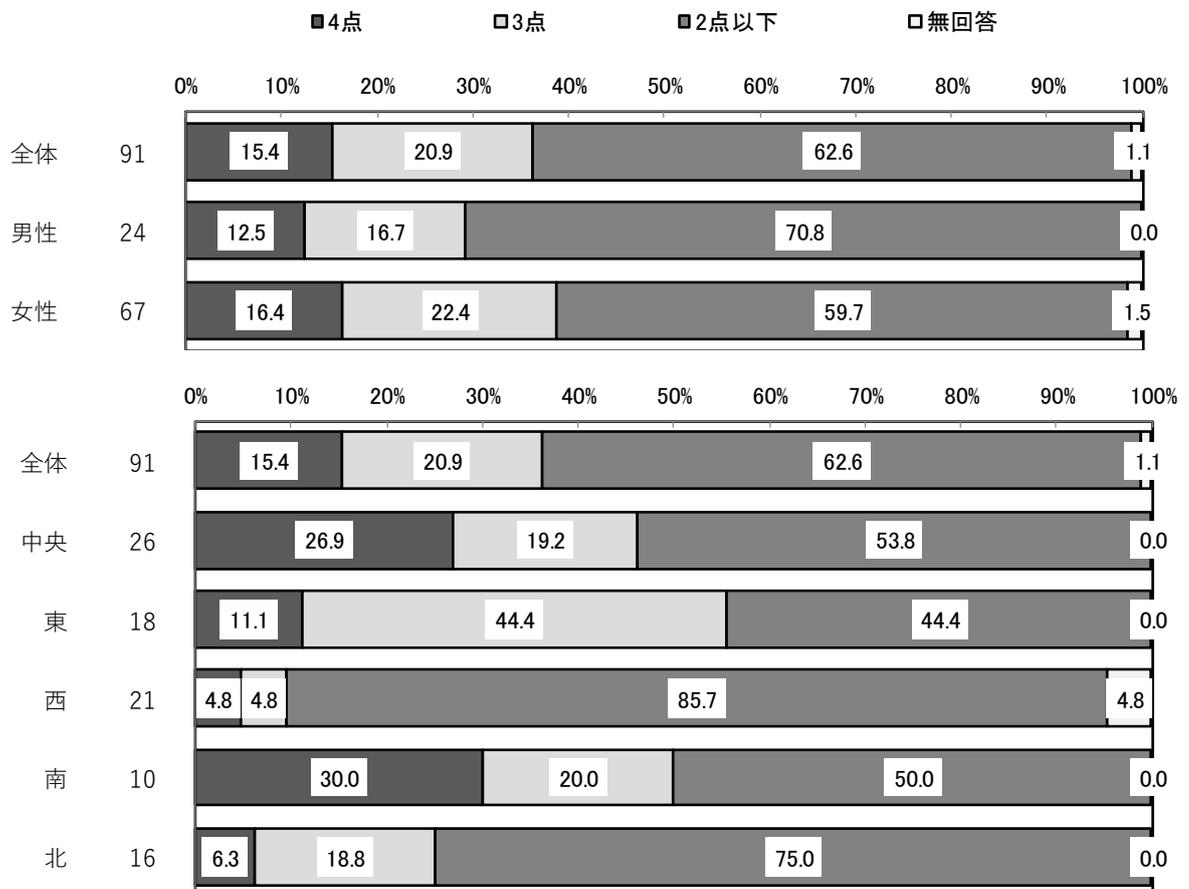
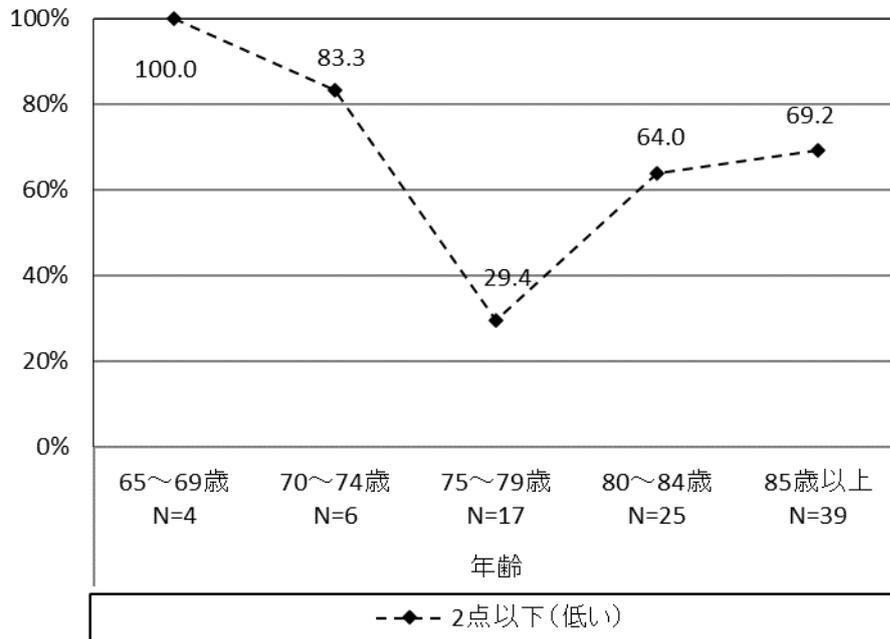
性別で見ると、女性より男性で「2点以下(低い)」の割合が高い。

圏域別で見ると、北圏域では「2点以下(低い)」の割合が高い。



(9) 他者との関わり (要支援認定者)

年齢で見ると、75歳以上では年齢が上がるにつれて「2点以下(低い)」の割合が増加傾向にある。
 性別で見ると、女性より男性で「2点以下(低い)」の割合が高い。
 圏域別で見ると、西圏域では他の圏域と比べて「2点以下(低い)」の割合が高い。

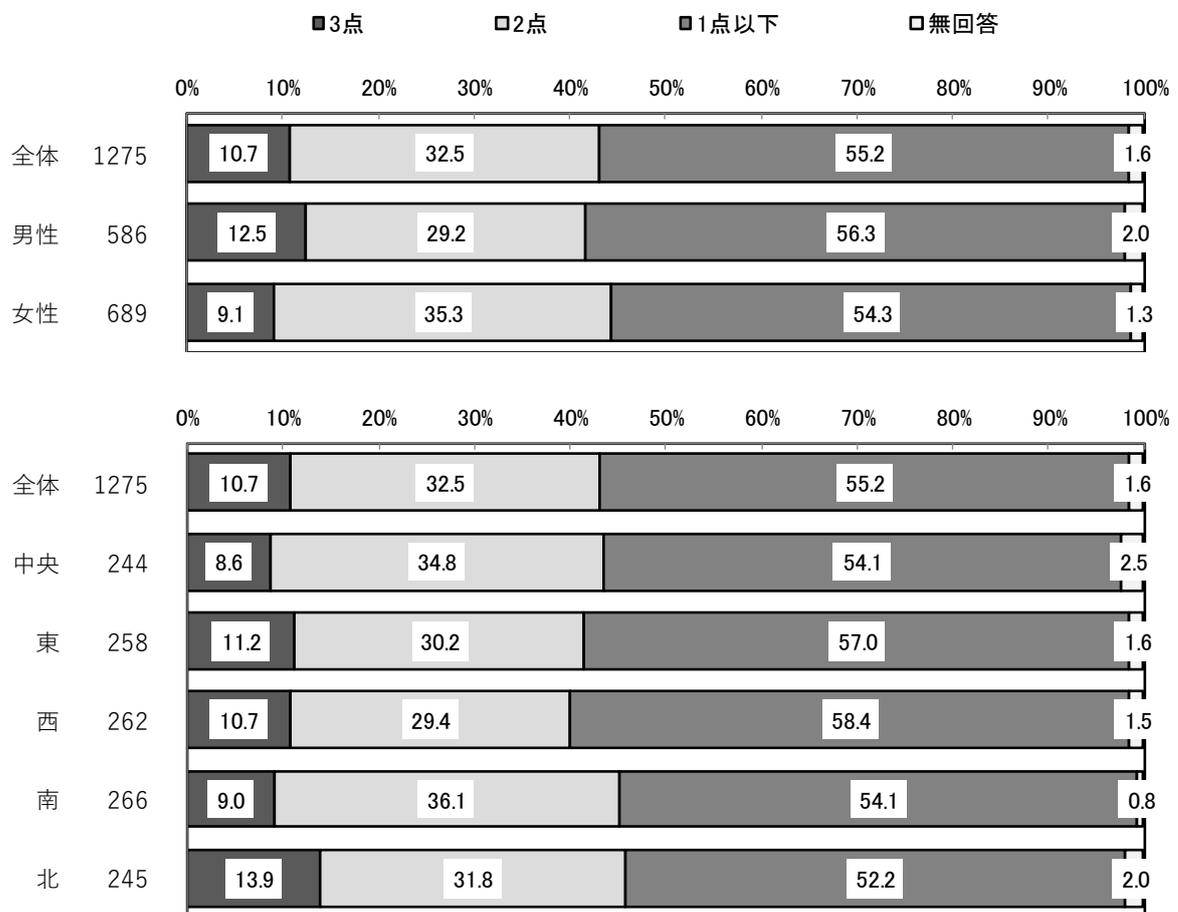
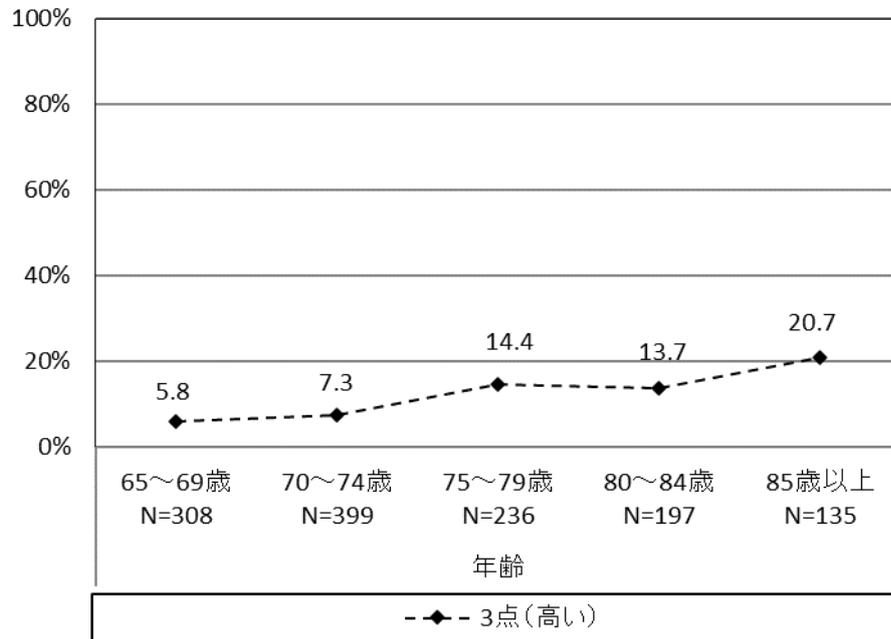


(10) 認知機能の低下（一般高齢者）

年齢でみると、85歳以上では「3点（高い）」の割合が2割を超えている。

性別でみると、女性より男性で「3点（高い）」の割合が高い。

圏域別でみると、北圏域では「3点（高い）」の割合が高い。

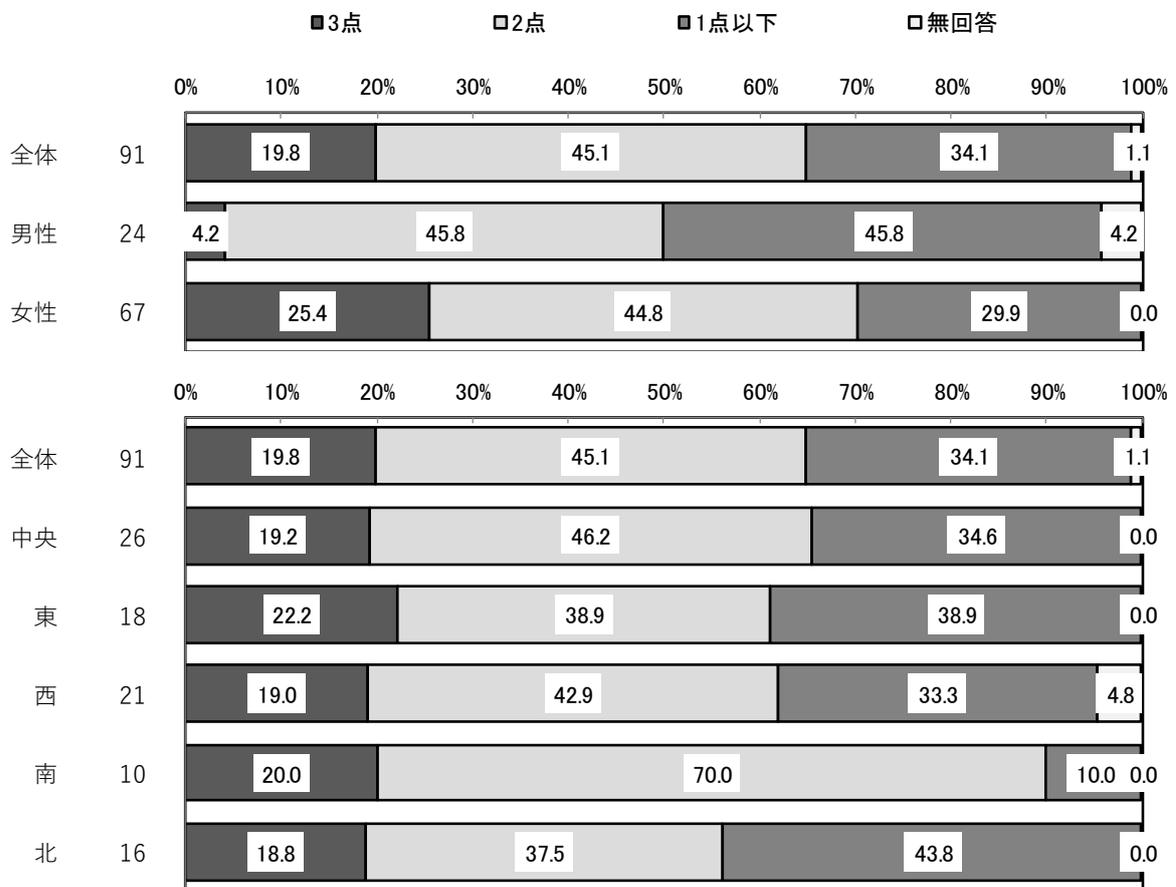
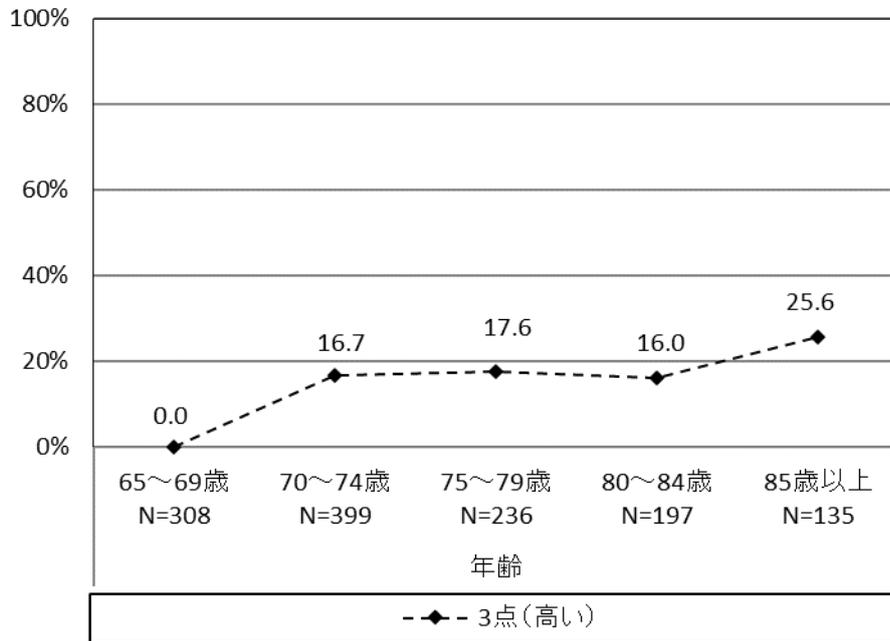


(10) 認知機能の低下（要支援認定者）

年齢で見ると、85歳以上では「3点（高い）」の割合が2割半ばと高い。

性別で見ると、男性より女性で「3点（高い）」の割合が高い。

圏域別で見ると、東圏域では他の圏域と比べて「3点（高い）」の割合が高い。



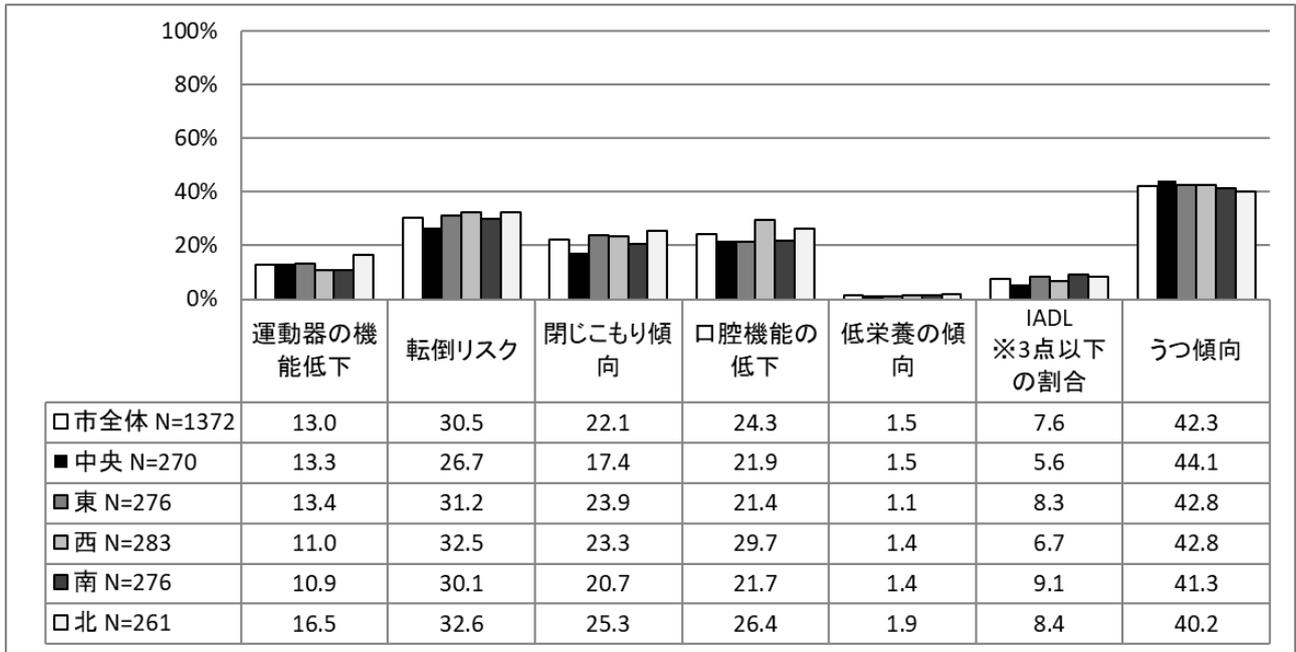
3. 圏域別リスクの比較

(1) 圏域別リスクの比較

【全体】

全体では、各リスク該当者の該当者出現率を圏域別にみると、「うつ傾向」、「転倒リスク」、「口腔機能の低下」の順に高くなっている。

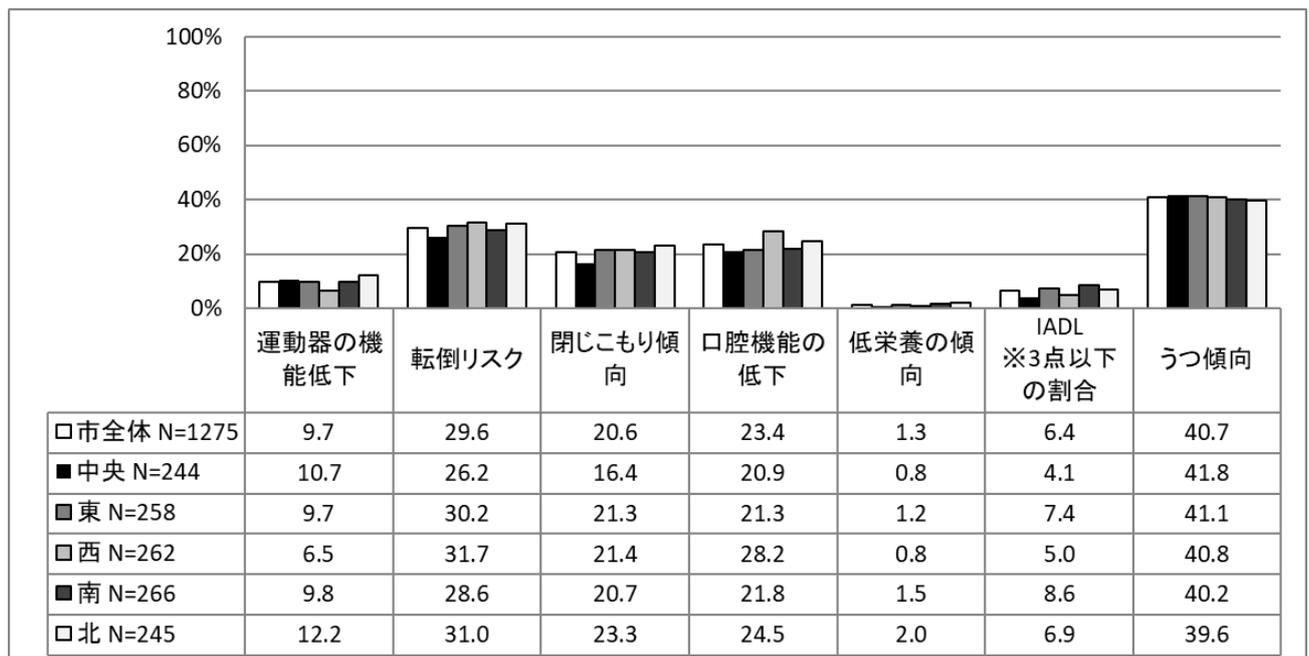
リスク別にみると「うつ傾向」は中央圏域、「転倒リスク」は北圏域、「口腔機能の低下」では西圏域が高くなっている。



【一般高齢者】

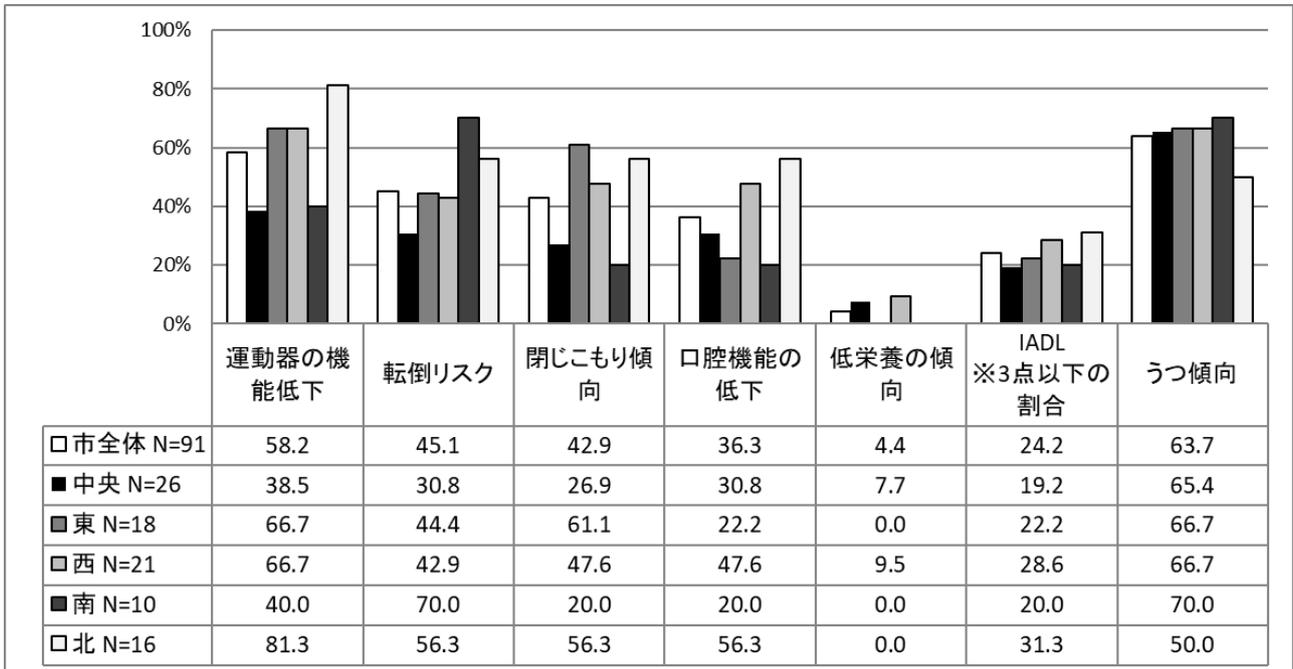
一般高齢者において、各リスク該当者の該当者出現率を圏域別にみると、市全体では「うつ傾向」、「転倒リスク」、「口腔機能の低下」の順に高くなっている。

リスク別にみると、「うつ傾向」では中央圏域、「転倒リスク」「口腔機能の低下」は西圏域が高くなっている。



【要支援認定者】

要支援認定者では、「うつ傾向」、「運動器の機能低下」、「転倒リスク」、の順に高くなっている。
 リスク別にみると、「うつ傾向」「転倒リスク」は南圏域、「運動器の機能低下」は北圏域が高くなっている。

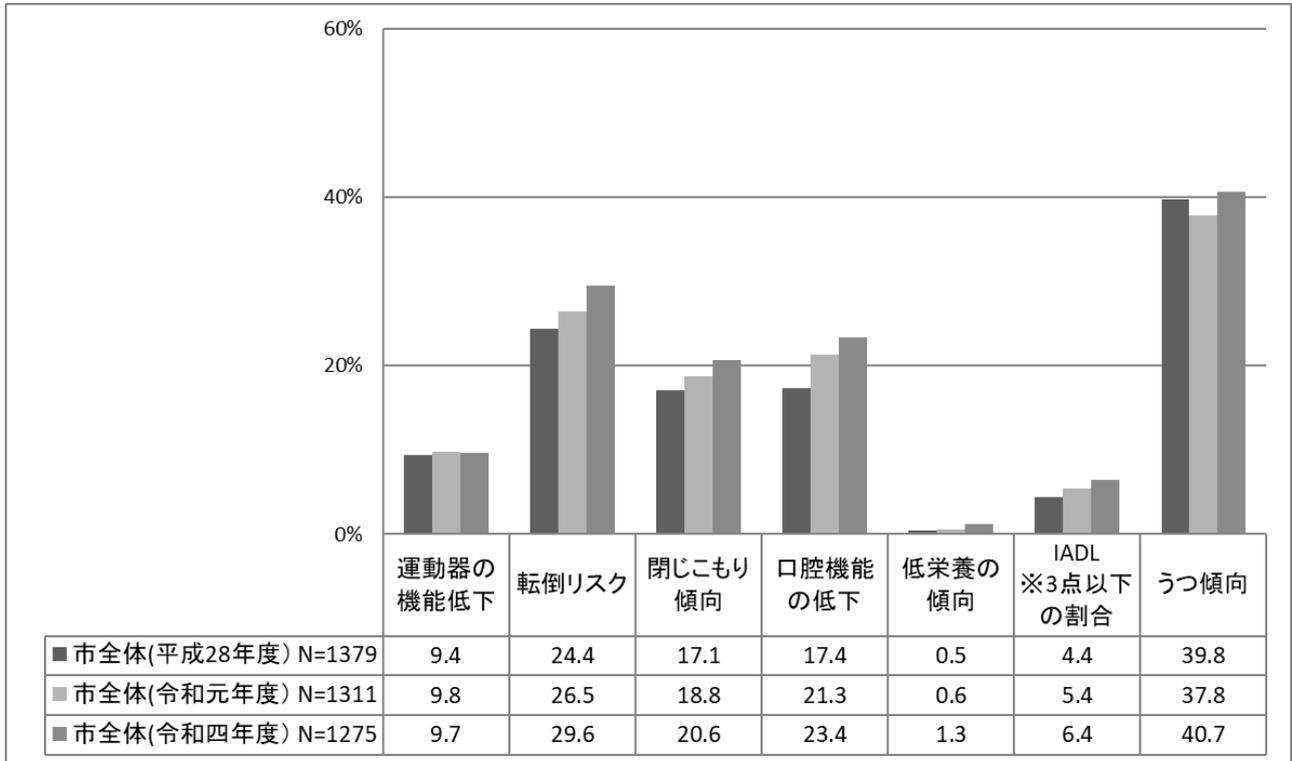


(2) 各リスクの経年比較

①各リスクの経年比較

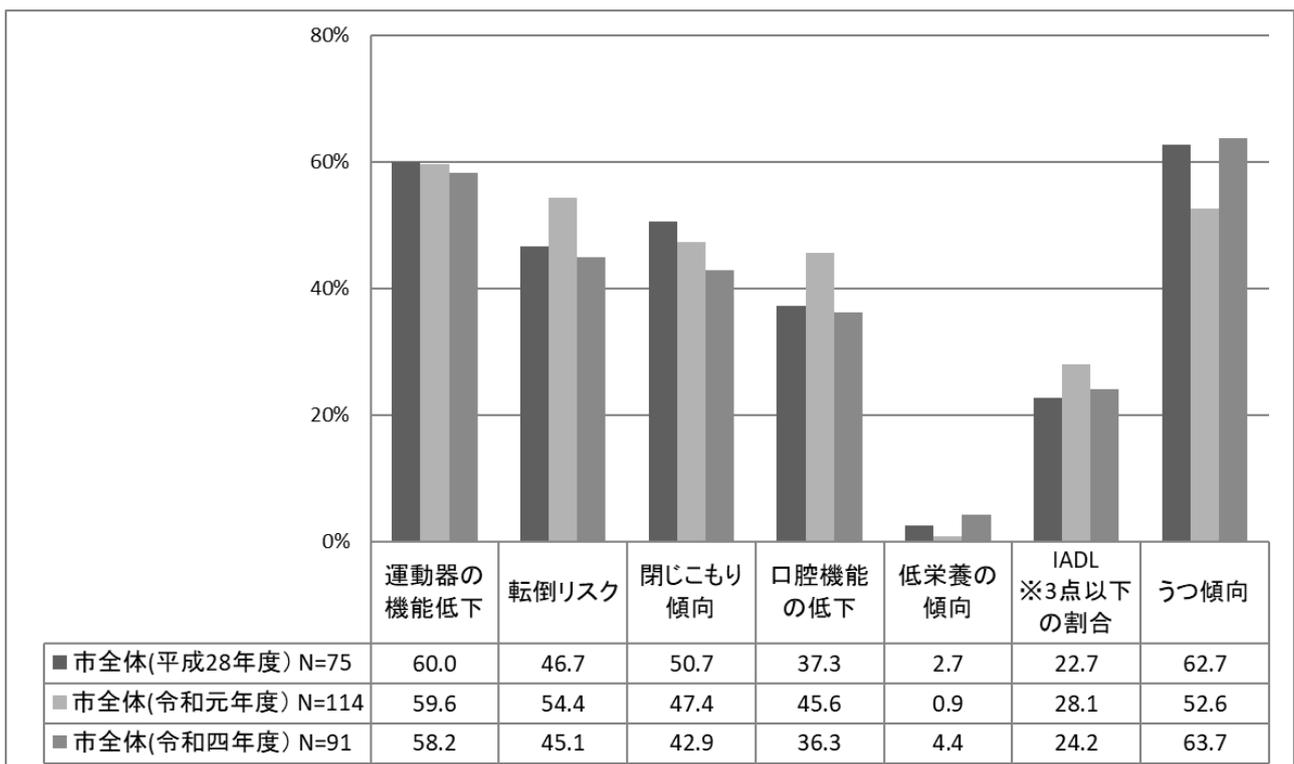
【一般高齢者】

一般高齢者において、各リスク該当者の該当者出現率を経年でみると、「運動器の機能低下」「うつ傾向」以外の項目はこれまでの調査と比較して増加傾向がみられる。



【要支援認定者】

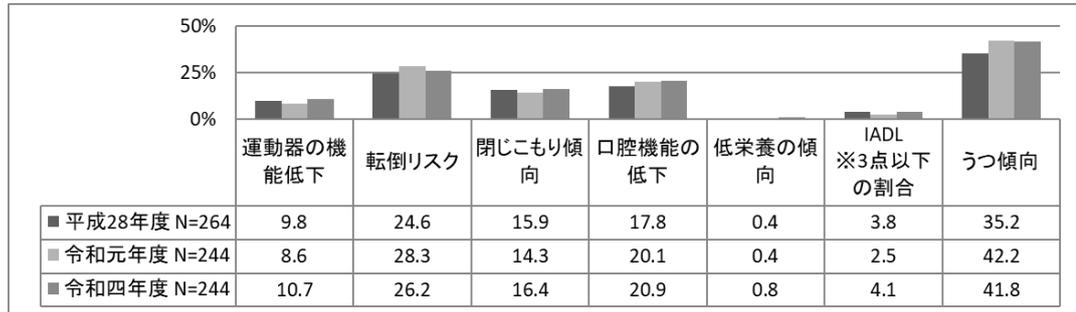
要支援認定者において、各リスク該当者の該当者出現率を経年でみると、「運動器の機能低下」「閉じこもり傾向」はこれまでの調査と比較して減少傾向がある。



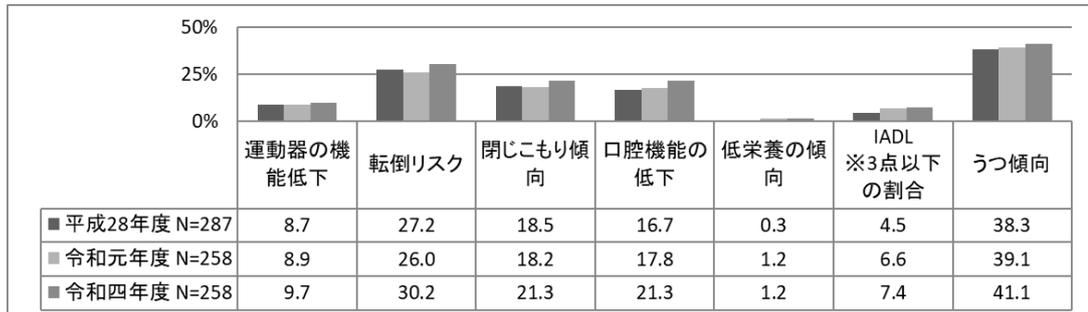
②圏域別各リスクの経年比較

【一般高齢者】

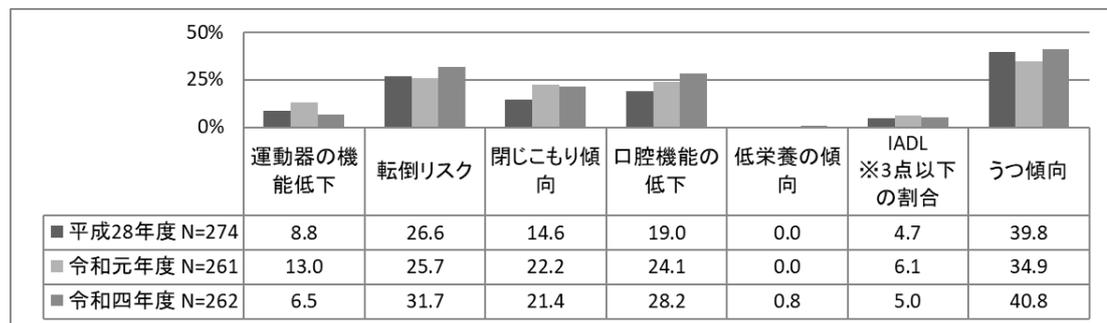
(中央圏域)



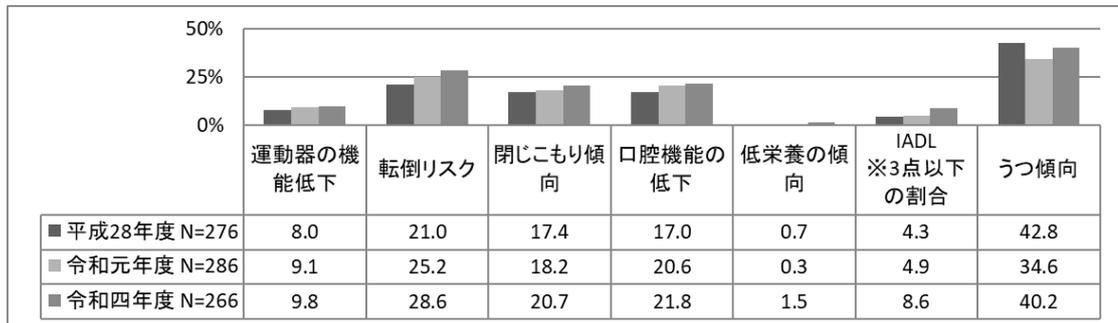
(東圏域)



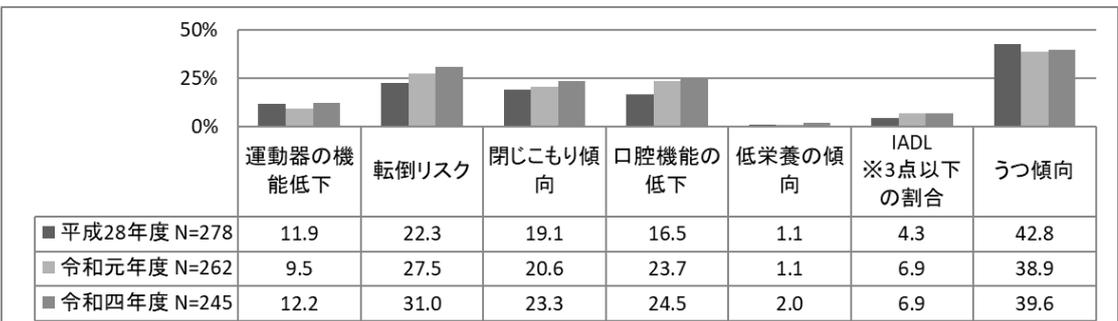
(西圏域)



(南圏域)

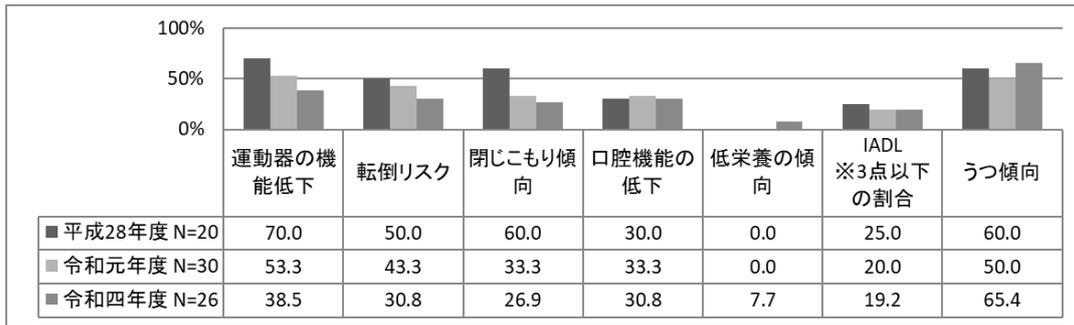


(北圏域)

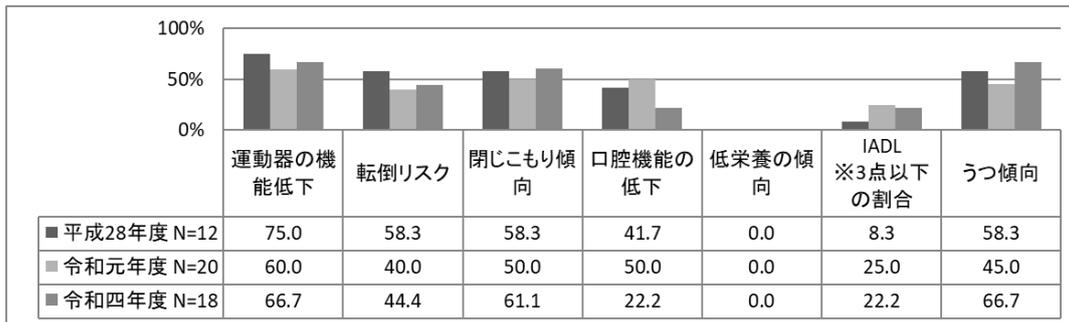


【要支援認定者】

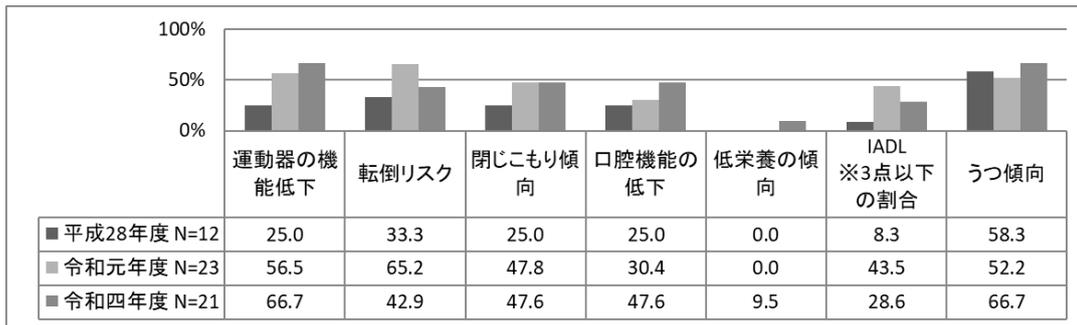
(中央圏域)



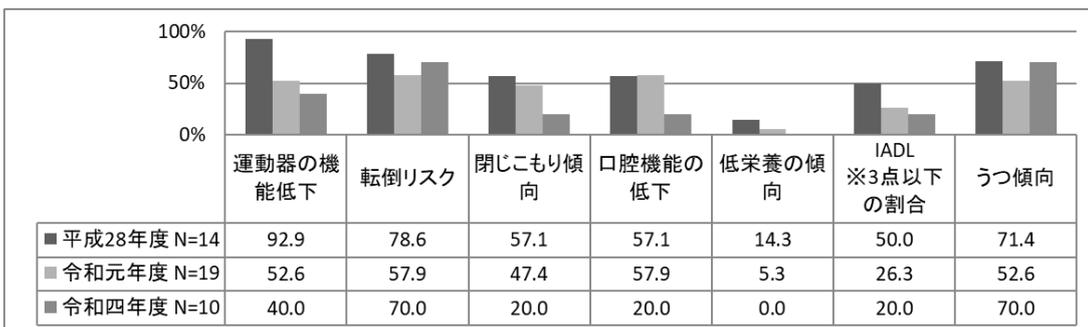
(東圏域)



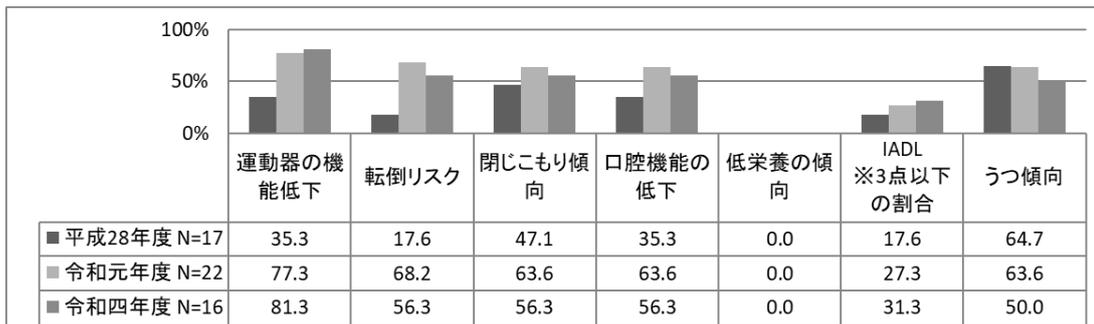
(西圏域)



(南圏域)



(北圏域)

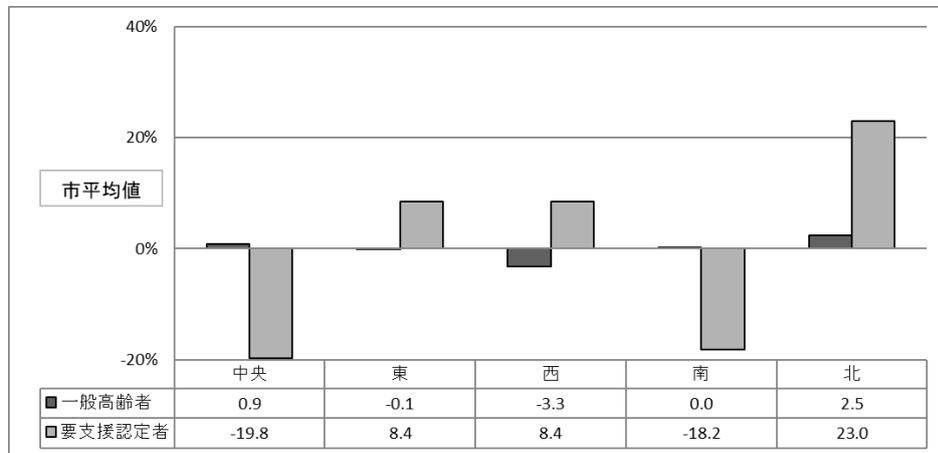


(3) 圏域別各リスクの状況

リスク毎に、それぞれの圏域でのリスク該当者の割合を市平均値と比較している。

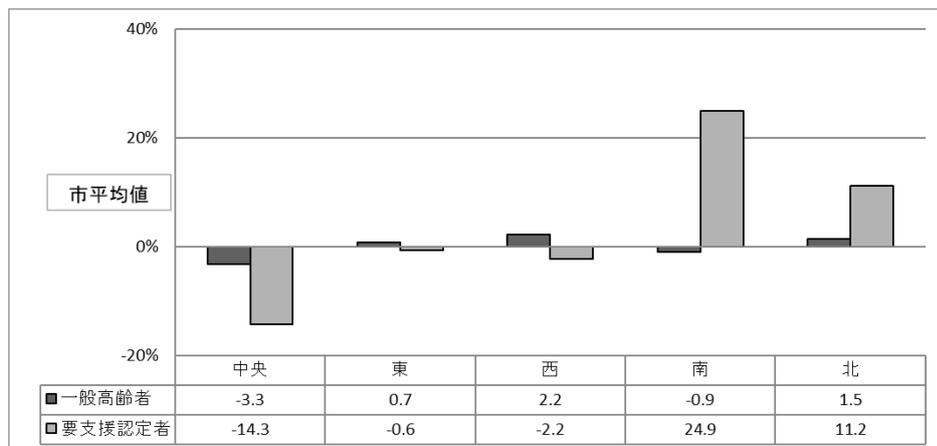
① 運動器の機能低下

一般高齢者では、北圏域、中央圏域が市平均値を上回っている
要支援認定者では、北圏域が突出して高くなっている。



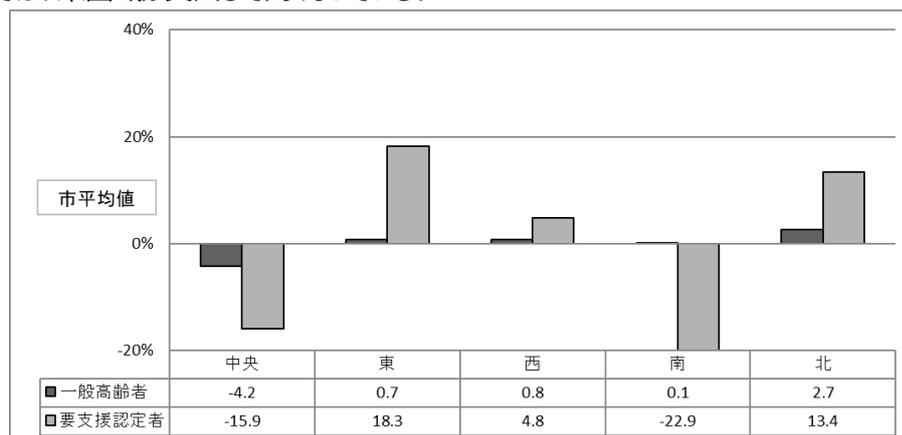
② 転倒リスク

一般高齢者では、西圏域、北圏域、東圏域で市平均値をやや上回っている。
要支援認定者では、南圏域が最も高くなっている。



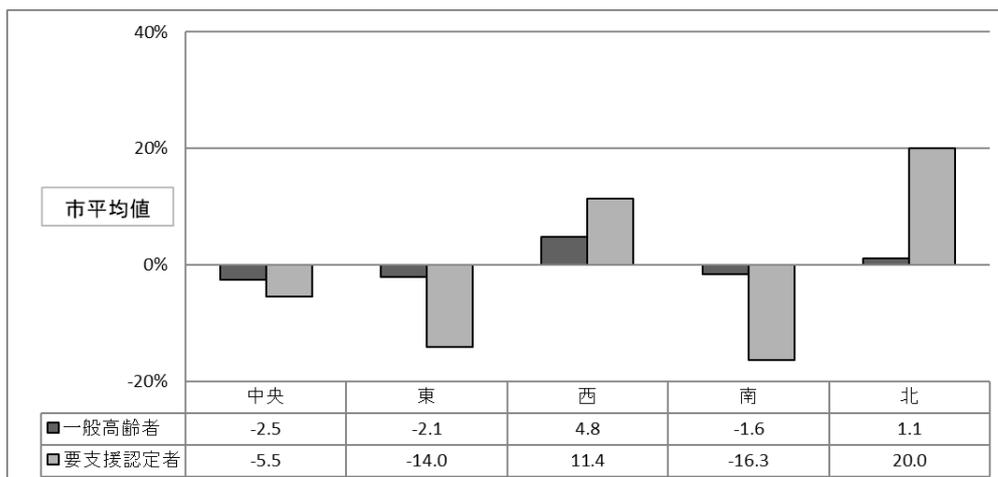
③ 閉じこもり傾向

一般高齢者では、中央圏域以外は市平均値を上回っている。
要支援認定者では、東圏域が突出して高くなっている。



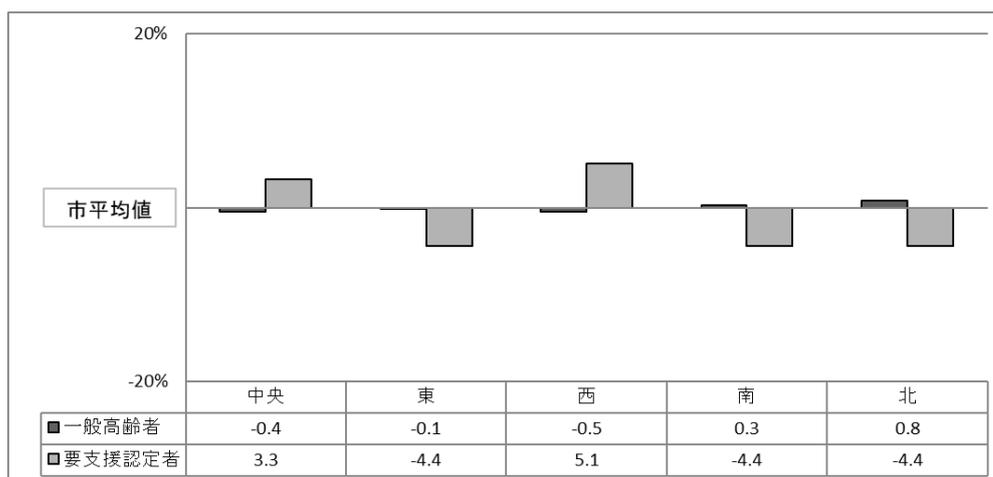
④ 口腔機能の低下

一般高齢者では、西圏域が最も高くなっており、北圏域でも市平均値を上回っている
 要支援認定者では、北圏域が突出して高く、西圏域でも市平均値を上回っている。



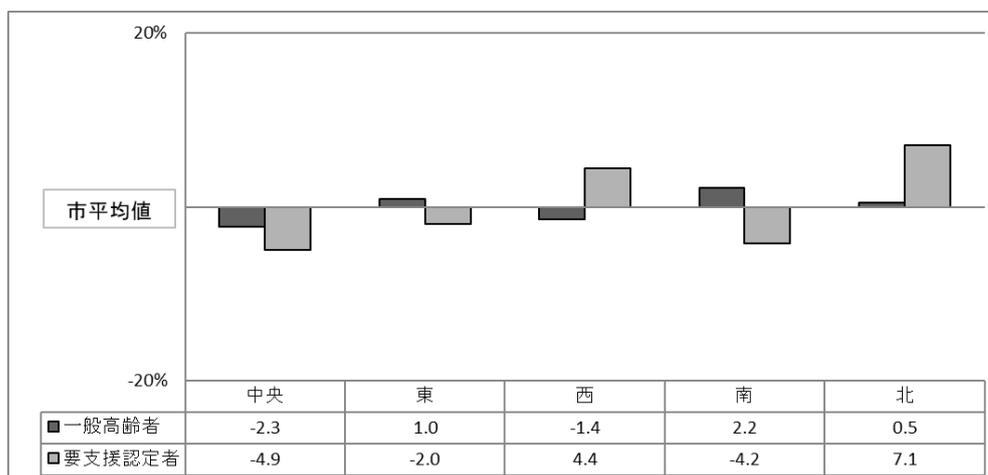
⑤ 低栄養の傾向

一般高齢者では、北圏域と南圏域が市平均値をわずかに上回っている。
 要支援認定者では、西圏域と中央圏域が市平均値を上回っている。



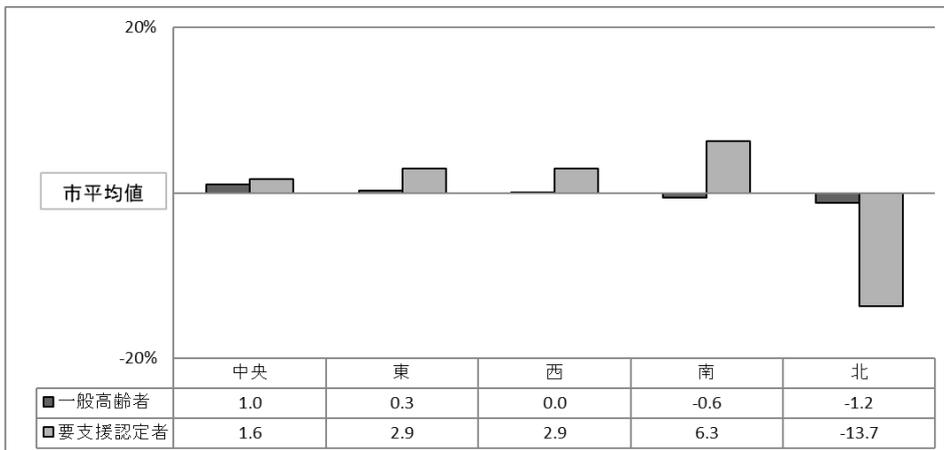
⑥ 手段的日常生活動作（IADL）尺度の低下

一般高齢者では、南圏域、東圏域、北圏域が市平均値を上回っている。
 要支援認定者では、北圏域が突出して高くなってている。



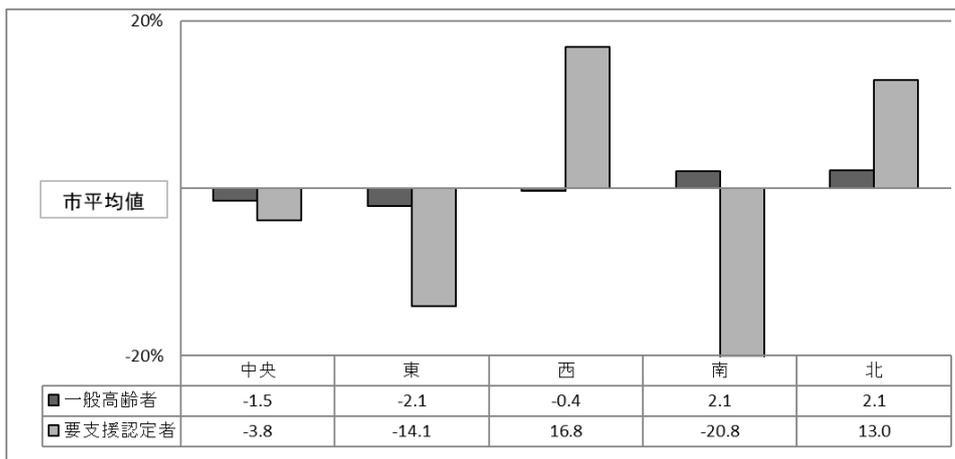
⑦うつ傾向

一般高齢者では、中央圏域が最も高く、東圏域でも市平均値を上回っている。
要支援認定者では、南圏域が最も高くなっている。



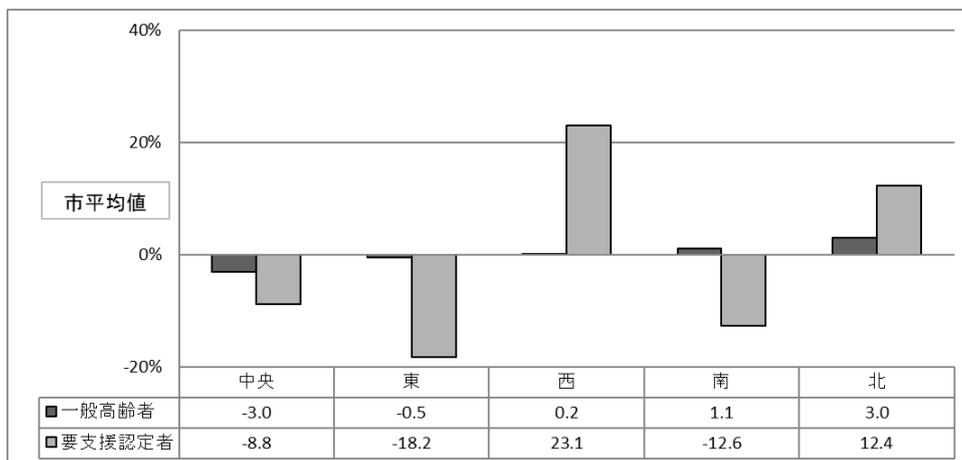
⑧知的能動性の低下

一般高齢者では、北圏域、南圏域で市平均値を上回っている。
要支援認定者では、西圏域で突出して高く、北圏域でも市平均値を上回っている。



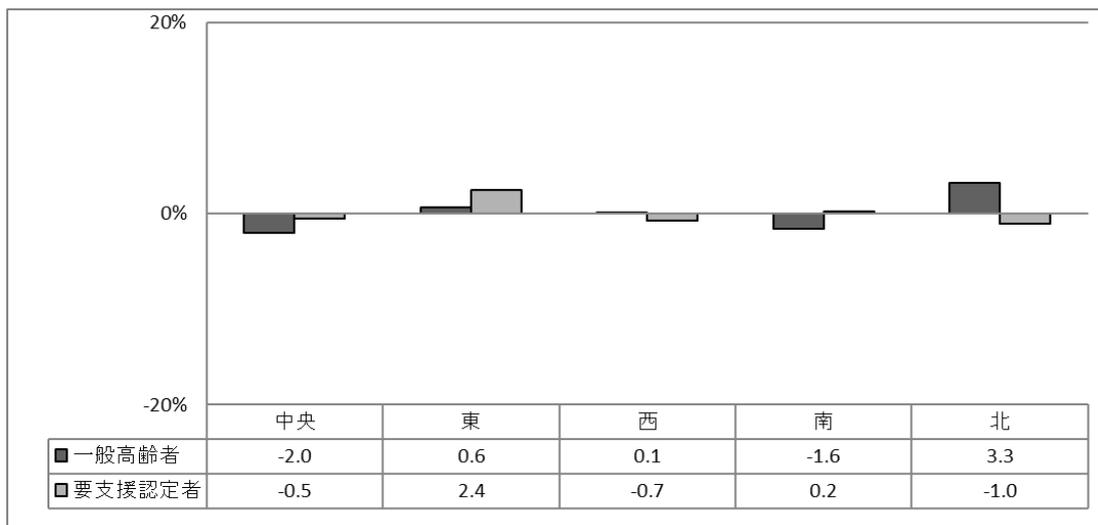
⑨他者との関わりの低下

一般高齢者では、北圏域、南圏域で市平均値を上回っている。
要支援認定者では、西圏域で突出して高い。



⑩ 認知機能の低下

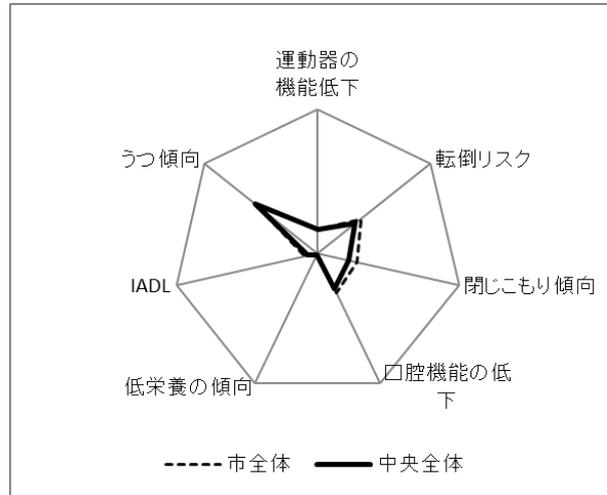
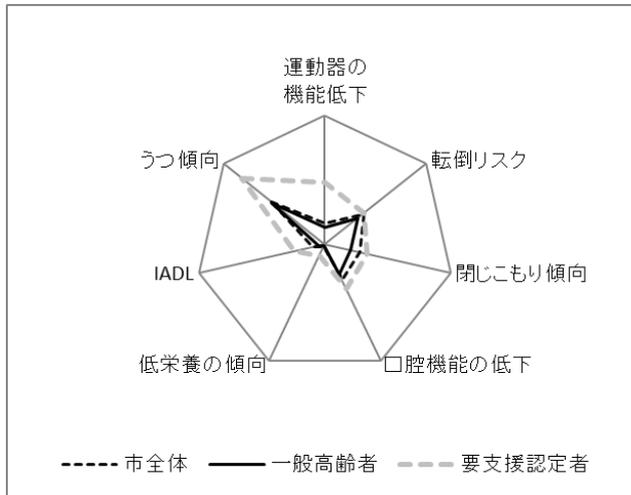
一般高齢者では、北圏域、東圏域、西圏域で市平均値を上回っている。
 要支援認定者では、東圏域で高い。



4. 圏域別リスク該当者割合

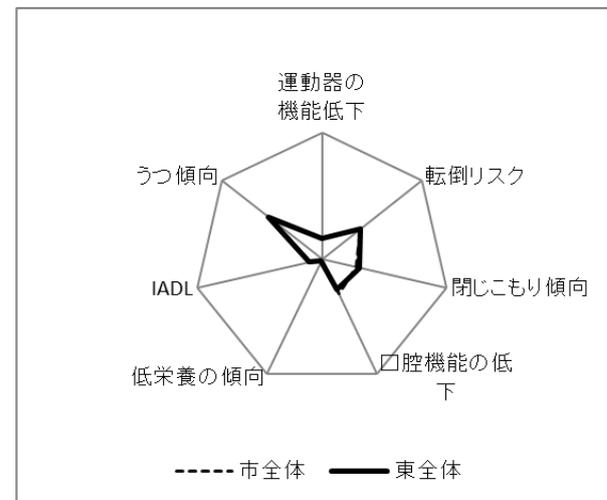
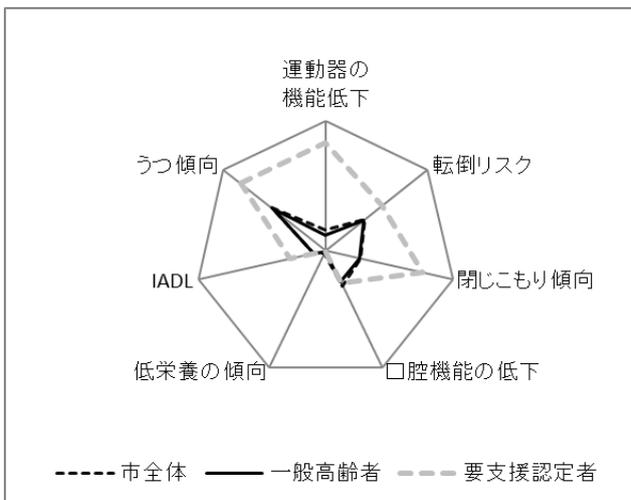
(中央圏域)

一般高齢者は市全体と比べて、中でも「閉じこもり傾向」「転倒リスク」が低くなっている。
 要支援認定者は市全体と比べて、特に「運動器の機能低下」「うつ傾向」「IADL」が高くなっている。
 中央圏域全体は市全体と比べて大きな差は見られない。



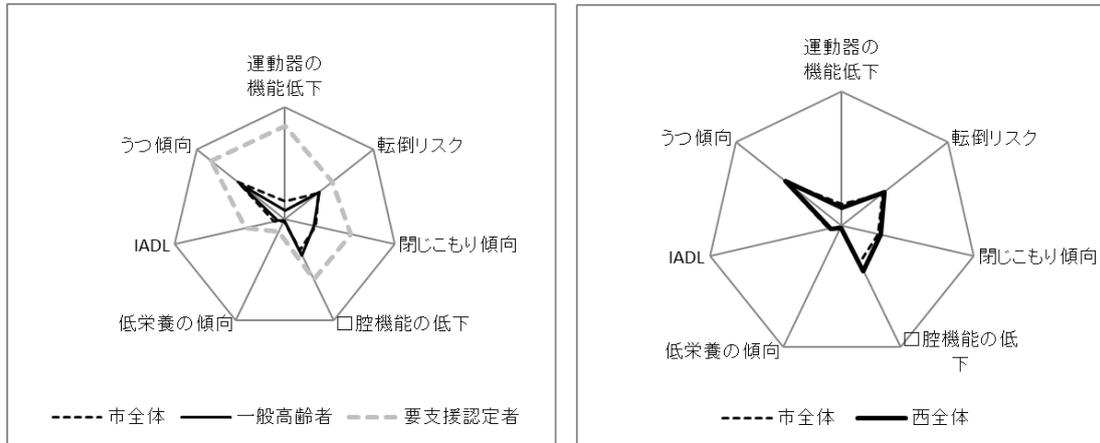
(東圏域)

一般高齢者は市全体と比べて、中でも「運動器の機能低下」「口腔機能の低下」が低くなっている。
 要支援認定者は市全体と比べて、特に「運動器の機能低下」「閉じこもり傾向」「うつ傾向」が高くなっている。
 東圏域全体は市全体と比べて、大きな差は見られない。



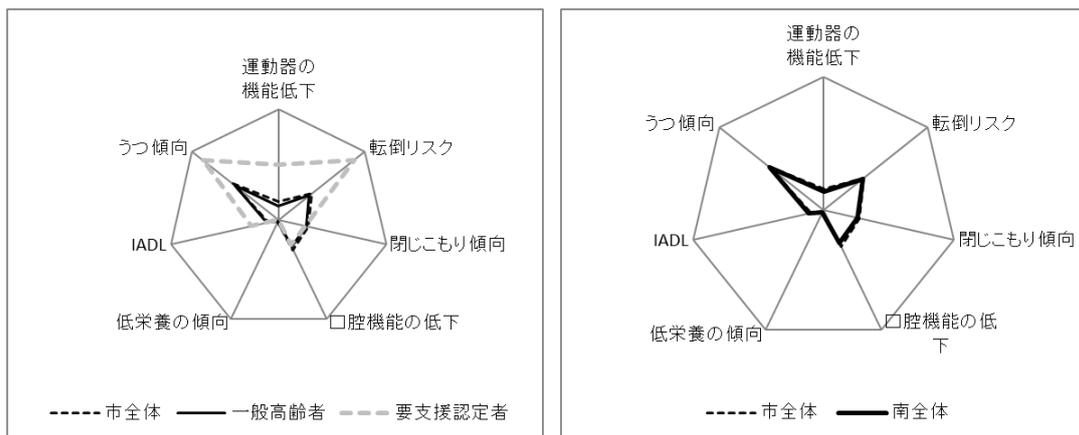
(西圏域)

一般高齢者は市全体と比べて、中でも「運動器の機能低下」が低くなっている。
 要支援認定者は市全体と比べて、特に「運動器の機能低下」「閉じこもり傾向」「うつ傾向」が高くなっている。
 西圏域全体は市全体と比べて大きな差は見られない。



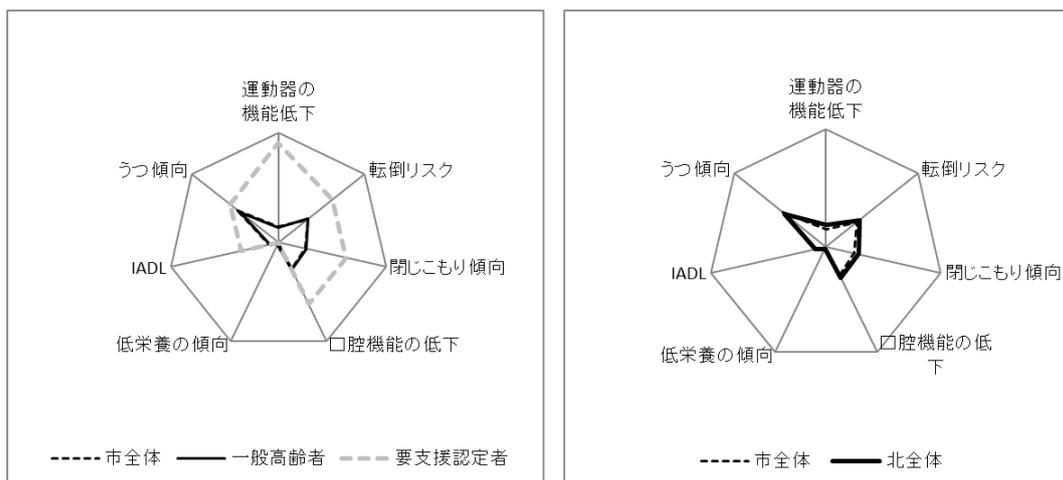
(南圏域)

一般高齢者は市全体と比べて、中でも「運動器の機能低下」が低くなっている。
 要支援認定者は市全体と比べて、特に「転倒リスク」「運動器の機能低下」「うつ傾向」が高くなっている。
 南圏域全体は市全体と比べて大きな差は見られない。



(北圏域)

一般高齢者は市全体と比べて、「うつ傾向」が低くなっている。
 要支援認定者は市全体と比べて「運動器の機能低下」「閉じこもり傾向」「口腔機能の低下」が高くなっている。
 北圏域全体は市全体と比べて大きな差は見られない。



V 考察

①独居高齢者などへの生活支援の充実

【調査結果】

- ・65歳以上の高齢者の世帯状況は、単身が16.8%、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）が40.9%となっており、合計で57.7%に及んでいる（問1（1））。なお、前回調査（令和2年）の同設問では、単身が17.6%、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）が40.8%、合計は58.4%であり、前回調査から0.7ポイント減少している。

【考察】

- ・独居高齢者や高齢者のみの世帯は増加傾向にあり、今後もさらに増加するものと見込まれる。独居高齢者などが安心して生活できるよう、現在秋田市が行っている「緊急通報装置の貸出し」「食の自立支援事業」「高齢者雪寄せ支援」などの既存サービスを継続し充実させることが求められる。また、継続的に具体的なニーズの把握に努め、全国の安否確認などでの成功事例なども参考とすることで、安心を確保できるよう地域での「見まもり」を、引き続き更に発展させることが必要と考えられる。

②介護予防活動の取組

【調査結果】

- ・一般高齢者であっても、うつ傾向や転倒リスク、閉じこもり傾向、口腔機能の低下、他者との関わりの低下は該当者2～3割台と高い状態にある（リスク判定・分析）。
- ・「地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか」の問では、「是非参加したい」（8.0%）と「参加してもよい」（49.0%）の合計（『参加したい』）は57.0%と5割を超えている（問5（2））。前回調査と比較すると、同設問の全体は『参加したい』は54.6%となっており、2.4ポイント増加している（問5（2））。
- ・「あなたが地域活動に参加するとき、支障になること（参加しないまたは参加できない理由）は何ですか」の問では、「特に支障・理由はない」は31.9%で最も高く、次いで「興味のもてる活動がみつからない」（19.8%）、「きっかけがない」（19.6%）となっている（問5（3））。

【考察】

- ・一般高齢者であっても、転倒やうつ傾向、口腔機能の低下のリスクは高くなっており、自ら介護予防に取り組んでいくことが大切である。地域の身近な活動に参加することは有効な介護予防とされている。秋田市では半数以上の人々が地域の活動に参加したいと考えており、このような場や取組をより一層整備、支援していくことが必要と思われる。なお、他者との関わりの低下は、昨今の新型コロナウイルスによる外出自粛等の影響だと推察されるが、今後の調査における継続的な確認が必要だと言える。
- ・また、地域活動に参加するとき支障になることは、「特に支障・理由はない」を除くと「興味のもてる活動がみつからない」、「きっかけがない」が多くを占めており、前回調査同様の傾向である。対象者に地域活動の情報を届け、社会との接点を持ち続けるため、高齢者のニーズを踏まえた多様なグループ活動の場の創設に繋がる施策がより一層必要であると考えられる。

③認知症高齢者への支援の充実

【調査結果】

- ・認知症の知名度は、「どのような病気か、ある程度は知っている」が69.2%、「どのような病気か、詳しく知っている」が14.0%となっており、合計で8割を超えている（問8（1））。
- ・認知症に関する相談窓口の認知度は2割半ばとなっている（問8（3））。

【考察】

- ・認知症の知名度は8割超と高くなっている一方で、認知症に関する相談窓口の認知度は2割半ばにとどまっており、前回調査よりもやや低下している。そのため、相談窓口を設置するだけでなく、相

談窓口の認知度を高めていく工夫が求められる。

④生きがいづくりや社会参加の促進

【調査結果】

- ・「生きがいあり」が56.9%、「思いつかない」が37.6%となっている（問4（18））。
- ・「閉じこもり傾向」の該当者は一般高齢者で20.6%、要支援認定者で42.9%となっている（リスク判定・分析）。
- ・「うつ傾向」の該当者は一般高齢者で40.7%、要支援認定者で63.7%となっていることに加え、リスク判定分類の内、もっとも該当者の率が高い（リスク判定・分析）。
- ・前回調査との比較では、一般高齢者、要支援認定者ともに「うつ傾向」の該当者は多くなっている。

【考察】

- ・「閉じこもり傾向」、「うつ傾向」のリスクを軽減していくためには、地域活動や社会活動への参加、生きがいづくりを促す取組が必要と考えられる。特に、生きがい「思いつかない」と回答した人は3割強を占めており、彼らのニーズや専門性を把握し、働ける年齢ならば就労機会の提供や特性を活かしたボランティア活動の場の創設・提供など社会参加を促進していくことが今後の課題と考えられる。
- ・なお、「うつ傾向」の該当者の増加は、新型コロナウイルスによるさまざまな影響がある可能性があるが、継続的な状況の確認と社会情勢に鑑みながら、上記施策の展開が望まれる。

⑤住民主体の支え合い活動の取組

【調査結果】

- ・「地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか」の問では、「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計は5割を超えている（問5（2））。
- ・ボランティアのグループに『参加している』（頻度に関わらず参加しているを合算）は全体で1割程度にとどまっている（問5（1）①）。
- ・愚痴を聞いてくれる人は、「配偶者」が56.9%と最も高く、「友人」42.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」34.0%、「別居の子ども」33.7%と家族・親族や友人が高い傾向を示すのに対し、「近隣」は10.0%にとどまり、「そのような人はいない」が4.4%となっている。また、70歳以降、年齢が上がるにつれて「友人」の割合が減少傾向である（70～74歳：48.9%、80～84歳：40.1%、85歳以上：23.0%）（問6（1））。
- ・看病などしてくれる人は、「配偶者」が60.9%と最も高いが、年齢が上がるにつれて減少しており、「子ども」の割合が増加傾向にある。また、「近隣」は2.5%にとどまった（問6（3））。
- ・「家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください」の問では、「そのような人はいない」が42.3%と最も高く、65～79歳の年代で4割以上となっている（問6（5））。

【考察】

- ・住民主体の支え合い活動について、「参加者として参加する」場合では、半数以上は「是非参加したい」または「参加してもよい」と回答している。一方で、「企画・運営（お世話役）として参加する」場合では半数以上が「参加したくない」と回答し、またボランティア活動にも1割程度の参加状況となっており、前回調査と同様の傾向である。引き続き、高齢者が地域の支え手として、企画・運営（お世話役）やボランティア活動に参加したい人が増えるように、高齢者の特性を把握し活躍の場が与えられるような多様な活動の場の創設が必要と考えられる。
- ・愚痴の聞き役や看病の担い手として、「近隣」の割合は家族・親族に比べて割合が低く、核家族化やプライバシーの尊重に伴い、地域とのつながりや支え合い機能が低下していると見られる。また、新型コロナウイルスの影響で、近隣でのコミュニケーション量が減っている可能性も考えられる。高齢者が生活するうえで困っているニーズを把握し、地域が主体となってアイデアを持ち寄り、課題に取り組んでいく機会が求められる。

⑥在宅医療と在宅介護の連携推進

【調査結果】

- ・「あなたやあなたの家族は自宅で最期まで過ごすことができるか」に対して、「困難である」は25.1%となっており、「可能である」の11.7%の2倍以上となった（問7（11））。
- ・上記で「困難である」と回答した人に、「自宅で最期まで過ごすことが難しいと思う理由」と伺ったところ、「介護する家族に負担がかかる」が68.3%と突出して高かった。また、次点では「症状が急に悪くなったときに、どうしたらよいか不安がある」が49.4%、「症状が悪くなったときに、すぐに病院に入院できるか不安がある」が45.6%となっている（問7（11）①）。

【考察】

- ・上記の結果は、前回調査と比較して同様の傾向である。引き続き、多くの高齢者が在宅での療養生活を継続していくためには、介護する家族の存在や負担軽減を視野にいれたサービスの拡充が必要と考えられる。
- ・また、多くの方は自宅で症状が悪くなった際に不安を抱えていることから、高齢者が在宅での療養生活を継続していくためには医療と介護の連携を更に綿密にしていくことが求められている。

⑦主観的な経済状況や健康感、幸福感について

【調査結果】

- ・主観的な経済状況を把握する「現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか」の問では、「やや苦しい」「大変苦しい」との回答が3割半ばを占めている（問1（3））。
- ・主観的な健康状況を把握する「現在のあなたの健康状態はいかがですか」の問、主観的な幸福感への「あなたは、現在どの程度幸せですか」の問では、要支援認定者は一般高齢者よりも低い傾向にある（問7（1）（2））。

【考察】

- ・主観的な経済状況について、「大変苦しい」「やや苦しい」と回答した要支援認定者の割合は一般高齢者を10ポイント程度上回っている。要支援認定者への経済的負担軽減の充実が期待される。
- ・また、主観的な健康感や幸福感の数値では、要介護支援認定者は一般高齢者を下回っていることから、今後は、精神面を含めた医療健康度を高める支援も必要になると考えられる。

VI 調査票

(宛名ラベル)	秋田市 介護予防・日常生活圏域 高齢者ニーズ調査
---------	---------------------------------------

調査協力をお願い

皆様におかれましては、日頃から秋田市行政にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。本市では、高齢者保健福祉サービスと介護サービスの計画的かつ円滑な実施を図るため、3年ごとに秋田市高齢者プラン（高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）を策定しております。このたび、令和6年度から8年度までの3年間を計画期間とする新たなプランをつくるにあたり、高齢者の日常生活の状況や健康状態などをお聞きし、介護予防サービスのニーズ（需要）を把握することを目的とした調査を実施することとなりました。調査票は、令和4年12月1日現在、要介護認定（要介護1から要介護5まで）を受けていない65歳以上の方の中から、無作為にお選びした2,000名の皆様にお送りしております。大変お忙しいとは存じますが、趣意をご理解いただき、本調査にご協力くださるようお願い申し上げます。

令和4年12月

秋田市長 穂 積 志

記入日	令和 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄 _____）	
3. その他 _____	

●調査票を記入する際は、黒のボールペンや鉛筆をご使用いただき、各項目で該当する数字に○をつけてください。

●調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、

1月25日（水）までに 郵便ポストにご投函ください。

【この調査に関する問い合わせ先】

秋田市福祉保健部長寿福祉課（電話）888-5666、（FAX）888-5667

1

問1	あなたのご家族や生活状況について
(1) 家族構成をお教えてください	
1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	4. 息子・娘との2世帯
5. その他 _____	
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか	
1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	
3. 現在、何らかの介護を受けている （介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）	
【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】	
①介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（いくつでも）	
1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	2. 心臓病 3. がん（悪性新生物）
4. 呼吸器の病気（肺炎腫・肺炎等）	5. 関節の病気（リウマチ等）
6. 認知症（アルツハイマー病等）	7. パーキンソン病 8. 糖尿病
9. 腎疾患（透析）	10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒
12. 脊椎損傷	13. 高齢による衰弱 14. その他（ _____ ）
15. 不明	
【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】	
②主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）	
1. 配偶者（夫・妻）	2. 息子 3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫 6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他（ _____ ）

3

ご記入にあたってのお願い

- ご記入にあたっては、あて名のご本人のことについてお答えください。
- ご本人の代わりに、ご家族のかたなどが記入しても結構です。
- 各項目で該当する数字に○をつけてください。数字を記入する項目は右詰めで記入してください。

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

●この調査は、本市における介護予防サービスのニーズ（需要）を把握するために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、秋田市高齢者プラン（高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）を策定する目的以外には利用いたしません。また当該情報については、秋田市で適切に管理いたします。

●ただし、秋田市高齢者プラン策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し（個人が識別されることはありません）、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

2

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか		
1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	
(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか		
1. 持家（一戸建て）	2. 持家（集合住宅）	
3. 公営賃貸住宅	4. 民間賃貸住宅（一戸建て）	
5. 民間賃貸住宅（集合住宅）	6. 借家	
7. その他 _____		

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(3) 15分位続けて歩いていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか		
1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない

4

(5) 転倒に対する不安は大きいですか	
1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	
(6) 週に1回以上は外出していますか	
1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上	
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	
1. とても減っている 2. 減っている	
3. あまり減っていない 4. 減っていない	
(8) 外出を控えていますか	
1. はい 2. いいえ	
【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】	
①外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)	
1. 病気 2. 障害(脳卒中の後遺症など)	
3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など)	
5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害	
7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない	
9. 交通手段がない 10. その他()	

5

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)		
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自動車(自分で運転)	5. 自動車(人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす
10. 電動車いす(カート)	11. 歩行器・シルバーカー	
12. タクシー	13. その他()	
(10) 健康保持・介護予防のため、どのような取組に参加したいと思えますか (いくつでも)		
1. フィットネスクラブなど民間の施設に通う		
2. 市が主催する教室で、運動や栄養、口腔ケアなどを定期的に学ぶ		
3. 保健師や看護師に自宅へ訪問してもらい、運動や栄養、口腔ケアなどを学ぶ		
4. 町内会館や公民館など地域の身近な場所に集まり、健康づくりや趣味活動を行う		
5. 毎日散歩をするなど、ふだんから体を動かすよう自分自身で気を付ける		
6. 特になにもしない		
7. その他()		

6

問3 食べることについて
(1) 身長・体重
身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm 体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか
1. はい 2. いいえ
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか
1. はい 2. いいえ
(4) 口の渇きが気になりますか
1. はい 2. いいえ
(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか
1. はい 2. いいえ
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (成人の歯の総本数は、抜かずに含めて32本です)
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
①噛み合わせは良いですか
1. はい 2. いいえ
②【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか
1. はい 2. いいえ

7

(7) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか
1. はい 2. いいえ
(8) どなたかと食事をとる機会がありますか
1. 毎日ある 2. 週に回数がある 3. 月に回数がある
4. 年に回数がある 5. ほとんどない

問4 毎日の生活について
(1) 物忘れが多いと感じますか
1. はい 2. いいえ
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか
1. はい 2. いいえ
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか
1. はい 2. いいえ
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
【(5)で「2. できるけどしていない」「3. できない」の方のみ】
①食品・日用品の買物をする人はどなたですか (いくつでも)
1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー
4. 配達を依頼 5. その他()

8

(6) 自分で食事の用意をしていますか
1. できるし、している 2. できるだけしていない 3. できない
【(6)で「2. できるだけしていない」「3. できない」の方のみ】
① 食事の用意をする人はどなたですか (いくつでも)
1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー 4. 配食サービスを利用 5. その他 ()
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか
1. できるし、している 2. できるだけしていない 3. できない
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか
1. できるし、している 2. できるだけしていない 3. できない
(9) 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか
1. はい 2. いいえ
(10) 新聞を読んでいますか
1. はい 2. いいえ
(11) 本や雑誌を読んでいますか
1. はい 2. いいえ
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか
1. はい 2. いいえ

9

(13) 友人の家を訪ねていますか
1. はい 2. いいえ
(14) 家族や友人の相談にのっていますか
1. はい 2. いいえ
(15) 病人を見舞うことができますか
1. はい 2. いいえ
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか
1. はい 2. いいえ
(17) 趣味はありますか
1. 趣味あり → () 2. 思いつかない
(18) 生きがいはありますか
1. 生きがいあり → () 2. 思いつかない

10

問5 地域での活動について						
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※①～⑧それぞれに回答してください						
	週4回 以上	週2 ～3回	週1回	月1 ～3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ (はつらつくらぶ、地域サロンなど) 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思えますか						
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している						

11

(3) あなたが地域活動に参加するとき、支障になること (参加したくない、または参加できない理由) は何ですか (いくつでも)		
1. 仕事や家事、育児のため時間がとれない	2. 一緒に参加する仲間がいない	
3. 興味もてる活動が見つからない	4. どのような活動があるのかわからない	
5. きっかけがない	6. 特に支障・理由はなし	
7. その他 ()		
(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営 (お世辞)</u> として参加してみたいと思えますか		
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している		
(5) あなたは地域でどんな支障ができるとおもいますか (いくつでも)		
1. 配食の手伝い	2. 調理	3. 掃除・洗濯
4. 買い物代行	5. 外出同行 (通院、散歩など)	6. ごみ出し
7. 見守り、声かけ	8. サロンなど通いの場のサポート	9. 外出時の送迎
10. できない 11. その他 ()		

12

問6	たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお答えをお願いします	
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他()	8. そのような人はいない	

13

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(いくつでも)		
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員	
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師	
5. 地域包括支援センター・役所・役場	6. その他	
7. そのような人はいない		
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか 同じ人には何度会っても1人と数えることとします		
1. 0人(いない)	2. 1~2人	3. 3~5人
4. 6~9人	5. 10人以上	
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか(いくつでも)		
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ	3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚	5. 趣味や関心が同じ友人	
6. ボランティア等の活動での友人	7. その他	
8. いない		

14

問7	健康について											
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか												
1. とてもよい	2. まあよい	3. あまりよくない	4. よくない									
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)												
とても不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても幸せ
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか												
1. はい	2. いいえ											
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか												
1. はい	2. いいえ											
(5) お酒は飲みますか												
1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む	3. ほとんど飲まない										
4. もともと飲まない												
(6) タバコは吸っていますか												
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている	3. 吸っていたがやめた										
4. もともと吸っていない												

15

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(いくつでも)		
1. ない	2. 高血圧	3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病	5. 糖尿病	6. 高脂血症(脂質異常)
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	
11. 外傷(転倒・骨折等)	12. がん(悪性新生物)	13. 血液・免疫の病気
14. うつ病	15. 認知症(アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気	19. その他()
(8) 健康状態や病気のことで気軽に相談でき、決まって診察を受ける「かかりつけ医」がいますか		
1. かかりつけ医がいる		
2. かかりつけ医はいないが、いつも受診する医療機関は決まっている		
3. そのような医師・医療機関はない		
(9) 脳卒中の後遺症やがんなど、認知症以外の病気により長期的療養が必要になったとき、どこで過ごしたいですか(いくつでも)		
1. 自宅	2. 子どもや親戚の家	3. 特別養護老人ホームなどの介護施設
4. 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など	5. 病院	
6. 分からない	7. その他()	

16

(10) あなたの家族が脳卒中の後遺症やがんなど、認知症以外の病気により長期の療養が必要になったとき、どこで過ごしてもらいたいですか (いくつでも)
1. 自宅 2. 特別養護老人ホームなどの介護施設 3. 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など 4. 病院 5. 分からない 6. その他 ()
(11) あなたやあなたの家族は自宅で最期まで過ごすことができますか
1. 可能である 2. 分からない 3. 困難である
【(11) で「3. 困難である」の方のみ】
① 自宅で最期まで過ごすことが難しいと思う理由は何ですか (いくつでも)
1. 往診してくれる「かかりつけ医」がない 2. 看護士の訪問体制が整っていない 3. ヘルパーの訪問体制が整っていない 4. 介護してくれる家族がいない 5. 介護する家族に負担がかかる 6. 経済的な負担が大きい 7. 居住環境が整っていない 8. 症状が悪くなったときに、どうしたらよいか不安がある 9. 症状が悪くなったときに、すぐに病院に入院できるか不安がある 10. その他 ()

17

問 8 認知症にかかる相談窓口の把握について
(1) あなたは、認知症 (※) について知っていますか
1. どのような病気が詳しく知っている 2. どのような病気がある程度は知っている 3. 名前だけは聞いたことがある 4. まったく知らない
(2) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか
1. はい 2. いいえ
(3) 認知症に関する相談窓口を知っていますか
1. はい 2. いいえ

※認知症とは
いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったために様々な障害が起こり、生活する上で支障が出ている状態 (65歳未満以上) を指し、原因となる病態には、アルツハイマー病、前頭・側頭型認知症、レビー小体病、脳血管性認知症などがあります。

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■■

18

秋田市介護予防・日常生活圏域高齢者二一才調査
－結果報告書－

秋田市 福祉保健部 長寿福祉課
〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号
T E L 018-888-5666
F A X 018-888-5667
<http://www.city.akita.lg.jp/>